

双葉町コミュニティーセンター改修工事
実施設計図

意匠図

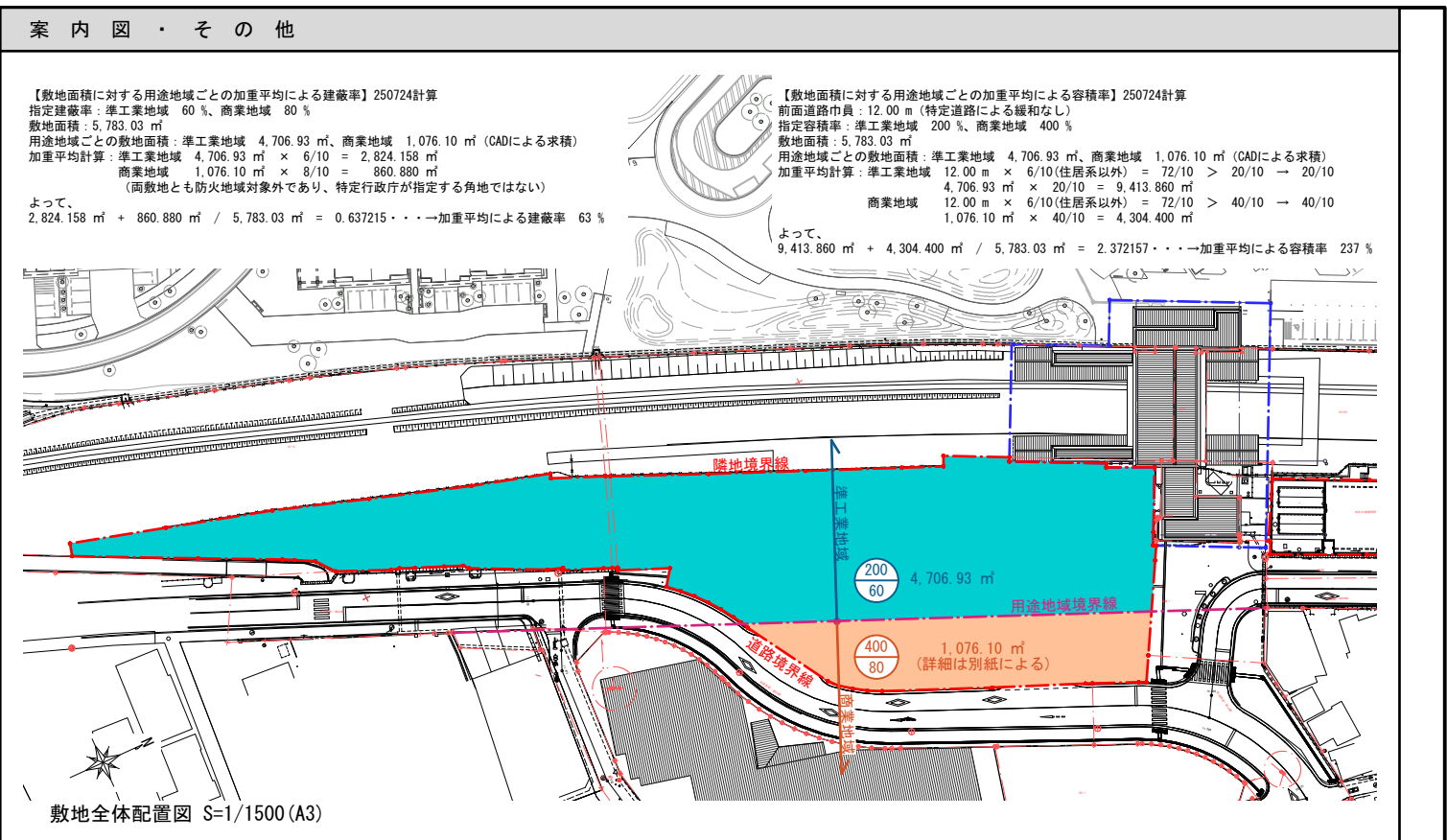
2026年7月
松田平田・山・山堀共同企業体

双葉町コミュニティーセンター改修工事(意匠図)

図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)
A-00	表紙		SA-01	修繕計画概要	-	RA-01	配置図兼屋根伏図(北敷地・南敷地全体:改修)	1/800	RA-47	ELV廻り平面詳細図	1/100	RA-93	展開図-23	1/100
A-01	図面目録-1		SA-02	センター棟修繕数量表	-	RA-02	配置図兼屋根伏図-1(建物全体:改修)	1/300	RA-48	回廊1詳細図-1	1/100	RA-94	展開図-24	1/100
A-02	図面目録-2		SA-03	センター棟修繕箇所プロット図-1	1/100	RA-03	配置図兼屋根伏図-2(駐車場廻り:改修)	1/300	RA-49	回廊1詳細図-2	1/100	RA-95	断熱遮音案内図-1	1/150
A-03	案内図・計画概要書		SA-04	センター棟修繕箇所プロット図-2	1/100	RA-04	1階平面図(建物全体:改修後)	1/300	RA-50	回廊2詳細図-1	1/100	RA-96	断熱遮音案内図-2	1/150
A-04	特記仕様書-1		SA-05	センター棟修繕箇所プロット図-3	1/100	RA-05	2階・3階平面図(建物全体:改修後)	1/300	RA-51	回廊2詳細図-2	1/100	RA-97	断熱遮音案内図-3	1/150
A-05	特記仕様書-2		SA-06	センター棟修繕箇所プロット図-4	1/100	RA-06	立面図-1(改修後着色立面)	1/300	RA-52	建具改修特記仕様書	-	RA-98	断熱遮音案内図-4	1/150
A-06	特記仕様書-3		SA-07	センター棟修繕箇所プロット図-5	1/100	RA-07	立面図-2(改修後着色立面)	1/300	RA-53	1階建具キープラン(センター棟:改修後)	1/100	RA-99	断熱遮音案内図-5	1/150
A-07	特記仕様書-4		SA-08	センター棟修繕箇所プロット図-6	1/100	RA-08	立面図-3(改修後着色立面)	1/300	RA-54	2階建具キープラン(センター棟:改修後)	1/100	RA-100	断熱遮音案内図-6	1/150
A-08	特記仕様書-5		SA-09	センター棟修繕箇所プロット図-7	1/100	RA-09	断面図(改修後)	1/300	RA-55	3階建具キープラン(センター棟:改修後)	1/100			
A-09	特記仕様書-6		SA-10	センター棟修繕箇所プロット図-8	1/100	RA-10	矩計図-1(センター棟:改修後)	1/100	RA-56	1階建具キープラン(ホール棟:改修後)	1/100			
A-10	外部仕上表-1		SA-11	センター棟修繕箇所プロット図-9	1/100	RA-11	矩計図-2(センター棟:改修後)	1/100	RA-57	2階建具キープラン(ホール棟:改修後)	1/100			
A-11	外部仕上表-2		SA-12	センター棟修繕箇所プロット図-10	1/100	RA-12	矩計図-3(センター棟:改修後)	1/100	RA-58	1階建具キープラン(旧駅舎棟:改修後)	1/100			
A-12	内部仕上表(センター棟)-1		SA-13	センター棟修繕箇所プロット図-11	1/100	RA-13	矩計図-4(センター棟:改修後)	1/100	RA-59	吹抜部建具キープラン(旧駅舎棟:改修後)	1/100			
A-13	内部仕上表(センター棟)-2		SA-14	センター棟修繕箇所プロット図-12	1/100	RA-14	矩計図-1(ホール棟:改修後)	1/100	RA-60	建具表-1(鋼製建具/既存改修)	1/100			
A-14	内部仕上表(センター棟)-3		SA-15	センター棟修繕箇所プロット図-13	1/100	RA-15	矩計図-2(ホール棟:改修後)	1/100	RA-61	建具表-2(鋼製建具/既存改修)	1/100			
A-15	内部仕上表(センター棟)-4		SA-16	センター棟修繕箇所プロット図-14	1/100	RA-16	矩計図-3(ホール棟:改修後)	1/100	RA-62	建具表-3(鋼製建具/新設)	1/100			
A-16	内部仕上表(センター棟)-5		SA-17	センター棟修繕箇所プロット図-15	1/100	RA-17	矩計図-4(ホール棟:改修後)	1/100	RA-63	建具表-4(アルミ製建具/既存改修)	1/100			
A-17	内部仕上表(ホール棟)-6		SA-18	ホール棟修繕数量表	-	RA-18	矩計図-1(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-64	建具表-5(アルミ製建具/既存改修)	1/100			
A-18	内部仕上表(ホール棟)-7		SA-19	ホール棟修繕箇所プロット図-1	1/100	RA-19	矩計図-2(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-65	建具表-6(アルミ製建具/既存改修)	1/100			
A-19	内部仕上表(ホール棟)-8		SA-20	ホール棟修繕箇所プロット図-2	1/100	RA-20	矩計図-3(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-66	建具表-7(アルミ製建具/既存改修)	1/100			
GA-01	1F現況平面図	1/300	SA-21	ホール棟修繕箇所プロット図-3	1/100	RA-21	階段詳細図-1(センター棟:改修後)	1/50	RA-67	建具表-8(アルミ製建具/既存改修)	1/100			
GA-02	2,3F現況平面図	1/300	SA-22	ホール棟修繕箇所プロット図-4	1/100	RA-22	階段詳細図-2(センター棟:改修後)	1/50	RA-68	建具表-9(アルミ製建具/既存改修)	1/100			
GA-03	現況立面図	1/300	SA-23	ホール棟修繕箇所プロット図-5	1/100	RA-23	階段詳細図-3(ホール棟:改修後)	1/50	RA-69	建具表-10(アルミ製建具/新設)	1/100			
			SA-24	ホール棟修繕箇所プロット図-6	1/100	RA-24	1階平面詳細図(センター棟:改修後)	1/100	RA-70	建具表-11(木製建具/既存改修・新設)	1/100			
TA-01	屋根修繕図	1/300	SA-25	ホール棟修繕箇所プロット図-7	1/100	RA-25	2階平面詳細図(センター棟:改修後)	1/100	RA-71	展開図-1	1/100			
TA-02	立面撤去図-1	1/200	SA-26	ホール棟修繕箇所プロット図-8	1/100	RA-26	3階平面詳細図(センター棟:改修後)	1/100	RA-72	展開図-2	1/100			
TA-03	立面撤去図-2	1/200	SA-27	ホール棟修繕箇所プロット図-9	1/100	RA-27	1階平面詳細図(ホール棟:改修後)	1/100	RA-73	展開図-3	1/100			
TA-04	センター棟1F撤去平面詳細図	1/100	SA-28	ホール棟修繕箇所プロット図-10	1/100	RA-28	2階平面詳細図(ホール棟:改修後)	1/100	RA-74	展開図-4	1/100			
TA-05	センター棟2F撤去平面詳細図	1/100	SA-29	ホール棟修繕箇所プロット図-11	1/100	RA-29	1階平面詳細図(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-75	展開図-5	1/100			
TA-06	センター棟3F撤去平面詳細図	1/100	SA-30	ホール棟修繕箇所プロット図-12	1/100	RA-30	吹抜部及び屋根架構図(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-76	展開図-6	1/100			
TA-07	センター棟断面撤去図-1	1/100	SA-31	ホール棟修繕箇所プロット図-13	1/100	RA-31	ビット図-1(センター棟:改修後)	1/100	RA-77	展開図-7	1/100			
TA-08	センター棟断面撤去図-2	1/100	SA-32	ホール棟修繕箇所プロット図-14	1/100	RA-32	ビット図-2(ホール棟:改修後)	1/100	RA-78	展開図-8	1/100			
TA-09	センター棟断面撤去図-3	1/100	SA-33	旧駅舎棟修繕数量表	-	RA-33	ビット図-3(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-79	展開図-9	1/100			
TA-10	センター棟1F撤去天井伏図	1/100	SA-34	旧駅舎棟修繕箇所プロット図-1	1/100	RA-34	1階天井伏図(センター棟:改修後)	1/100	RA-80	展開図-10	1/100			
TA-11	センター棟2F撤去天井伏図	1/100	SA-35	旧駅舎棟修繕箇所プロット図-2	1/100	RA-35	2階天井伏図(センター棟:改修後)	1/100	RA-81	展開図-11	1/100			
TA-12	センター棟3F撤去天井伏図	1/100	SA-36	旧駅舎棟修繕箇所プロット図-3	1/100	RA-36	3階天井伏図(センター棟:改修後)	1/100	RA-82	展開図-12	1/100			
TA-13	ホール棟1F撤去平面詳細図	1/100				RA-37	1階天井伏図(ホール棟:改修後)	1/100	RA-83	展開図-13	1/100			
TA-14	ホール棟2F撤去平面詳細図	1/100				RA-38	2階天井伏図(ホール棟:改修後)	1/100	RA-84	展開図-14	1/100			
TA-15	ホール棟断面撤去図	1/100				RA-39	屋根架構部天井伏図(ホール棟:改修後)	1/100	RA-85	展開図-15	1/100			
TA-16	ホール棟1F撤去天井伏図	1/100				RA-40	1階天井伏図(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-86	展開図-16	1/100			
TA-17	ホール棟2F撤去天井伏図	1/100				RA-41	吹抜部天井伏図(旧駅舎棟:改修後)	1/100	RA-87	展開図-17	1/100			
TA-18	旧駅舎棟撤去詳細図	1/100				RA-42	客室1~4平面詳細図	1/40	RA-88	展開図-18	1/100			
TA-19	雑撤去詳細図	1/100				RA-43	客室5平面詳細図	1/40	RA-89	展開図-19	1/100			
						RA-44	客室6~9平面詳細図	1/40	RA-90	展開図-20	1/100			
						RA-45	客室10平面詳細図	1/40	RA-91	展開図-21	1/100			
						RA-46	1階フロント・厨房廻り平面詳細図	1/40	RA-92	展開図-22	1/100			

建築概要			
【一般事項】			
工事名称	双葉町コミュニティセンター改修及び増築工事		
建築主	双葉町長 伊澤 史朗 〒979-1471 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4		
工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 別棟増築 <input type="checkbox"/> 増改築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input checked="" type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> 大規模の修繕 <input type="checkbox"/> 大規模の模様替え <input type="checkbox"/> 左記に該当しない改修	計画敷地	地番 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22、39-25、39-28、39-29、39-30、39-34、44-8、39-1の一部、39-26の一部、38-1の一部、38-8の一部、37-1の一部、249-1の一部、249-3の一部、302の一部、303の一部、道-177の一部 住居表示 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22 他
駐車場等	青空駐車場 20台(敷地南側)	備考	【既存建物の新築時申請】平成10(1998)年10月13日検査済証下付 【前願申請】バス等の停留場の屋上の増築 令和3(2021)年5月17日検査済証下付 申請敷地面積:2,427.23㎡
工作物等	既設井戸あり(平成28年3月さく井工事にて新設)		
工期想定	未定		
【集団規定】			
区域区分	<input type="checkbox"/> 都市計画区域-市街化区域 <input type="checkbox"/> 都市計画区域-市街化調整区域 <input checked="" type="checkbox"/> 都市計画区域-非線引き都市計画区域 <input type="checkbox"/> 準都市計画区域	敷地面積	5,783.03㎡ (1,749.36坪) ※令和6年2月測量業務の敷地求積図より 2以上の地域にわたる場合 ①(準工業)地域 4,706.93㎡ (1,423.84坪) ②(商業)地域 1,076.10㎡ (325.52坪) ※CAD求積
用途地域	<input type="checkbox"/> 第一種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第二種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第一種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第二種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第一種住居地域 <input type="checkbox"/> 第二種住居地域 <input type="checkbox"/> 準住居地域 <input type="checkbox"/> 近隣商業地域 <input checked="" type="checkbox"/> 商業地域(2) <input checked="" type="checkbox"/> 準工業地域(1) <input type="checkbox"/> 工業地域 <input type="checkbox"/> 工業専用地域 <input type="checkbox"/> 指定なし	道路	巾員 敷地東側:12.00m(町道長塚-新山線(駅前前田線))特定道路による緩和:なし 接道長さ 207.66m ※CAD求積 種別 法第42条1項 <input type="checkbox"/> 一号 <input type="checkbox"/> 二号 <input type="checkbox"/> 三号 <input type="checkbox"/> 四号 <input type="checkbox"/> 五号(位置指定道路) <input type="checkbox"/> 法第42条2項(みなし道路) <input type="checkbox"/> 法第42条3項(2項特例) <input type="checkbox"/> 基準法上道路以外
防火地域	<input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域 <input type="checkbox"/> 法22条区域 <input type="checkbox"/> 路線防火地域 <input type="checkbox"/> 指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 2以上の地域 ①防火地域 ②準防火地域 ③法22条区域 ④路線防火地域 ⑤指定なし にわたる場合 ② 防火地域 ③準防火地域 ④法22条区域 ⑤路線防火地域 ⑥指定なし	規制	指定建蔽率 ①(準工業)地域 60% → 敷地面積に対する用途地域ごとの加重平均による建蔽率 63.72% ②(商業)地域 80% 指定容積率 ①(準工業)地域 200% → 敷地面積に対する用途地域ごとの加重平均による容積率 237.24% ②(商業)地域 400% 高度地区 なし 高度利用地区 なし 道路斜線 ①(準工業)地域 適用距離:20m、傾斜勾配:1.5 ②(商業)地域 適用距離:20m、傾斜勾配:1.5 ③(準工業)地域 基準の高さ:31m、傾斜勾配:2.5 ④(商業)地域 基準の高さ:31m、傾斜勾配:2.5 隣地斜線 なし 北側斜線 なし 日影規制 4-2.5時間/4m(高さ10mを超える建築物の場合)
その他の指定及び建築基準関係規定	<input type="checkbox"/> 下水道処理区域 <input type="checkbox"/> 土地区画整理事業 <input type="checkbox"/> 市街地再開発事業 <input type="checkbox"/> 宅地造成等工事規制区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域 <input type="checkbox"/> 都市機能誘導区域 <input type="checkbox"/> 駐車場整備地区 <input type="checkbox"/> 臨港地区 <input type="checkbox"/> 居住誘導区域 <input type="checkbox"/> 既成都市区域 <input type="checkbox"/> 一団地の総合的計設計画 <input type="checkbox"/> 人口集中地区 <input type="checkbox"/> 特定街区 <input type="checkbox"/> 住居系指向地区 <input type="checkbox"/> 都市施設等() <input type="checkbox"/> 風致地区() <input type="checkbox"/> 緑地関係() <input checked="" type="checkbox"/> 双葉駅西側地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設 <input type="checkbox"/> 興行場法 <input type="checkbox"/> 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法) <input type="checkbox"/> エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法)	開発行為	該当なし
		条例関係(適合義務)	<input checked="" type="checkbox"/> 福島県建築基準法施行条例 <input checked="" type="checkbox"/> 福島県景観条例 <input type="checkbox"/> 人にやさしいまちづくり条例(福島県)

【計画概要・単体規定】								
対象建物名称	双葉町コミュニティセンター(ステーションプラザふたば) 竣工年:平成10(1998)年10月							
主要用途	集会場(区分:08550)	改修後	集会場(区分:08550)及びホテル(区分:08400)					
耐火種別	耐火建築物	既存のまま(ELV増築部分:耐火建築物)						
構造・規模	RC造・3階建	既存のまま(ELV増築部分:鉄骨造3階建)						
構造計算ルート	センター棟:ルート2-(1)、ホール棟:ルート1、旧駅舎棟:ルート1	既存のまま(3棟共)						
耐火性能・防火設備等	屋根	RC造(30分耐火構造)	屋根 RC造(30分耐火構造)	延べ面積(改修後)				
	軒裏	-	軒裏 -					
	外壁	RC造(1時間耐火構造)	外壁 RC造(1時間耐火構造)					
	間仕切壁	RC造(1時間耐火構造)※耐力壁に限る	間仕切壁 RC造(1時間耐火構造)※耐力壁に限る					
	柱	RC造(1時間耐火構造)	柱 RC造(1時間耐火構造)					
	梁	RC造(1時間耐火構造)	梁 RC造(1時間耐火構造)					
	床	RC造(1時間耐火構造)	床 RC造(1時間耐火構造)					
	階段	RC造(30分耐火構造)	階段 RC造(30分耐火構造)					
	開口部	防火設備(法2条九の二号ロ)※延焼のおそれのある部分に限る	開口部 防火設備(法2条九の二号ロ)※延焼のおそれのある部分に限る					
	基礎・杭	杭基礎(群杭)	既存のまま		階ごとの床面積(改修後) *は増築面積を示す			
建築面積	1,122.37㎡(339.51坪)※前願より	1,139.16㎡(344.59坪)	階	床面積		階高	天井高	階別用途
建蔽率	46.24% ≤ (許容) 60.00%	19.70% ≤ (許容) 63.72%	3階	209.04㎡(+8.79合)		3.100m	2.400m	ホテル
延べ面積	1,939.22㎡(586.61坪)※前願より	1,973.59㎡(597.01坪)	2階	620.08㎡(+8.79合)	3.300m	2.400m	集会場、ホテル	
容積対象床面積	1,939.22㎡(586.61坪)※前願より	1,939.22㎡(586.61坪)	1階	1,144.47㎡(+16.79合)	3.600m	2.750m	集会場、ホテル	
容積率	79.89% ≤ (許容) 200.00%	33.54% ≤ (許容) 237.24%	合計	1,973.59㎡				
平均地盤面	設計GL +00.00m ※不明	既存のまま	既存					
建物最高高さ	12.00m(平均地盤面からの高さ)	既存のまま(ELV増築部分:10.60m)	改修後					
建物最高軒高	10.50m(平均地盤面からの高さ)	既存のまま(ELV増築部分:10.45m)						
容積対象用途	防火対象物用途							
容積人員	000人							
全階有窓階	全階有窓階							
青空駐車場	16台							
平置き駐輪場(付属建物)	0台							



【設備概要】			
電力供給	双葉駅舎側屋外既存キュービクルの低圧配電盤よりケーブルラック・配管により各電灯分電盤に配線	映像・音響設備	【ホール棟(待合ライブラリ内)】催事利用を想定して、映像・音響設備を計画
ガス	LPガス(バルクタンクを設置し、ガス瞬間湯沸器に供給)	拡声設備	非常放送装置、放送用スピーカー
給水	【センター棟】受水槽方式(ポンプ直送)、【ホール棟】直結直圧方式	誘導支援設備	インターホン設備、トイレ呼出設備
排水	汚水・雑排水 屋内は合流方式(汚水・雑排水)にて既設側に接続 客室エリアの排水方式は、排水集水管を用いた単管式排水システムとする 雨水 屋外は分流方式(汚水・雑排水、雨水で2系統)にて既設側に接続(雨水は建築工事)	テレビ共同受信設備	センター棟2階屋上にUHfアンテナとBS110°・CSアンテナを設置。 各所端子盤内にブースター及び分配器を設置し、各所テレビコンセントへケーブルを敷設
消防設備	消火器、自動火災報知設備(アパロク 式感知器(自動試験機能付き))	入退室管理設備	カードリーダー等の認証装置
避難器具	※要確認	監視カメラ設備	防犯監視用として監視カメラを1階出入口付近、客室廊下、ラウンジ内に設置
昇降機	【センター棟】中庭部分に新設ELVを増築 【センター棟】既設油圧式ELVを撤去の上、昇降路内にロープ式ELVを新設	機械警備設備	別途機械警備用にて設置する防犯機器のための配管を各所に計画(主装置はセンター棟スタッフルーム内に設けるものとスペース及び配管を見込む)
厨房設備	二槽シンク、一槽シンク、テーブル型冷蔵冷凍庫、製氷機、冷凍ストッカー	空調設備	電気式空冷ヒートポンプパッケージエアコン(ビル用マルチを主とする)
受変電設備	普通高圧 三相3線 6.6kV 50Hz 1回線受電(屋外キュービクル型)(変圧器は既存流用)	換気設備	第一種換気設備を主とする(トイレ、厨房等は第三種換気設備)
動力設備	三相3線210V	給湯設備	局所式(ガス瞬間湯沸器)
電灯コンセント設備	一般動力 単相3線210/105V センター棟ELV増築及び受水槽設置に伴い幹線新設	衛生器具	ユニットバス、シャワーブース、便器、洗面器、ミニキッチン
情報通信網設備	・必要箇所に情報モジュラージャック(CAT6)を設置し、EPS内のHUBまで配線 ・各居室内に無線LANアクセスポイント用の情報モジュラージャックを設置		
構内交換設備	必要箇所に電話アウトレットを設置し、EPS内の端子盤まで配線		

【防火認定】			
仕上材の防火認定は下記による。防火材料個別認定番号は、他の同等製品でも可。			
<ul style="list-style-type: none"> 屋根塗料E 内外装塗料E 可とう性低汚染形外装薄付塗料 土壁仕上げ塗料 ビニルクロス(NM) ビニルクロス(OM) 1時間耐火構造(非耐力壁) (建築基準法令114条 防火上主要な間仕切壁) 30分耐火構造(屋根) 	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省防火認定準不燃NM-8579 基材同等 国土交通省防火認定不燃NM-8572 基材同等 国土交通省防火認定不燃NM-8572 基材同等 国土交通省防火認定不燃NM-8572 基材同等 国土交通省防火認定不燃NM-9879 国土交通省防火認定準不燃NM-0812 国土交通省1時間耐火構造認定:FP060NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 L6565下地(千鳥配置総幅175)の上、強化石膏ボード121(両面)+硬質石膏ボード9.5張り(両面)+EP-G間仕切部 グラスウールt50(密度24kg/m³) 既存のまま 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間耐火構造(柱)耐火塗料 1時間耐火構造(梁)耐火塗料 GB-R(NM)(不燃石膏ボード) GB-R(NM)(石膏ボード) GB-S(NM)(不燃シジウムボード) GB-S(NM)(シジウム石膏ボード) 繊維混入石膏板 乾式耐火間仕切壁 けい酸カルシウム板(けい酸板) 岩綿吸音板(DR) FP板(不燃) 	<ul style="list-style-type: none"> 難燃処理合板 不燃木パネル キッチンパネル ALCパネル 押出成形セメント板 ガラス繊維(密度24kg/m³) ガラス繊維強化石膏板 硬質強化石膏板(OP) (貴通耐火材充填+耐火材仕様 熱膨張シールド仕様) 国土交通省防火認定難燃PM-9340 国土交通省防火認定不燃NM-1265 基材同等 国土交通省防火認定不燃NM-9300 国土交通省防火認定告示仕様 平成12年1399号 国土交通省防火認定不燃NM-9252 (耐火1時間認定番号FP060NE-9035) 国土交通省防火認定不燃NM-8607 国土交通省防火認定不燃NM-8606 国土交通省防火認定不燃NM-8599 国土交通省防火認定不燃NM-0315

【断熱仕様】									
部位	既存				改修				備考
	施工方法	断熱材種別	熱伝導率 (W/m・K)	熱伝導抵抗 R(m²・K/W)	施工方法	断熱材種別	熱伝導率 (W/m・K)	熱伝導抵抗 R(m²・K/W)	
屋根	※不明				内断熱	A種押出法ポリスチレンフォーム 保温板3種b t35	0.028	0.8	・熱橋範囲の折り返しは基本450mm~600mmとする。 ・サッシ枠及び水切と構造躯体の空隙部は、現場 発泡硬質ウレタンフォームA種(λ:0.024以下)を 充填する。
柱・梁	※不明								
壁	※不明								
床下	※不明								

特記仕様書

I 工事概要
1 工事名称 双葉町コミュニティセンター改修工事
2 工事場所 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22 他 地内
3 建物概要

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1区分, 備考. Rows include センター棟, ホール棟, 旧駅舎棟, 回廊(合計), EV増築部.

※詳細は工事概要書による。

Table with 2 columns: 確認申請敷地面積, 延べ面積, 建築面積. Values: 5783.03㎡, 1988.48㎡, 1135.36㎡.

Table with 2 columns: 確認申請敷地面積, 延べ面積, 建築面積. Values: 952.81㎡, 71.90㎡, 71.90㎡.

II 工事仕様
1 図面及び本特記仕様書に記載無き事項は、次による。
※「福島県建築関係工事共通仕様書」(福島県土木部)
※「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和7年版)
※「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和7年版)
※「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和7年版)
※「公共建築改修工事標準仕様書」(令和7年版)
※「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和7年版)
※「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和7年版)
※「公共建築解体工事共通仕様書」(令和4年版)
※「公共住宅建設工事共通仕様書」(令和4年版)
※「公共住宅事業者等連絡協議会編案」
なお、公共住宅建設にあつては、次を併せて適用する。
※「公共住宅建設工事共通仕様書」(令和4年版)
2 項目は、番号の前に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線、・印、または無印とする。
3 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。※印を適用しない場合は、・に変更すること。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除きミリメートルとする。
5 各章の特記事項欄にある「(※)」と表示されているものは、「建築関係工事共通仕様書」を示し、() 書きは「公共建築工事標準仕様書」、[] 書きは「公共建築改修工事標準仕様書」の章・節・項番号である。
6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Row 1: 1 ○ 1 適用基準等. Content includes references to various standards and specifications.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Rows 1-21 detailing construction conditions, safety, materials, and equipment. Includes tables for material classification and construction methods.

Table with 2 columns: 一般共通事項, 仮設工事. Rows 1-38 detailing safety, equipment, and construction methods. Includes tables for equipment status and safety measures.

<p>1 防水改修工事</p> <p>1 降雨等に対する養生方法(とい共) ※ 改修仕様 3.1.3(5)(7)～(9)による(工) (工)により必要になる防水水を実行すること防水水はメーカー仕様による [3.1.3]</p> <p>2 既存防水の処理 既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲・図示による) [3.2.3～4] [3.2.6] 既存防水層の撤去 ・ 行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う (M4AS ・ M4AS I ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) ・ 行わない</p> <p>3 既存防水層の下地補修 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による (新設防水施工範囲にモルタルH30L既設を全滅に見込み、実際の施工は監督員と協議の上決めること) [3.2.6] [表3.3.1] [3.3.3] [表3.3.10]</p> <p>4 アスファルト防水 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による (新設防水施工範囲にモルタルH30L既設を全滅に見込み、実際の施工は監督員と協議の上決めること) [表3.1.1] [3.3.3] [表3.3.10]</p> <p>5 改質アスファルトシート防水</p> <p>6 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>7 塗膜防水</p> <p>8 脱気装置</p> <p>9 ルーフドレン</p> <p>10 改修用ドレン</p> <p>11 シーリング</p> <p>12 とい</p> <p>13 アルミニウム製笠木</p> <p>14 防水施工履歴</p> <p>15 防水保障</p>	<p>2 1 ひび割れ部改修工法 (コンクリート打放し仕上げ) ・モルタル塗り仕上げ ・タイル張り仕上げ</p> <p>2 欠損部改修工法 (コンクリート打放し仕上げ) ・モルタル塗り仕上げ ・タイル張り仕上げ</p> <p>3 浮き部改修工法 ・モルタル塗り仕上げ ・タイル張り仕上げ</p> <p>4 モルタル塗替え工法</p> <p>5 タイル張り替工法</p> <p>6 下地処理</p> <p>7 仕上塗材仕上げ</p>	<p>4.1.4 [4.2.5] [4.3.6] [4.4.6] 注工法の種類 注入間隔(mm) 注入量(cc/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※ 200～300 () 1 3 0</p> <p>注工材料 ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024の低粘度形又は中粘度形) ひび割れ部の注入状況の確認方法 ・ コア抜取り 抜取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜取り部分の補修方法は図示による ()</p> <p>4.1.4 [4.2.6] [4.3.7] Uカットシーリング材充填工法(ひびわれ1mm以上に適用) 充填材料 種類 備考 シーリング材 ※ 1成分又は2成分形 ポリマーセメントモルタル(性能は建築材料等品質性能表による)の充填 ・ () ※ 行う ・ 行わない ※ 1mm以上のひび割れ量を1m形状する ・ 可とう性エポキシ樹脂 性能は建築材料等品質性能表による</p> <p>4.1.4 [4.2.7] [4.3.8] シール工法 性能は建築材料等品質性能表による</p> <p>4.1.4 [4.2.8] [4.3.9] 充填工法 材料 備考 エポキシ樹脂モルタル 性能は建築材料等品質性能表による ポリマーセメントモルタル 性能は建築材料等品質性能表による</p> <p>4.1.4 [4.3.11～16] [4.4.9～14] アンカーピンニング注入工法 工法 アンカーピン本数(本/m²) 注入口の箇所数(箇所/m²) 注工量(ml/箇所)</p> <p>アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ※ 25 アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※ 09 ※ 16 ※ 09 ※ 16 ※ 25 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 09 ※ 16 ※ 09 ※ 16 ※ 25 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 09 ※ 16 ※ 09 ※ 16 ※ 50</p> <p>アンカーピン [4.3.5] [4.4.5] 材質 ※ ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの () 注入口付アンカーピン [4.3.5] [4.4.5] 材質 ※ ステンレスSUS304、呼び径外径6mm () ポリマーセメントスラリー (性能は建築材料等品質性能表による) [4.3.5] [4.4.5]</p> <p>モルタル ・ 現場調合材料 (改修仕様4.3.5(5)(ア)(a)による) () ・ 既調合材料 () () 吸水調整材 (性能は建築材料等品質性能表による) () 既製目地材 ・ 使用する (形状) () ・ 使用しない</p> <p>タイルの種類 施工箇所 形状・寸法 吸水率による区分 I類 II類 III類 施軸 無軸 役物 色 再資源化タイル 備考 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ※ 行わない</p> <p>4.4.7～8 タイル部分塗替え工法 ・ タイル張替え工法 張付け材料の種類 品質・規格等 ※ ポリマーセメント 性能は建築材料等品質性能表による モルタル 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り ・ 有機系接着剤 JIS A 5557「外装タイル張り用有機系接着剤」による裏あし高さ、裏面反り()、使用量(kg/m²)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※ 改修仕様 表4.4.2による () 目地寸法 ※ 改修仕様 3.7.3による () タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 () モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・ 目地工法 (改修仕様4.3.10(3)(ウ)による) ()</p> <p>4.5.4～7 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 処理範囲 下地のひび割れ部等の補修 材料 備考 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上面全体 () ・ 行う ・ 行わない ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上面全体 () ・ 行う ・ 行わない ・ 塗膜はく離剤工法 ※ 既存仕上面全体 () ・ 行う ・ 行わない ・ 水洗い工法 ※ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体 () ・ 行う ・ 行わない</p> <p>4.5.4～7 下地調整 ※ 下地調整塗材を使用 [4.5.4～7] ・ ポリマーセメントモルタルを使用 ・ 防水形仕上げ塗材主材を使用</p> <p>4.5.2 仕上塗材における防火材料の指定</p> <p>4.8.1～4.8.5 コンクリート打ち放し仕上げ改修 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 透明保護塗料 メーカー仕様による シェルトクリヤ同等品 水系アクリルシリコン樹脂性</p> <p>4.8.1～4.8.5 外壁用塗膜防水材仕上げ 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 外壁用塗膜防水材仕上げ 凹凸凸凹部処理 アクリルゴム系外壁化粧防水工法</p> <p>4.1.5 [4.5.2] [表4.5.1～2] 複層仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 複層塗材CE ・ 吹付け ・ ローター 上塗材 ・ 可とう形複層塗材CE ・ 吹付け ・ ローター 上塗材 ・ 複層塗材E ・ 凸部処理 ※ 水系アクリル系あり ・ 複層塗材RE ・ 凹部処理 () ・ () ・ 防水型複層塗材CE ・ 吹付け ・ ローター 上塗材 ・ 防水型複層塗材E ・ 凸部処理 ※ 水系アクリル系あり ・ 防水型複層塗材RE ・ 凹部処理 () ・ 防水型複層塗材RS</p>	<p>3 1 改修工法 ・ 撤去工法 (図示による) [5.1.3] ・ 新規に建具を設ける場合の、壁部分の開口の開口方法及び周囲の補修工法並びにその範囲は、図示による</p> <p>2 防火戸 () [5.1.4] ・ 適用する (図示による) ・ 適用しない</p> <p>3 アルミニウム製建具 [5.2.2～4] [表5.2.1～2] 種別 外部に面する建具 内部建具 ・ 普通サッシ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音サッシ 遮音性の等級 () ・ 断熱サッシ 断熱性の等級 () ・ () 表面処理 外部に面する建具 ・ BA-1種 ・ BA-2種 ・ BB-1種 ・ BB-2種 () 内部建具 ・ BC-1種 ・ BC-2種 () 結露水の処理方法 ※ 図示による ()</p> <p>4 樹脂製建具 [5.3.2～4] [表5.3.1～2] 種別 外部に面する建具 内部建具 ・ 普通サッシ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音サッシ 遮音性の等級 () ・ 断熱サッシ 断熱性の等級 () ・ () ガラス ・ 単層ガラス ※ 複層ガラス ・ 三重ガラス () 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色</p> <p>5 網戸等 [5.2.3] 種別 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ※ 0.25mm以上 ※ 16～18メッシュ () ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 ・ 防鳥網 ※ ステンレス(SUS304)製 ※ 1.5mm ※ 寸法は、15mm () ※ 外面納まりの可動式 ()</p> <p>6 鋼製建具 [5.4.2～4] [表5.4.1～2] 種別 簡易気密型ドアセットの性能 外部に面する建具の耐風圧性 鋼板の厚さ 鋼板の種類及びめっきの付着量 ・ 標準型建具 (表5.4.1を適用) (表5.4.1を適用) (表5.4.1を適用) ※ JIS G 3302 ※ Z12又はF12 ・ () () () () ・ 標準型建具 (表5.4.1を適用) (表5.4.1を適用) (表5.4.1を適用) ※ JIS G 3317 ※ Y08 ・ () () () ()</p> <p>7 鋼製軽量建具 [5.5.2～4] [表5.5.1] 種別 簡易気密型ドアセットの気密性の等級 戸の鋼板 鋼板の厚さ ・ 標準型建具 ・ A-3 () ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ 表5.5.1を適用 ・ () () ※ ビニル被覆鋼板 ※ 図示による ・ 標準型建具 ・ A-3 () ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ 図示による ・ () () ※ ビニル被覆鋼板 ※ 図示による ・ () () ※ カラー鋼板</p> <p>8 ステンレス建具 [5.6.3] [表5.6.1] 鋼板 (屋外) ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 [5.6.3] (屋内) ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ SUS430 表面の仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強あり) [5.6.5]</p> <p>9 木製建具 [5.7.2] [表5.7.1] 建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 [5.7.2] [表5.7.1] ・ フラッシュユ [5.7.2～4] [表5.7.5～7] 表面材の合板の種類 規格等 備考 ※ 普通合板 表面材の種類 () 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度) 不透明塗料塗り (※ しな程度) 板面の品質 () 接着の強度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 天然木 樹種名 () 接着の強度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 特殊加工 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 化粧合板 () 表面性能 ()タイプ 接着の強度 (・ 1類 ・ 2類) 表面材の厚さ ※ 仕様 表5.7.6による ()</p> <p>10 建具用金物 [5.8.2～4] [表5.8.1～3] ・ マスターキー () [5.8.2～4] [表5.8.1～3] ・ 製作する (・ 新規 ・ 既存に合わせる) ・ 製作しない ・ 鍵筒 (3個) 鋼製既製品とし、監督員の承諾による ※ その他の金物 ※ 図示による</p> <p>11 自動ドア開閉装置 [5.9.2～3] [表5.9.1～4] ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 表5.9.1による () ・ 種類、開閉方式 () ・ 耐電圧 () ・ 温度上昇 () ・ 耐久性(リサイクル) () ・ 防錆 () ・ 電源 () ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 表5.9.2による () ・ 耐電圧 () ・ 温度上昇 () ・ 耐久性(リサイクル) () ・ 防錆 () ・ 電源 () ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※ 表5.9.3による () ・ 放射線線周波数電磁界耐性 () ・ 耐電圧 () ・ 防錆 () ・ 防滴 () ・ 電源 () 種類 ※ 表5.9.4 () ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない 工事範囲 一次側取組は別途工事とし、開閉機構以降の二次側取組は本工事に含む</p> <p>12 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.2～3] [表5.10.1] 性能 ※ 表5.10.1による () 図示による [5.10.2～3] [表5.10.1]</p>
--	---	---	---

3 〇 11 重量シャッター

〇 12 軽量シャッター

13 オーバーヘッドドア

〇 16 ガラス

〇 17 ガラス留め材

18 ガラスブロック積み

4 〇 1 改修範囲

〇 2 既存床の撤去及び下地補修

〇 3 既存壁の撤去及び下地補修

〇 4 接着剤

〇 5 木下地等

種類	シャッターケース	耐風圧強度(外壁開口部)(Pa)	閉閉形式	備考
・管理用シャッター	・設ける ・設けない	・1600 ・()	※電動式 (手動併用)	※危害防止機構 ※障害物感知装置
・防火シャッター(外部用)	※設ける		○電動式	(自動閉鎖型)
・防火シャッター(内部用)				○シャッターの二段降下方式
・防塵シャッター				

電動シャッターにおける二重チェーン、急降下制動(停止)装置等の設置箇所 ※ 図示による
電動式シャッターにおける障害物感知装置の設置箇所 ※ 図示による
屋内用防火シャッターもしくは防塵シャッターにおける危害防止機構適用
※ 改修仕様5.11.2(4)(ウ)(a)かつ(c)
※ 改修仕様5.11.2(4)(ウ)(b)かつ(c)
設置箇所 ※ 図示による
スラット及びシャッターケース用鋼板の種類
○ JIS G 3302 ・ JIS G 3312 ただし、めっきの付着量はZ12又はF12とする
電動式の電源
※ 三相 200V 0.75Kw以下(過電流保護装置付) ・ ()
工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む

閉閉形式	シャッターケース	耐風圧強度(Pa)	スラット形状	ガイドレール
※手動式 ○電動式 (手動併用)	※設ける ・設けない	・1600 ・()	※インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形 (AZ90)	※ステンレス鋼板 (SUS304) ・溶融亜鉛 めっき鋼板

電動シャッターにおける二重チェーン、急降下制動(停止)装置等の設置箇所 ※ 図示による
電動式の場合は、危害防止機構及び障害物感知装置(自動閉鎖型)を設けるものとする
電動式の電源
※ 単相 100V (過電流保護装置付) ・ ()
工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む

セクション材料	耐風圧強度(Pa)	閉閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・1250 ・1000 ・750 ・500	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 (Z06又はF06) ・ローヘッド形 (SUS304) ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・ステンレス鋼板 (SUS304) ※溶融亜鉛 めっき鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ※ 図示による

・フロント板ガラス 品種及び厚さの呼びによる種類は、図示による [5.14.2]
・型板ガラス 厚さによる種類は、図示による
○ 網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類は、図示による
(網入板ガラス)
・合わせガラス 材料、厚さの組合せ、合計厚さ及び特性による種類は、図示による
○ 強化ガラス 材料による名称、呼び厚及び特性による種類は、図示による
・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類は、図示による

種類	厚さ(mm)	性能	色調
※熱線吸収フロート板ガラス	・()	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン ・()

○ 複層ガラス [5.14.2]
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
断熱性による区分
日射取得性
日射遮蔽性による区分
乾燥気体の種類

種類	厚さ(mm)	日射遮へい性、耐久性	反射皮膜面	色調
・フロント板ガラス	・6	・1種、A類	※内面	・ブルー ・ブロンズ
※熱線吸収フロート板ガラス	・8	・2種、A類	※外面	・グレー ・シルバー
・平面強化ガラス	・10	・2種、B類		
・()	・12	・3種、B類		

映像調整 ・ 行う ・ 行わない

ガラス溝の寸法等 ・ 図示による ・ 改修仕様 図5.13.1による [5.14.3]

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材(SR-1) ・ ガasket(グレイジングチェーン形)
鋼製、ステンレス製	※シーリング材(SR-1)

JIS A 5212 による [5.14.5]

表面形状	寸法	厚さ	色調	防火設定	備考
			・クリア ・乳白 ・カラー()	・なし ・防火設備	表中に記載のない事項は、図示による

4 〇 6 木材

内装改修工事

〇 7 接続具等

合法木材証明書を監督員に提出すること(ただし、仮取用木材を除く。)
製材及び造作用集成材の含水率 ※ A種 ・ B種 [6.5.2][表6.5.1]

ホルムアルデヒド放散量	材種	ホルムアルデヒド放散量
※改修仕様6.5.2(1)(ウ)による		・()
※改修仕様6.5.2(1)(ウ)による		・()
※改修仕様6.5.2(1)(ウ)による		・()

・ JAS1083-5による下地用針葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			※2級	・耳付材 ・押角			

・ JAS1083-2による造作用針葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			・小節	・板類 ・角類			

○ JAS1083-6による広葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理	材面の品質
図示による	シナ	図示による	※1級	※10%以下		

・ JAS1083以外の製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	含水率
				・適用する ・適用しない	

目視による材の欠点がないことを全数確認すること
造作材の材の品質の基準 ※ A種 ・ B種

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面数	見付け材面の品質
				※1等 ・()

・「集成材の日本農林規格」による化粧はり造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	化粧薄板の厚さ	見付け材面数	見付け材面の品質
					※1等 ・()

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・()

目視による材の欠点がないことを全数確認すること

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧はり造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	化粧薄板の厚さ	見付け材面の品質	含水率
					※15%以下 ・()

目視による材の欠点がないことを全数確認すること

・ JAS0701による造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防虫処理
		・有 (天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・適用する ・適用しない
		・無 (等級: 1等 ・ 2等 ・ 3等)	

・ JAS0701以外の造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防虫処理
		・有 (天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・適用する ・適用しない
		・無 ()	

含水率 ※14%以下 ・ ()
目視による材の欠点がないことを全数確認すること

・ JAS3079による直交集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法	強度等級	種別	接着性能

・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ	単板の樹種	接着の程度	板面の品質	等級	防虫処理
	※5.5		※1類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・1級 ・2級	・適用する ・適用しない

・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル [6.5.2]

施工箇所	厚さ	等級	備考
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ	単板の樹種	接着の程度	板面の品質	等級	保存処理
	※12		・特類 ・1類	※C-D以上	・1級 ・2級	

防虫処理 () 強度等級 ()

・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ	単板の樹種	接着の程度	防虫処理	備考
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種	防虫処理

内部の造作に使用する

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ	単板の樹種	化粧加工の方法	防虫処理

・ JIS A 5908によるパーティクルボード [6.5.2]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	隠蔽性による区分	厚さ	備考

・ JIS A 5905によるミディアムデンシティファイバーボード(MDF) [6.5.2]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	隠蔽性による区分	厚さ	備考

造作材化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし釘釘打ち ・ 釘頭隠し
諸金物の形状、寸法及び材質 [6.5.3][表6.5.3~5]

種類	形状	寸法	材質

4 8 木材保存剤

内装改修工事

〇 9 軽量鉄骨天井下地

〇 10 軽量鉄骨壁下地

〇 11 ビニル床シート

〇 12 ビニル床タイル

〇 13 ビニル幅木

〇 14 カーペット敷き

15 合成樹脂塗床

〇 16 フローリング張り

〇 17 畳敷き

〇 18 せつこうボード
その他ボード及び合板張り

木材保護剤(木材の防霉・防蟻処理)は、非有機リン系とする [6.5.5]

・種類 ()
・品質 ()

不燃処理木材等 [6.5.5]
不燃材料 ・ 使用する
準不燃材料又は難燃材料 ・ 使用する

野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1]
屋内(※19形 ・ 25形) 屋外(・ 19形 ※25形)

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外) [6.6.3]
・ 図示による ・ (間隔: 周辺部の端からの間隔:)
野縁の間隔(屋外) ・ 図示による (※表6.6.2による)

既存の埋込みインサート ○使用する ・ 使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験
○ 行う 試験箇所数 (・ ※ 屋内の場合、改修仕様 6.6.4(1)(ウ)による)
確認強度 (・ ※ 屋内の場合、改修仕様 6.6.4(1)(ウ)による)

・ 行わない
吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法は、図示による [6.6.4]
吊りボルトの水平補強、斜め補強 [6.6.4]
天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 ※ 改修仕様 6.6.4による ・ 図示による
天井のふとところが3.0mを超える場合 ※ 図示による
耐震性を考慮した補強 ・ 行う(図示による) ・ 行わない [6.6.4]
屋外の軒天井、ピロティータン等における耐風圧性を考慮した補強 [6.6.4]
・ 行う(図示による) ・ 行わない

スタッド、フランナーの種類 [6.7.2~3]
○ 改修仕様表6.7.1のスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ ()
出入口及びこれに準じる開口部の補強 [6.7.4]
※ 改修仕様 6.7.4(5)による ・ ()

施工箇所	区分	種類	色柄	厚さ	特殊機能
図示による	○ 発泡層のないもの ・ 発泡層のあるもの	※ FS (複層ビニル床シート) ・ TS (単層ビニル床シート) ・ HS (発泡複層ビニル床シート) ・ KS (クッションフロア)	○ 無地 ・ 模様	※ 2.0 ・ 2.5	・ 帯電防止 ・ 耐動通重性 ・ 防汚性 ・ 耐薬品性

目地処理する場合の工法 ※ 熱溶接工法 () [6.8.2~3]

施工箇所	区分	種類	寸法	色柄	厚さ	特殊機能
	○ 接着形	○ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ KT (コンジョイントビニル床タイル)	※ 300角 ・ 450角	○ 無地 ・ 模様	○ 2.5 ・ 3.0	○ 帯電防止 ○ 防汚性
	・ 置敷形	・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ POB (薄形置敷きビニル床タイル)	・ 500角	・ 無地 ・ 模様	・ 4以上	・ 帯電防止 ・ 防汚性

材質の種類	厚さ	高さ
※ 軟質 ・ 硬質	※ 1.5以上	・ () ※ 60 ・ 75 ・ 100 () 40

・ タイルカーベット [6.9.2~3][表6.9.2]

種類	パイルの形状	寸法	総厚さ	色柄	備考
※ 第一種 ・ 第二種	・ カットパイル ※ ルーフパイル ・ カット/ルーフパイル	・ 500角	※ 7.5	※ 無地 ・ 柄物	帯電防止及び防汚加工品

敷き方
平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ()
階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ()
取付け用付属品は、監督員との協議による

15 合成樹脂塗床 [6.10.2~3][表6.10.1~2][表6.10.4~7]

施工箇所	種別	工法	仕上げの種類
	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床		・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流し延べ ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 樹脂モルタル

単層フローリング [6.11.2~6][表6.11.1][表6.11.3][6.11.6]

種類	工法	樹種	厚さ	大きさ	仕上塗装
○ フローリングボード	・ 釘留め工法 (横太張り) ○ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	※ 松 ○ なら	・ 15 ・	板幅100以上 板長さ600以上 板幅75 板長さ300以上 板幅75 板長さ300以上	○ 塗装品 ・ 無塗装品
・ フローリングブロック	・ モルタル埋込み工法	・ なら	・ 15	※ 303角 ・ ()	・ 塗装品 ・ 無塗装品
・ モザイクパーケット	・ 接着工法	・	・	・ ()	・ 塗装品 ・ 無塗装品

接着工法の場合の緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ ()

〇 17 畳敷き [6.12.2][表6.12.1]

種別
○ A種 ・ B種 ・ C種
・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)

〇 18 せつこうボード
その他ボード及び合板張り [6.13.2~3][表6.13.1~5]

規格名称	種類	厚さ等
○ 木質系セメント板		
○ 繊維強化セメント板	フレキシブルボード ケイ酸カルシウム板	図示による
・ 火山性ガラス質複層板		
・ 繊維板		
・ パーティクルボード		
○ 吸音材料	グラスウール	図示による
○ せつこうボード製品	プラスターボード、耐水プラスターボード	図示による
・ 普通合板		
・ 品名 ()		
・ 厚さ (5.5mm)		
・ 板面の品質 (広葉樹の場合: 2等以上 針葉樹の場合: C-D以上)		
・ 単板の樹種名 ()		
・ 天然木化粧板		
・ 厚さ ()		
・ 単板の樹種名 ()		
・ 特殊加工化粧合板		
・ 品目 ()		
・ 厚さ ()		
・ 接着の程度 ()		
・ 単板の樹種名 ()		
・ 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)		

8 ○ 1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
 1) 対象揮発性有機化合物 (VOC)
 2) 測定室
 3) 測定方法

下記の室内揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

○ホルムアルデヒド ・ アセトアルデヒド
 ○トルエン ○キシレン ・ パラジクロロベンゼン ○スチレン ○エチルベンゼン

○ (居室全室:20箇所程度)

※簡易測定法による。

VOCの種類	測定方法
※ホルムアルデヒド	・ 検知紙法 ・ 検知管法 ・ 定電位電解法 ・ 吸光度法
※トルエン	・ バックシブ採取
※キシレン	・ バックシブ採取
※スチレン	
※エチルベンゼン	

・ 厚生労働省の標準的測定方法による。

VOCの種類	採取方法	測定方法
・ ホルムアルデヒド	・ DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・ 高速液体クロマトグラフィー
・ アセトアルデヒド	・ 固相吸着/溶媒抽出法	
・ トルエン	・ 固相吸着/溶媒抽出法	・ ()
・ キシレン	・ 固相吸着/加熱脱着法	
・ パラジクロロベンゼン	・ 容器採取法	
・ スチレン		
・ エチルベンゼン		

○ 2 浮遊石綿濃度測定

工事着手前の調査にて石綿含有が確認された場合は下記記載の通りとする (確認される想定としてはレベル3相当)
 浮遊石綿濃度等による測定時間及び測定方法は次による

外部 直径47mmのメンブランフィルターによる吸引流量10L/分で4時間採取する
 室内 直径25mmのメンブランフィルターによる吸引流量5L/分で2時間採取する
 作業場内 直径25mmのメンブランフィルターによる吸引流量5L/分で2時間採取する

測定箇所、回数は下記表の通りとし、浮遊石綿濃度測定の作業後の結果で安全が確認されるまでは石綿作業に従事する作業員等以外立入れないよう養生等を施す

	数量	作業前	作業中	作業後	計
敷地周辺	2	1	1	1	6
センター棟内部	1		1		1
ホール棟内部	1		1		1

9 1 資材調達

2 労働者確保

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

(1) 本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する費用に発生し、建築関係工事標準基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の執行工事」である。

労務管理費(共通仮設費における仮設建物費):労働者送迎費・宿泊費・催上費
 労働管理費:募集及び解散に要する費用・資金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全・衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2) 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事標準基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。
 1) 共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費):設計書に積上げ計上された金額
 2) 現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合: %

(3) 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5) 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書において確認された費用から、建築関係工事標準基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
 なお、全ての証明書の提出がない場合であっても、提出された証明書をもって設計変更を行うものとする。

(6) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合には、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7) 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

10 1 工程関係
 2 施工時期
 3 施工順序
 4 利用並行改修
 5 他機関との協議
 6 工事用地
 7 公害対策

※調整無し
 ・ 別途工事との工程調整が必要有り
 調整項目 ・ 資材等の流用 ・ 仮設及び工事用道路等の調整 ・ 建設機械等の調整
 ・ 施工順序の調整 ・ 図示による ・ その他 ()

※制限無し
 ・ 制限有り
 ・ 制限する工程名 ()
 ・ 施工時期 (・ 土日祝日のみ ・ 図示による ・ その他 ())
 ・ 施工時間 (・ 夜間のみ ・ 時～ 時まで ・ 図示による)
 ・ 施工方法 ()

・ 有 (・ 年 月 日 ・ 別紙のとおり)
 ・ 無
 ・ 有 (・ : ~ : ・ 別紙のとおり)
 ・ 無

※施工順序の指定無し
 ・ 施工順序の指定有り
 ※図示による
 ・ () → () → () → ()

※利用並行改修による制限無し
 ・ 利用並行改修による制限有り
 ※対象エリア等は図示による

協議が必要な機関名 ()
 協議完了見込み時期 ()

・ 下記以外は図示等による。
 (1) 工事車両の駐車場 (※構内 ・ ())
 (2) 資材置き場 (※構内 ・ ())
 (3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※構内 ・ ())

・ 仮設ヤード ※無し ・ 有り (※図示による ・ ())

※施工方法の制限無し
 ・ 施工方法の制限有り
 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 水質 ・ 粉じん ・ 排出ガス ・ その他 ()
 ・ 施工方法等
 ・ 指定工法名 () ・ 別途協議による ・ 図示による

・ 事業損失防止に関する調査
 ・ 騒音測定 ・ 振動測定 ・ 水質調査 ・ 近隣家屋の事前・事後調査 ・ 地盤沈下測定
 ・ その他 ()

・ 調査箇所
 ・ 図示による ・ 別途協議

・ 調査時期
 ・ 図示による ・ 別途協議

○ 近接公共施設等に対する制限
 ・ 近接公共施設名等 (・ 鉄道 ・ 電気 ・ ガス ・ 水道 ・ 電話 ・ その他 ())
 ・ 制限を受ける工種 ()
 ※設計時にJと協議を行い、近接協議は不要と確認済み。
 ただし、施工時に施工者作成の仮設計画書を基に再確認が必要

※敷地内は禁煙とし、喫煙所等は別途協議による。
 ※当該工事現場を使用した技術研修会等の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

○ 8 安全対策

9 その他

別表-1の記入上の注意:「※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。」
 また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」

別表-1 設備工事との工事区分表

機器の基礎	電気関係	機械関係	工事内容			
			建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎(#) 避雷針の基礎(#) 屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く) 屋上設備(#) 屋外設備(#)	架台、アンカーボルト 特記した基礎	※	※		
			※	※		
			※	※		
			※	※		
			※	※		
	開口部	補強を要するもの 貫通スリーブ 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの 補強を要するもの 補強を要しないもの(アトットボックスは除く) 埋込形電盤、端子盤等の型枠 補強を要するもの 補強を要しないもの	※	※		
			※	※		
			※	※		
			※	※		
			※	※		
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火扉レリーズ 電極棒 配線ビッド及びふた 機器などへの接続(1次側) 機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配管配線 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配線 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共) 煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			
		※	※			

<p>11</p> <p>現場環境改善（快適トイレの設置）</p>	<p>1 内容</p> <p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事現場毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】 (1) 洋式(洋風)便座 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする)</p> <p>【付属品として備えるもの(全項目必須)】 (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】 (12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (13) 騒音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したものを添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p> <p>2 設置に要する費用</p> <p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の実費がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。 ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>	<p>13</p> <p>準備期間確保工事</p> <p>2 フレックス工事</p> <p>3 着工届の提出</p> <p>4 コリンズの登録</p> <p>5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係</p> <p>6 その他</p> <p>14</p> <p>再生資源利用計画書</p> <p>2 再生資源利用促進計画書</p>	<p>準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>フレックス工事執行要領 この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>着工届は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第10に基づき、提出すること。</p> <p>準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)</p> <p>工事の始期までの着工前準備期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工前準備期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)</p> <p>受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p>																			
<p>12</p> <p>熱中症対策</p>	<p>〇(1)工期・工程等</p> <p>〇猛暑による作業不能日数</p> <p>本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいます。</p> <p>i) 作業不能日数:10日間</p> <p>ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方相対: 浜江※1(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日を除く。))において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものを5年分を平均したものである。</p> <p>iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方相対: 浜江※1(福島)地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したものを(小数点以下第一位を四捨五入する。))が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。</p> <p>※1 下表の観測地点を記入(参考)</p> <table border="1" data-bbox="439 1192 839 1339"> <thead> <tr> <th>建設事務所管内</th> <th>観測地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松</td> </tr> <tr> <td>県中</td> <td>船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>白河, 東白川</td> </tr> <tr> <td>会津若松</td> <td>金山, 若松</td> </tr> <tr> <td>喜多方</td> <td>松原, 喜多方, 西会津, 猪苗代</td> </tr> <tr> <td>南会津</td> <td>只見, 南郷, 田島, 松枝岐</td> </tr> <tr> <td>相双</td> <td>相馬, 飯館, 浜江, 川内, 広野</td> </tr> <tr> <td>いわき</td> <td>山田, 小名浜</td> </tr> </tbody> </table>	建設事務所管内	観測地点	県北	茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松	県中	船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川	県南	白河, 東白川	会津若松	金山, 若松	喜多方	松原, 喜多方, 西会津, 猪苗代	南会津	只見, 南郷, 田島, 松枝岐	相双	相馬, 飯館, 浜江, 川内, 広野	いわき	山田, 小名浜	<p>15</p> <p>1 内容</p> <p>総合評価方式における技術提案書の確認</p>	<p>※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について</p> <p>総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。 なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。 確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2. 様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。 また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。</p>	
建設事務所管内	観測地点																					
県北	茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松																					
県中	船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川																					
県南	白河, 東白川																					
会津若松	金山, 若松																					
喜多方	松原, 喜多方, 西会津, 猪苗代																					
南会津	只見, 南郷, 田島, 松枝岐																					
相双	相馬, 飯館, 浜江, 川内, 広野																					
いわき	山田, 小名浜																					
		<p>16</p> <p>〇1 内容</p> <p>〇2 設置位置</p> <p>〇3 設置数量</p> <p>〇4 仕様</p> <p>〇5 メンテナンス</p>	<p>※ 受注者は、現行ホール棟1Fに位置する公衆トイレが工事期間中使えなくなるため、仮設で公衆トイレを工事期間中敷地内に設置対応をすること</p> <p>※ 受注者は、公衆仮設トイレを設置について、設置位置は発注者及び監督員と協議の上決定すること</p> <p>※ 現行設置されている公衆トイレと同程度が必要のため、下記個数を設置すること 男性WC:2個 女性WC:2個</p> <p>※ 現場にて設置する同程度の仕様で設置すること</p> <p>※ メンテナンスを工事期間中清掃及び点検等実施すること</p>																			

Table with columns: 箇所 (Location), 現況 (Current Status), 改修後 (After Renovation), 符号 (Code), 備考 (Remarks). Rows include: ホール棟 (Hall Building), 外部仕上げ (External Finishing), センター棟 (Center Building), 旧駅舎棟 (Old Station Building).

【特記事項】 (Special Notes), 【凡例(略号)】 (Legend), 【凡例(仕上関係)】 (Legend (Finishing Relationship)). Contains detailed technical specifications and abbreviations for materials and construction methods.

箇所	部位	現況			改修後			符号			備考	
		下地	仕上	処理	部位	下地	仕上	床	壁	天井		
回廊1・2	屋根	コンクリート	アスファルト露出防水	仕上撤去	屋根	既存コンクリート	アスファルト露出防水新設	EF-4				
	屋上	コンクリート	アスファルト露出防水(断熱工法)	仕上撤去	屋上	既存コンクリート	アスファルト露出防水(断熱工法)新設	EF-4 ※				
	立上り	コンクリート	アスファルト露出防水	仕上撤去	立上り	既存コンクリート	アスファルト露出防水新設	EF-4				
	外壁	コンクリート	外壁部:吹付仕上(ベルアートフラット仕上)		仕上撤去	外壁	既存コンクリート	外壁用塗膜防水材仕上		EW-1		主材:レキエクレントA 上塗材:水性弾性セラタイトSi同等品(エスケー化研)
			基壇部:左官塗壁仕上(ベルアートクシ引き仕上)		仕上撤去			外壁用塗膜防水材仕上		EW-1	主材:レキエクレントA 上塗材:水性弾性セラタイトSi同等品(エスケー化研)	
	巾木	コンクリート	左官塗壁仕上(ベルアートクシ引き仕上)	仕上撤去	巾木	既存コンクリート	外壁用塗膜防水材仕上		EW-1		主材:レキエクレントA 上塗材:水性弾性セラタイトSi同等品(エスケー化研)	
	軒裏	同上	同上	同上	軒裏	同上	アクリル樹脂系多意匠装飾仕上塗材		EW-3		ベルアートシラス仕上同等品(エスケー化研)	
	笠木	コンクリート	アルミ(アルマイト)見附30mm	撤去	笠木	既存コンクリート	アルミ(アルマイト)見附30mm新設					
	手摺		スチールパイプ40φ(コールドステン安定処理)	下地処理	手摺		既存仕上の上ブラシ清掃					
	樋	VP管	SOP塗装	撤去	樋		カラーVU管新設					
床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20(LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	床	既存モルタル	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃		EF-1				
EVシャフト					屋根	鉄骨	塩化ビニルシート防水 断熱サンドイッチパネルt35					
					柱・梁	鉄骨	耐火塗料塗布(SK耐火コート同等品)					
					立上り	コンクリート	撥水材塗布		EW-5			
					外壁		アルミカーテンウォール(ガラス:強化ガラスt10)					
					巾木	コンクリート	撥水材塗布		EW-5		ミクロンガード同等品(エスケー化研)	
					軒裏	-	-					
					笠木	-	-					
					バルコニー	-	-					
					手摺	-	ST-FB t12溶融亜鉛メッキの上リン酸処理					
					樋		アルミ樋89φ					
				床	鉄骨	ALC t=100の上、下地モルタル+ビニル床シート				exp-J床一床金物(耐火帯付き)		

【特記事項】	【凡例(略号)】	【凡例(仕上関係)】
<p>1. 特記無き限り、コンクリート打直し仕上の種別はA種とする。</p> <p>2. 超低汚染ツヤ消し塗材は、無機質系超微粒子と有機成分のハイブリット結合材入一液タイプ塗料とし、親水性塗膜形成により汚染物質の付着を抑制する機能を有するものとする。</p> <p>3. 複層塗材は「公共住宅建設工事共通仕様書18.4.1」による。複層仕上塗材CE、及び18.3.2による厚塗材Eとする。防火性能の必要な部分はCEまたはSiとする。</p> <p>4. ELVホール、外廊下仕上材のビニル床シート貼りは、公共住宅建設工事共通仕様書19.7.11による。但し、「工事特記基準」読替えによる、5種(エンボス加工)とする。</p> <p>5. SE材は、公共住宅工事共通仕様書18.2.11による薄付け仕上塗材とする。</p> <p>6. 超低汚染ツヤ消し塗材のコンクリート打直し仕上種別はA種とし、合板せき板はA種とする。(全て共通)</p> <p>7. タイルは特記仕様書による。</p> <p>8. 一般系補装材(内装用)は特記仕様書による。</p> <p>9. 一般系補装材(内装用)は330×300×300の目地はモット目地とする。</p> <p>10. 見えがかりとなる躯体出隅部は、通路等に面する壁部分以外は全てピン角とする。通路等に面する壁部分は床からH2,000まで面取りとする。</p> <p>11. 特記なき限り、廻り縁はアルミ製とする。</p> <p>12. 特記なき限り、仕上は7kg/㎡、スチール溶融亜鉛メッキ処理のまま、スリット加工とする。</p> <p>13. 雨がかりとなる鉄部は溶融亜鉛メッキ、又はリソ酸処理を施す。</p> <p>14. 補助手摺34φ又は40φはアルミ材入りとする。</p> <p>15. 床化粧マンホールの目地は黄銅製又はステンレス製とする。</p> <p>16. 繊維混入石膏板:石膏と補強繊維を主原料とした曲面施工用の石膏板とする。</p> <p>17. EVホール、外廊下仕上材のビニル床シート貼りは、公共住宅建設工事共通仕様書19.7.11による。但し、「工事特記基準」読替えによる、5種(エンボス加工)とする。</p> <p>18. 軽鉄下地天井は、AE-804、AE-805による。</p> <p>19. 階段、外廊下、スロープ等の補助手摺端部は100mm程度立ち下げ又は横壁向きとする。</p> <p>20. 化粧目地(誘発目地)W25は空目地とする。</p> <p>21. 躯体出隅部は、全て角目地とする。</p> <p>22. 金属仕上はボルト・ナット等見えがかり部材もリソ酸処理とする。</p> <p>23. 特記無き限り通路等の表面は粗面、又は滑りにくい仕上とする。</p> <p>24. 特記無き限り、階段、傾斜路は踏面の端部とその周囲とを色の明度、色相又は彩度の差をつけ段を容易に識別可能なものとする。</p> <p>25. シリカ材:公共住宅建設工事共通仕様書9.7.21による。</p> <p>26. 特記なき限り、ガラスは32kg/㎡製品とし、ガラス押さえとする。</p> <p>27. カット顔縁はワット張り、掃出しサッシ下枠は、UC塗り(下地着色目止め)とする。</p> <p>28. タイル目地は内装床用弾性目地材とする。</p> <p>29. 壁の下地が異なる部分の継ぎ目にはハット目地を設ける。</p> <p>30. 枠無し壁小口はビニルクロス巻き込みとする。</p> <p>31. 洗面脱衣室、トイレ、台所等の水掛り部の石膏ボードはGB-Sとし、合板は耐水合板(1類)とする。</p> <p>32. ガラス廻りは、防火構造とする。また200から15cm以内可燃物等は設けないものとする。</p> <p>33. コロ廻りは、コロと可燃物の離隔距離を確保できている場合であっても努めて15mm以上の不燃材で仕上すること。(各自自治体の判断による)</p> <p>34. 特記なき限り、メラミン化粧パネルの施工はすべて接着工法とする。</p> <p>35. カナルの長さは、原則サッシW200、片側壁の場合はサッシW150とする。</p> <p>36. 照明、コンセント、スイッチ類のボックス、配線は躯体に埋め込まないこと。</p> <p>37. 24時間小風量換気システムを採用することとし、詳細は機械設備による。</p> <p>38. 各詳細図等に記載された内容についても施工図を作成し、監督員の承認後に施工すること。</p> <p>39. 特記なき限り、内装及び天井裏等の材料は全てF☆☆☆☆とする。(造作家具及び建具も含む)</p> <p>40. AC取付用リフト、設備機器用リフト、換気用リフトの取付位置は、平面詳細図、展開図による。</p> <p>41. 化粧下地、洗面所手洗器は化粧扉を開いて専用配管の接合部を点検できるものとする。</p> <p>42. 1/4便器本体は容易に取り外せる構造とする。</p> <p>43. 改修内容には「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年度版」を適用する。</p>	<p>φ-直径 r-半径 @-間隔 W-幅 H-高さ D-奥行 L-長さ t-厚さ CH-天上下 GL-基準地盤面 FL-基準床面 SL-基準スラブ面 Exp.-接着剤 ALG-アルミ製壁樋 VP-硬質リソ酸ビニル管(薄) L-L型アングル As-アスファルト</p> <p>RC-コンクリート LC-軽量コンクリート M-モルタル St-鉄骨、鋼 W-木造、木材 CG-コンクリートブロック PC-プレキャストコンクリート HP-遠心力鉄筋コンクリート管 SOP-配管用鋼管 ALC-軽量気泡コンクリート EOP-押出成形モット板 AL-アルミ SUS-ステンレス LGS-軽量型鋼 FB-フラットバー L-L型アングル As-アスファルト</p> <p>PS-パイプシャフト EPS-電気シャフト MB-メーキング ELV-エレベーター DW-ダウエル OH-オーバーヘッド ESC-エスケイパー DS-ダクト AW-アルミ製サッシ AD-アルミ製ドア EOP-鋼製サッシ SD-鋼製ドア WD-木製ドア SSD-ステンレス製ドア SS-鋼製シャフト SSS-ステンレス製シャフト</p>	<p>外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂エポキシ系 外装厚塗材C-外装セメント系 外装厚塗材E-外装合成樹脂エポキシ系 複層塗材SE-外装合成樹脂エポキシ系 複層塗材Si-けい酸系 複層塗材RS-合成樹脂溶液系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂エポキシ系 AT-アクリル系吹付タイル EOP-アクリル系リシン吹付 RET-樹脂系吹付タイル CET-樹脂系吹付タイル OS-油性吹付塗料 OSCL-油性吹付塗料(吹付塗装) OSO-油性吹付塗料 OSW-油性吹付塗料 SOP-合成樹脂調合ペイント OP-油性調合ペイント OC-中継ペイント OL-吹付吹付塗料 EP-合成樹脂エポキシ系吹付塗料 EP-G-艶あり合成樹脂エポキシ系吹付塗料 EP-T-合成樹脂エポキシ系吹付塗料 EP-M-多彩模様塗料</p> <p>WPP-木材用浸透系染色自然保護塗装 UC-ウルトラ樹脂ニス塗り UE-ウルトラ樹脂ニス塗り B-UE-焼付ウルトラ樹脂ニス塗り 2-UE-2液形ウルトラ樹脂ニス塗り AC-アクリル樹脂ニス AE-アクリル樹脂ニス塗り B-AE-焼付アクリル樹脂ニス塗り 2-ASE-アクリル樹脂ニス塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂ニス塗り XE-エポキシ樹脂ニス XEB-エポキシ樹脂ニス焼付 TXE-エポキシ樹脂ニス CE-塩化ビニル系ニス塗り LE-ラッカーニス塗り F-FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形フッ素樹脂ニス塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂ニス塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂ニス塗り FC-フタル酸樹脂ニス ALP-アルミペイント FP(P)-樹脂フォーム保温材裏打石膏ボード ※上記塗材のほか、JASS18による</p> <p>CFC-コンクリート金網 MC-モット金網 MO-モット金網 OA-配線用二重床 FF-乾式二重置床 SLV-セリアリング材 NC-ビニルシート B-AE-焼付アクリル樹脂ニス塗り CT-ビニルシート(半硬質) CIS-ビニルシート(軟質) HT-樹脂ニス VT(E)-帯電防止ビニル床 CP-カーペット TCP-タイルカーペット VB-ビニル巾木 WB-木巾木 Vクロス-ビニルクロス Mクロス-無機質クロス Gクロス-ガラスクロス GW-ガラス RW-吹付吹付 FP(O)-樹脂フォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-樹脂フォーム保温材裏打石膏ボード</p> <p>GB-R-石膏ボード GB-S-耐水石膏ボード GB-F(V)-強化石膏ボード(硝子繊維入り) OA-配線用二重床 GB-R-H-硬質石膏ボード GB-L-石膏ラスボード GB-L-石膏ラスボード GB-P-吸音用穴あき石膏ボード GB-PS-特殊吸音穿孔石膏ボード GB-D-化粧石膏ボード VT(E)-帯電防止ビニル床 CP-カーペット TCP-タイルカーペット VB-ビニル巾木 WB-木巾木 Vクロス-ビニルクロス Mクロス-無機質クロス Gクロス-ガラスクロス GW-ガラス RW-吹付吹付 FP(O)-樹脂フォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-樹脂フォーム保温材裏打石膏ボード</p>

内部仕上表 - 1

箇所	部位	現況			箇所	改修			符号			備考	
		下地	仕上	処理		部位	下地	仕上	床	壁	天井		
多目的スペース	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュームマープル)	仕上撤去	シェアラウンジ	床	既存モルタル	ビニル床タイル300角 t2.5	IF-1				
	巾木		ソフト巾木 h=75	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	コンクリート		PB t=12.5 (GL工法) の上AEP塗装		仕上撤去	壁	既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
								既存コンクリート	LGS+GB-S t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2※		
	天井 その他	LGS	PB	t=9.5の上AEP塗装		下地共撤去	天井	新設LGS	GB-R t12.5の上吹付用軽量塗材E(既存再利用材含有)		IW-11		
							その他	既存コンクリート	清掃			IC-6	
							フロント	床	既存モルタル	ビニル床タイル300角 t2.5	IF-1		
								巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装			
								壁	新設LGS	GB-R t12.5の上吹付用軽量塗材E(既存材含有)		IW-11	間仕切内部 グラスウール t50(密度24kg/m)
								天井	コンクリート増打ち部	EP塗装		IW-1※	
						天井 その他	既存コンクリート	清掃			IC-6		
					厨房	床	乾式二重床	ビニル床シートt2.5(特殊防滑シート)	IF-2		※はモルタル下地の上		
						巾木		床材巻上H100					
						壁	コンクリート増打ち部	EP塗装		IW-1※			
						天井	新設LGS	GB-S t12.5の上ステンレス板貼り		IW-3	間仕切内部 グラスウール t50(密度24kg/m)		
						天井 その他	既存コンクリート	清掃			IC-4		
						天井	新設LGS	GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装			IC-1		
						天井	既存コンクリート	清掃			IC-6		
						天井	既存コンクリート	EP塗装			IC-1		
回廊ギャラリー	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	ロジヤ (半屋外)	床	既存モルタル	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1				
	巾木		AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装					
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	新設LGS	GB-S t12.5+フレキシブルボードt8.0の上EP塗装		EW-7		
							壁	既存仕上	EP塗装		EW-2		
	天井	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	天井	新設LGS	GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装			IC-4	
その他			ショーケース	撤去	その他	既存コンクリート	清掃				IC-6		
						その他	既存コンクリート	EP塗装				IC-1	
インフォメーションセンター	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	廊下1 (管理エリア含む)	床	新設モルタル	ビニル床タイル300角 t2.5	IF-1※				
	巾木	コンクリート	AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装					
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装		IW-6		
							壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7		間仕切内部 グラスウール t50(密度24kg/m)
	天井	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2	
その他					その他	既存コンクリート	清掃				IC-6		
EVホール	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	下地共撤去	階段1	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3				
	巾木	コンクリート	AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装					
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
							壁	既存仕上	EP塗装		IW-1		
	天井	LGS	PB	t=9.5の上AEP塗装		下地共撤去	天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2	
その他					その他	既存コンクリート	清掃				IC-6		
階段	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュームマープル)	仕上撤去	倉庫1	床	既存モルタル	清掃	IF-8				
	巾木		AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		清掃					
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	既存仕上	EP塗装				
							壁	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装		IC-1		
	天井	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	天井	既存仕上	EP塗装				IC-2
その他			樹脂系ノンスリップ	撤去	その他	既存コンクリート	清掃				IC-1		
						その他	既存コンクリート	清掃				IC-6	
EV機械室	床	コンクリート	モルタル金剛仕上げ	既存のまま	倉庫1	床	既存モルタル	清掃	IF-8				
	巾木		打放のまま	既存のまま		巾木		清掃					
	壁	コンクリート		打放のまま		既存のまま	壁	既存コンクリート	清掃				
							壁	既存コンクリート	清掃		IW-10		
	天井	コンクリート		打放のまま		既存のまま	天井	既存コンクリート	清掃				IC-6
その他					その他	既存コンクリート	清掃				IC-6		

--	--

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS65下地(千鳥配置総幅175)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m)	外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装厚塗材C-外装セメント系 外装厚塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装厚塗材SE-外装合成樹脂タイル系 複層塗材CE-キリメント 複層塗材SI-けい酸質系 複層塗材RE-合成樹脂系 複層塗材RS-合成樹脂系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂系 AT-アクリル系吹付タイル RP-アクリル系吹付タイル RET-キリメント吹付タイル CET-キリメント吹付タイル OS-オイル塗り OSCL-オイル塗り(7/7塗装) OSO-油性フィニッシュ OSW-油性フィニッシュ SOP-合成樹脂調合ペイント OP-油性調合ペイント OC-オイル塗り OL-オイル塗り EP-合成樹脂タイル EP-G-艶あり合成樹脂タイル EP-T-合成樹脂タイル RET-キリメント吹付タイル EP-M-多層模様塗料 WPP-木材用浸透染色自然保護塗料 UC-ウレタン樹脂タイル UE-ウレタン樹脂タイル B-UE-焼付ウレタン樹脂タイル 2-UE-2液形ウレタン樹脂タイル AC-アクリル樹脂タイル AE-アクリル樹脂タイル B-AE-焼付アクリル樹脂タイル 2-AE-2液形ウレタン樹脂タイル VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂タイル XE-塩化ビニル樹脂タイル XEB-塩化ビニル樹脂タイル TXE-塩化ビニル樹脂タイル CE-塩化ビニル樹脂タイル LE-ラッカー塗り F-FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形フッ素樹脂塗装 B-FUE-焼付フッ素樹脂塗装 FE(FP含む)-フタル酸樹脂塗装 FC-フタル酸樹脂ワニス ALP-7%シリコン ※上記塗材のほか、JASS18による CP-コンクリート金剛 MP-モルタル金剛 MC-モルタル金剛 OA-配線用二重床 FF-乾式二重置床 SLV-セメントレンガ材 NC-ビニル床シート CT-ビニル床シート(半硬質) CTS-ビニル床シート(軟質) HT-樹脂タイル床 VT(E)-帯電防止ビニル床 CP-カーペット TOP-タイルマット VB-ビニル巾木 WB-木巾木 VK-クロス-ビニルクロス MK-クロス-無機質クロス GK-クロス-ガラスクロス GW-ガラスクロス RW-ガラスクロス FP(G)-キリメントフォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-キリメントフォーム保温材裏打石膏ボード HT-樹脂タイル床 GB-S-石膏ボード GB-F-耐水石膏ボード GB-F(V)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-F(N)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-RH-硬質石膏ボード GB-St-構造用石膏ボード GB-L-石膏ラスボード GB-P-吸音用穴あき石膏ボード GB-PS-特殊吸音穿孔石膏ボード GB-D-化粧石膏ボード GB-D(O)-化粧石膏ボード(2/7型) GB-D(W)-化粧石膏ボード(木目) GB-NC(T)-不燃積層石膏ボード(1/5/7/9) GB-NC(F)-不燃積層石膏ボード(地下張り用) FLB-フレキシブルボード G/加板-けい酸カルシウム板 DR-岩綿化粧吸音板

松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティセンター改修工事	architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing scale date	title 内部仕上表-1	sheet number A-12
--	------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	------------------	----------------------

内部仕上表-2

センター棟 (1F)

箇所	部位	現況			箇所	改修			符号			備考			
		下地	仕上	処理		部位	下地	仕上	床	壁	天井				
管理事務室	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	スタッフルーム	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3						
	巾木		ソフト巾木 h=75	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40							
	壁	コンクリート		PB t=12.5 (GL工法)の上AEP塗装		仕上撤去	壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
		LGS		PB t=12.5の上AEP塗装		下地共撤去		既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	天井	LGS		PB t=9.5の上AEP塗装		下地共撤去	天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2			
	その他						その他								
	バックヤード	床					バックヤード	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3				
		巾木						巾木		EP塗装					
		壁	コンクリート						壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
			LGS							既存仕上	EP塗装		IW-1		
天井					天井	既存コンクリート		清掃			IC-6				
その他					その他										
ゴミ置き場		床				ゴミ置き場		床	既存モルタル	清掃	IF-8				
		巾木						巾木		清掃					
		壁	コンクリート						壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
			LGS							既存コンクリート	清掃		IW-10		
	天井				天井		既存コンクリート	清掃			IC-6				
	その他				その他										
	給湯室	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま		設備室1	床	既存コンクリート	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1				
		巾木		磁器質タイル t=100	既存のまま			巾木		清掃					
		壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま			壁	既存コンクリート	清掃		IW-10			
		天井	LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去			天井	既存コンクリート	清掃			IC-6		
その他					その他										
身障者用WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	多機能WC (BF対応)	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3						
	巾木		磁器質タイル H=100	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40							
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7				
		LGS						既存仕上	EP塗装		IW-1				
	天井	LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-3				
その他		化粧鏡	撤去	その他		バリアフリー対応トイレバック (便器、紙巻器、手洗器、オストメイト、睡ね上げ手摺、L型手摺)、鏡、ウォシュレット									
男子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	女性スタッフ用更衣室	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3						
	巾木		磁器質タイル H=100	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40							
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7				
		LGS		小便器部ライニング: 耐水合板の上磁器質タイル		下地共撤去		既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	天井	LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2				
その他		化粧鏡、トイレブース、小便器、大便器、手洗い器	撤去	その他		手洗い器、ベンチ、ロッカー									
女子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	男WC、女WC1.2	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3						
	巾木		磁器質タイル H=100	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40							
	壁	コンクリート		AEP塗装		既存のまま	壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7		ライニング: LGS+耐水合板の上タイル貼り		
		LGS						既存コンクリート	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装		IW-4		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	天井	LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-3				
その他		化粧鏡、トイレブース、大便器、ベビーシート、SK流し、手洗い器	撤去	その他		便器、ウォシュレット、紙巻器、手洗器、鏡、トイレブース									

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS6下地(千鳥配置総幅t75)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m ³)	外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装厚塗材C-外装セメント系 外装厚塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装厚塗材SE-外装合成樹脂タイル系 複層塗材CE-キリメント 複層塗材SI-けい酸質系 複層塗材RS-合成樹脂溶液系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂タイル系 AT-アクリル系吹付タイル RP-アクリル系吹付タイル RET-キリメント吹付タイル CET-キリメント吹付タイル OS-オイル塗り OSCL-オイル塗り(ケイ酸質) OSO-油性フィン(油) OSW-油性フィン(水) SOP-合成樹脂調合ベイト OP-油性調合ベイト OC-オイルインジ CL-ケイ酸質塗り EP-合成樹脂タイルベイト塗り EP-G-艶あり合成樹脂タイルベイト塗り EP-T-合成樹脂タイル模様塗り EP-M-多彩模様塗料塗り WPP-木材用浸透系染色自然保護塗装 UC-ウレタン樹脂タイル塗り UE-ウレタン樹脂タイル塗り B-UE-焼付ウレタン樹脂タイル塗り 2-UE-2液形ウレタン樹脂タイル塗り AC-アクリル樹脂タイル AE-アクリル樹脂タイル塗り B-AE-焼付アクリル樹脂タイル塗り 2-AE-アクリル樹脂タイル塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂タイル塗り XE-塩化ビニル樹脂タイル XEB-塩化ビニル樹脂タイル焼付 TXE-塩化ビニル樹脂タイル CE-塩化ビニル樹脂タイル塗り LE-ラッカー塗り F-FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形フッ素樹脂タイル塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂タイル塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂タイル塗り FC-フタル酸樹脂タイル ALP-7%以内 ※上記塗材のほか、JASS18による

松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティセンター改修工事	architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing scale date	title 内部仕上表-2	sheet number A-13
--	------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	------------------	----------------------

内部仕上表-3

箇所	部位	現況			箇所	改修			符号			備考								
		下地	仕上	処理		部位	下地	仕上	床	壁	天井									
教室2	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	客室1~4	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0 (玄関部)	IF-3											
	巾木		ソフト巾木 t=75	仕上撤去		巾木	既存コンクリート	乾式二重床の上タイルカーペット500角 t7.5	IF-5											
	壁	コンクリート	PB t=12.5 (G.L.工法) のAEP塗装	仕上撤去		仕上撤去	新設LGS(千鳥配置)	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-8	IW-6			客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする							
														新設LGS	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装	IW-5	IW-2	IW-1※	IC-3	IC-6
	天井	LGS	PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装												
	その他		可動間仕切り、流し	撤去		その他	既存コンクリート	清掃												
							その他	ベット、テーブル、椅子												
							客室1~4洗面脱衣・WC	床	既存モルタル	乾式二重床の上ビニル床シート t2.0	IF-4									
							巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40 SOP塗装											
					壁	新設LGS(千鳥配置)	[GB-Ft21+GB-R-Ht9.5](両面)の上EP塗装	IW-8				客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする								
					天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装	IW-7				ライニング: LGS+耐水合板の上材の貼り								
					天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-3										
					その他	既存コンクリート	清掃													
和室(教室3)	床	モルタル塗り	スタイロフォーム敷き 板張り仕上 長尺ビニル床シート t=2.0	仕上撤去	客室5	床	既存モルタル	乾式二重床の上シートフローリング t12	IF-6											
	巾木		たたみ寄せ	仕上撤去		巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40 SOP塗装	IF-7											
	壁	コンクリート	PB t=12.5 (G.L.工法) の上ビニルクロス	仕上撤去		仕上撤去	新設LGS(千鳥配置)	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-8	IW-5	IW-2	IC-2	IC-3	客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする						
															新設LGS	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装	IW-6	IW-1	IC-6	
																				既存コンクリート
	天井	LGS	PB t=12.5の上ビニルクロス	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装												
	その他		杉板縦目貼り	下地共撤去		その他	既存コンクリート	清掃												
			押し入れPB t=12.5	下地共撤去			天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装											
							その他	既存コンクリート	清掃											
							客室5押し入れ	床	既存モルタル	乾式二重床の上シートフローリング t12	IF-7									
					巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40 SOP塗装													
					壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-5												
					天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装	IW-1												
					天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2										
					その他	既存コンクリート	清掃				IC-6									
					客室5洗面脱衣・WC	床	既存モルタル	乾式二重床の上ビニル床シート t2.0	IF-4											
					巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40 SOP塗装													
					壁	新設LGS(千鳥配置)	[GB-Ft21+GB-R-Ht9.5](両面)の上EP塗装	IW-8				客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする								
					天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装	IW-7				ライニング: LGS+耐水合板の上材の貼り								
					天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装	IW-1												
					その他	既存コンクリート	清掃													
					その他	ユニットバス、便器、紙巻き器														
廊下	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	廊下3 (セキュリティ内)	床	既存モルタル	ビニル床タイル300角 t2.5	IF-1											
	巾木		AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40の上SOP塗装												
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		既存のまま	新設LGS(千鳥配置)	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-8	IW-2	IW-1	IC-2	IC-6	客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする						
															新設LGS	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装	IW-6	IW-1		
																			既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装
	天井	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装												
	その他					その他	既存コンクリート	清掃												
							廊下4 (半屋外)	床	新設モルタル	磁器質タイル300角 t10	EF-2									
							巾木	既存モルタル	ビニル床シート t2.0(屋外用)	IF-3※										
							壁	新設LGS	GB-S t12.5+フレキシブルボードt8.0の上EP塗装	EW-7										
					天井	新設LGS(千鳥配置)	[GB-Ft21+GB-R-Ht9.5](両面) +フレキシブルボードt8.0の上EP塗装	EW-6				押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50								
					天井	既存仕上	EP塗装	EW-2												
					その他	新設LGS	GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装			IC-4										

センター棟 (2F)

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS6下地(千鳥配置総幅175)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m)	OS-オイル塗り OSQ-オイル塗り(7/7塗装) OSO-油性アクリル系 OSW-油性アクリル系 SOP-合成樹脂調合ペイント OP-油性調合ペイント OL-ケイカル塗り EP-合成樹脂調合ペイント塗り EP-G-艶あり合成樹脂調合ペイント塗り EP-T-合成樹脂調合ペイント模様塗り RET-多色模様塗料塗り WPP-木材用浸透系染色自然保護塗装

内部仕上表 - 4

箇所	部位	現況			箇所	部位	改修			符号			備考		
		下地	仕上	処理			下地	仕上	床	壁	天井				
センター棟 (2F)	EVホール	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマープル)	仕上撤去	廊下2	床	既存モルタル	ビニル床シート300角 t2.5	IF-1					
		巾木		AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装						
		壁		コンクリート	AEP塗装		既存のまま	壁		新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装		IW-6		
		天井		LGS	PB t=9.5の上AEP塗装		下地共撤去	天井		既存仕上	EP塗装		IW-1		
	女子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマープル)	仕上撤去	ランドリースペース	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3					
		巾木		磁器質タイル H=100	仕上撤去		巾木		乾式二重床の上ビニル床シート t2.0	IF-4					
		壁		コンクリート	AEP塗装		既存のまま	壁		新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7		
		天井		LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装		下地共撤去	天井		既存コンクリート	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装		IW-4※		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
	男子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマープル)	仕上撤去	リネン室1	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3					
		巾木		磁器質タイル H=100	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装						
		壁		コンクリート	AEP塗装		既存のまま	壁		既存コンクリート	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装		IW-4※		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
		天井		LGS	小便器部ライニング: 耐水合板の上磁器質タイル		下地共撤去	天井		既存仕上	EP塗装		IW-1		
給湯室	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマープル)	仕上撤去	喫煙室	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3						
	巾木		磁器質タイル H=100	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装							
	壁		コンクリート	AEP塗装		既存のまま	壁		新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装		IW-6		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
	天井		LGS	流し面台: 耐水合板の上磁器質タイル		下地共撤去	天井		既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装		IW-4		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
センター棟 (3F)	商工会スペース	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマープル)	仕上撤去	客室6~9	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0 (玄関部)	IF-3					
		巾木		ソフト巾木 t=75	仕上撤去		巾木		乾式二重床の上タイルカーペット500角 t7.5	IF-5					
		壁		コンクリート	PB t=12.5 (GL工法) のAEP塗装		仕上撤去	壁		新設LGS(千鳥配置)	[GB-Ft21+GB-R-Hr9.5](両面)の上EP塗装		IW-8		客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする
		天井		LGS	PB t=9.5のAEP塗装		下地共撤去	天井		新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7		
	客室6~9洗面脱衣・WC	床					床		既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		巾木					巾木		新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-6		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		壁					壁		既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装		IW-2		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		天井					天井		新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IC-3		天井内屋根裏面に加吹付断熱 t=50	
		その他					その他		既存コンクリート	清掃		IC-6			
										2段ベット、テーブル、椅子					
										乾式二重床の上ビニル床シート t2.0		IF-4			
										MDF巾木H=40 SOP塗装					
廊下6 (セキュリティ内)	床					床		既存モルタル	ビニル床シート300角 t2.5	IF-1					
	巾木					巾木		乾式二重床	人工再生木材 25x145	EF-3					
	壁					壁		新設LGS(千鳥配置)	[GB-Ft21+GB-R-Hr9.5](両面)の上EP塗装		IW-8		客室間及び廊下に面する壁は乾式耐火遮音間仕切壁とする		
	天井					天井		既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS6下地(千鳥配置総幅175)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m)	外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂マロン系 外装厚塗材C-外装セメント系 外装厚塗材E-外装合成樹脂マロン系 外装薄塗材SE-外装合成樹脂マロン系 複層塗材CE-キリマゼント 複層塗材SI-けい酸質系 複層塗材RS-合成樹脂溶液系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂マロン系 AT-アクリル系吹付タイル RP-アクリル系吹付タイル RET-キリマゼント吹付タイル CET-キリマゼント吹付タイル OS-オイル塗り OSCL-オイル塗り(977塗料) OSO-油性フィンイタ OSW-油性フィンイタ SOP-合成樹脂調合ベイト OP-油性調合ベイト OC-オイルイタ CL-ケイ酸質系 EP-合成樹脂マロンベイト塗り EP-G-艶あり合成樹脂マロンベイト塗り EP-T-合成樹脂マロン模様塗り RET-M-多彩模様塗料塗り WPP-木材用浸透系染色自然保護塗料 UC-ウレタン樹脂マロン塗り UE-ウレタン樹脂マロン塗り B-UE-焼付ウレタン樹脂マロン塗り 2-UE-2液形ウレタン樹脂マロン塗り AC-アクリル樹脂マロン塗り AE-アクリル樹脂マロン塗り FP-アクリル樹脂マロン塗り 2-ASE-アクリル樹脂マロン塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂マロン塗り XE-エポキシ樹脂マロン塗り XEB-エポキシ樹脂マロン焼付 TXE-エポキシ樹脂マロン塗り CE-塩化ビニル樹脂マロン塗り LE-ラッカー塗り F-FU-フッ素樹脂塗料 2-FUE-常温乾燥形フッ素樹脂マロン塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂マロン塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂マロン塗り FC-フタル酸樹脂マロン塗り ALP-7820系ベイト ※上記塗材のほか、JASS18による

CoF-コンクリート金網 MoF-モルタル金網 MoF-モルタル金網 O4-配線用二重床 FF-乾式二重置床 SLV-セパレートリソ材 NC-ビニル床シート CT-ビニル床シート(半硬質) CTS-ビニル床シート(軟質) HT-樹脂マロン床シート VT(E)-帯電防止ビニル床シート CP-カーペット TOP-タイルマット VB-ビニル巾木 WB-木巾木 Vクロス-ビニルクロス Mクロス-無機質クロス Oクロス-ガラスクロス FF-乾式二重置床 SLV-セパレートリソ材 NC-ビニル床シート CT-ビニル床シート(半硬質) CTS-ビニル床シート(軟質) HT-樹脂マロン床シート VT(E)-帯電防止ビニル床シート CP-カーペット TOP-タイルマット GB-R-H-硬質石膏ボード GB-St-構造用石膏ボード GB-L-石膏ラスボード GB-P-吸音用穴あき石膏ボード GB-PS-特殊吸音穿孔石膏ボード GB-D-化粧石膏ボード GB-DQ-化粧石膏ボード(スリット型) RW-ロック FP(G)-ポリスチレンフォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-ポリスチレンフォーム保温材裏打合板 HT-樹脂マロン床シート GB-R-石膏ボード GB-S-耐水石膏ボード GB-F(V)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-F(N)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-R-H-硬質石膏ボード GB-St-構造用石膏ボード GB-L-石膏ラスボード GB-P-吸音用穴あき石膏ボード GB-PS-特殊吸音穿孔石膏ボード GB-D-化粧石膏ボード GB-DQ-化粧石膏ボード(スリット型) RW-ロック FP(G)-ポリスチレンフォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-ポリスチレンフォーム保温材裏打合板 HT-樹脂マロン床シート GB-R-石膏ボード GB-S-耐水石膏ボード GB-F(V)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-F(N)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-R-H-硬質石膏ボード GB-St-構造用石膏ボード GB-L-石膏ラスボード GB-P-吸音用穴あき石膏ボード GB-PS-特殊吸音穿孔石膏ボード GB-D-化粧石膏ボード GB-DQ-化粧石膏ボード(スリット型) RW-ロック FP(G)-ポリスチレンフォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-ポリスチレンフォーム保温材裏打合板 HT-樹脂マロン床シート GB-R-石膏ボード GB-S-耐水石膏ボード GB-F(V)-強化石膏ボード(網子織り入り) GB-F(N)-強化石膏ボード(網子織り入り)
--

内部仕上表 - 5

箇所	部位	現況			箇所	部位	改修			符号			備考	
		下地	仕上	処理			下地	仕上	床	壁	天井			
センター棟 (3F)	廊下7 (半屋外)	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0 (屋外用)	客室10	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0 (玄関部)	IF-3			ELVホール部分はIF-3※(新設モルタルの上)		
		巾木		EP塗装		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装	IF-5					
		壁	新設LGS	GB-S t12.5+フレキシブルボードt8.0の上EP塗装		壁	新設LGS (千鳥配置)	[GB-Ft21+GB-R-Ht9.5](両面) +フレキシブルボードt8.0の上EP塗装	EW-7	EW-6	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50			
			既存仕上	EP塗装			既存コンクリート	GB-S t12.5の上EP塗装		EW-2				
		天井	新設LGS	GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-4			
	役員室・倉庫	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	客室10洗面脱衣・WC	床	既存モルタル	乾式二重床の上ビニル床シート t2.0	IF-4			押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		巾木	コンクリート	ソフト巾木 t=75	仕上撤去		巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40 SOP塗装					
			コンクリート	PB t=12.5 (GL工法) のAEP塗装	仕上撤去		壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装	IW-7				
							壁	既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+t9.5の上EP塗装	IW-2				
		天井	LGS	PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-3		天井内屋根裏面にケイカル吹付断熱 t=50
	EVホール	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	廊下5	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-1			押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		巾木	コンクリート	AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木	既存コンクリート	MDF巾木H=40 SOP塗装					
		壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	既存コンクリート	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装	IW-7				
		天井	LGS	PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2		天井内屋根裏面にケイカル吹付断熱 t=50
		その他					その他		シャワーブース、便器、紙巻き器					
	男子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	リネン室2	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3			押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		巾木	モルタル塗り	磁器質タイル t=100	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装					
		壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	既存コンクリート	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装	IW-4※				
		LGS	小便器部ライニング・耐水合板の上磁器質タイル	下地共撤去	天井		既存仕上	EP塗装	IW-1					
天井		LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去	天井		新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-3	天井内屋根裏面にケイカル吹付断熱 t=50		
女子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	倉庫2	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3			押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	巾木	モルタル塗り	磁器質タイル t=100	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装						
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装	IW-6					
						壁	既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装	IW-4					
	天井	LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去		天井	既存仕上	EP塗装	IW-1					
給湯室	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュウムマーブル)	仕上撤去	ベンダースペース	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-1			押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	巾木	モルタル塗り	磁器質タイル t=100	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装						
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5の上EP塗装	IW-4					
		LGS	流し面台:耐水合板の上磁器質タイル	下地共撤去		天井	既存仕上	EP塗装	IW-1					
	天井	LGS	耐水PB t=9.5の上AEP塗装	下地共撤去		天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2		天井内屋根裏面にケイカル吹付断熱 t=50	

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切り壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS6下地(千鳥配置総幅175)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切り部 グラスウールt50(密度24kg/m)	外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装厚塗材C-外装セメント系 外装厚塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装厚塗材SE-外装合成樹脂タイル系 複層塗材CE-キリマゼント 複層塗材SI-けい酸質系 複層塗材RS-合成樹脂溶液系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂タイル系 AT-アクリル系吹付タイル RP-アクリル系吹付タイル RET-キリマゼント吹付タイル CET-キリマゼント吹付タイル OS-オイルシール塗り OSCL-オイルシール塗り(ケイ酸塗)※ OSO-油性アクリル系(油) OSW-油性アクリル系 SOP-合成樹脂調合ベイト OP-油性調合ベイト OC-オイルシール CL-ケイ酸塗 EP-合成樹脂タイル系ベイト塗り EP-G-艶あり合成樹脂タイル系ベイト塗り EP-T-合成樹脂タイル系模様塗り RET-キリマゼント吹付タイル EP-M-多彩模様塗料塗り WPP-木材用浸透系染色自然保護塗装 UC-ウレタン樹脂タイル塗り UE-ウレタン樹脂タイル塗り B-UE-接着ウレタン樹脂タイル塗り 2-UE-2液形ウレタン樹脂タイル塗り AC-アクリル樹脂タイル AE-アクリル樹脂タイル塗り B-AE-接着アクリル樹脂タイル塗り 2-AE-2液形アクリル樹脂タイル塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂タイル塗り XE-XE-樹脂タイル XEB-XE-樹脂タイル焼付 TXE-XE-樹脂タイル CE-塩化ビニル樹脂タイル塗り LE-ラッカータイル塗り F-FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形ふっ素樹脂タイル塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂タイル塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂タイル塗り FO-フタル酸樹脂タイル ALP-7%シランベイト ※上記塗材のほか、JASS18による

内部仕上表 - 6

箇所	部位	現況			箇所	改修			符号			備考	
		下地	仕上	処理		部位	下地	仕上	床	壁	天井		
コミュニティホール	床	モルタル	カーペットタイル300角	仕上撤去	ホール	床	既存モルタル	乾式二重床の上シートフローリング t12	IF-7		階段部：段鼻ノンスリップW40		
		既存モルタル	乾式二重床の上タイルカーペット500角 t7.5	IF-5									
	巾木	コンクリート	木製巾木H=75の上SOP	仕上撤去		巾木	既存モルタル	MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	LGS	PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		壁	新設LGS(※一部高壁用)	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-5			間仕切内部 グラスウール t50(密度24kg/m³)	
		新設CB					新設CB	GB-R t12.5の上EP塗装	IW-4			押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		既存コンクリート	コンクリート打ち放しの上撥水材仕上げ	既存のまま			既存コンクリート	GB-R t12.5の上EP塗装 (※GL工法)	IW-6				
	天井	屋根下地材AEP塗装	鉄骨SOP仕上げ	既存のまま		天井	屋根裏・鉄骨架構	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-2			発泡ウレタンフォーム吹付断熱材 t25	
	その他		座席：クッション、手摺：スチールSOP塗装仕上げ	撤去		その他		既存仕上清掃の上透明保護塗料	EW-4				
	ホワイエ	床	モルタル	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)		既存のまま	ホワイエ	床	既存モルタル	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1		
		巾木	コンクリート	AEP塗装(コンクリート目地 h=75の位置)		既存のまま	巾木	既存仕上げ	EP塗装				
壁		コンクリート	コンクリート打ち放しの上撥水材仕上げ	既存のまま	壁	既存コンクリート	既存仕上清掃の上透明保護塗料	EW-4					
		既存仕上げ	EP塗装	EW-2									
天井		屋根下地材AEP塗装	鉄骨SOP仕上げ	既存のまま	天井	屋根裏・鉄骨架構	清掃の上耐火塗料塗装			IC-5	屋根材裏に硬質ポリウレタンフォーム吹付断熱 t=50		
その他				その他	新設LGS	GB-S t12.5+ケイカル板 16.0の上EP塗装			IC-4				
ラウンジ	床	モルタル	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	待合ラウンジ	床	既存モルタル	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1				
	巾木	コンクリート	コンクリート目地 h=75の位置	既存のまま		巾木	既存仕上げ	MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-5				
		コンクリート	コンクリート打ち放しの上撥水材仕上げ	既存のまま			既存仕上げ	EP塗装	IW-1				
	天井	屋根下地材AEP塗装	鉄骨SOP仕上げ	既存のまま		天井	既存コンクリート	既存仕上清掃の上透明保護塗料	EW-4				
その他				その他	屋根裏・鉄骨架構	清掃の上耐火塗料塗装			IC-5	屋根材裏に硬質ポリウレタンフォーム吹付断熱 t=50			
自動販売機置場	床	モルタル	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	バックヤード2	床	既存モルタル	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1				
	巾木	コンクリート	木製巾木H=75の上SOP塗装	仕上撤去		巾木	既存仕上げ	MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	LGS	AEP塗装	下地共撤去		壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装	IW-5				
		コンクリート	AEP塗装	既存のまま			既存仕上げ	EP塗装	IW-1				
	天井	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		天井	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装			IC-3		
その他				その他		家具、キッチンセット							
階段室	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0 (東リフロアリュームマーブル)	仕上撤去	階段2	床	既存モルタル	乾式二重床の上ビニル床シート t2.0	IF-4		1階床から踊り場まで		
	巾木	コンクリート	AEP塗装(コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木	既存モルタル	ビニル床シート t2.0	IF-3				
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	既存仕上げ	EP塗装			IW-1		
	天井	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		天井	既存仕上げ	EP塗装			IC-1		
	その他		樹脂系ノンスリップ	撤去		その他		段鼻:ビニル系W35接着工法					
倉庫(階段下)	床	コンクリート直押え	モルタル金鍍押え	既存のまま	分電盤室	床	既存コンクリート	清掃	IF-8				
	巾木	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		巾木	既存コンクリート	清掃			IW-10		
	壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	既存コンクリート	清掃					
	天井	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井	既存コンクリート	清掃			IC-6		
	その他					その他							
倉庫-2	床	コンクリート直押え	モルタル金鍍押え	既存のまま	倉庫3	床	既存コンクリート	清掃	IF-8				
	巾木	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		巾木	既存コンクリート	清掃			IW-10		
	壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	既存コンクリート	清掃					
	天井	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井	既存コンクリート	清掃			IC-6		
	その他					その他							
空調機械室	床	コンクリート直押え	モルタル金鍍押え	既存のまま	設備室2	床	既存コンクリート	清掃	IF-8				
	巾木	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		巾木	既存仕上げ	清掃			IW-10	グラスウール吸音ボード張りt50(32kg/m³)ピン留め工法	
	壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	既存コンクリート	清掃					
	天井	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井	既存コンクリート	清掃			IC-6		
	その他					その他							

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS65下地(千鳥配置総幅t75)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FP060NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m³)	外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂系 外装厚塗材C-外装セメント系 外装厚塗材E-外装合成樹脂系 外装薄塗材SE-外装合成樹脂系 複層塗材CE-キリメント 複層塗材SI-けい酸質系 複層塗材RS-合成樹脂溶液系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂系 AT-アクリル系吹付タイル RP-アクリル系吹付タイル RET-キリメント吹付タイル CET-キリメント系吹付タイル OS-オイル塗り OSCL-オイル塗り(7/7塗装) OSO-油性フィン OSW-油性フィン SOP-合成樹脂調合ベイト OP-油性調合ベイト OC-オイル CL-ケイ酸質 EP-合成樹脂調合ベイト塗り EP-G-艶あり合成樹脂調合ベイト塗り EP-T-合成樹脂調合ベイト塗り RET-キリメント吹付タイル EP-M-多彩模様塗料塗り WPP-木材用浸透系染色自然保護塗装 UC-ウレタン樹脂系塗り UE-ウレタン樹脂系塗り B-UE-焼付ウレタン樹脂系塗り 2-UE-2液形ウレタン樹脂系塗り AC-アクリル樹脂系塗り AE-アクリル樹脂系塗り 2-AE-焼付アクリル樹脂系塗り CL-ケイ酸質 2-ASE-アクリル樹脂系塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂系塗り XE-エポキシ樹脂系塗り XEB-エポキシ樹脂系焼付 TXE-エポキシ樹脂系塗り CE-塩化ビニル樹脂系塗り LE-ラッカー系塗り F-FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形フッ素樹脂系塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂系塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂系塗り FC-フタル酸樹脂系塗り ALP-7M系 ※上記塗材のほか、JASS18による

松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティセンター改修工事	architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing 内部仕上表-6	scale date	title 内部仕上表-6	sheet number A-17
--	------------------------------	-----------------------------------	--------------------	---------------	------------------	----------------------

内部仕上表-7

箇所	部位	現況			箇所	改修			符号			備考	
		下地	仕上	処理		部位	下地	仕上	床	壁	天井		
回廊	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	中回廊 (半屋外)	床	既存モルタル	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1				
	巾木	コンクリート	AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装					
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	新設LGS	GB-S t12.5+フレキシブルボードt8.0の上EP塗装		EW-7			
	天井 その他	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		天井 その他	既存仕上 新設LGS	EP塗装 GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装		EW-2		IC-4	
倉庫-1	床	コンクリート直押え	モルタル金剛押え	既存のまま	授乳室	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0		IF-3			
	巾木					巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5		押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
	天井 その他	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井 その他	既存コンクリート 新設LGS	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装 清掃 GB-R t12.5の上EP塗装		IW-2		IC-6 IC-2	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
倉庫4	床				倉庫4	床	既存コンクリート	清掃		IF-8			
	巾木					巾木							
	壁					壁	既存コンクリート	清掃			IW-10		
	天井 その他					天井 その他	既存コンクリート	清掃				IC-6	
男子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0	仕上撤去	公衆男子WC	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0		IF-3			
	巾木	コンクリート	磁器質タイルH=100	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40					
	壁	モルタル塗り	AEP塗装 磁器質タイル100角貼り	既存のまま 仕上撤去		壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7		ライニング: LGS+耐水合板の上でタイル貼り	
	天井 その他	LGS	耐水PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井 その他	既存コンクリート 新設CB 既存コンクリート 既存仕上	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装 GB-S t12.5の上EP塗装 LGS+GB-S t12.5の上EP塗装 EP塗装		IW-4 IW-4 IW-4 IW-1		IC-4	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
女子WC	床	モルタル塗り	長尺ビニル床シート t=2.0	仕上撤去	公衆女子WC	床	既存モルタル	ビニル床シート t2.0		IF-3			
	巾木	コンクリート	磁器質タイルH=100	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40					
	壁	モルタル塗り	AEP塗装 磁器質タイル100角貼り	既存のまま 仕上撤去		壁	新設LGS	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-7		ライニング: LGS+耐水合板の上でタイル貼り	
	天井 その他	LGS	耐水PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井 その他	既存コンクリート 新設LGS	LGS+GB-S t12.5の上EP塗装 GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装		IW-4 IC-4		IC-4	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50
男子WC (外部)	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	下地共撤去	多機能WC (BF対応)	床	新設モルタル	ビニル床シート t2.0		IF-3			
	巾木	コンクリート	磁器質タイルH=100	仕上撤去		巾木		ソフト巾木H=40					
	壁	モルタル塗り	AEP塗装 磁器質タイル100角貼り	既存のまま 仕上撤去		壁	新設CB	GB-S t12.5の上EP塗装		IW-4			
	天井 その他	LGS	耐水PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井 その他	既存仕上 新設LGS	EP塗装 GB-S t12.5+ケイカル板 t6.0の上EP塗装		IW-1 IC-4			
女子WC (外部)	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	下地共撤去	倉庫5	床	新設モルタル	金剛押え		EF-6			
	巾木	コンクリート	磁器質タイルH=100	仕上撤去		巾木							
	壁	モルタル塗り	AEP塗装 磁器質タイル100角貼り	既存のまま 仕上撤去		壁	既存コンクリート	清掃			IW-10		
	天井 その他	LGS	耐水PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井 その他	新設CB	素地 清掃				IC-6	
受水槽室	床	コンクリート直押え	モルタル金剛押え	既存のまま	空調機置場	床	既存コンクリート	既存仕上高圧洗浄の上ウレタン塗膜防水		EF-5			
	巾木					巾木							
	壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	既存コンクリート	清掃			IW-10		
	天井 その他	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井 その他	既存コンクリート	清掃				IC-6	

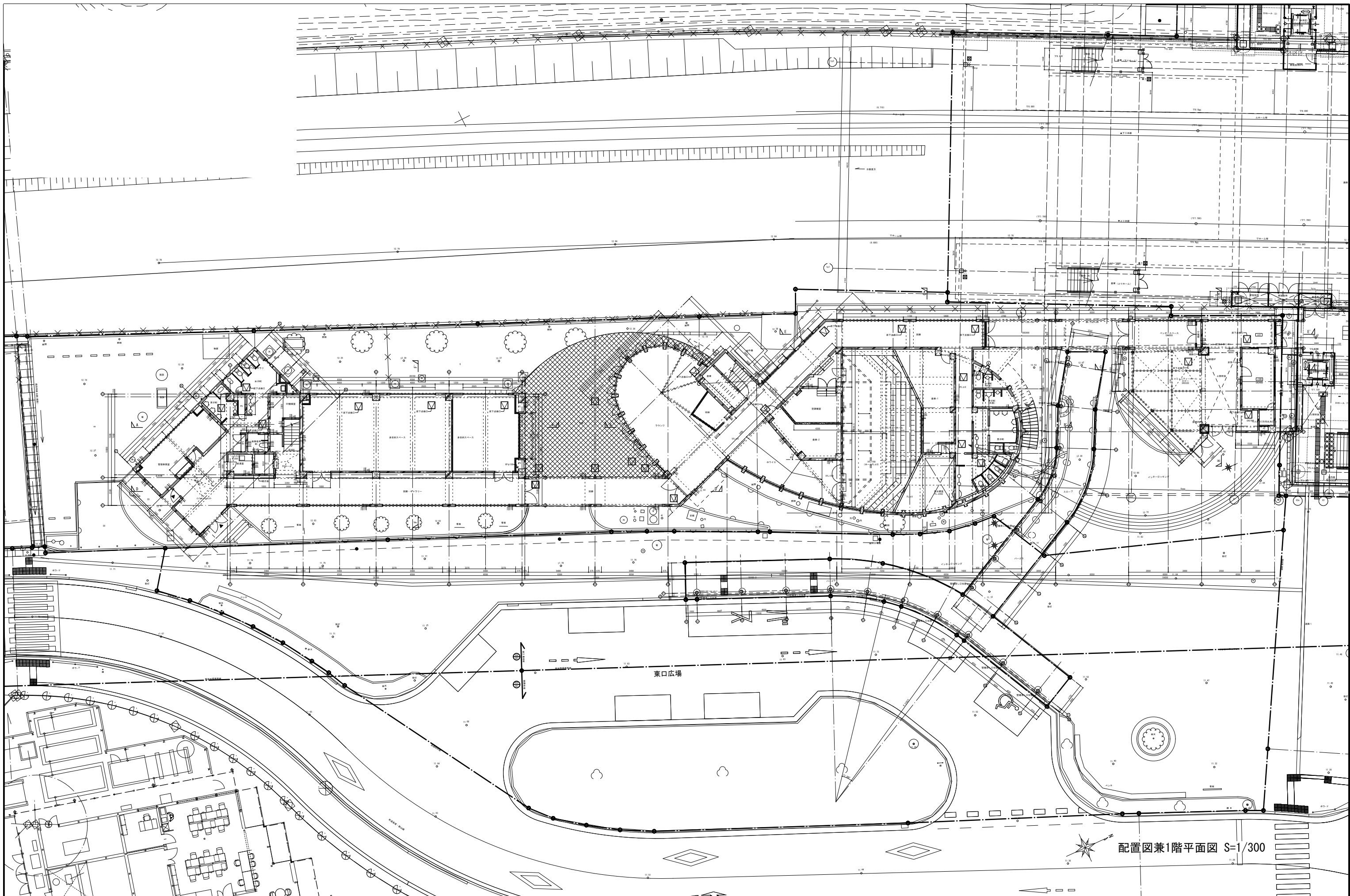
ホール棟 (1F)

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記による LGS65下地(千鳥配置総幅175)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G 国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2) 遮音構造認定:S01-0170-1 間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m)	外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装薄塗材C-外装セメント系 外装薄塗材E-外装合成樹脂タイル系 外装薄塗材SE-外装合成樹脂タイル系 複層塗材CE-キリマゼット 複層塗材SI-けい酸質系 複層塗材RS-合成樹脂系 複層塗材RE-反応硬化型合成樹脂系 AT-アクリル系吹付タイル RP-アクリル系吹付タイル RET-多色吹付吹付タイル CET-キリマゼット系吹付タイル OS-オイル塗り OSCL-オイル塗り(7/7塗装) OSO-油性フィン(8油) OSW-油性フィン(7油) SOP-合成樹脂調合ベント OP-油性調合ベント OC-オイル塗り CL-ケイ酸質系 EP-合成樹脂タイル系 EP-G-艶あり合成樹脂タイル系 EP-T-合成樹脂タイル系 RET-多色吹付吹付タイル EP-M-多色吹付吹付タイル WPP-木材用浸透系染色自然保護塗装 UC-ウレタン樹脂タイル塗り UE-ウレタン樹脂タイル塗り B-UE-接着剤付ウレタン樹脂タイル塗り 2-UE-2液形ウレタン樹脂タイル塗り AC-アクリル樹脂タイル AE-アクリル樹脂タイル塗り OP-接着剤付アクリル樹脂タイル塗り 2-ASE-アクリル樹脂タイル塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂タイル塗り XE-塩化ビニル樹脂タイル XEB-塩化ビニル樹脂タイル焼付 TXE-塩化ビニル樹脂タイル CE-塩化ビニル樹脂タイル塗り LE-ラッカー塗り F-FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形フッ素樹脂タイル塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂タイル塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂タイル塗り FC-フタル酸樹脂タイル ALP-7%以内 ※上記塗材のほか、JASS18による

内部仕上表 - 8

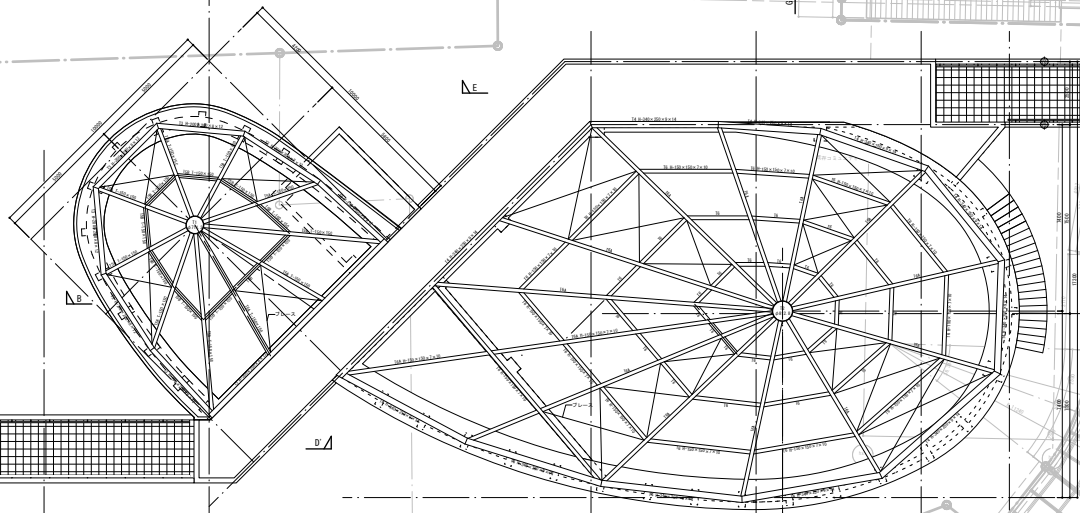
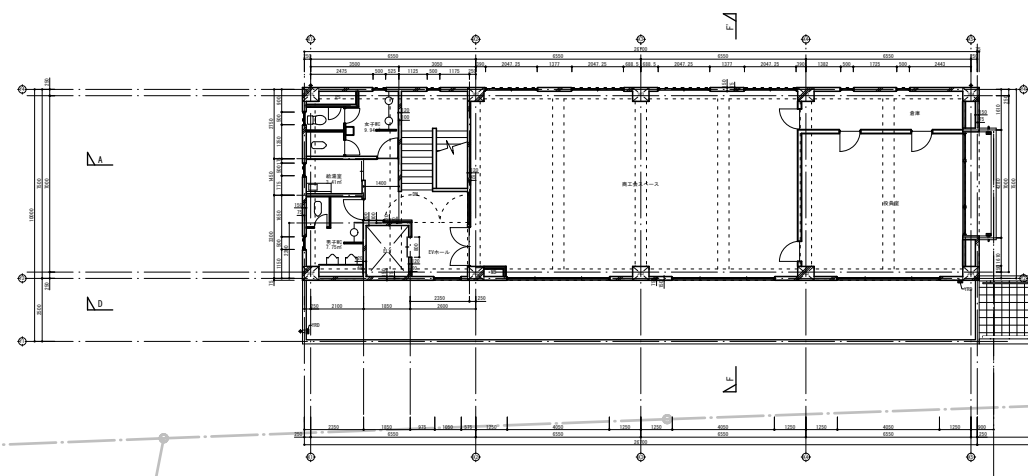
箇所	部位	現況			箇所	改修			符号			備考	
		下地	仕上	処理		部位	下地	仕上	床	壁	天井		
ホール棟 (2F)	ミーティングルーム	床	モルタル塗り	タイルカーペット	仕上撤去	学習室	床	既存LGS下地	乾式二重床の上タイルカーペット500角 t7.5	IF-5			
		巾木	コンクリート	木製巾木H=75の上SOP塗装	仕上撤去		巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装				
		壁	LGS	AEP塗装	既存のまま		壁	既存LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5	間仕切内部	グラスウール t50(密度24kg/m)
			コンクリート	AEP塗装	既存のまま			既存仕上	EP塗装		IW-1		
		天井	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2	
	その他				その他								
	空調機械室	床	コンクリート直押え	モルタル金鍍押え	既存のまま	空調設置スペース	床	既存コンクリート	清掃	IF-8			
		巾木					巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装				
		壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5	間仕切内部	グラスウール t50(密度24kg/m)
								既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50	
		天井	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井	屋根裏・鉄骨架構	清掃の上耐火塗料塗装			IC-5	屋根材裏に硬質ポリウレタンフォーム吹付断熱 t=50
	その他				その他								
映写室	床	乾式二重床	フリーアクセスフロア材の上塗装仕上げ	下地共撤去	貸会議室	床	既存コンクリート	乾式二重床の上タイルカーペット500角 t7.5	IF-5				
	巾木	-	-			巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	コンクリート	コンクリート打ち放しの上撥水材仕上げ	既存のまま		壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5	間仕切内部	グラスウール t50(密度24kg/m)	
							既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	天井	LGS	PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井	屋根裏・鉄骨架構	清掃の上耐火塗料塗装			IC-5		
その他				その他	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2				
バルコニー	床	コンクリート直押え	モルタル金鍍押え	既存のまま	荷物置場	床	既存コンクリート	清掃	IF-8				
	巾木					巾木		MDF巾木H=40の上SOP塗装					
	壁	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		壁	新設LGS	GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-5	間仕切内部	グラスウール t50(密度24kg/m)	
							既存コンクリート	LGS+GB-R t12.5+9.5の上EP塗装		IW-2	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA(熱伝導率0.028W/m・K以下) t50		
	天井	コンクリート	打放しのまま	既存のまま		天井	屋根裏・鉄骨架構	清掃の上耐火塗料塗装			IC-5	屋根材裏に硬質ポリウレタンフォーム吹付断熱 t=50	
その他				その他									
調整室	床	乾式二重床	フリーアクセスフロア材の上タイルカーペット	下地共撤去	回廊2 (屋外)	床	モルタル下地	磁器質タイル300角 t10	EF-2				
	巾木	-	-			巾木							
	壁	LGS	PB t=12.5の上AEP塗装	下地共撤去		壁	既存コンクリート	外部仕上による					
							新設CB	GB-R t12.5の上EP塗装		IW-4			
	天井	LGS	PB t=9.5のAEP塗装	下地共撤去		天井		外部仕上による					
その他				その他									
回廊	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	中回廊 (屋内)	床	既存モルタル	ビニル床タイル300角 t2.5	IF-1				
	巾木	コンクリート	AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装					
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	既存仕上	EP塗装			IW-1		
							天井	新設LGS	GB-R t12.5の上EP塗装			IC-2	
	天井	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		その他							
その他													
回廊2 (半屋外)	床	モルタル塗り	磁器質タイル300角 t20 (LIBERTEナチュラルテラコッタ)	既存のまま	回廊2 (半屋外)	床	既存仕上	既存仕上(磁器質タイル300角t20)ポリッシャー清掃	EF-1		回廊2(屋外) (2階部分)は外部仕上表参照		
	床	モルタル塗り	長尺塩ビシート (現況: 屋内)	既存のまま		床	既存仕上	清掃					
	巾木		AEP塗装 (コンクリート目地 h=75の位置)	既存のまま		巾木		EP塗装					
	壁	コンクリート	AEP塗装	既存のまま		壁	新設LGS	GB-S t12.5+フレキシブルボードt8.0の上EP塗装		EW-7			
							既存仕上	EP塗装		EW-2			
天井	コンクリート	AEP塗装	既存のまま	天井	既存仕上	EP塗装			IC-1				
その他		ショーケース	撤去	その他									

【特記事項】	【凡例(仕上関係)】
<p>令第114条 防火上主要な間仕切壁：乾式耐火、遮音壁は特記仕様によるほか、下記によるLGS下地(千鳥配置総幅t75)の上、強化石膏ボードt21(両面)+硬質石膏ボードt9.5張り(両面)+EP-G国土交通省1時間耐火構造認定:FPO60NP-0473-1(2)遮音構造認定:S01-0170-1間仕切内部 グラスウールt50(密度24kg/m)</p>	<p>OS-オイルフィニッシュ OSQ-オイルフィニッシュ(クワ塗装) OSD-油性フィニッシュ(油) OSW-油性フィニッシュ SOP-合成樹脂調合ベイト OP-油性調合ベイト OC-オイルフィニッシュ CL-ガラスカーテン EP-合成樹脂フィニッシュベイト塗り EP-G-艶あり合成樹脂フィニッシュ塗り EP-T-合成樹脂フィニッシュ模様塗り RET-艶あり樹脂吹付タイル CET-艶あり樹脂吹付タイル</p> <p>UC-ウレタン樹脂フィニッシュ塗り UE-ウレタン樹脂フィニッシュ塗り B-UE-接着ウレタン樹脂フィニッシュ塗り 2-UE-2液形ウレタン樹脂フィニッシュ塗り AC-アクリル樹脂フィニッシュ塗り AE-アクリル樹脂フィニッシュ塗り B-AE-接着アクリル樹脂フィニッシュ塗り 2-ASE-アクリル樹脂フィニッシュ塗り VE(VP含む)-塩化ビニル樹脂フィニッシュ塗り XE-塩化ビニル樹脂フィニッシュ塗り XEB-塩化ビニル樹脂フィニッシュ焼付 TXE-塩化ビニル樹脂フィニッシュ焼付 CE-塩化ビニル樹脂フィニッシュ塗り</p> <p>LE-ラッカーフィニッシュ塗り F・FU-フッ素樹脂塗装 2-FUE-常温乾燥形ふっ素樹脂フィニッシュ塗り B-FUE-焼付フッ素樹脂フィニッシュ塗り FE(FP含む)-フタル酸樹脂フィニッシュ塗り FC-フタル酸樹脂フィニッシュ塗り ALP-7%シリコンベイト ※上記塗材のほか、JASS18による</p> <p>CoF-コンクリート金鍍 MoF-モルタル金鍍 MoF-モルタル金鍍 OA-配線用二重床 FF-乾式二重床 SLV-セラムベリウム材 NC-ビニル床シート CT-ビニル床シート(半硬質) CTS-ビニル床シート(軟質) HT-樹脂タイル床シート VT(E)-帯電防止ビニル床シート CP-カーペット TOP-タイルカーペット</p> <p>VB-ビニル巾木 WB-木巾木 Vクロス-ビニルクロス Mクロス-無機質クロス Gクロス-ガラスクロス GW-ガラスウール RW-グラスウール FP(G)-ポリスチレンフォーム保温材裏打石膏ボード FP(P)-ポリスチレンフォーム保温材裏打石膏ボード HT-樹脂タイル床シート VT(E)-帯電防止ビニル床シート GB-F(V)-強化石膏ボード(網子繊維入り) GB-F(N)-強化石膏ボード(網子繊維入り)</p> <p>GB-RH-硬質石膏ボード GB-St-構造用石膏ボード GB-L-石膏ラスボード GB-P-吸音用穴あき石膏ボード GB-PS-特殊吸音穿孔石膏ボード GB-D-化粧石膏ボード GB-DQ-化粧石膏ボード(タテ型) GB-D(W)-化粧石膏ボード(木目) GB-NC(T)-不燃積層石膏ボード(木目) GB-NC(T)-不燃積層石膏ボード(下地張り用) FLB-フレキシブルボード GB-F(V)-強化石膏ボード(網子繊維入り) DR-岩綿化粧吸音板</p>

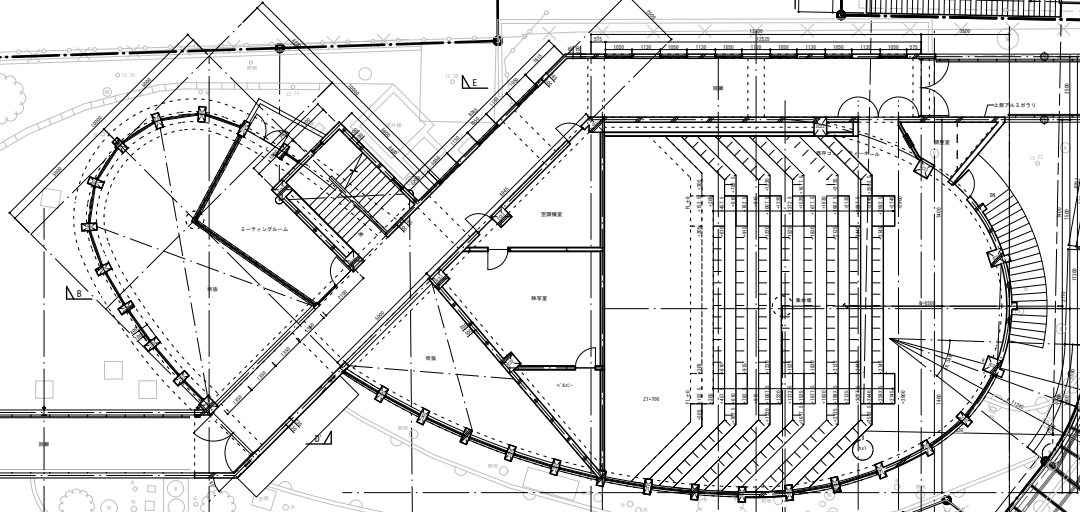
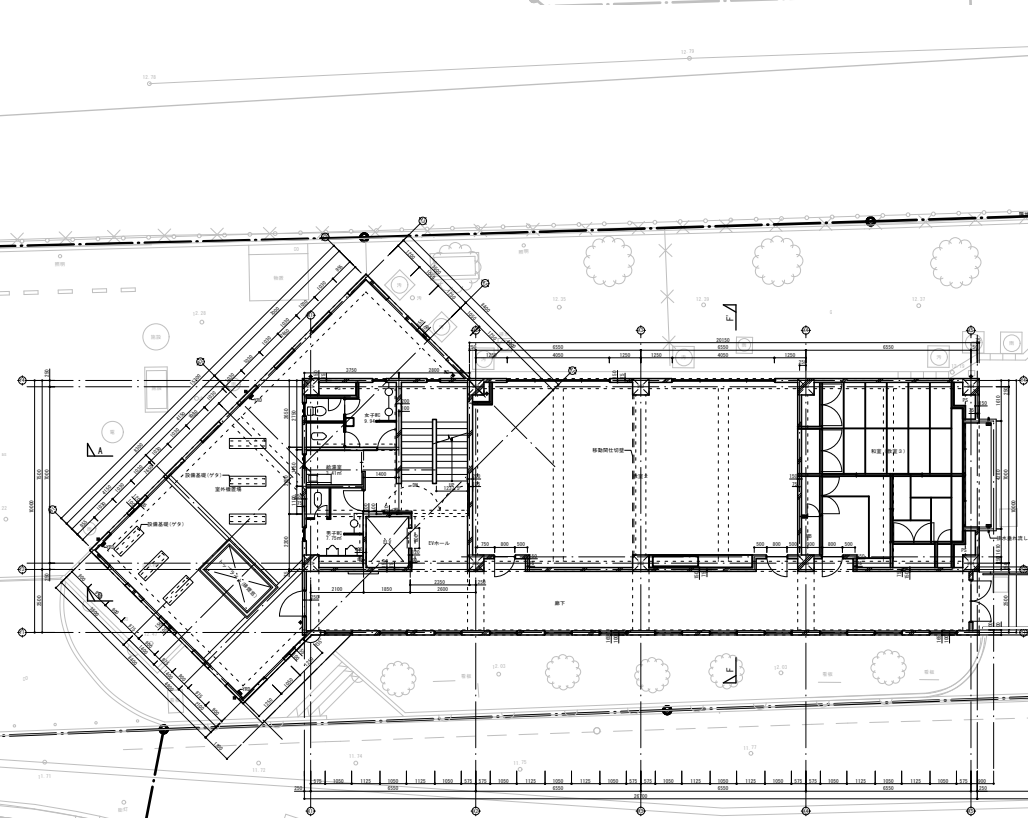


配置図兼1階平面図 S=1/300

松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティーセンター改修工事	architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing	scale A1:1/150 A3:1/300 date	title 1F現況平面図	sheet number GA-01
--	-------------------------------	-----------------------------------	---------	------------------------------------	------------------	-----------------------



3階平面図 S=1/300



2階平面図 S=1/300

松田平田・山・山堀共同企業体
一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号

project
双葉町コミュニティセンター改修工事

architect
一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾

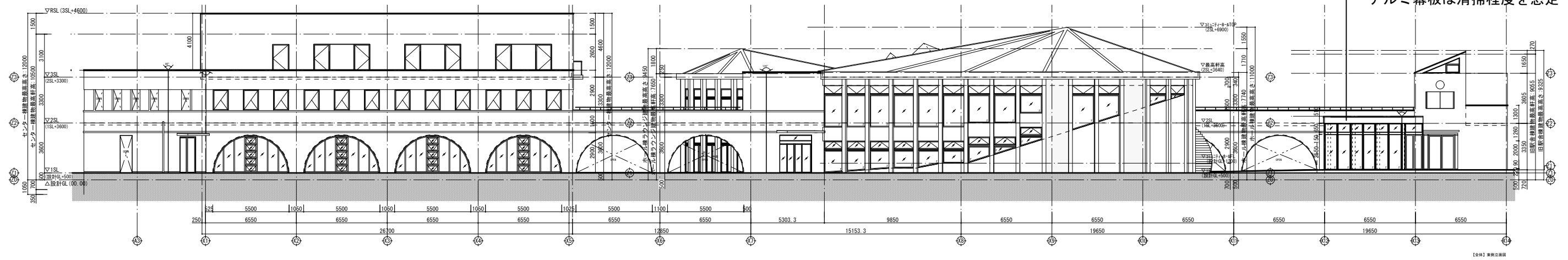
drawing

scale A1:1/150
A3:1/300
date

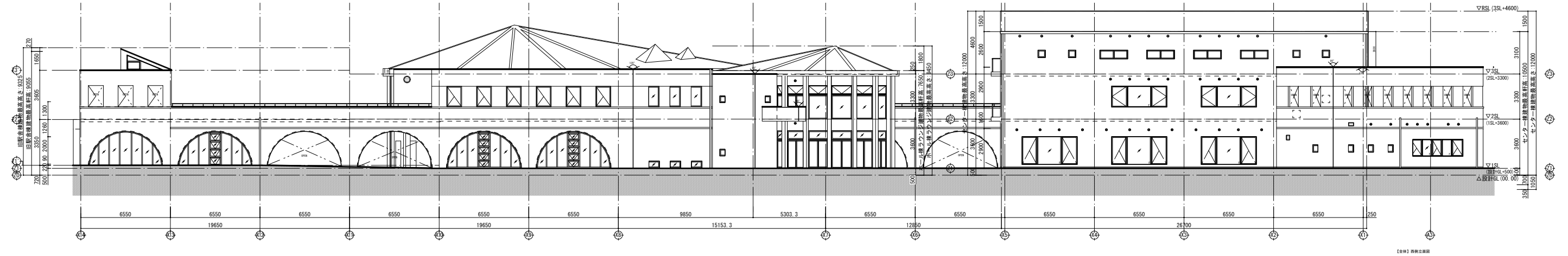
title
2・3F現況平面図

sheet number
GA-02

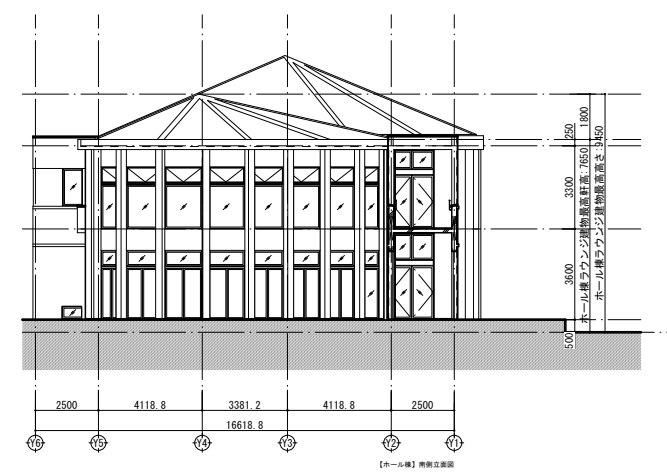
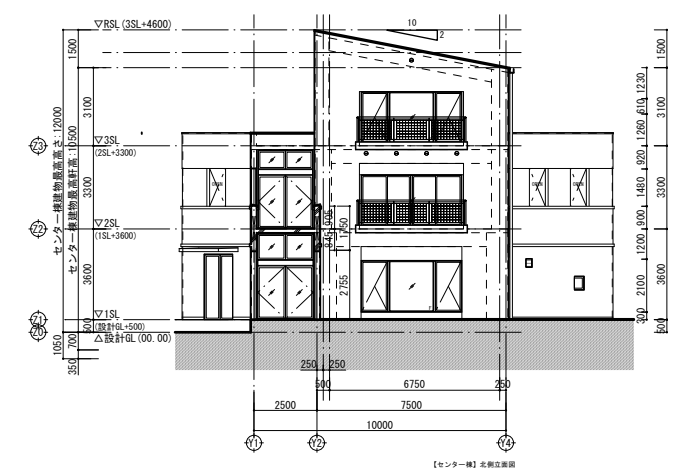
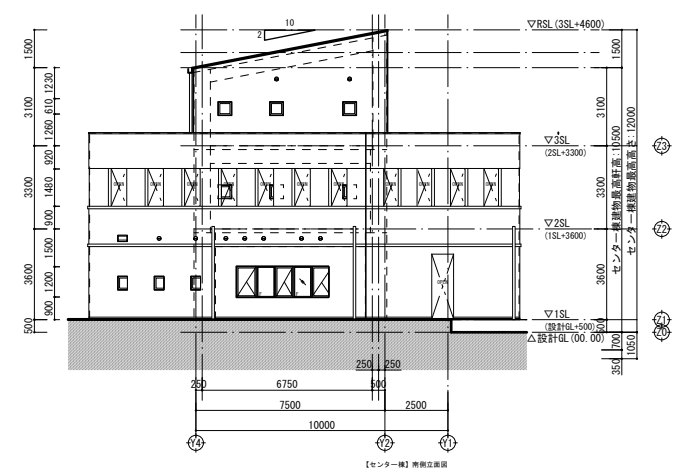
アルミ幕板は清掃程度を想定



東側立面図 S=1/300

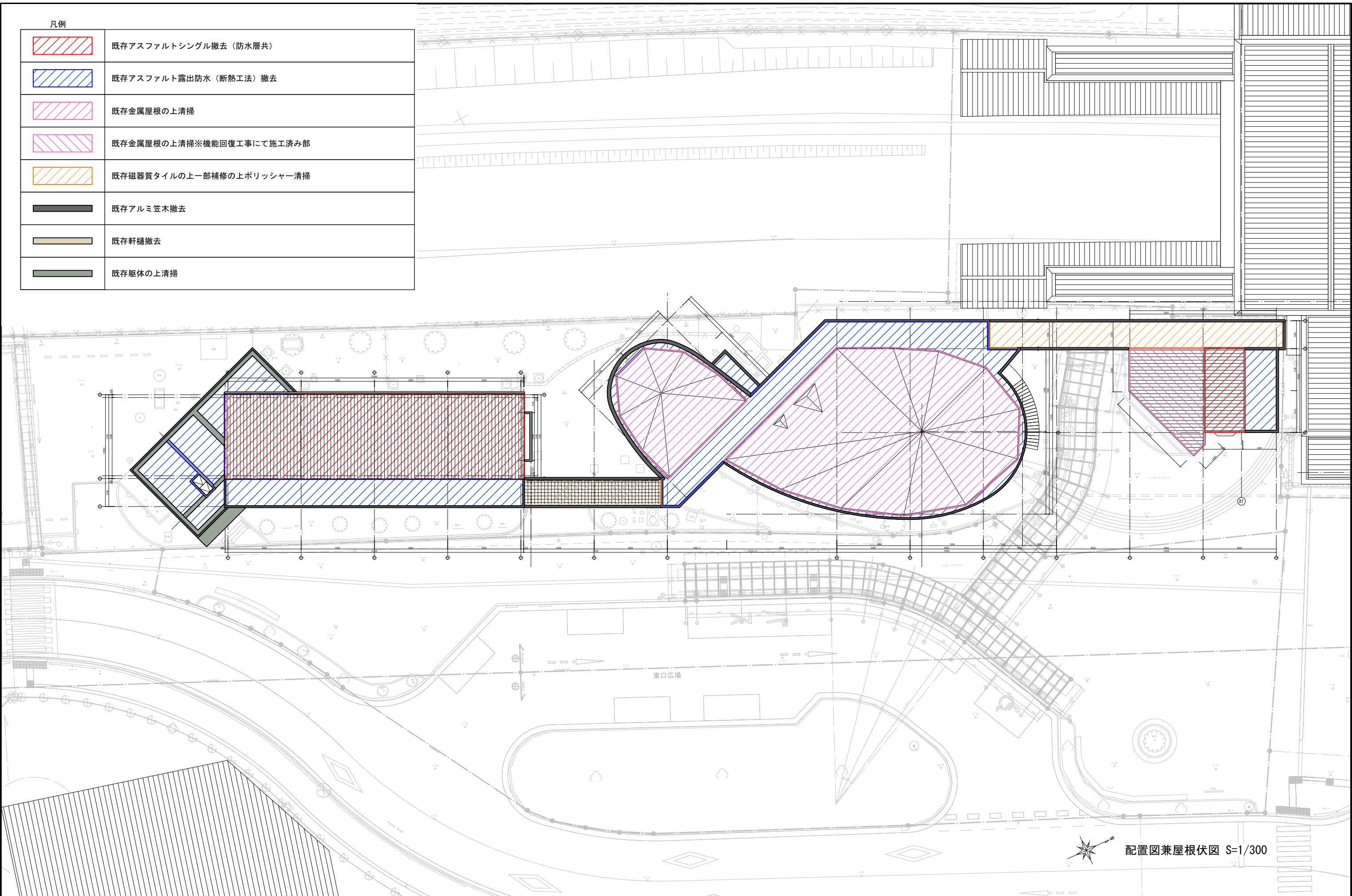


西側立面図 S=1/300



松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティセンター改修工事		architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing	scale A1:1/150 A3:1/300 date	title 現況立面図	sheet number GA-03
--	------------------------------	--	-----------------------------------	---------	------------------------------------	----------------	-----------------------

凡例	
	既存アスファルトシングル撤去（防水層共）
	既存アスファルト露出防水（断熱工法）撤去
	既存金属屋根の上清掃
	既存金属屋根の上清掃※機能回復工事にて施工済み部
	既存磁器質タイルの上一部補修の上ポリッシャー清掃
	既存アルミ笠木撤去
	既存軒樋撤去
	既存躯体の上清掃

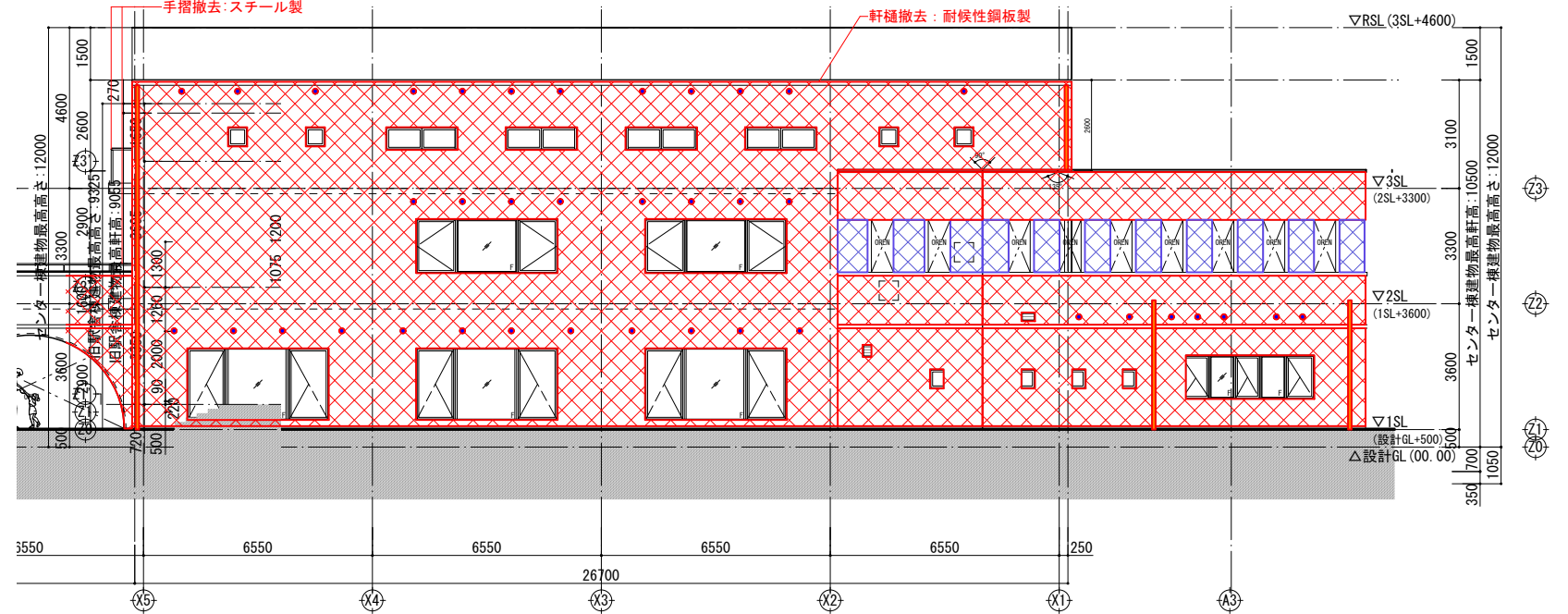
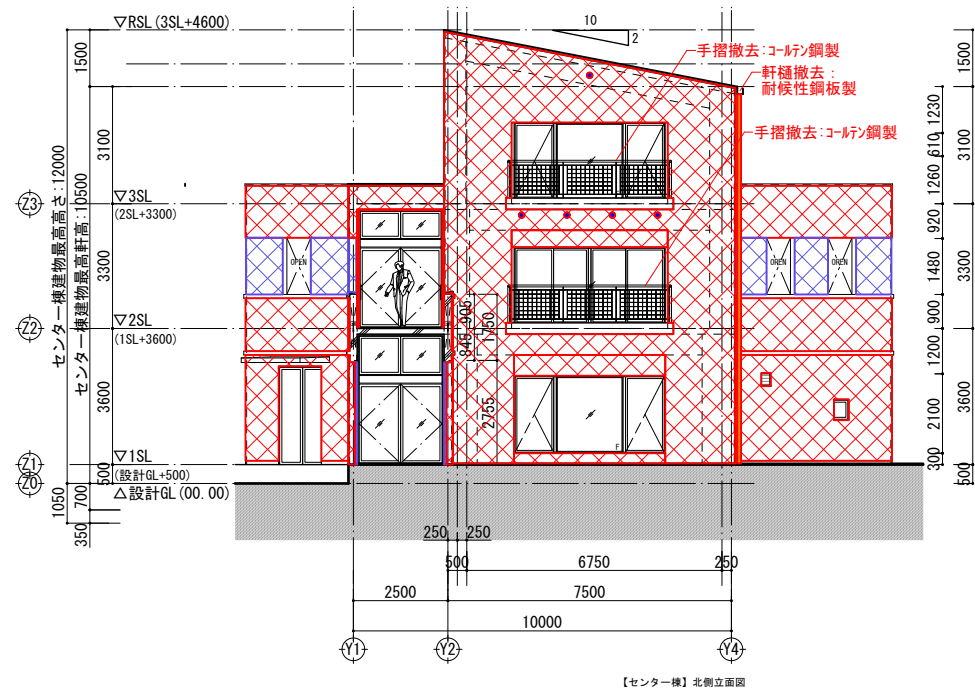
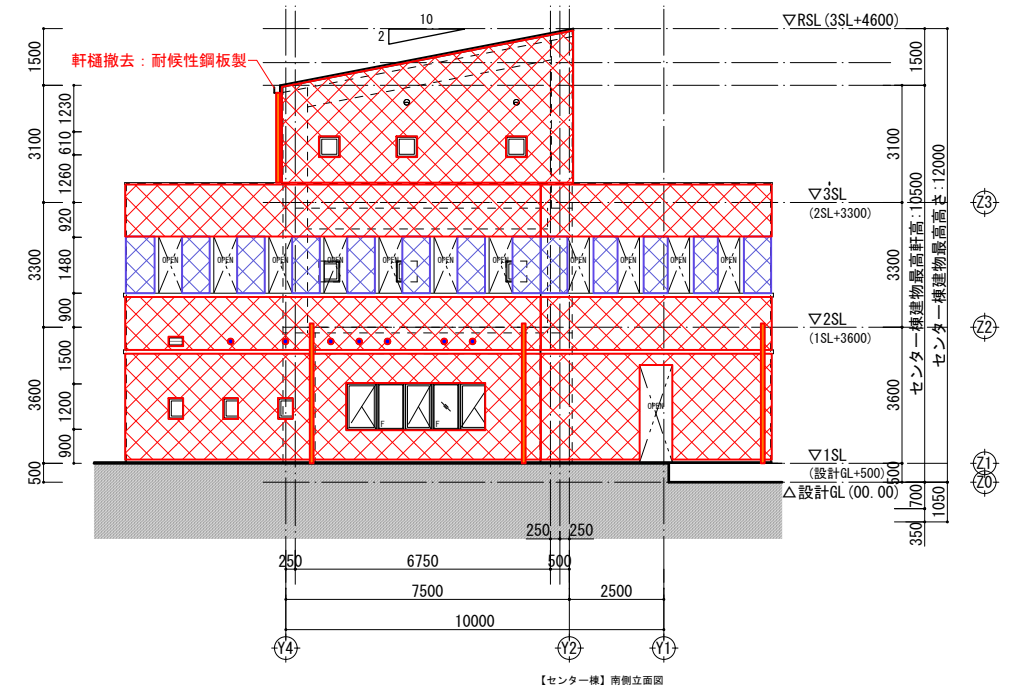
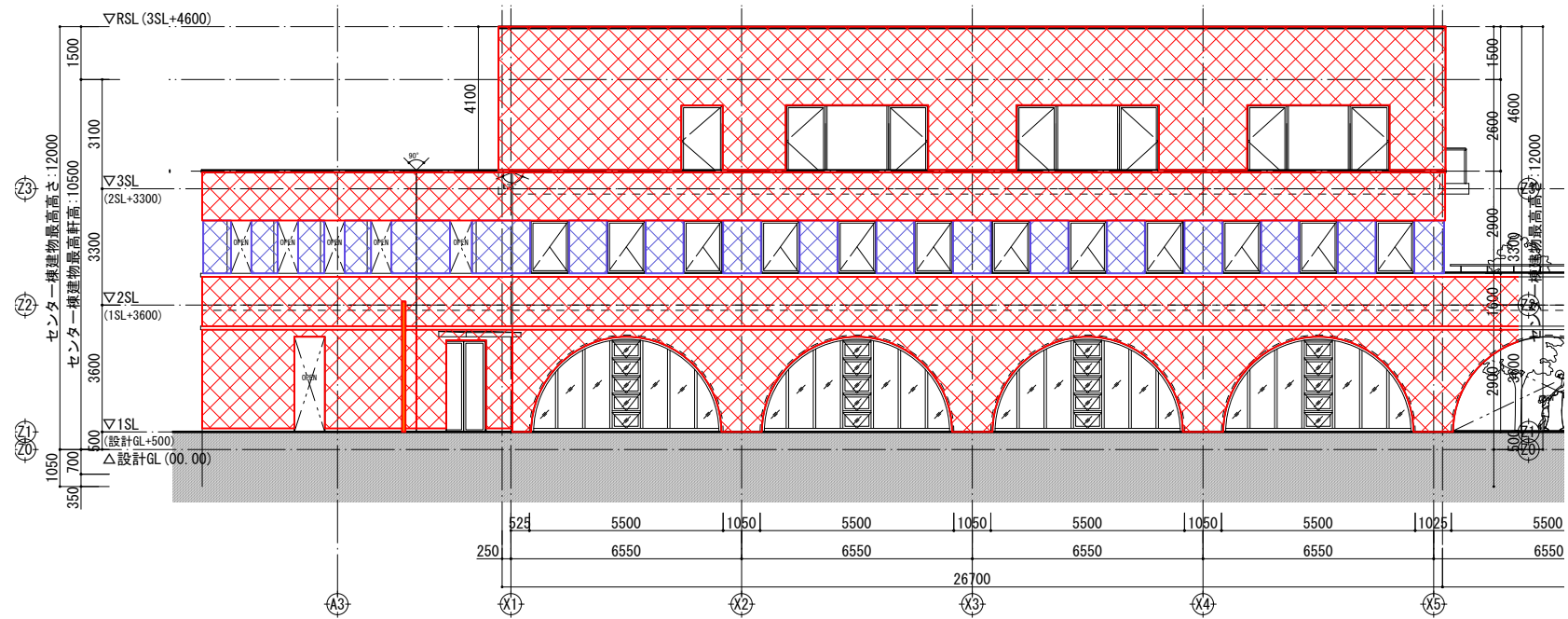


東口広場



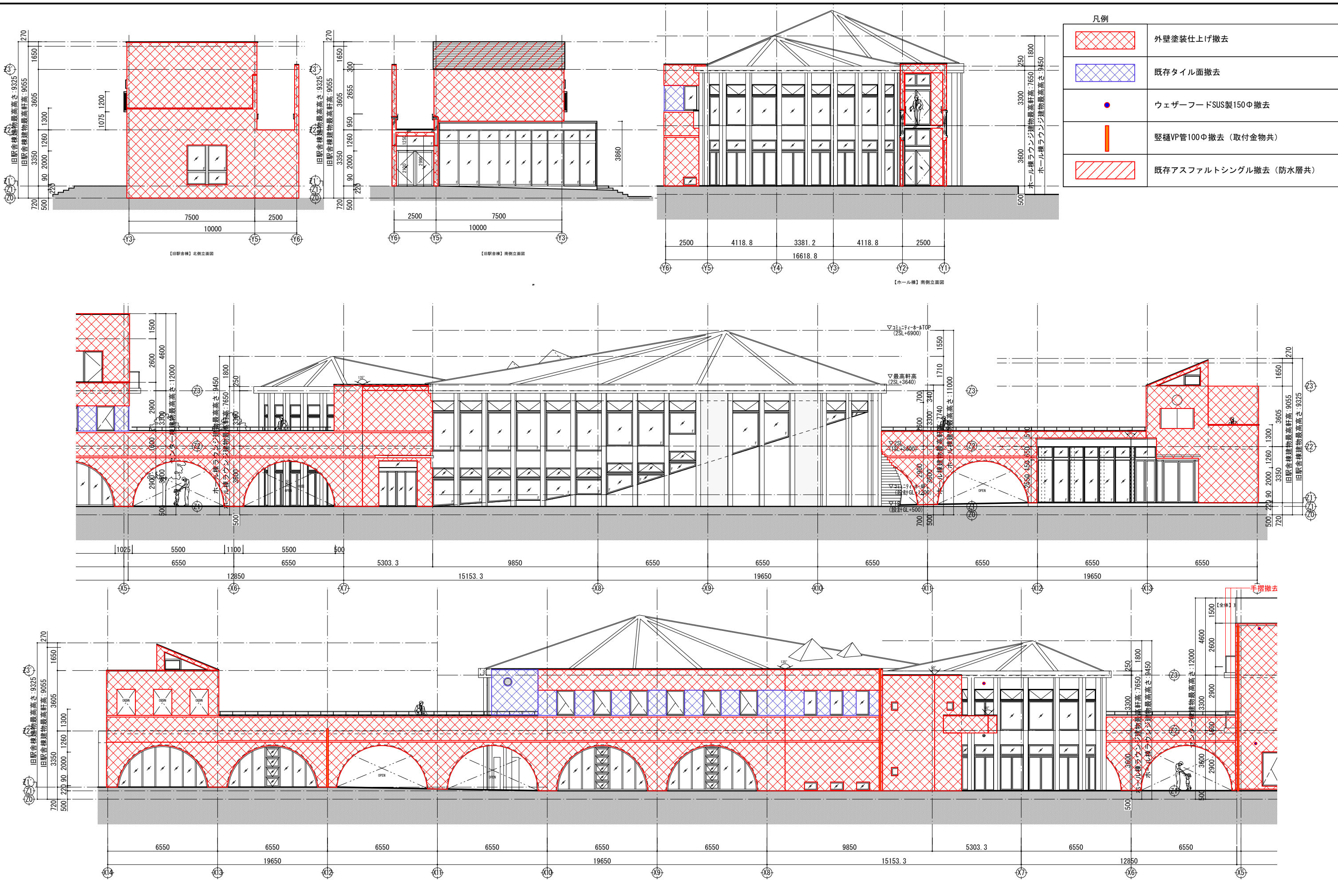
配置図兼屋根伏図 S=1/300

松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティセンター改修工事				architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing	scale A1:1/150 A3:1/300	title 屋根修繕図	sheet number TA-01
							date		



凡例

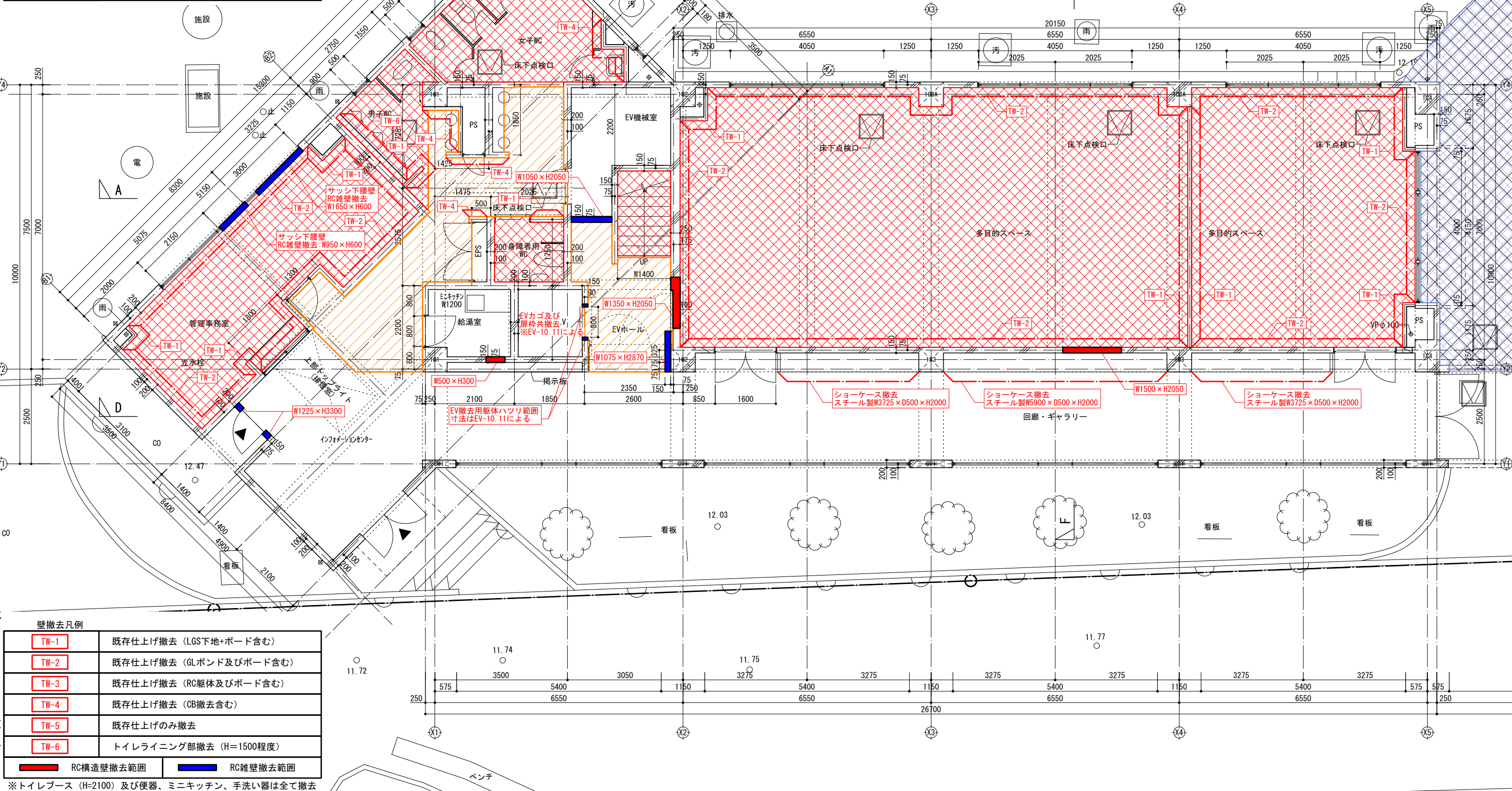
	外壁塗装仕上げ撤去
	既存タイル面撤去
	ウェザーフードSUS製150φ撤去
	縦樋VP管100φ撤去（取付金物共）



凡例	
	外壁塗装仕上げ撤去
	既存タイル面撤去
	ウェザーフードSUS製150φ撤去
	縦樋VP管100φ撤去（取付金物共）
	既存アスファルトシングル撤去（防水層共）

床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリーアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)



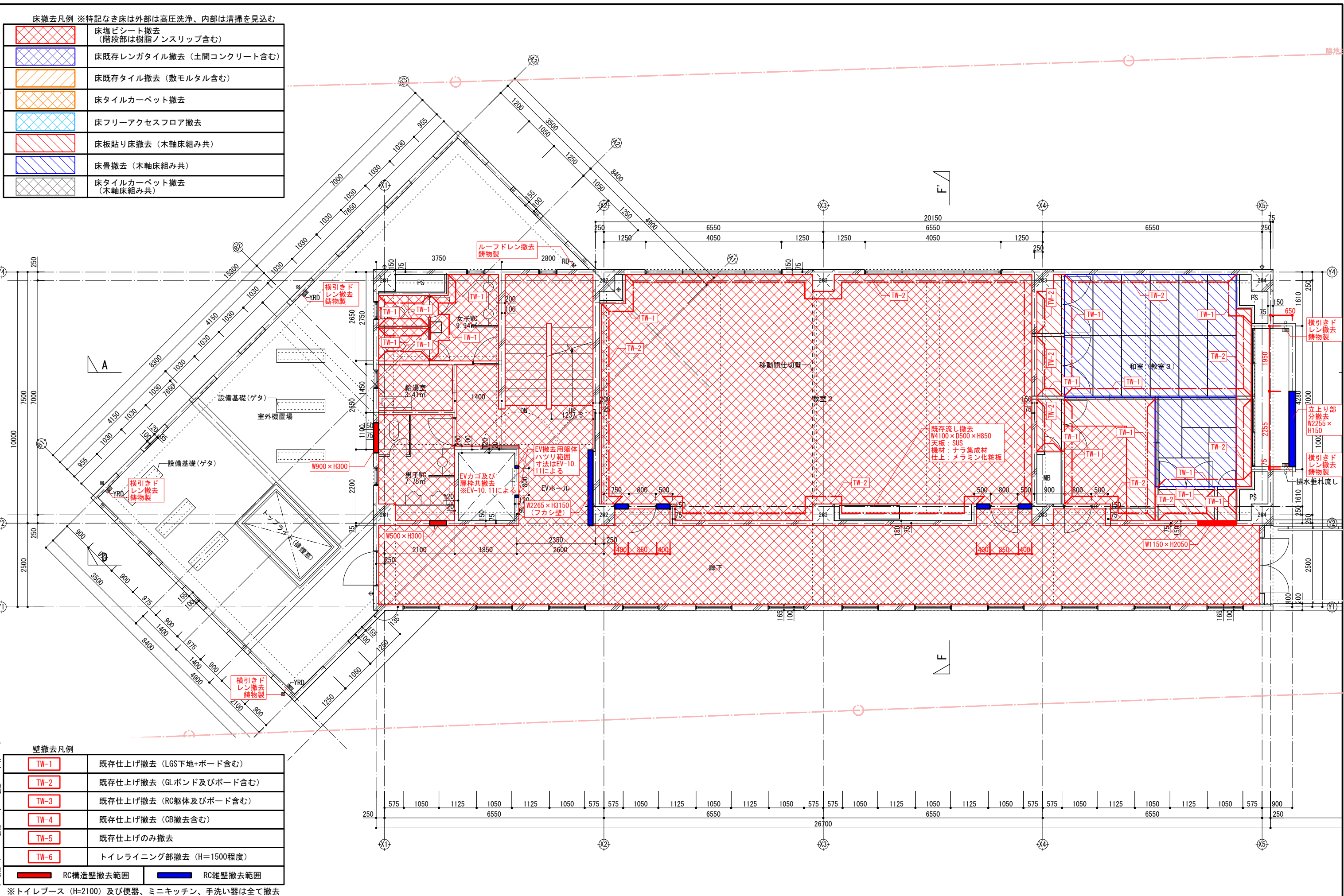
壁撤去凡例

	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	既存仕上げのみ撤去
	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗いは全て撤去

床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリーアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)



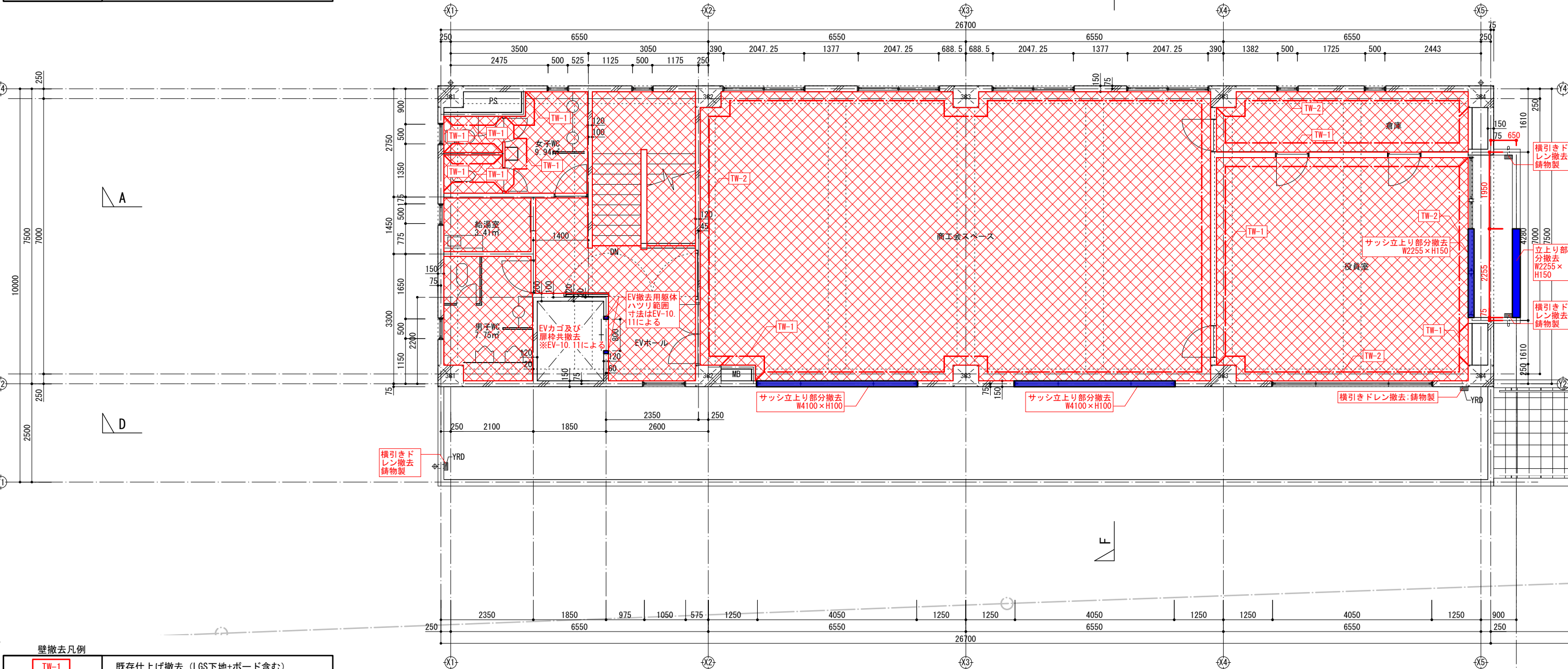
壁撤去凡例

	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	既存仕上げのみ撤去
	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗い器は全て撤去

床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

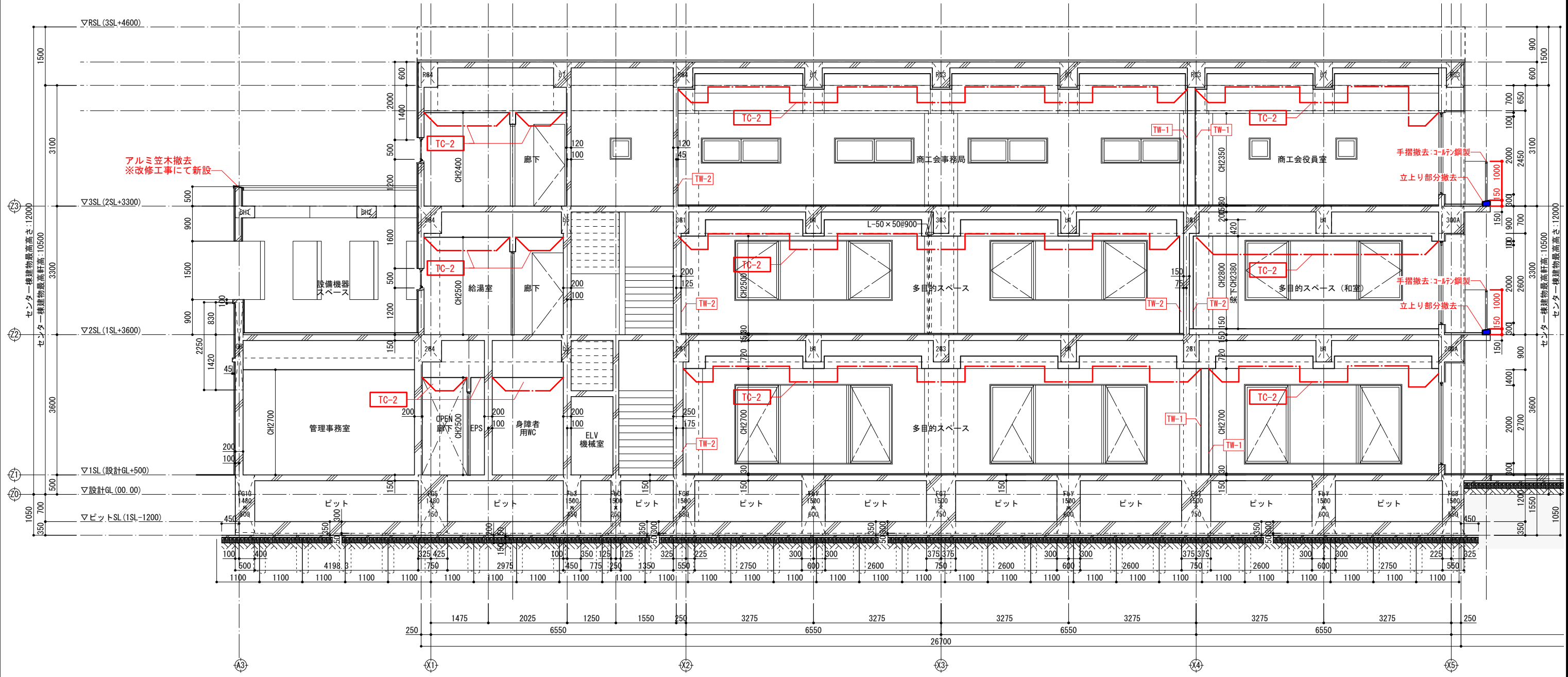
	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリーアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)



壁撤去凡例

	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	既存仕上げのみ撤去
	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗い器は全て撤去



A-A' section

壁撤去凡例

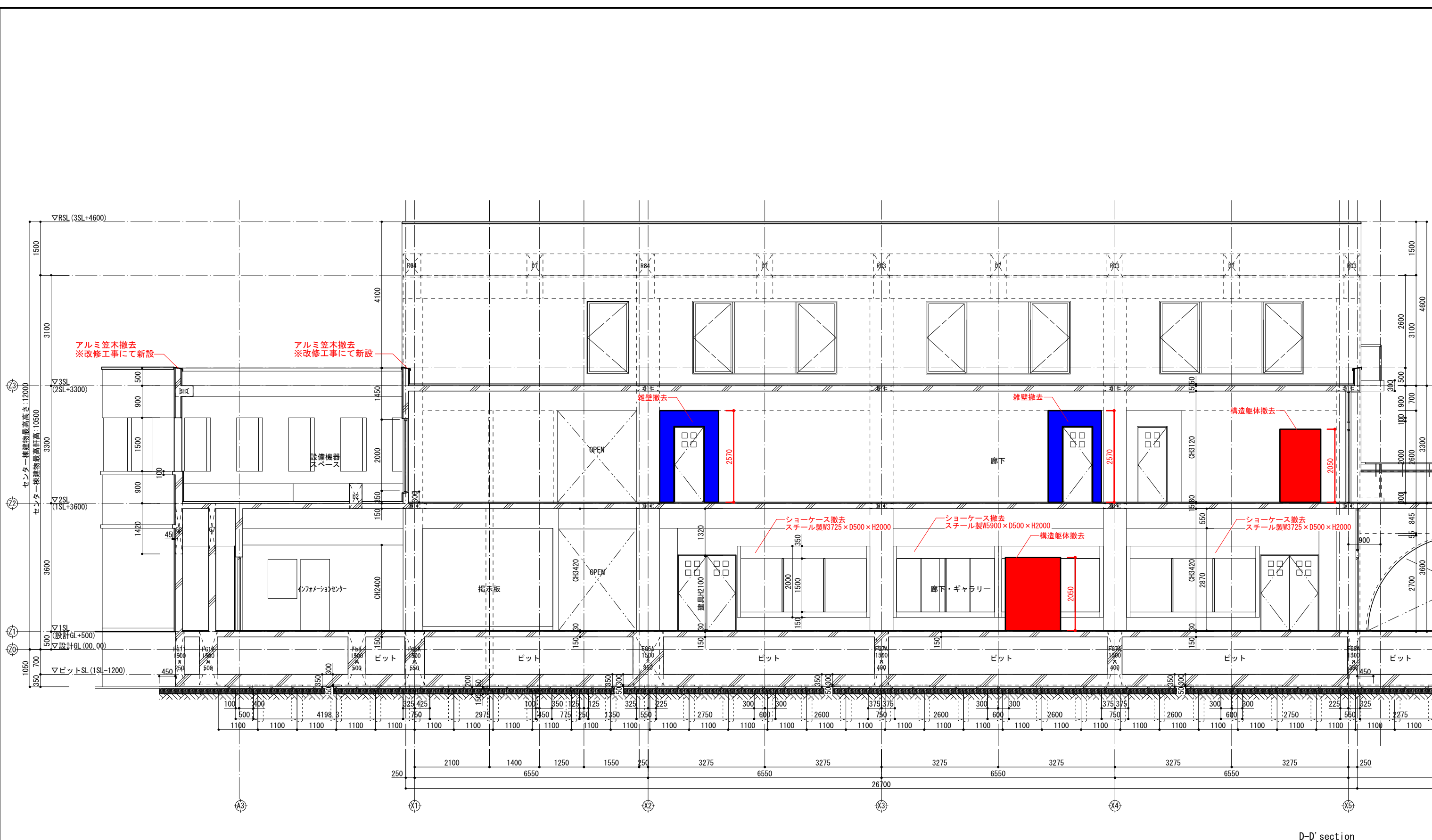
TW-1	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
TW-2	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
TW-3	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
TW-4	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
TW-5	既存仕上げのみ撤去
TW-6	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗いは全て撤去

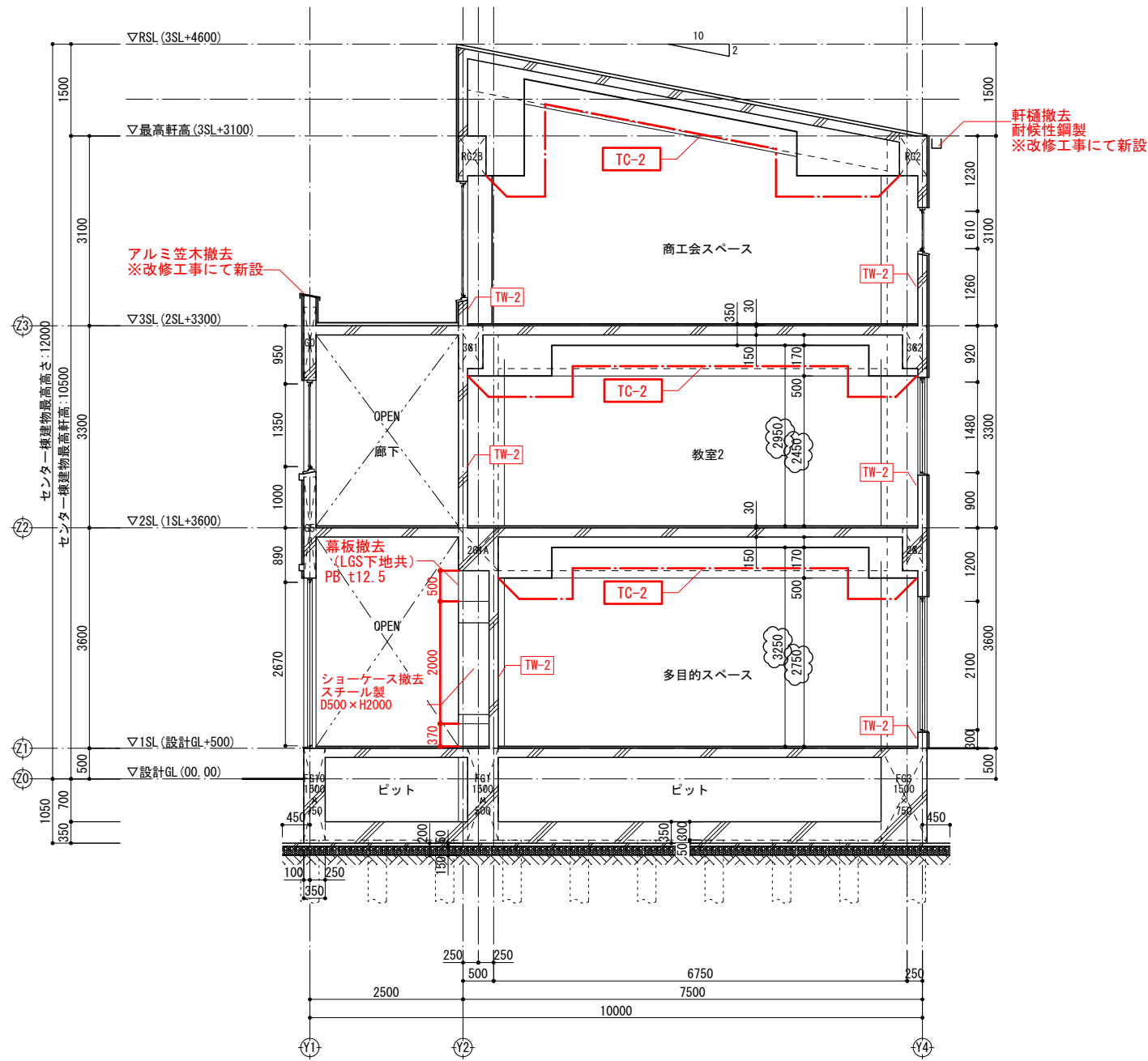
※壁撤去範囲は平面詳細図を確認すること
※建具撤去は建具表を確認すること



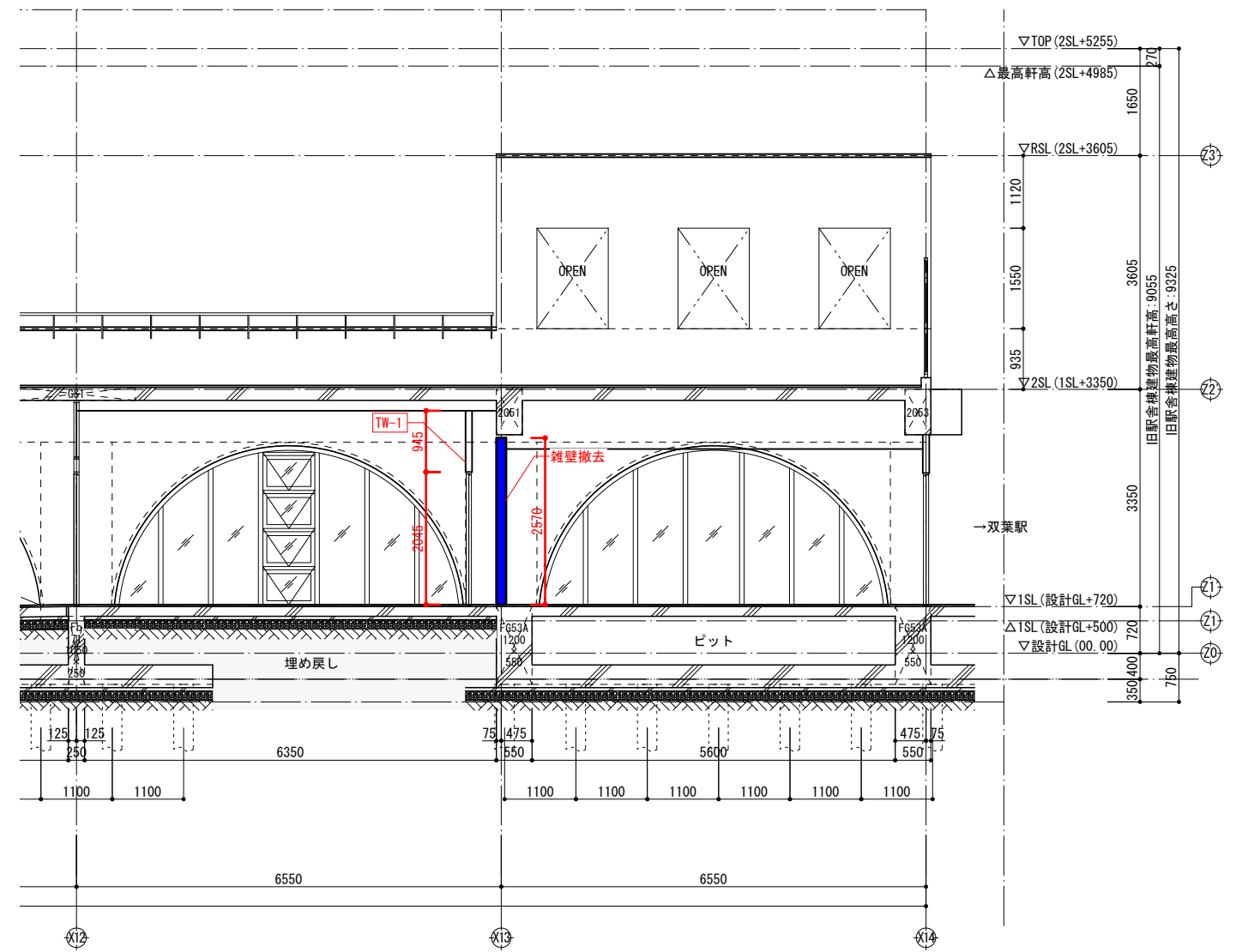
D-D' section

※壁撤去範囲は平面詳細図を確認すること
 ※建具撤去は建具表を確認すること

松田平田・山・山堀共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号	project 双葉町コミュニティセンター改修工事	architect 一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾	drawing scale A1:1/50 A3:1/100 date	title センター棟断面撤去図-2	sheet number TA-08
--	------------------------------	-----------------------------------	--	-----------------------	-----------------------



F-F' section



E-E' section

軒構撤去
耐震性鋼製
※改修工事にて新設

アルミ笠木撤去
※改修工事にて新設

幕板撤去
(LGS下地共)
PB t12.5

ショーケース撤去
スチール製
D500×H2000

雑壁撤去

壁撤去凡例

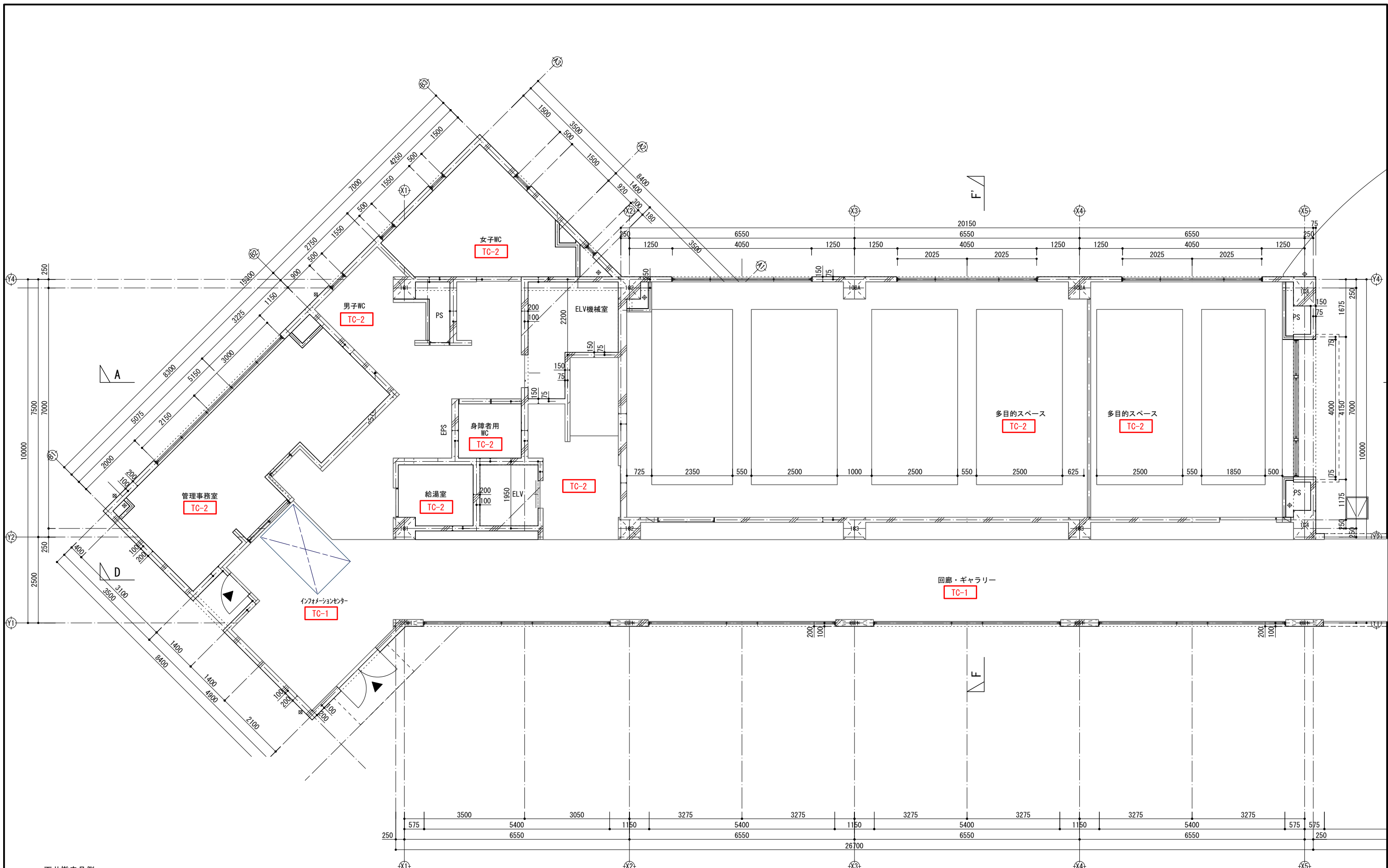
TW-1	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
TW-2	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
TW-3	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
TW-4	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
TW-5	既存仕上げのみ撤去
TW-6	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)

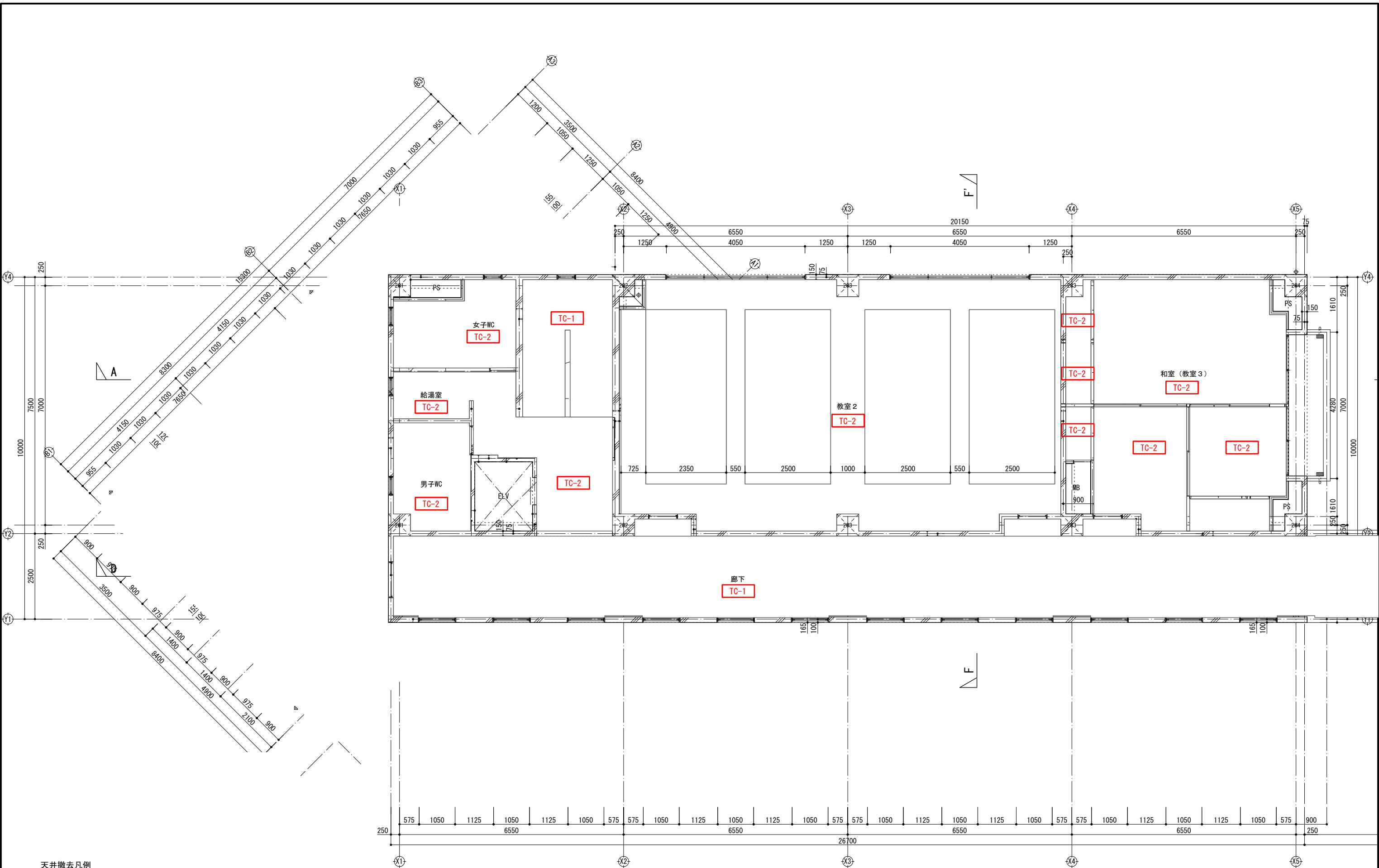
※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗い器は全て撤去

※壁撤去範囲は平面詳細図を確認すること
※建具撤去は建具表を確認すること



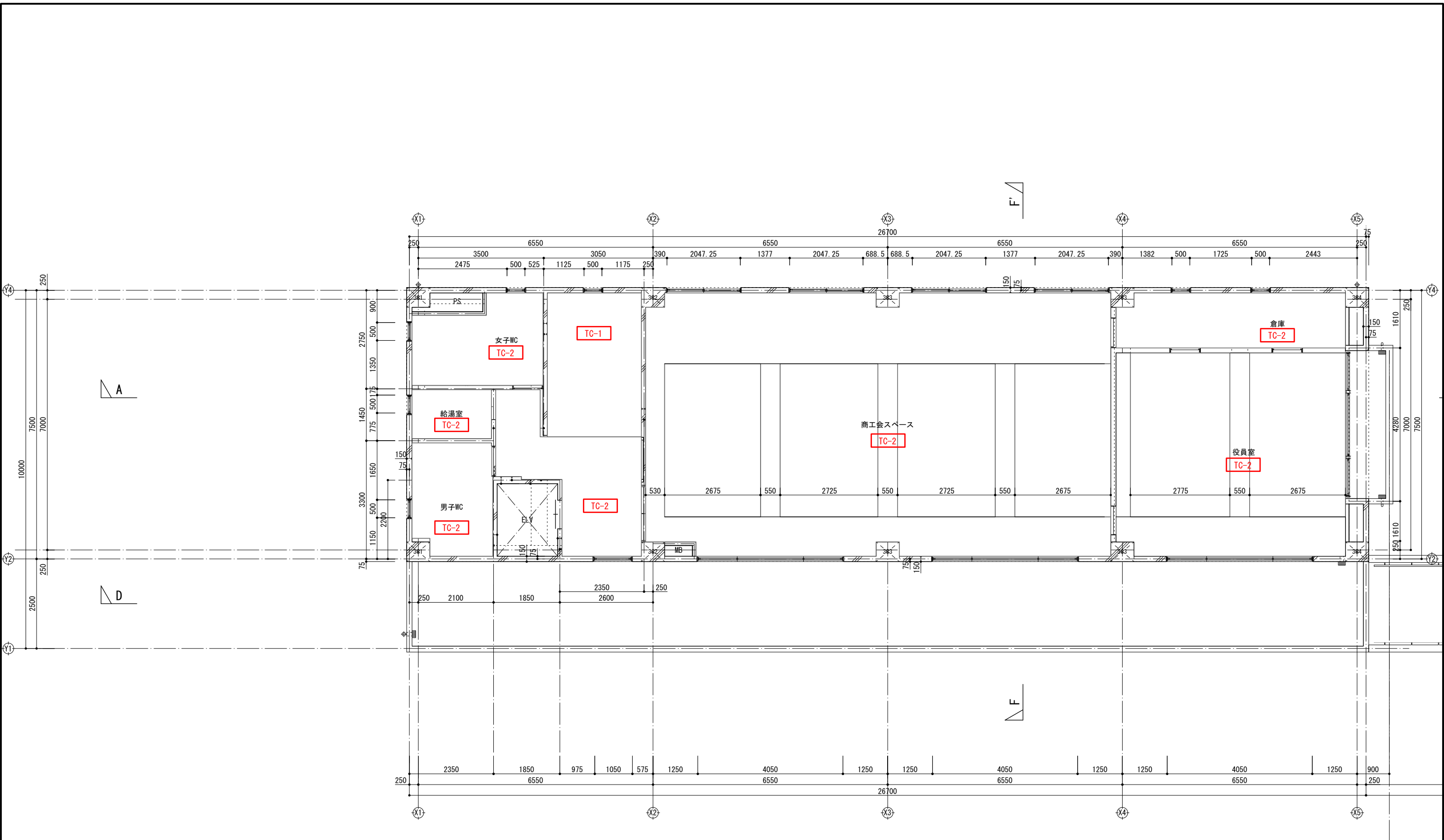
天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)



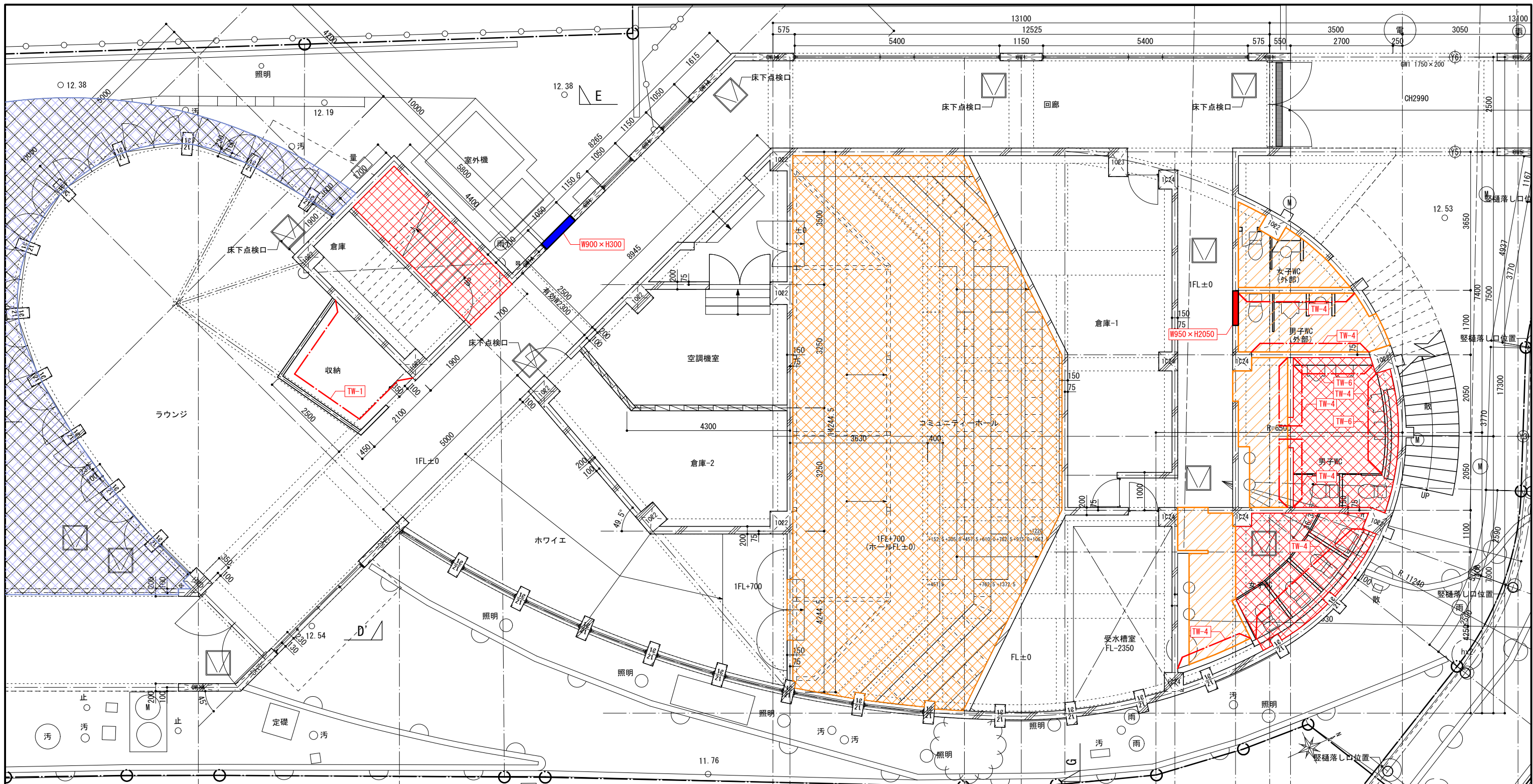
天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)



天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)



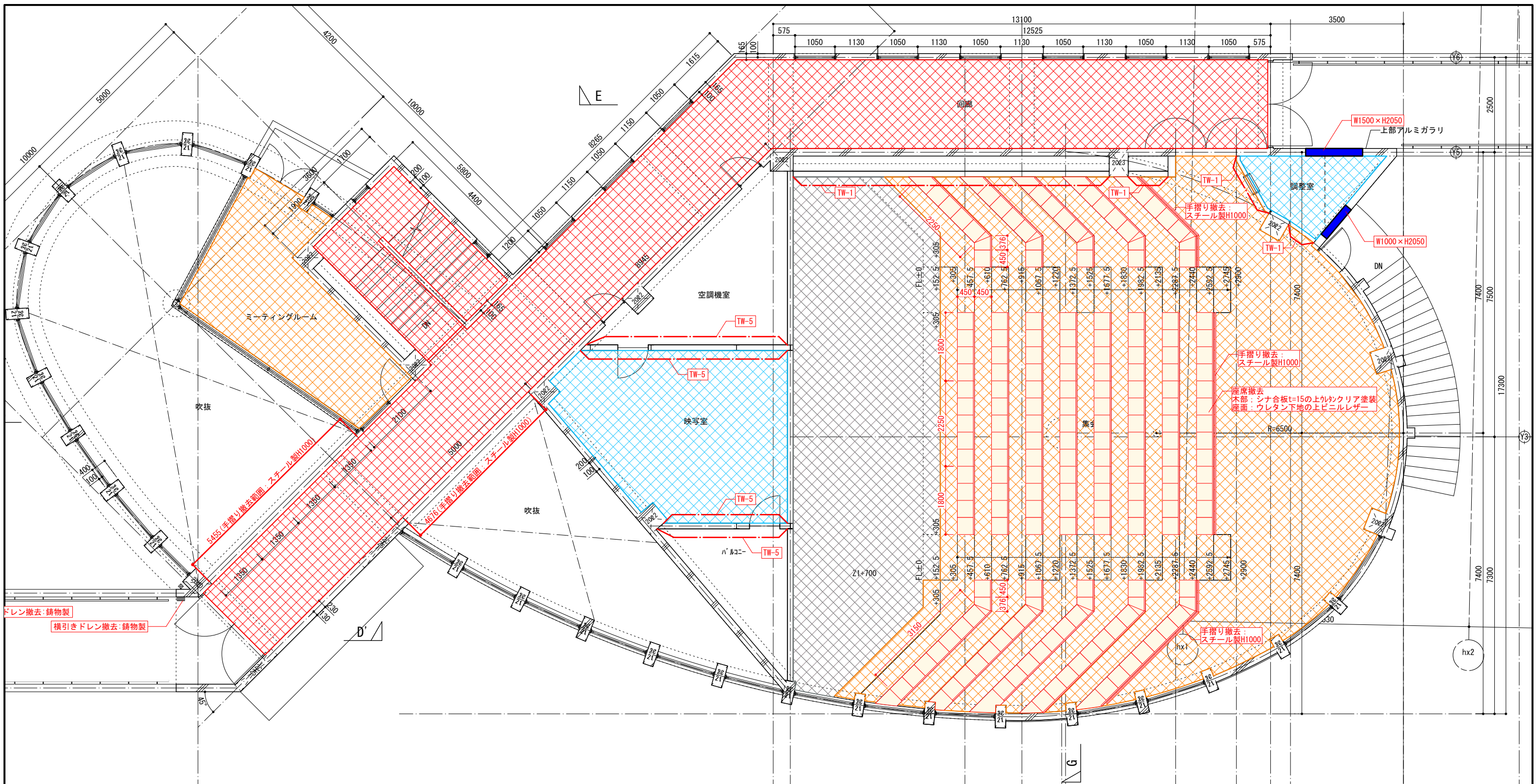
床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリースアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)

壁撤去凡例

	TW-1	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	TW-2	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
	TW-3	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	TW-4	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	TW-5	既存仕上げのみ撤去
	TW-6	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
		RC構造壁撤去範囲
		RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗いは全て撤去



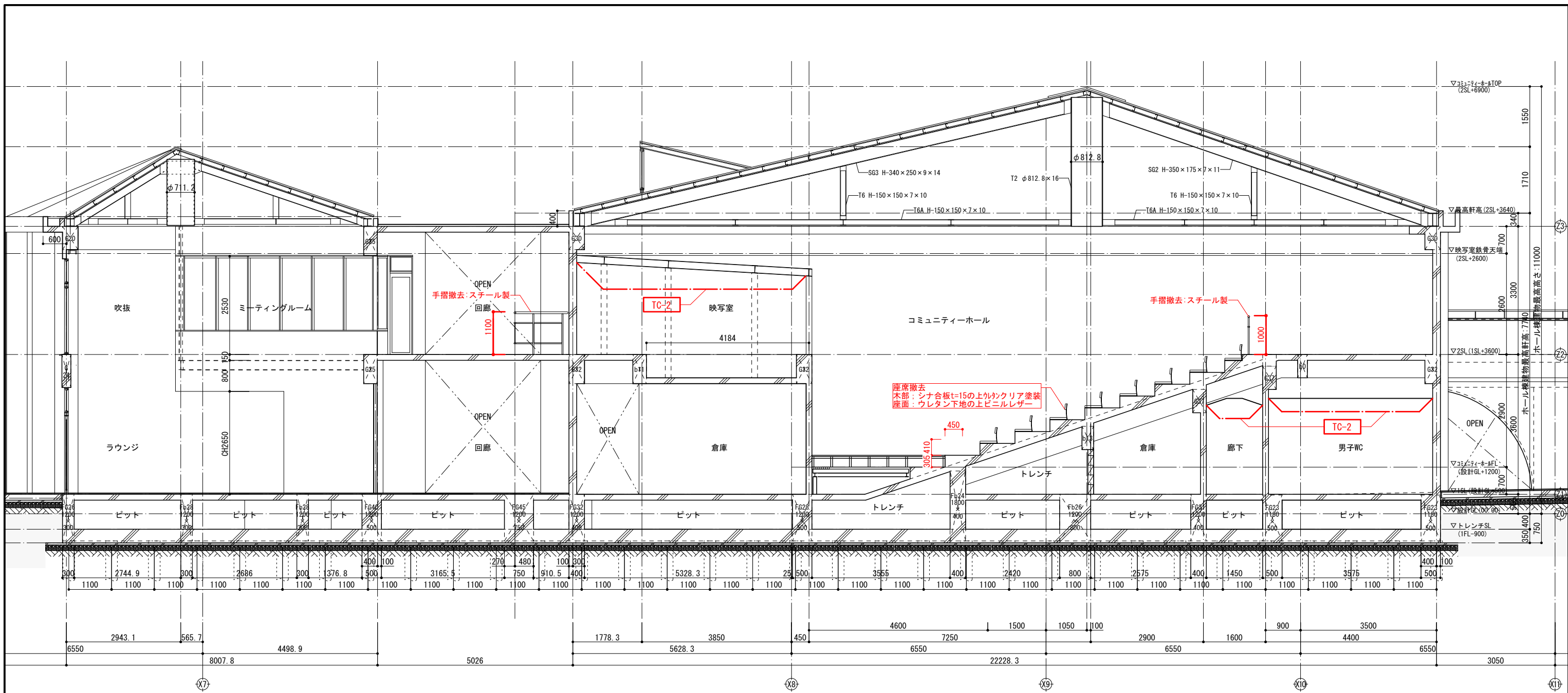
床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリーアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)

壁撤去凡例

	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	既存仕上げのみ撤去
	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗い器は全て撤去



B-B' section

壁撤去凡例

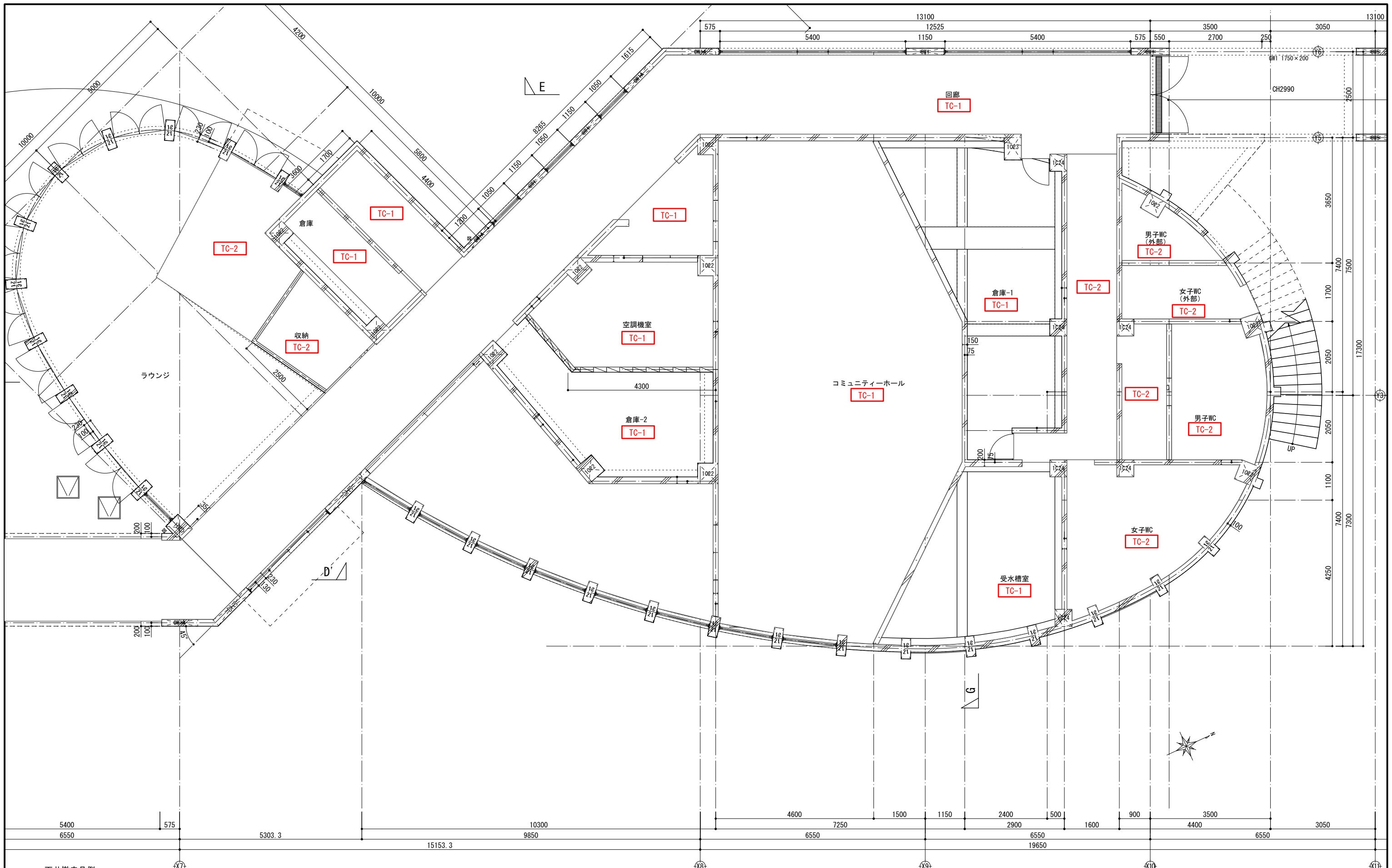
TW-1	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
TW-2	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
TW-3	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
TW-4	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
TW-5	既存仕上げのみ撤去
TW-6	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
RC	RC構造壁撤去範囲
RC	RC雑壁撤去範囲

天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗いは全て撤去

※壁撤去範囲は平面詳細図を確認すること
 ※建具撤去は建具表を確認すること



天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)

松田平田・山・山堀共同企業体
一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号

project
双葉町コミュニティセンター改修工事

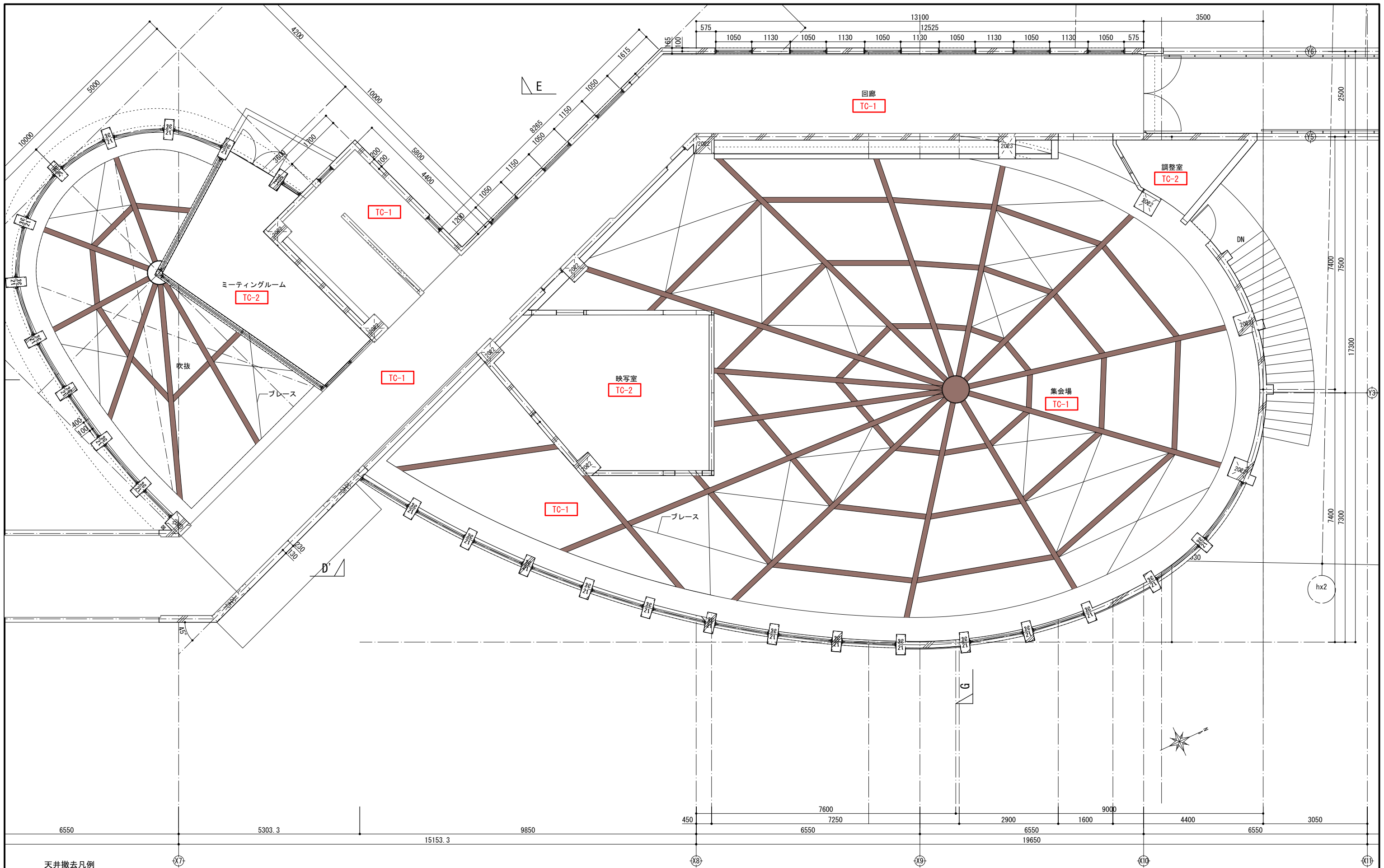
architect
一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾

drawing

scale A1:1/50
A3:1/100
date

title
ホール棟 1F
撤去天井伏図

sheet number
TA-16



天井撤去凡例

TC-1	既存のまま
TC-2	既存仕上げ撤去 (LGS下地含む)

松田平田・山・山堀共同企業体
一級建築士事務所 東京都知事登録 第50432号

project
双葉町コミュニティセンター改修工事

250000 第〇回打合せ資料

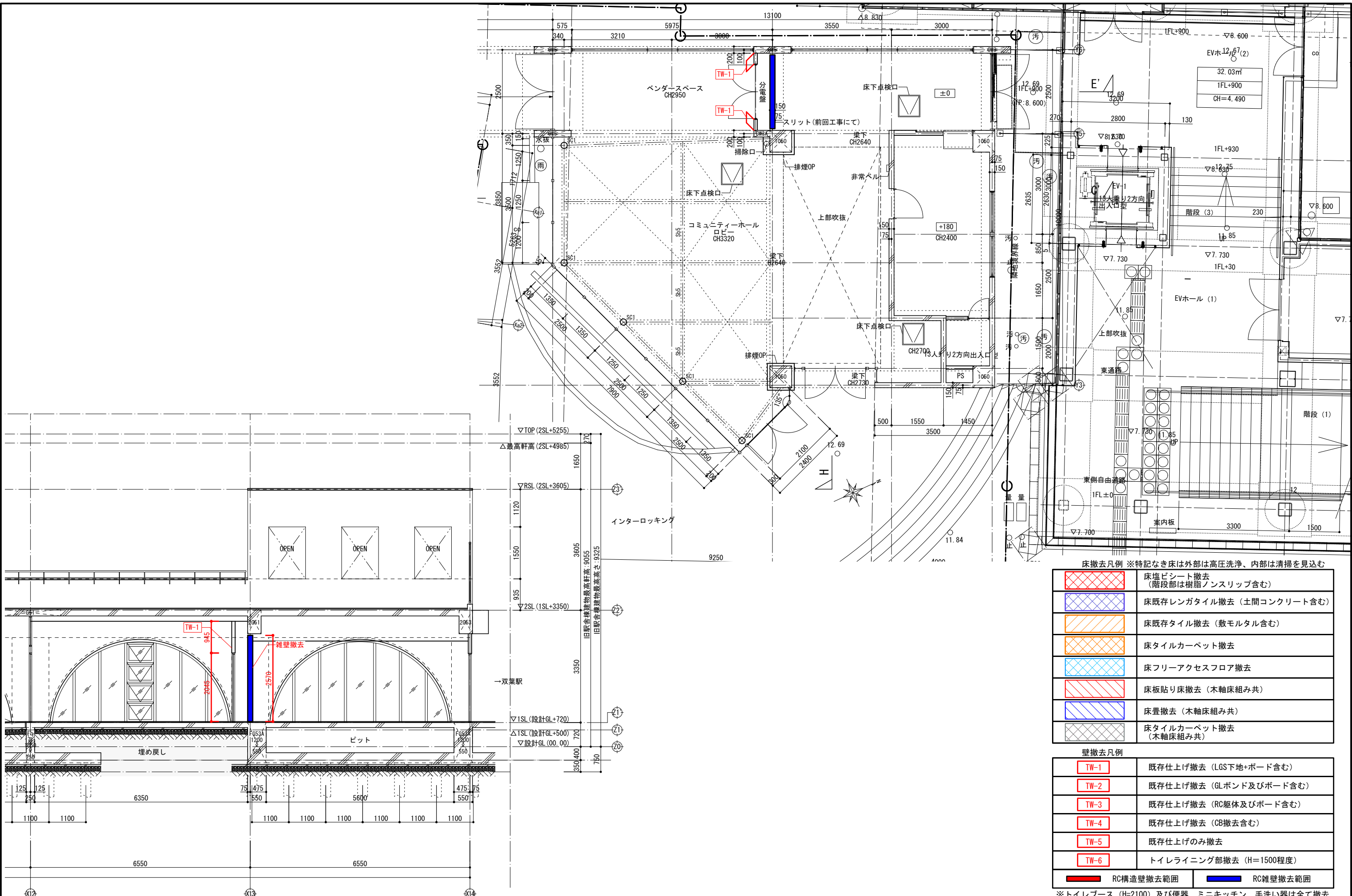
architect
一級建築士 第363037号 飯塚 啓吾

drawing

scale A1:1/50
A3:1/100
date

title
ホール棟 2F
撤去天井伏図

sheet number
TA-17



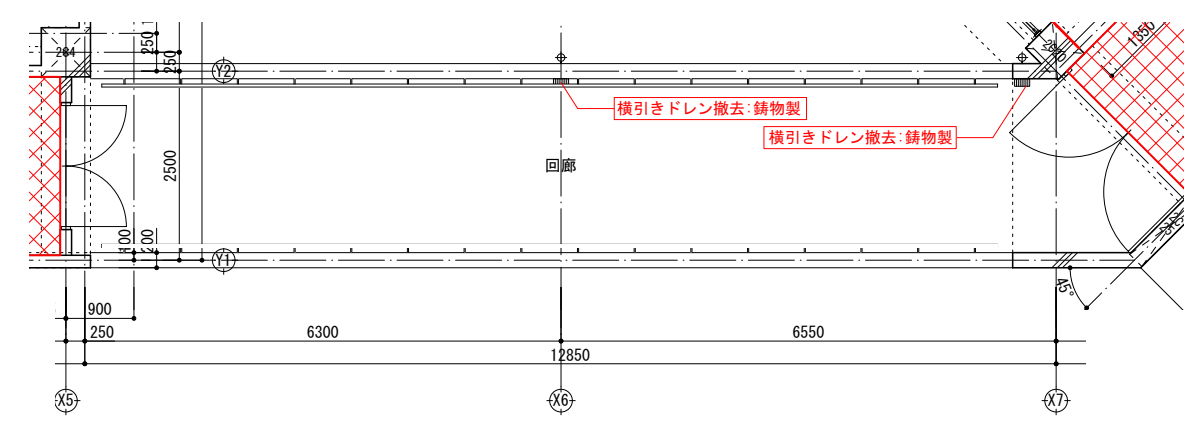
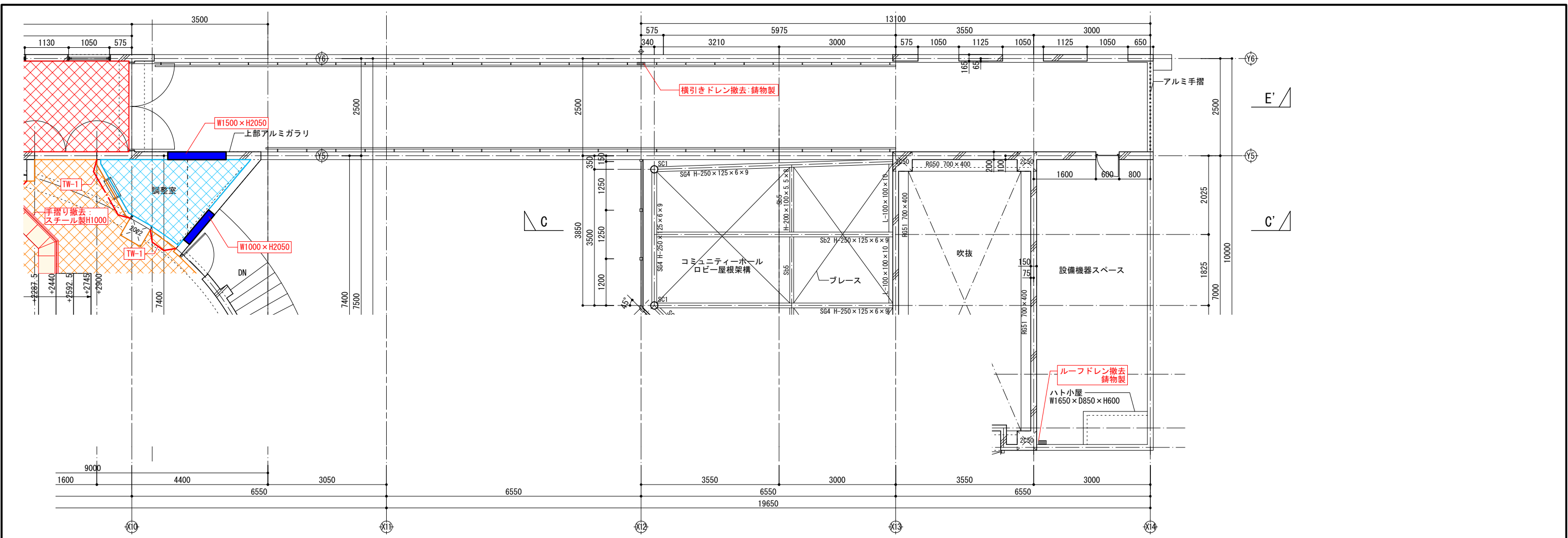
床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリーアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)

壁撤去凡例

	既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	既存仕上げ撤去 (GLボンド及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	既存仕上げのみ撤去
	トイレライニング部撤去 (H=1500程度)
	RC構造壁撤去範囲
	RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗い器は全て撤去



床撤去凡例 ※特記なき床は外部は高圧洗浄、内部は清掃を見込む

	床塩ビシート撤去 (階段部は樹脂ノンスリップ含む)
	床既存レンガタイル撤去 (土間コンクリート含む)
	床既存タイル撤去 (敷モルタル含む)
	床タイルカーペット撤去
	床フリーアクセスフロア撤去
	床板貼り床撤去 (木軸床組み共)
	床畳撤去 (木軸床組み共)
	床タイルカーペット撤去 (木軸床組み共)

壁撤去凡例

	TW-1 既存仕上げ撤去 (LGS下地+ボード含む)
	TW-2 既存仕上げ撤去 (GLボード及びボード含む)
	TW-3 既存仕上げ撤去 (RC躯体及びボード含む)
	TW-4 既存仕上げ撤去 (CB撤去含む)
	TW-5 既存仕上げのみ撤去
	TW-6 トイレライニング部撤去 (H=1500程度)

RC構造壁撤去範囲 RC雑壁撤去範囲

※トイレブース (H=2100) 及び便器、ミニキッチン、手洗い器は全て撤去

修繕工事概要

本工事に先立って設計段階にて外壁等劣化診断調査を実施した。

現環境にて確認できる状況及び、ひび割れ等の数量・位置については図面の通りとし、それぞれの劣化状況に応じて下記表及び特記仕様書の通りの補修を実行すること（表1）。

その過程の中で漏水状況の確認もしているため、左官塗装仕上げの全面撤去及び内装撤去後に再度躯体状況調査を実施し、現在調査で推測している事象を下記表にまとめているので勘案して調査を実行し報告書にまとめ監督員に報告し、補修方法については発注者及び監督員と協議の上対応すること（表2）

表1：劣化状況項目と補修方法概略（補修の仕様は特記仕様書による）

項目		補修方法
外壁	ひび割れ（幅<0.2 mm）	外壁塗装面塗り替えで対応
	ひび割れ（0.2 mm≦幅）	エポキシ樹脂注入工法
	欠損	ポリマーセメントモルタル充てん工法
	爆裂・鉄筋露出	防錆処理+エポキシ樹脂モルタル充てん工法
	塗膜劣化 (塗膜浮き・塗膜剥離・エフロレンス・汚れ)	表層強化剤※
	錆汁	基本は高圧洗浄、程度のひどい場合は、研磨すること
	シール劣化	全面打替え
内部 (躯体面)	ひび割れ（幅<0.2 mm）	外壁塗装面塗り替えで対応
	ひび割れ（0.2 mm≦幅）	エポキシ樹脂注入工法
	欠損	ポリマーセメントモルタル充てん工法
	塗膜劣化 (塗膜浮き・塗膜剥離・エフロレンス・汚れ)	表層強化剤※
屋根 屋上	金属屋根	塗装補修
	アスファルトシングル	防水層共葺き替え
	屋上防水層	既存防水撤去+新規防水層更新
	回廊上部	タイル補修及び高圧洗浄

表2：漏水原因の推測一覧表

原因（可能性）		主な発生箇所	推測される浸水メカニズム
外壁	コンクリートの品質不良	打継部	・打継部不良箇所（コールドジョイント、豆板、ひび割れなど）を通じて外部からの雨水が浸透
	水平ひび割れと欠損	横目地周辺	・横目地と平行したひび割れと欠損部から雨水が浸入 ・打継位置とシール位置が不一致の場合、コールドジョイントから雨水が浸入 目地の肌分かれ 外壁目地部 ・目地の肌分かれ部分から雨水が侵入し、シール裏側に滞水後、内部へ浸透
	外壁劣化 (開口部周囲のひび割れ)	ひび割れ位置 (開口部周辺)	・ひび割れを通じて雨水が内部構造体へ浸透
	その他 型枠施工不良	ポリスチレンフォーム 型枠使用部	・型枠のズレや不具合によるコンクリート欠陥部から雨水が浸入
開口部	サッシ周りの止水不良	サッシと詰めモルタル 取合い部	・シールやモルタルの収縮・剥離により止水性能が低下し、直接室内側へ浸水
屋根 屋上	防水層の劣化	屋上全体	・劣化した防水層から雨水が浸透し、スラブ内部へ侵入
	勾配不良	屋上の一部	・局所的な滞水により防水層への水圧が増加し、弱点部から浸透
	ドレイン機能低下	屋上排水口	・植栽や堆積物による目詰まりで排水不良となり、滞水から漏水が発生
	アスファルトシングル劣化	屋根部	・表層劣化により防水性能が低下し、雨水が下地へ浸透
その他	雨水縦樋の区画不良	室内パイプシャフト	・縦樋と居室の区画が不十分で、縦樋からの漏水が建物内部へ侵入
	スラブと壁立上りの取合い	パイプシャフト周辺	・取合い部の防水処理不良により、雨水が構造体の隙間から浸透

調査結果数量表【双葉駅前コミュニティセンター / センター棟+回廊1】

調査対象範囲 ※建具面除く	ひび割れ				コンクリート欠損 (m ²)	モルタル欠損 (m ²)	爆裂・鉄筋露出 (m)	シール剥離・劣化 (m)	サビ汁 (箇所)	備考				
	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	ひび割れ(エポキシ付)											
			0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)										
全面	237.05	34.92	0.40	0.60	0.00 ^{※2}	5	0.00 ^{※2}	1	-	-	12.6	12	-	
東 面	外装(ベイト) 左官仕上	54.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・面台剥離 120° ^{※1} 枚 ・巾木剥離 亀甲ひび割れ (1.7×0.5)
	外装(ベイト) 水平凹凸付	2.67	-	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	巾木剥離	13.37	9.50	-	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	
2F	外装(ベイト) 左官仕上	58.01	0.30	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	・薄塗剥離割れ (0.05×0.25)
	外装(ベイト) 水平凹凸付	2.67	0.70	0.10	-	-	-	-	-	-	12.60	12	-	
	EPイタ(25角)	20.92	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3F	外装(ベイト) 吹付仕上	85.11	24.22	-	-	0.00 ^{※2}	5	-	-	-	-	-	-	
全面	38.51	0.75	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北 東 面	外装(ベイト) 左官仕上	9.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(ベイト) 水平凹凸付	0.70	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	巾木剥離	8.32	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2F	外装(ベイト) 左官仕上	15.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(ベイト) 吹付仕上	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	EPイタ(25角)	4.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全面	88.11	0.30	-	-	0.00 ^{※2}	1	0.00 ^{※2}	1	0.85	2	0.40	8	-	
南 東 面	外装(ベイト) 左官仕上	27.64	-	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	-	・縦横支持金物 欠
	外装(ベイト) 水平凹凸付	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	巾木剥離	1.85	-	-	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	
2F	外装(ベイト) 左官仕上	18.66	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・EPイタ(25角) 剥離割れ 1枚
	外装(ベイト) 吹付仕上	31.29	-	-	-	-	-	0.85	2	-	0.40	8	-	
	EPイタ(25角)	6.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全面	154.68	2.55	2.15	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	0.10	1	0.7	14	-	
南 西 面	外装(ベイト) 左官仕上	44.53	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・縦横支持金物 欠 ・横引き種 外壁廻りシールなし
	外装(ベイト) 水平凹凸付	1.55	0.60	0.20	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	-	
	巾木剥離	5.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2F	外装(ベイト) 左官仕上	33.64	0.60	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・EPイタ(25角)
	外装(ベイト) 吹付仕上	56.10	0.10	0.85	-	-	-	-	-	-	0.70	14	-	
	EPイタ(25角)	12.27	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全面	62.44	4.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北 西 面	外装(ベイト) 左官仕上	20.11	4.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・EPイタ(25角)
	外装(ベイト) 水平凹凸付	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	巾木剥離	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2F	外装(ベイト) 左官仕上	12.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・EPイタ(25角)
	外装(ベイト) 吹付仕上	22.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	EPイタ(25角)	5.54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全面	56.56	7.70	0.95	-	0.00 ^{※2}	4	-	-	-	-	-	-	-	
南 面	外装(ベイト) 吹付仕上	27.57	0.65	0.95	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	-	・EPイタ(25角)
	外装(ベイト) 吹付仕上	28.99	7.05	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	-	
	外装(ベイト) 吹付仕上	28.99	7.05	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	-	
全面	194.43	15.75	0.70	2.10	0.00 ^{※2}	5	-	-	0.26	4	0.70	2	2	
西 面	外装(ベイト) 吹付仕上	49.70	2.50	0.70	-	0.00 ^{※2}	1	-	0.02	1	-	-	1	・縦横間 ・動力分電盤 欠・フォック
	外装(ベイト) 吹付仕上	72.60	5.80	-	-	0.00 ^{※2}	2	-	-	-	-	-	-	
	外装(ベイト) 吹付仕上	72.13	7.45	-	2.10	0.00 ^{※2}	2	-	0.24	3	0.70	2	1	
全面	58.07	6.30	0.50	0.20	0.00 ^{※2}	4	-	-	-	-	2.90	3	-	
北 面	外装(ベイト) 吹付仕上	18.45	2.10	-	-	-	-	-	-	-	1.80	1	-	・縦横剥離(0.1×0.3)
	外装(ベイト) 左官仕上	2.27	-	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-	-	-	-	
	外装(ベイト) 吹付仕上	16.51	0.30	0.50	0.20	-	-	-	-	-	1.10	2	-	
3F	外装(ベイト) 吹付仕上	20.84	3.90	-	-	0.00 ^{※2}	3	-	-	-	-	-	-	
全面	102.92	18.05	14.85	1.40	8.15	-	-	-	-	-	0.25	1	-	
東 面	外装(ベイト) 左官仕上	45.24	2.70	6.50	0.90	7.20	-	-	-	-	-	-	-	・面台剥離 120° ^{※1} 枚 ・巾木剥離 亀甲ひび割れ (1.7×0.5)
	外装(ベイト) 水平凹凸付	2.70	0.90	1.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	巾木剥離	4.01	1.75	0.35	-	0.35	-	-	-	-	-	-	-	
裏 側 手摺壁 内側	打放し+AEP塗装	28.86	12.20	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	・塗膜剥離(0.1×0.3)
	外装(ベイト) 左官仕上	20.51	0.50	6.20	-	0.60	-	-	-	-	0.25	1	-	
	EPイタ(25角)	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全面	78.18	37.07	11.35	4.37	0.92	-	-	-	-	-	0.25	1	-	
西 面	外装(ベイト) 左官仕上	35.50	24.57	4.50	1.50	0.17	-	-	-	-	-	-	-	・縦横支持金物 欠 ・横引き種 外壁廻りシールなし ・防水コンクリート 破損
	外装(ベイト) 水平凹凸付	2.44	0.90	2.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	打放し+AEP塗装	23.28	8.15	2.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
裏 側 手摺壁 内側	外装(ベイト) 左官仕上	15.36	3.45	1.30	2.87	0.75	-	-	-	-	0.25	1	-	・塗膜剥離(0.1×0.2)
	外装(ベイト) 吹付仕上	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	EPイタ(25角)	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
天井	打放し+AEP塗装	34.61	29.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

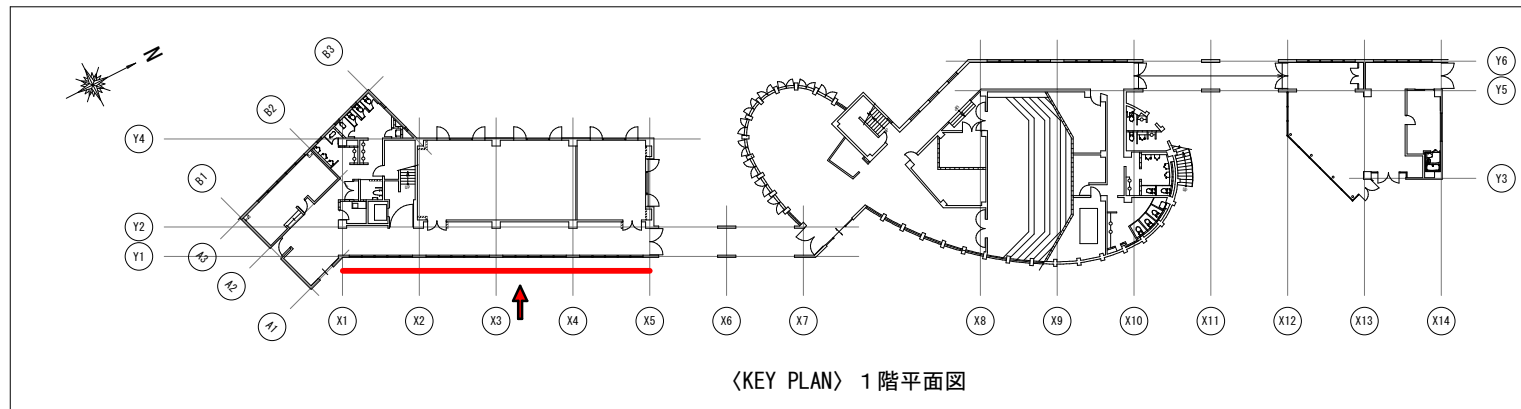
※1 劣化数量は一部CADの集計ツールを用いて算出した。実際の劣化数量と差が生じることに留意が必要である。※2 劣化数量が「0.01より小さい」ことを示す。

調査対象範囲	ひび割れ				浮き (m ²)	欠損 (m ²)	塗膜浮き (m ²)	塗膜剥れ (m ²)	漏水跡 (箇所)	備考
	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	枚数							
			箇所	箇所						
1 階	C-A面	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C-B面	7.00	0.10	-	-	-	-	-	-	-
	平面図	12.70	2.80	-	-	-	-	-	-	・長尺ビニールシート
2 階	C-C面	6.20	0.00	-	-	1.42	20	-	-	-
	C-D面	1.00	0.10	-	-	-	-	-	-	-
	C-E面	6.85	0.00	-	-	-	-	-	-	-
	C-F面	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
	C-G面	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
	C-H面	3.05	-	-	-	0.04	1	0.06	2	-
内 壁	C-I面	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-
	平面図	-	0.15	-	-	-	-	-	-	1
	天井	2.30	2.30	-	-	-	-	-	-	-
3 階	C-J面	6.30	0.10	-	-	0.00 ^{※2}	1	-	-	-
	C-K面	3.70	-	-	-	-	-	0.28	1	-
	C-L面	3.20	-	-	-	-	-	-	-	-
	C-M面	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
	C-N面	9.55	0.70	-	-	-	-	0.20	3	-
	C-O面	1.30	-	-	-	-	-	-	-	-
	C-P面	0.95	1.2	-	-	-	-	-	-	-
	C-Q面	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
	平面図	-	-	-	-	-	-	-	-	3
天井	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
屋根	平面図	-	-	-	-	-	-	-	-	-

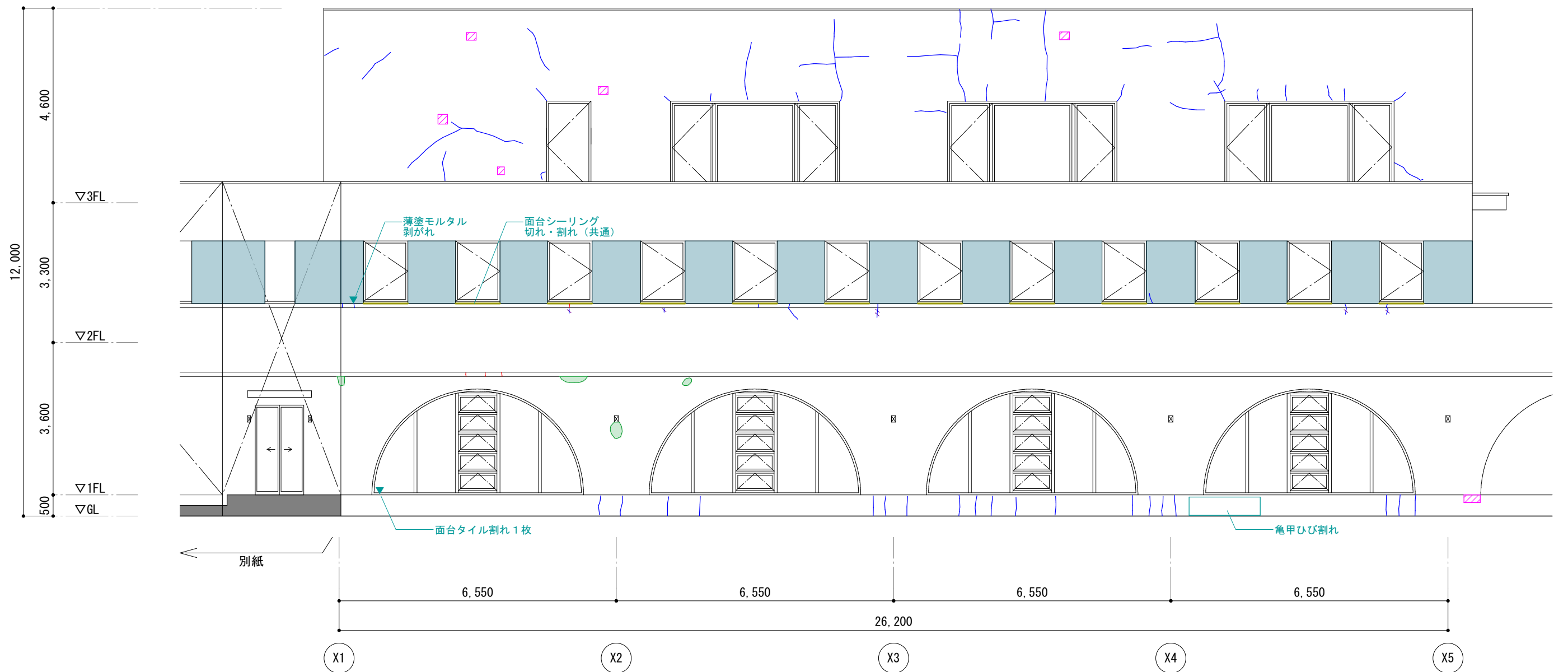
※1 劣化数量は一部CADの集計ツールを用いて算出した。実際の劣化数量と差が生じることに留意が必要である。
※2 劣化数量が「0.01より小さい」ことを示す。

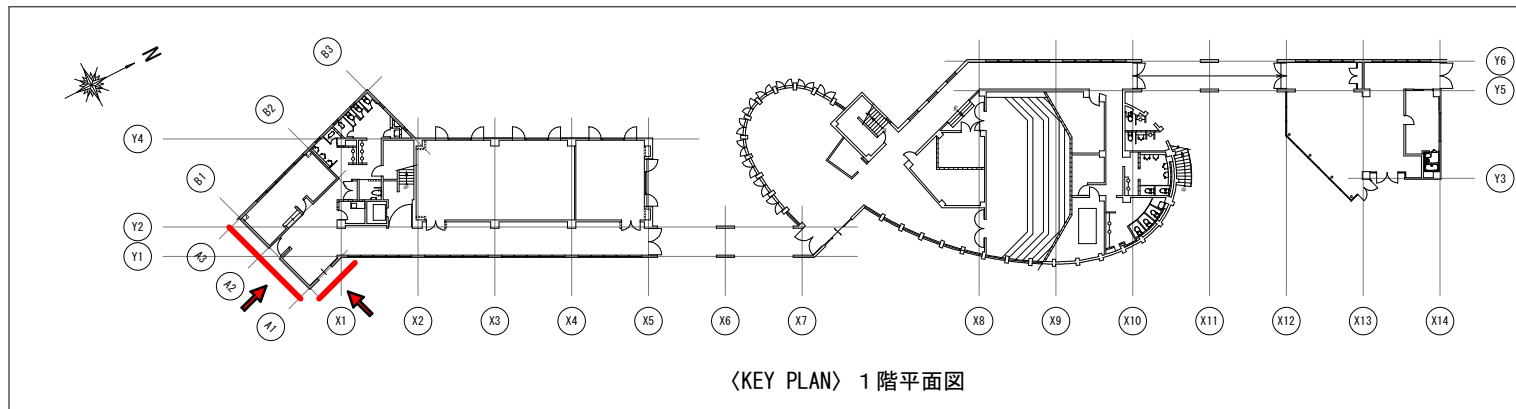
内部仕上	調査面積	全体面積	調査割合	予想数量 ^{※3}						備考			
				ひび割れ		浮き (m ²)	欠損 (m ²)	塗膜浮き (m ²)	塗膜剥れ (m ²)		漏水跡 (箇所)		
				0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)								
床	長尺ビニールシート	0	511.33	-	-	-	-	-	-	1			
	300角タイル貼(磁器質)	110.94	110.94	100	-	-	-	-	-	-			
	畳等(2階和室)	0	40.53	-	-	-	-	-	-	-			
	モルタル金ゴテ	0	8.41	-	-	-	-	-	-	EV補修			
セ ン タ ー 棟 内 壁	打放し+AEP塗装	720.96	-	-	-	-	-	-	-	-			
	EPイタ(25角)	0	-	-	-	-	-	-	-	-			
	天井裏(打放し)	0	1409.67	51.14	102.07	5.57	0	2	2.85	41	1.06	12	8
	打放し(機械室)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	EPイタ(25角)	6.4	6.4	100	-	-	0.04	56	-	-	-	-	-
	100角タイル(便所)	6.2	6.2	100	-	-	0.30	30	-	-	-	-	-
天 井	OB+ド	0	33.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	天井裏(OB)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	打放し+AEP塗装	164.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
EPイタ(25角)	0	714.93	22.99	65.25	22.18	-	-	-	-	-	-	-	EV補修
打放し	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※3 調査面積割合から全体の劣化数量に割増した値である。



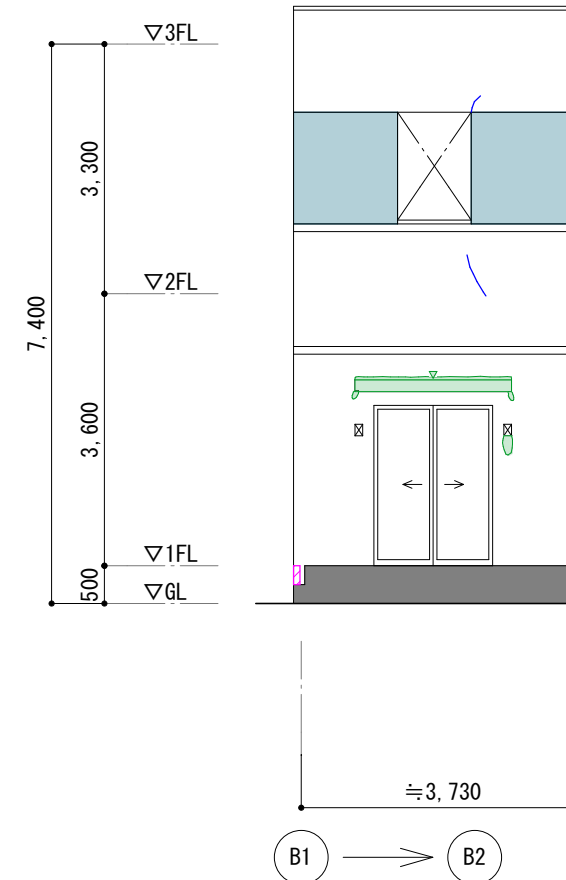
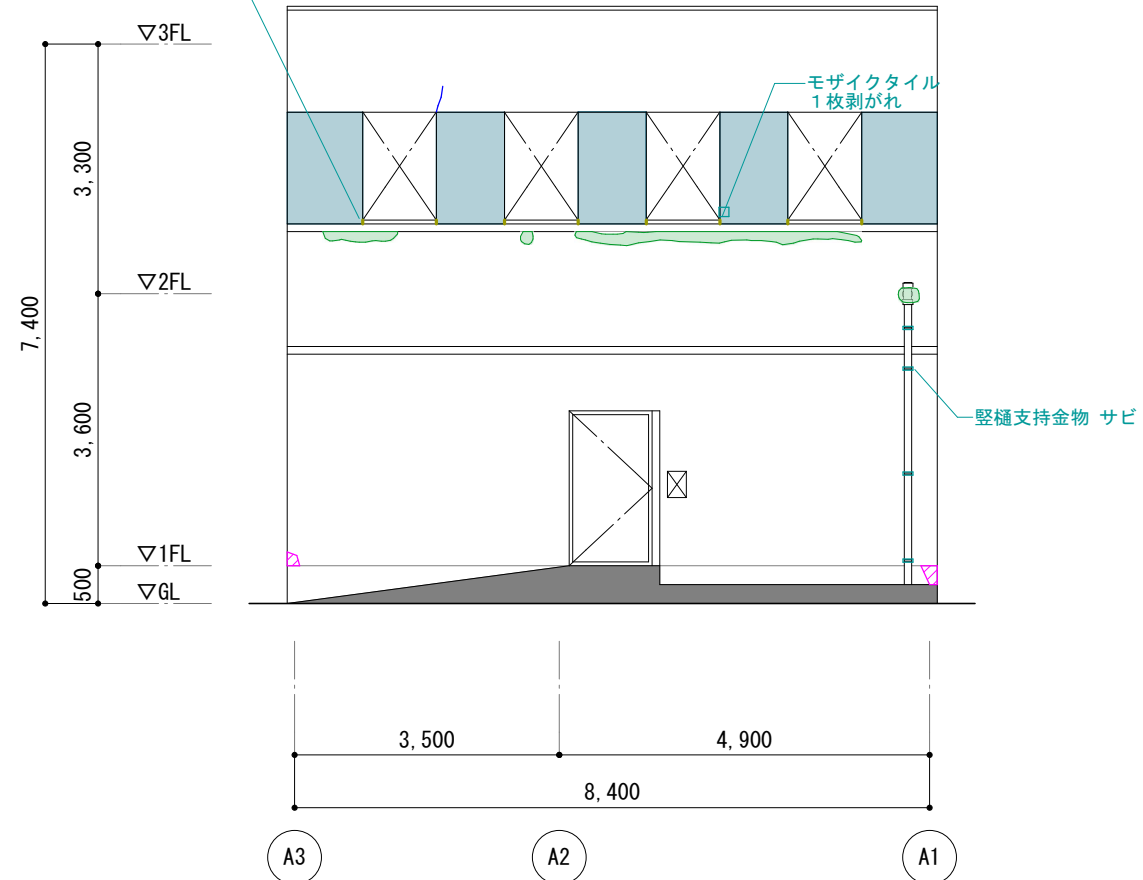
劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		

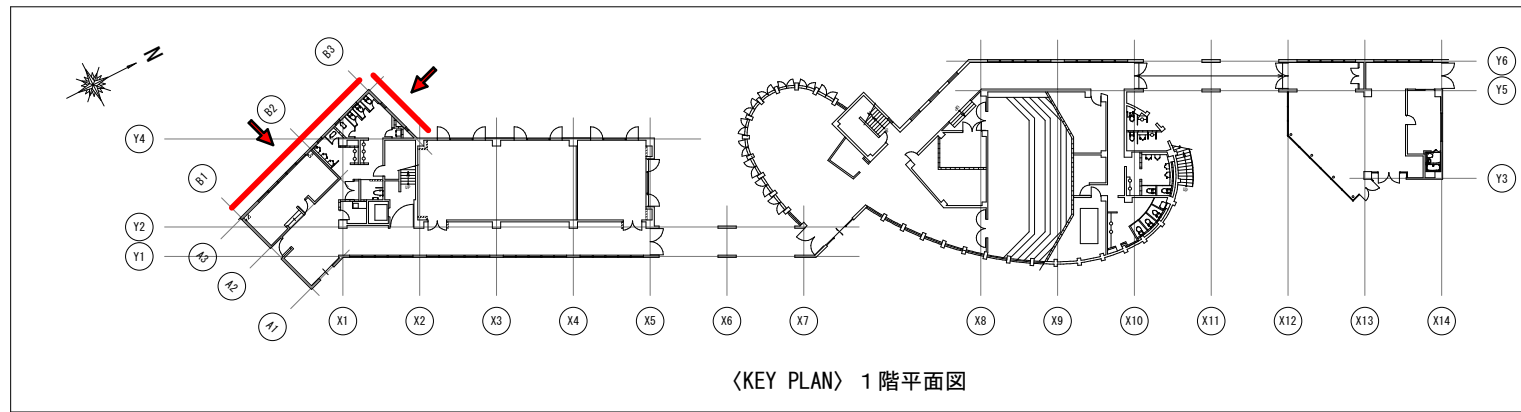




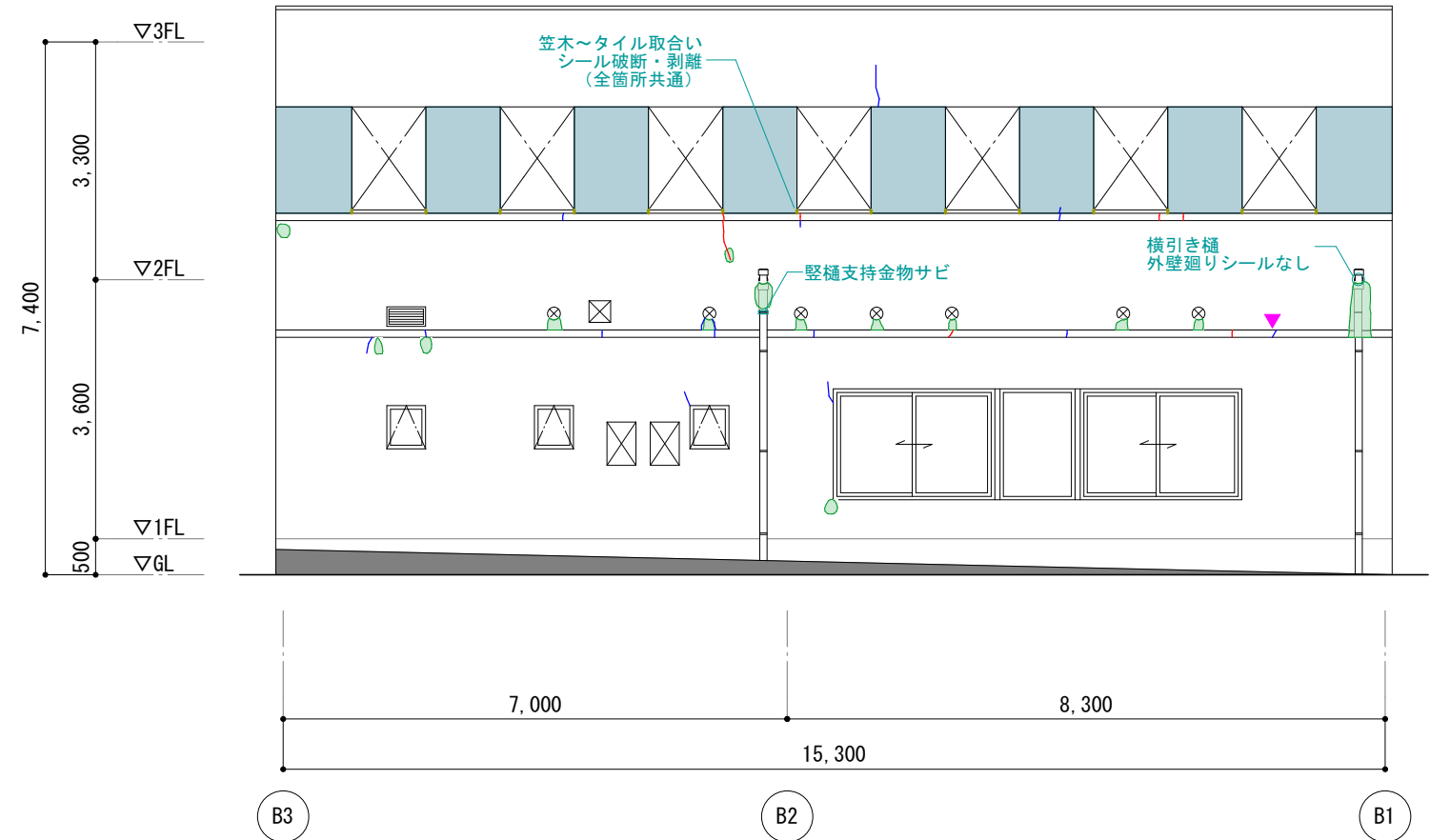
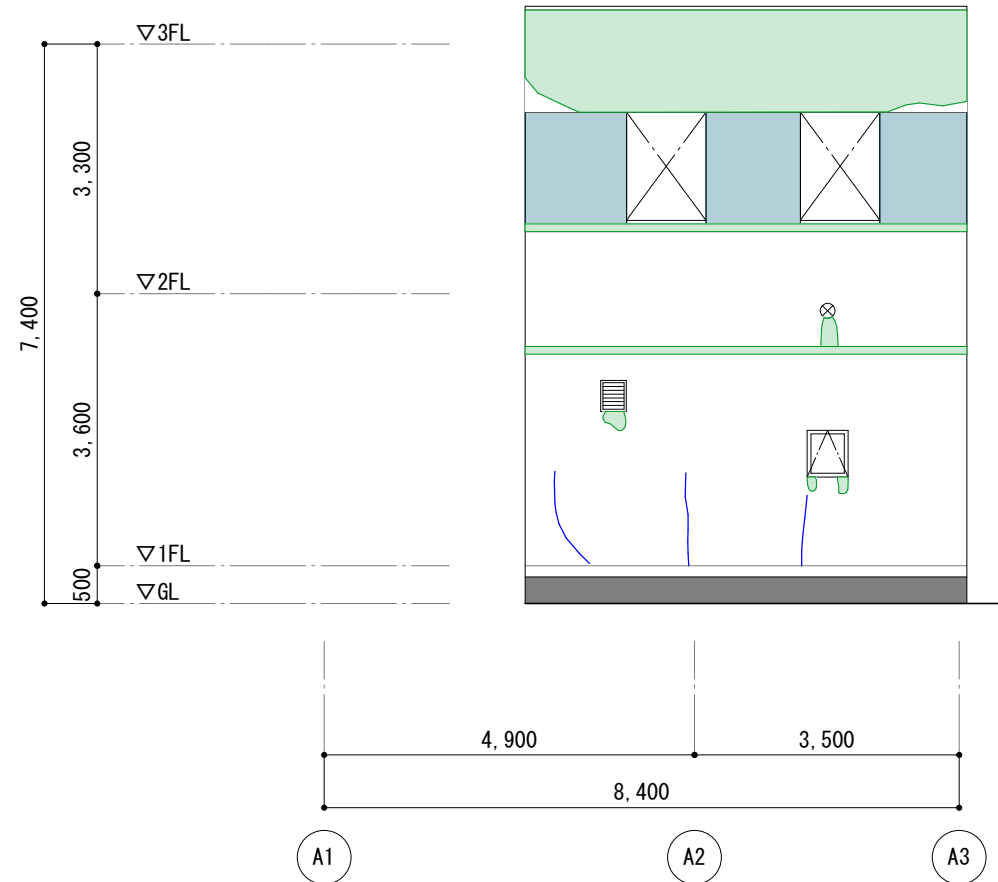
劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		

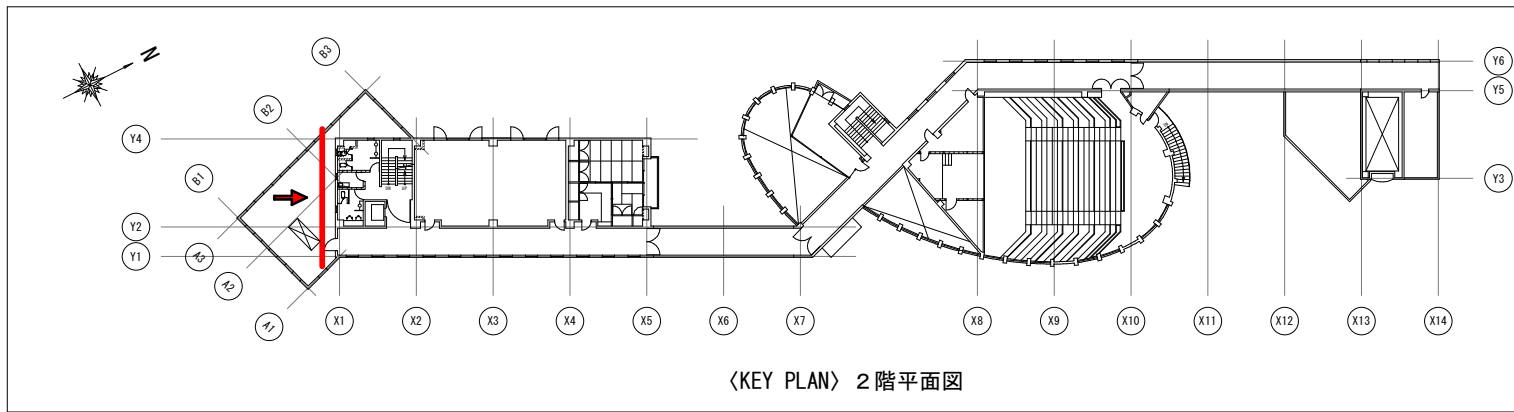
笠木~タイル取合い
シール破断・剥離
(全箇所共通)



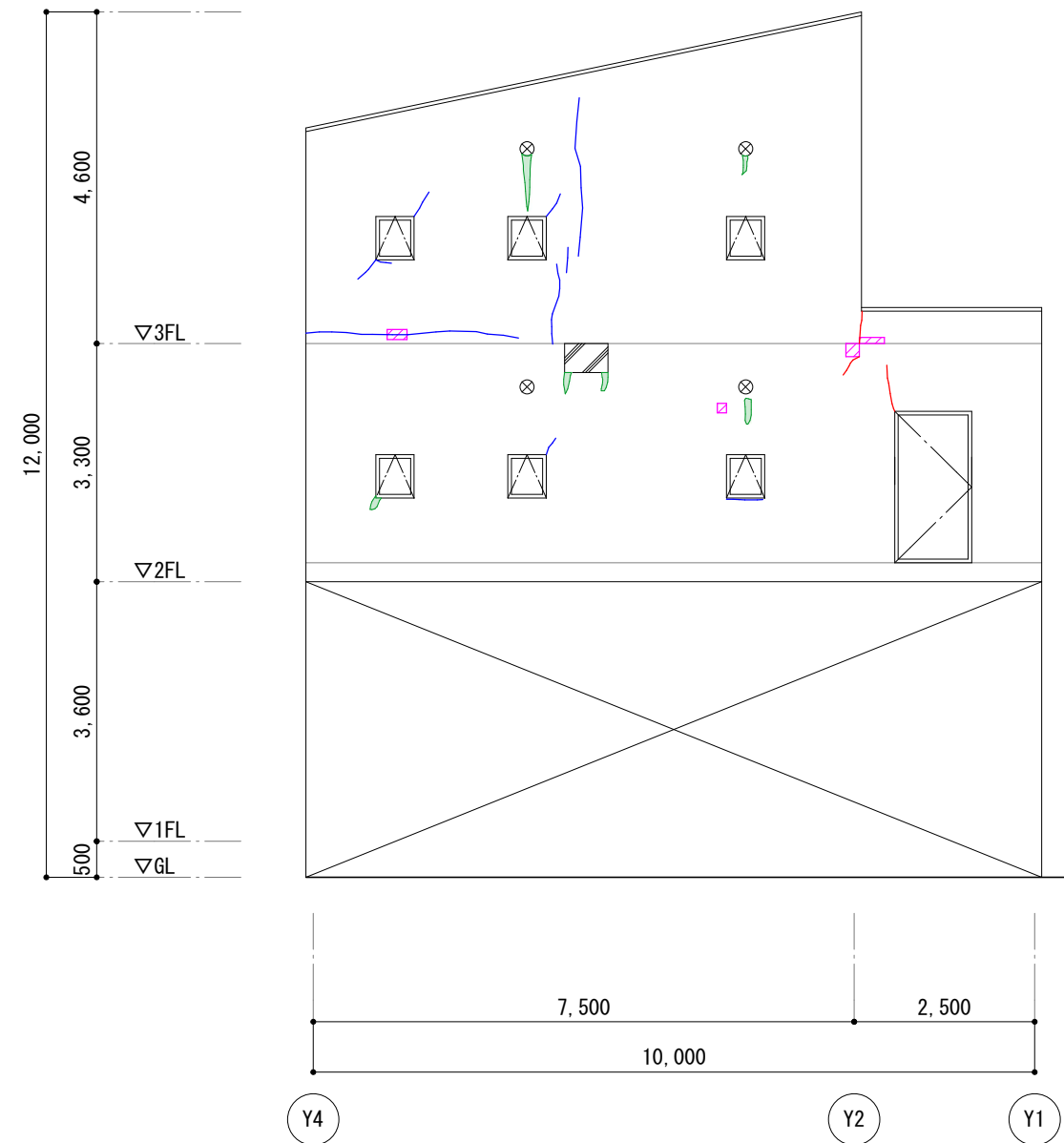


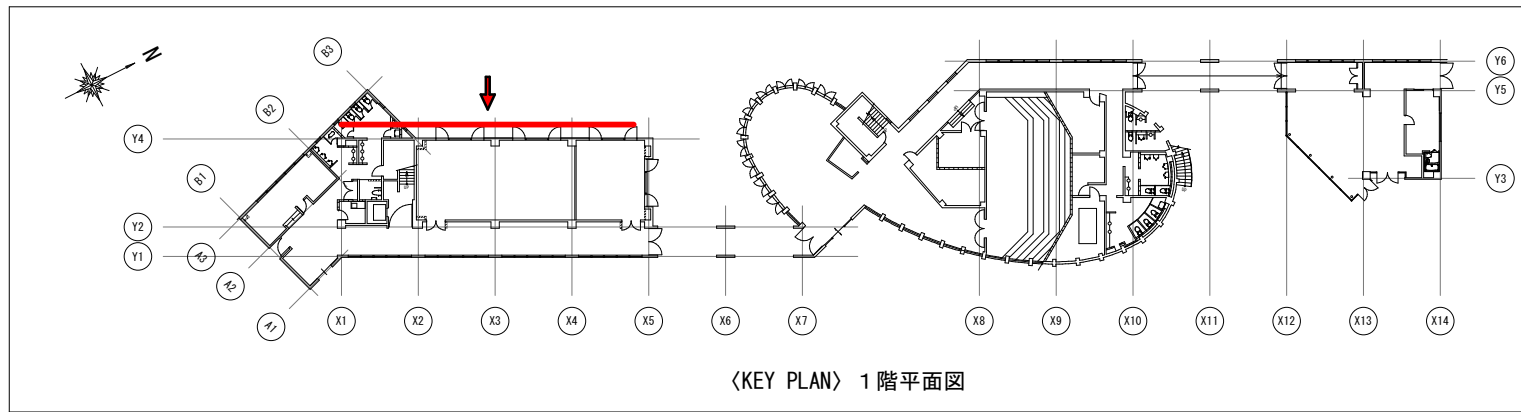
劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		



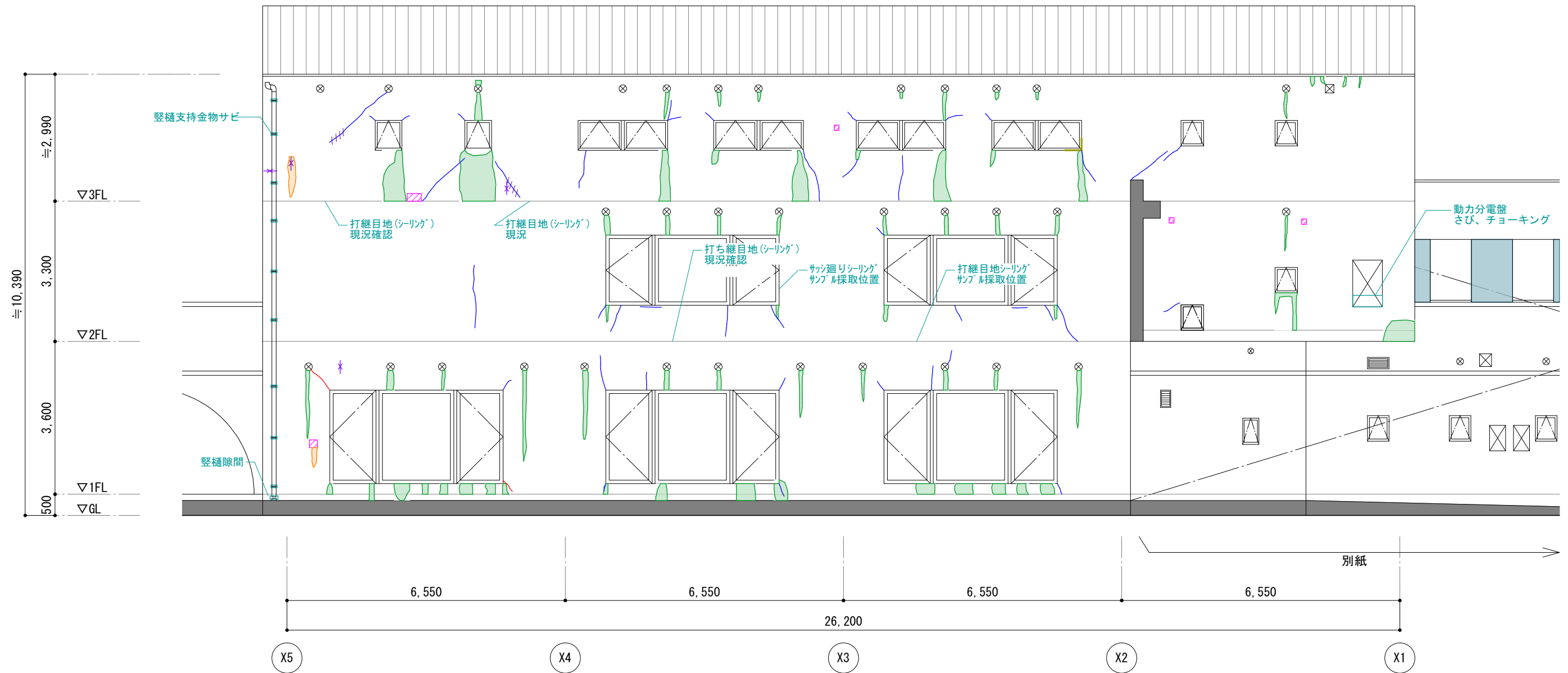


劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		

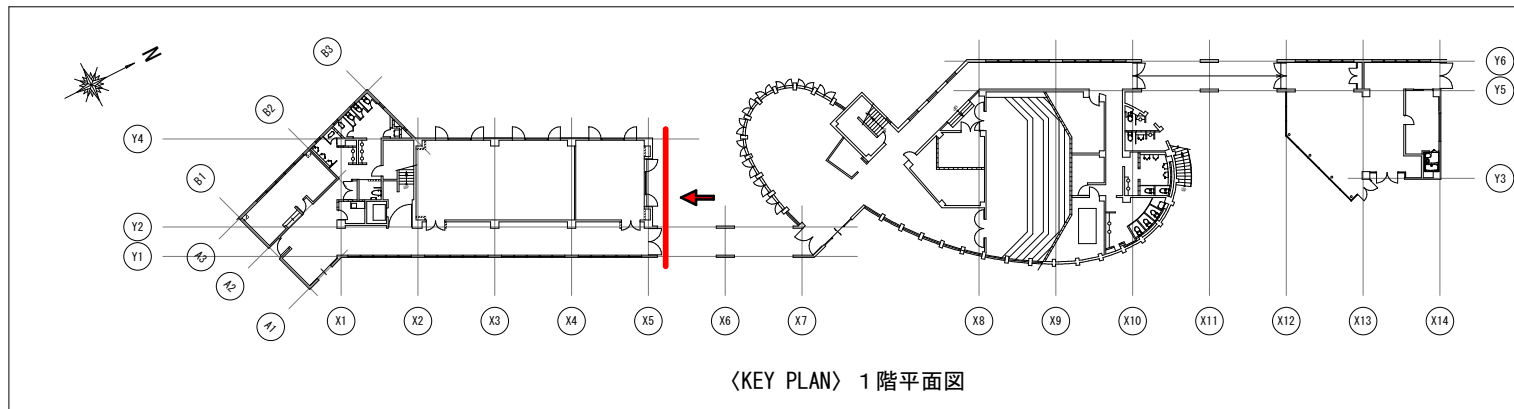




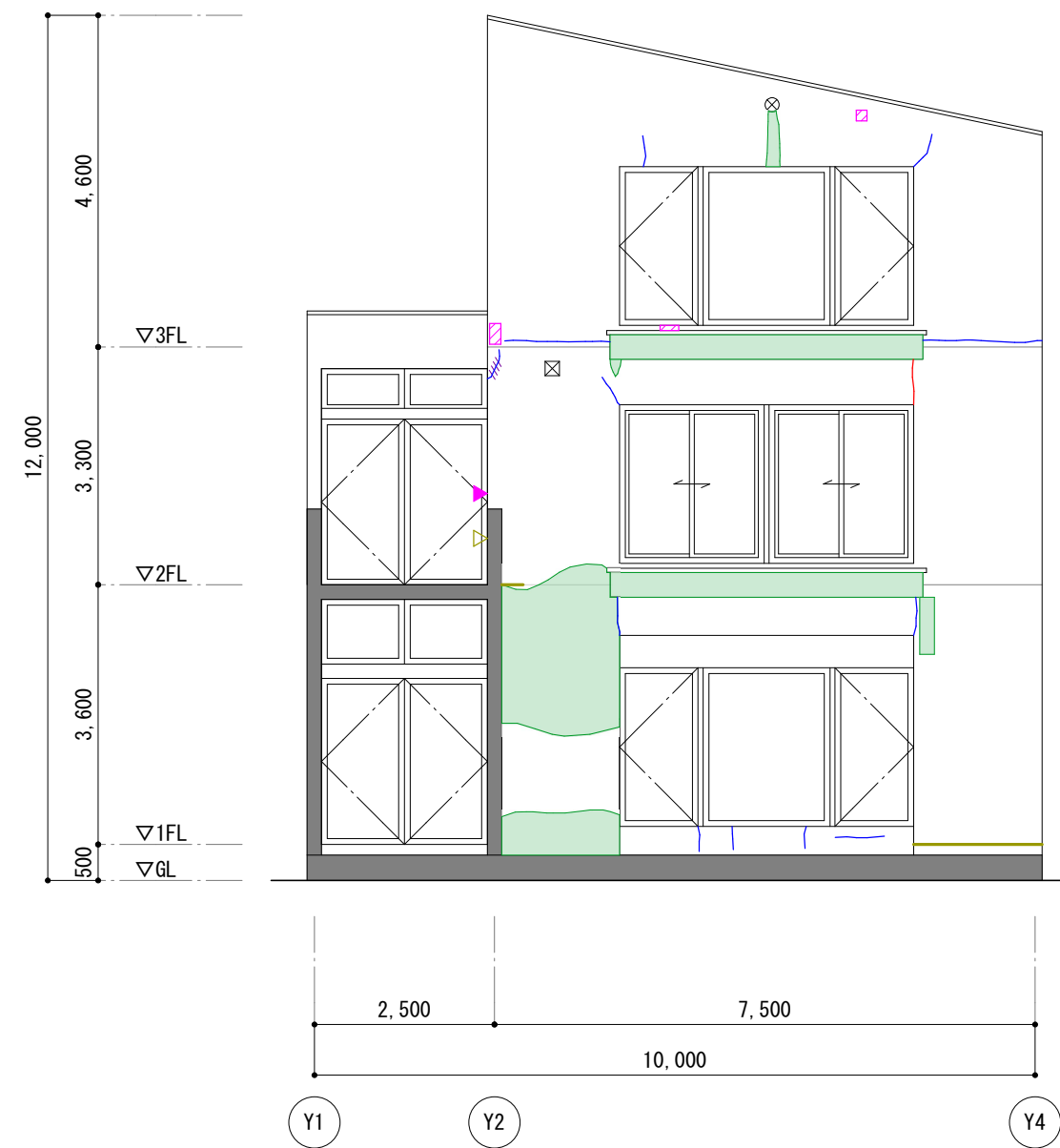
劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		

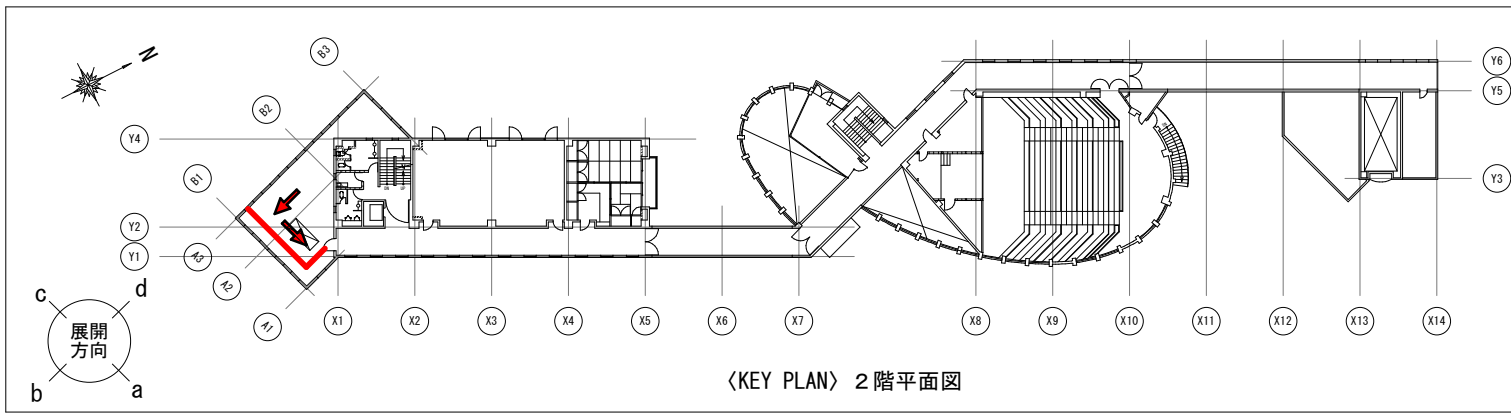


センター棟 西面立面図
※ はサマイカケ(25角)の範囲を示す。

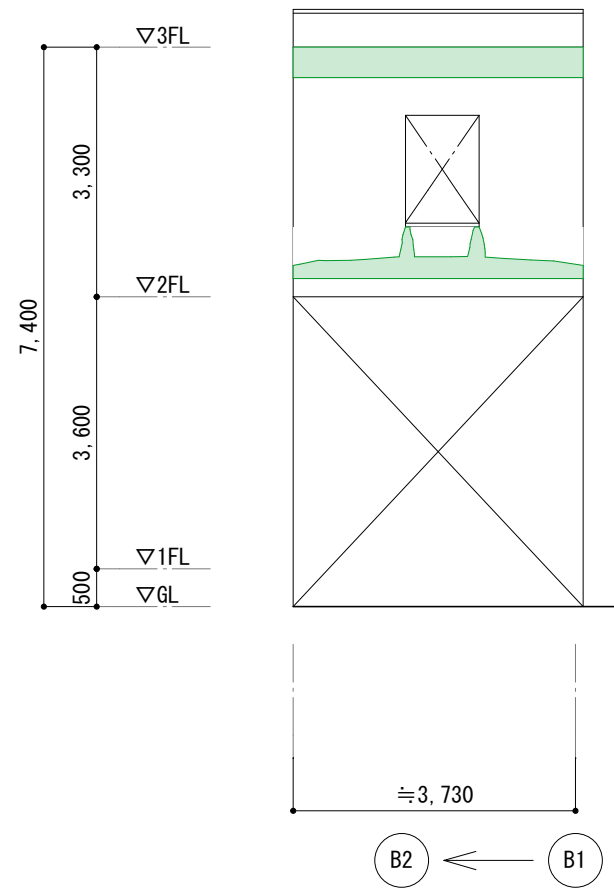


劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		

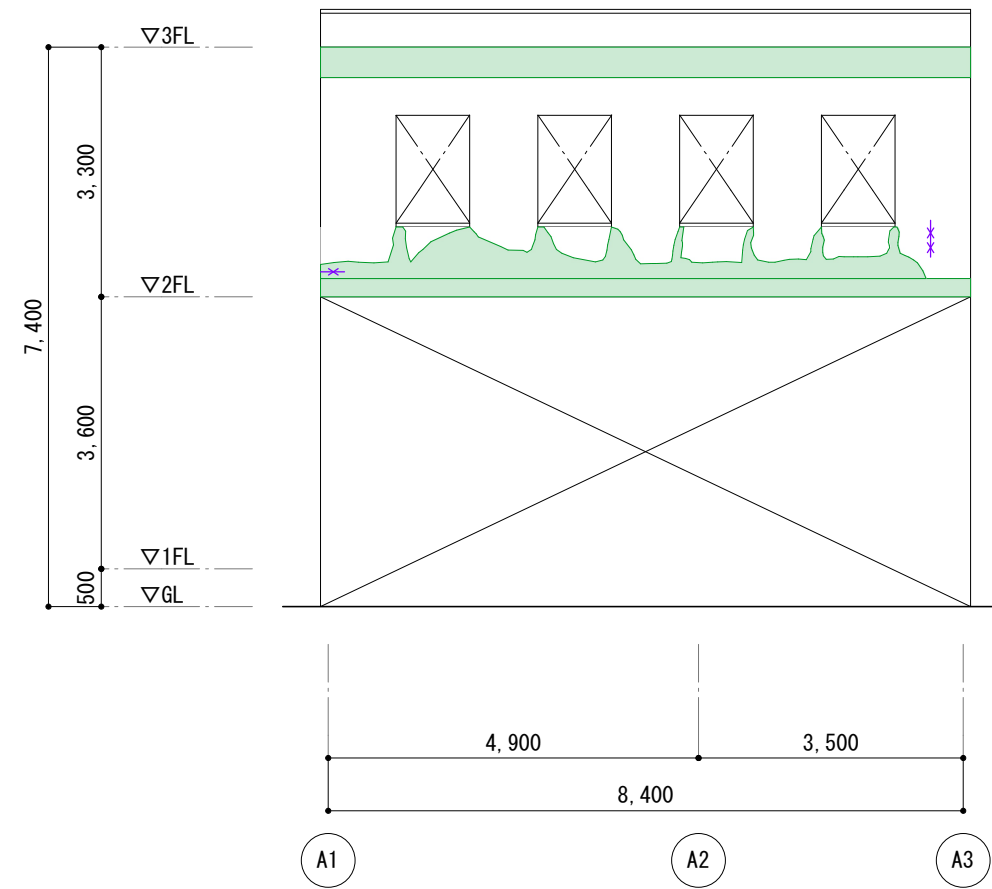




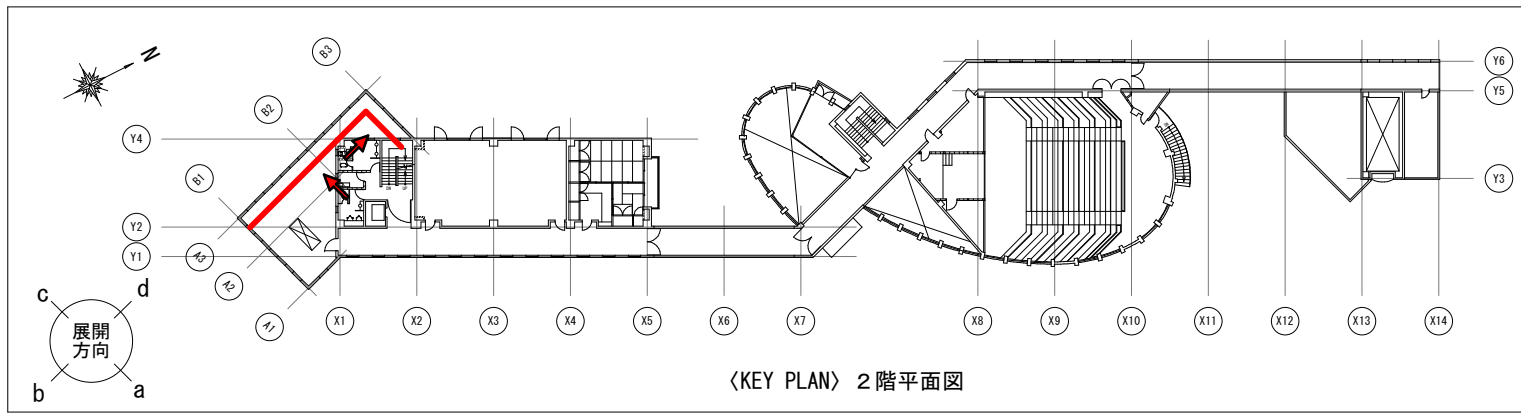
劣化凡例		劣化種別	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		



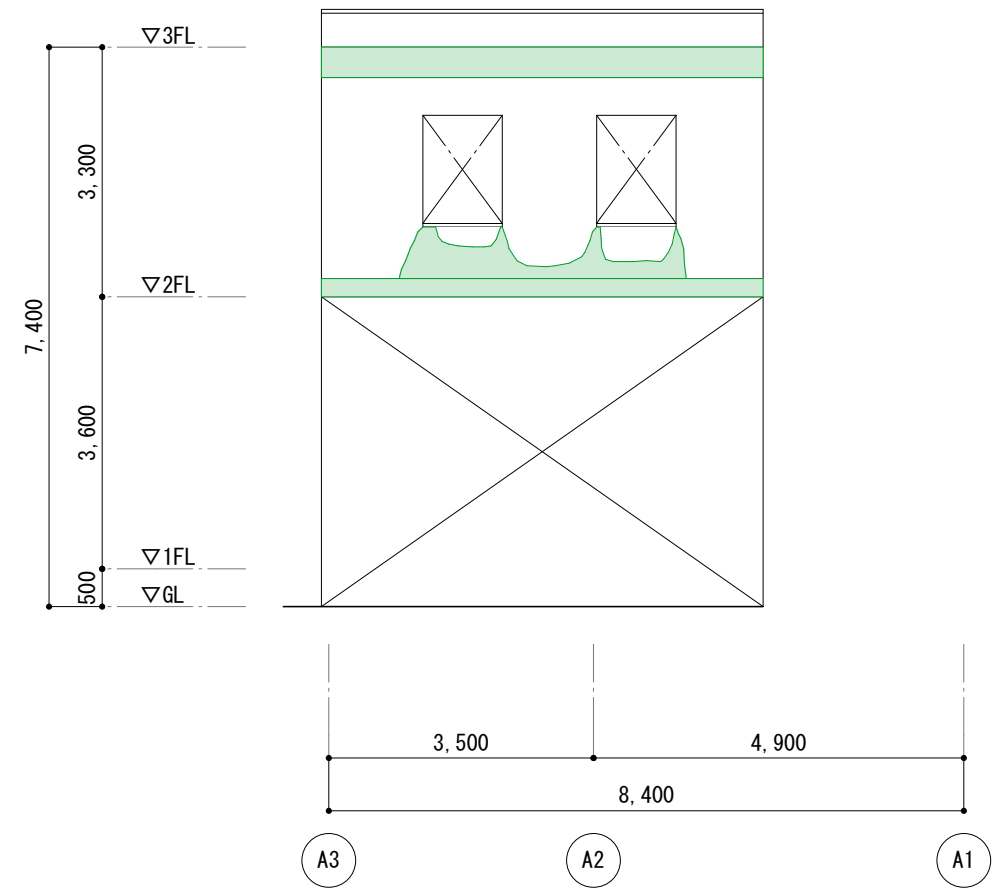
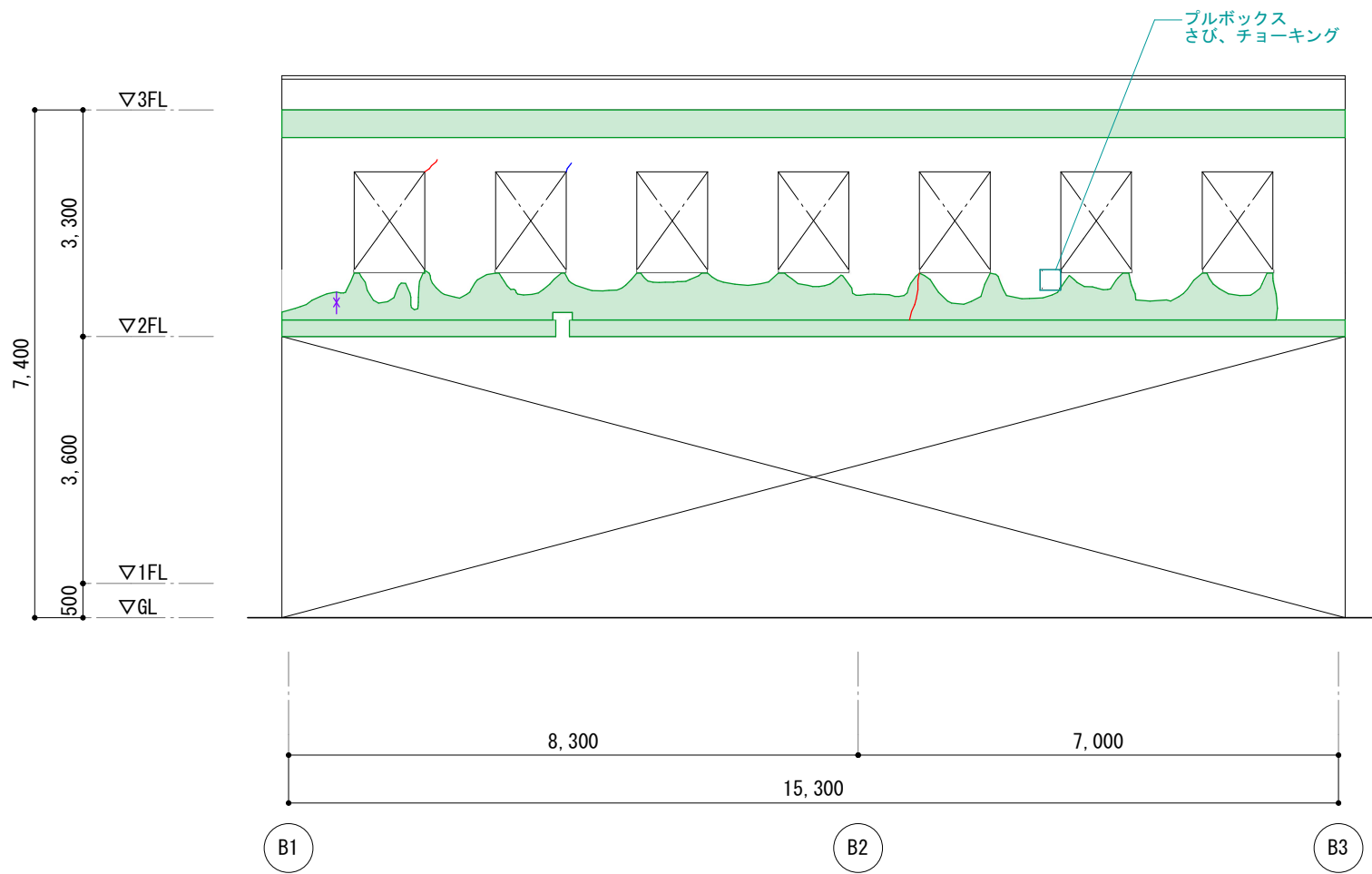
センター棟 a面

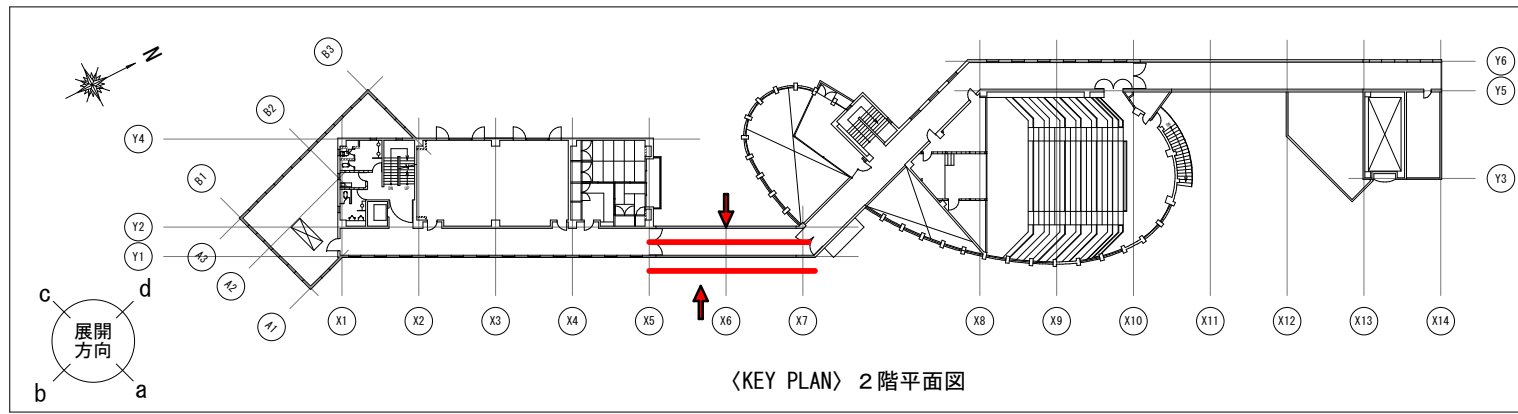


センター棟 b面



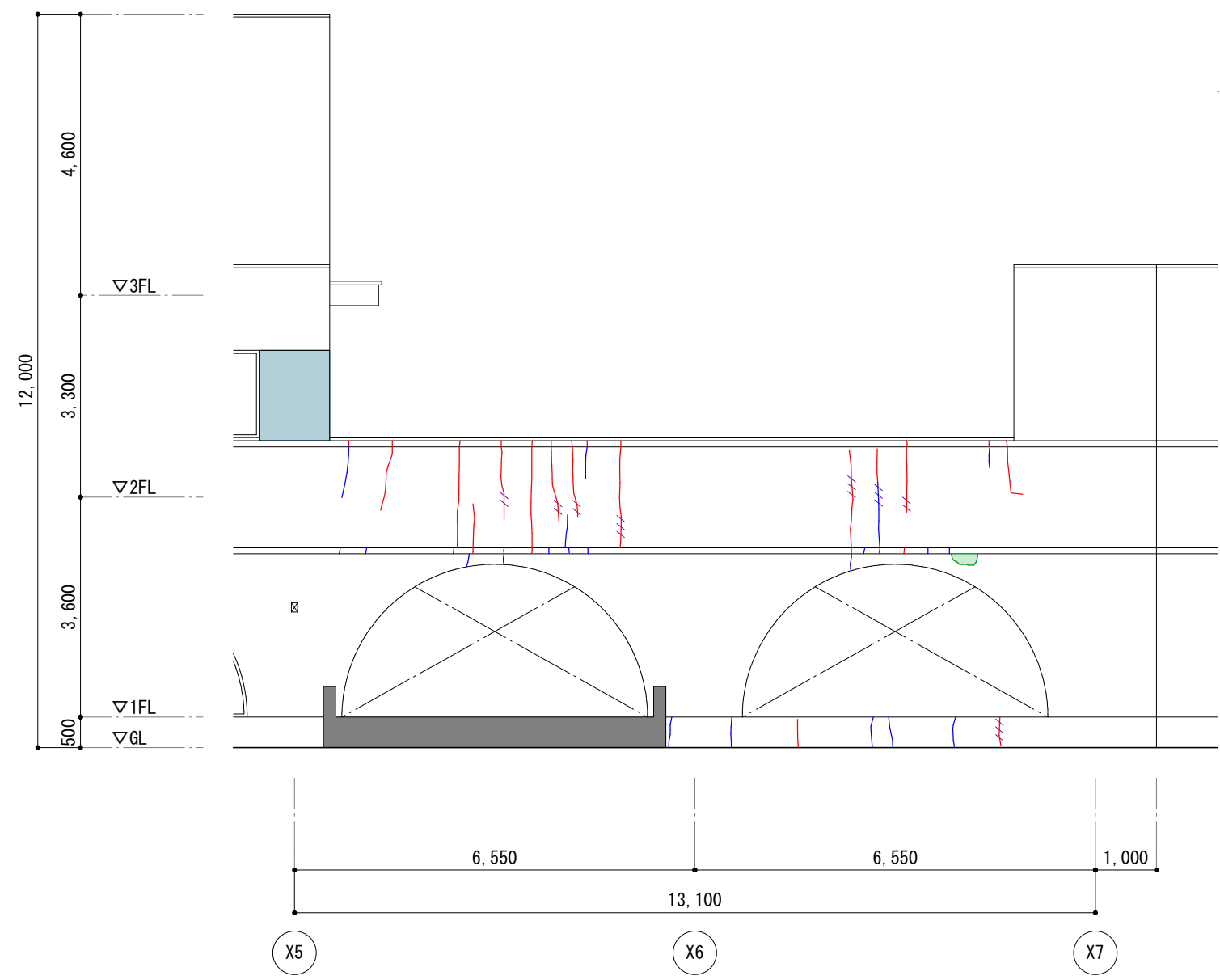
劣化凡例		劣化凡例	
記号	劣化種別	記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満		シール剥離・劣化
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下		サビ汁
	エフロレッセンス析出		壁面汚れ
	欠損		その他の劣化
	爆裂・鉄筋露出		



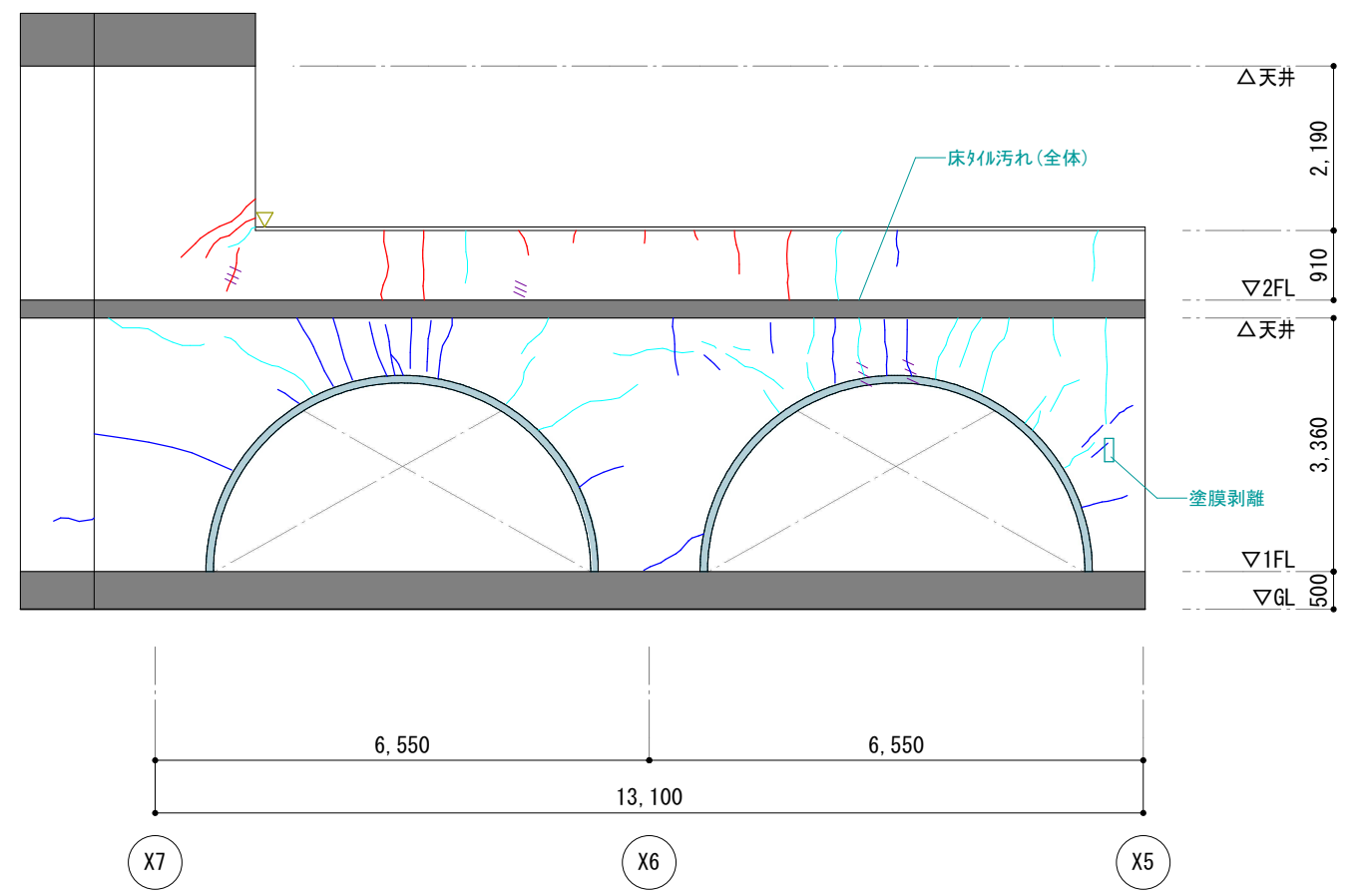
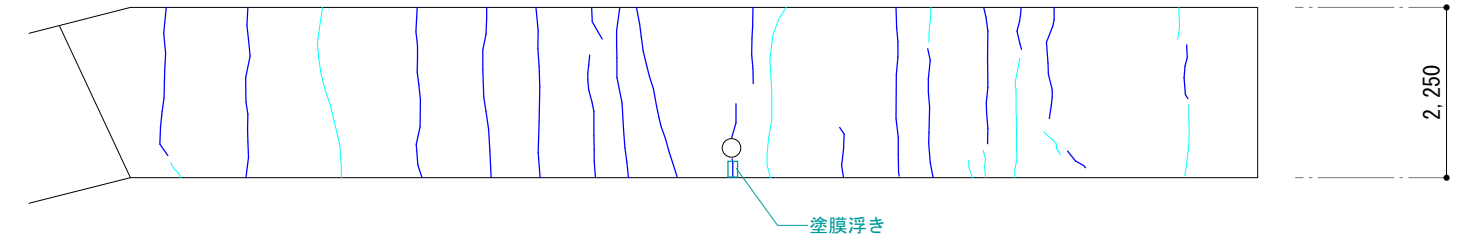


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	シール剥離・劣化

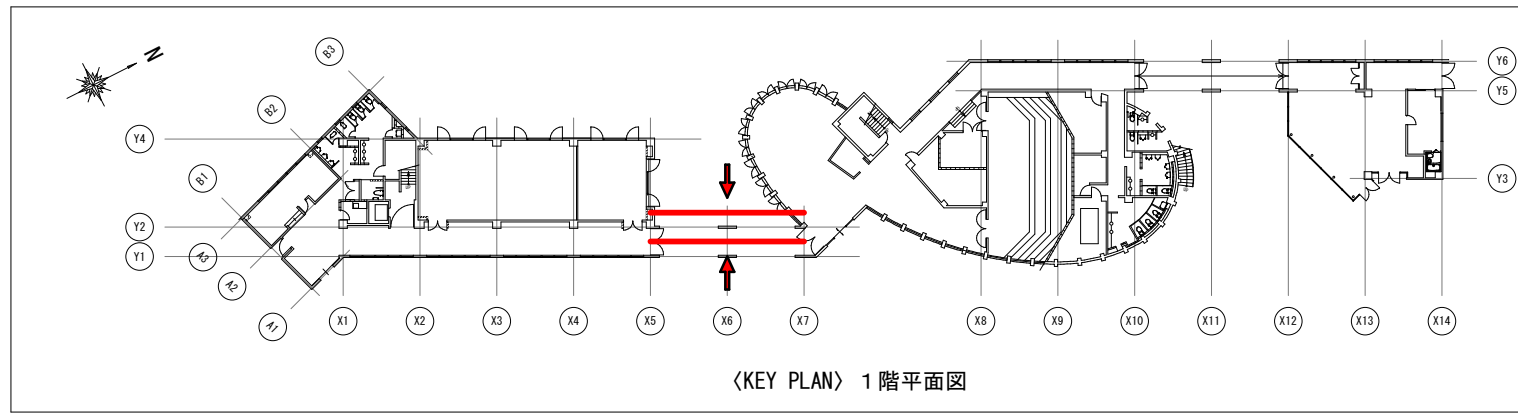
記号	劣化種別
	壁面汚れ
	その他の劣化
	補修跡



センター棟(回廊1) 東面立面図
※ はモザ'イタイル(25角)の範囲を示す。

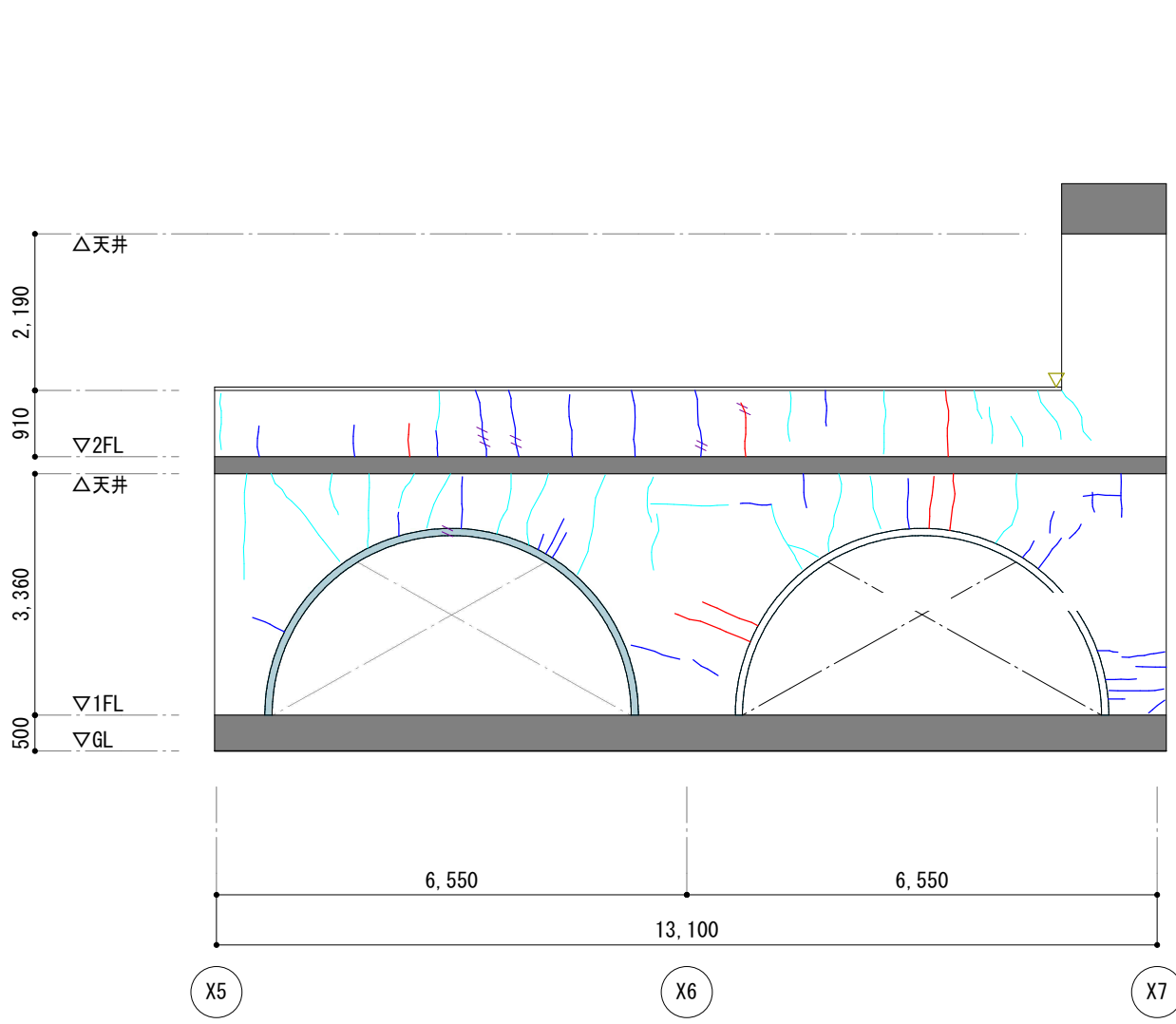


センター棟(回廊1) 東面立面図【裏面】
※ はモザ'イタイル(25角)の範囲を示す。

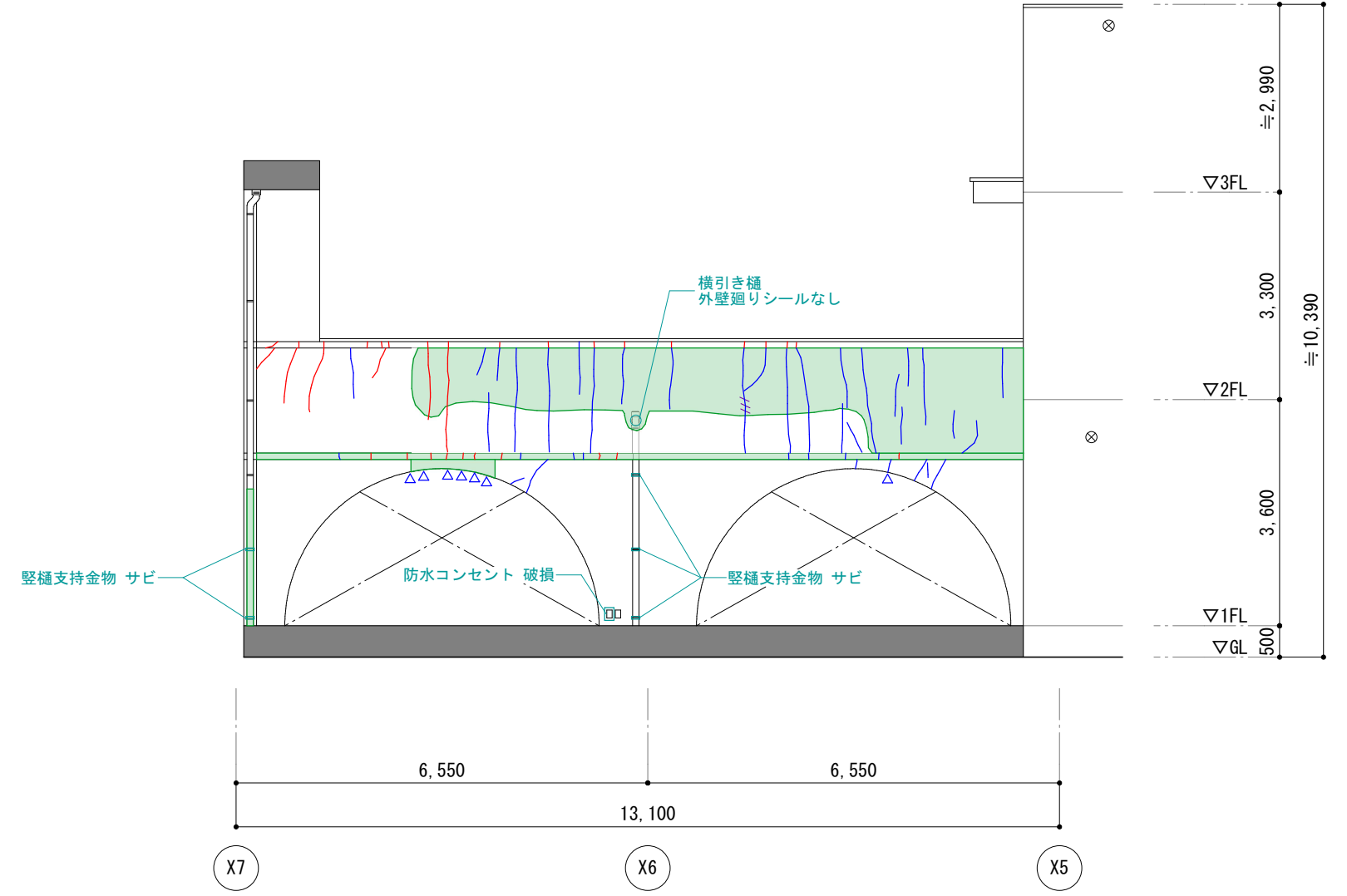


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	シール剥離・劣化

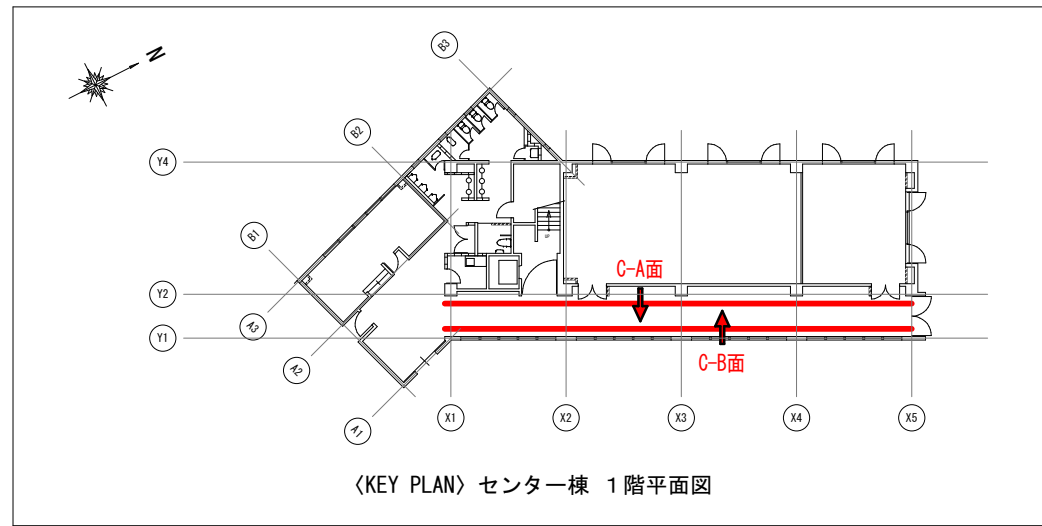
劣化種別	
記号	劣化種別
	壁面汚れ
	その他の劣化
	補修跡



センター棟(回廊1) 西面立面図【裏面】
※ はザイイタイル(25角)の範囲を示す。

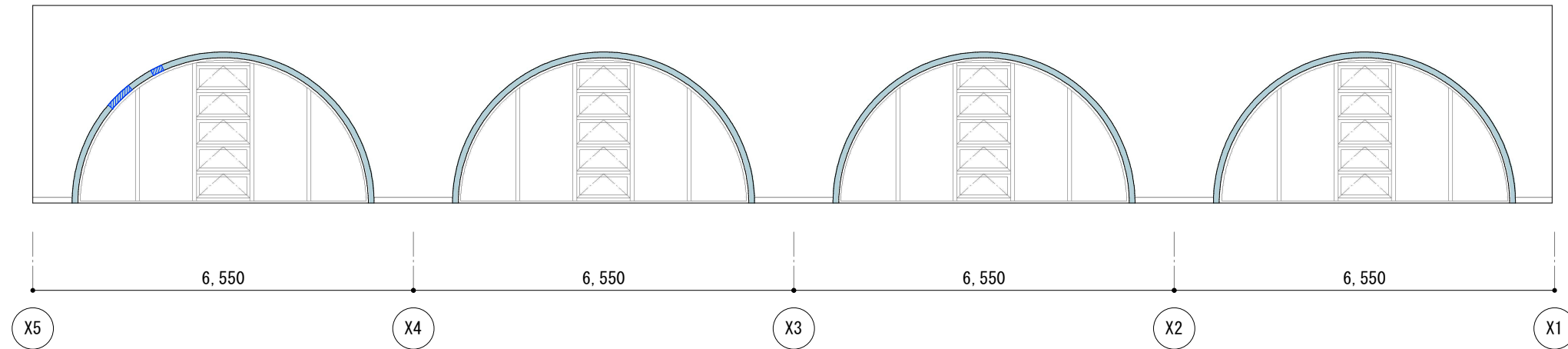


センター棟(回廊1) 西面立面図



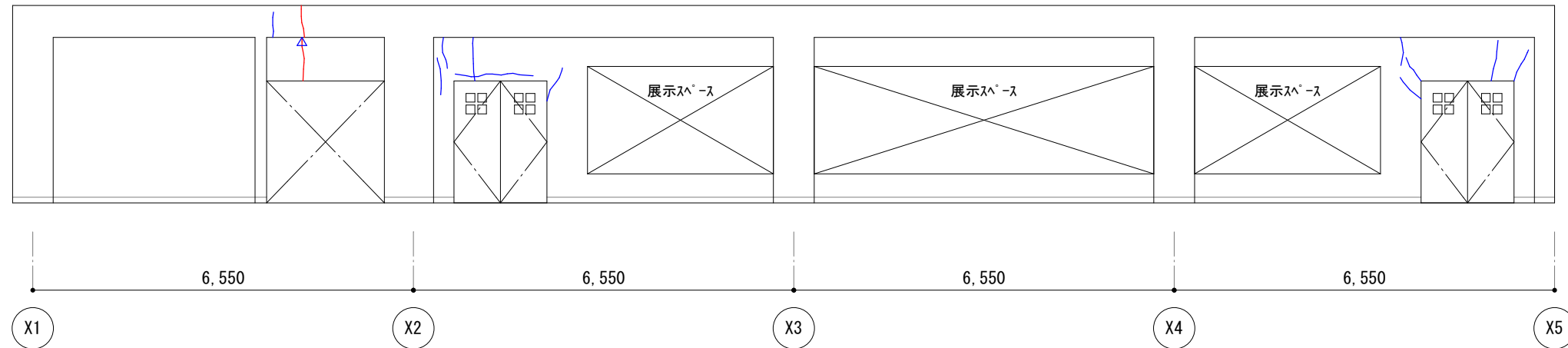
劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損

記号	劣化種別
	塗膜浮き
	塗膜剥れ

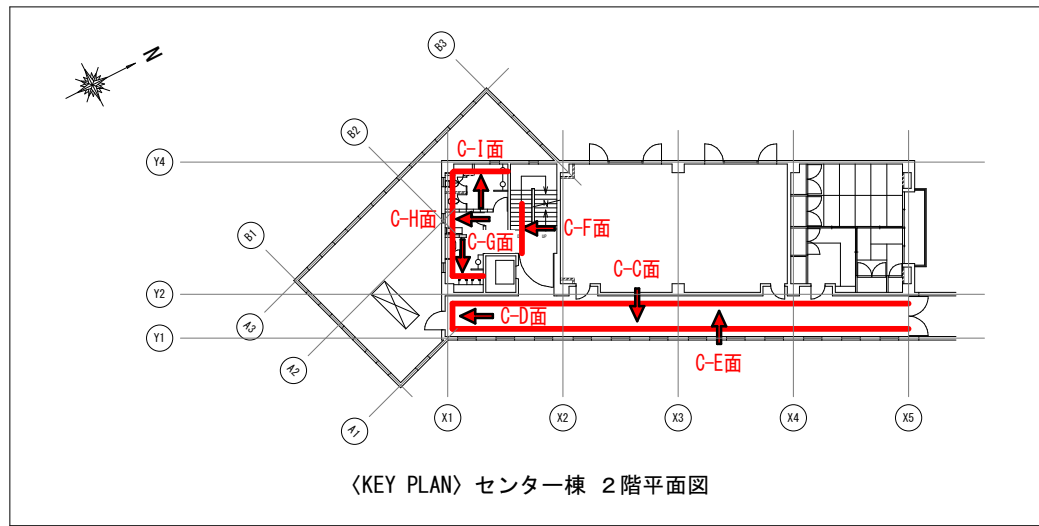


C-A面

※ はモザイクタイル(25角)の範囲を示す。



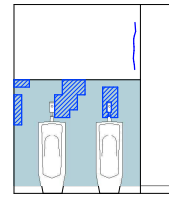
C-B面



〈KEY PLAN〉センター棟 2階平面図

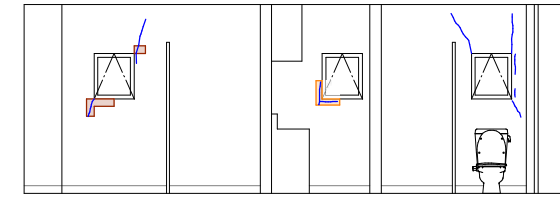
劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損

記号	劣化種別
	塗膜浮き
	塗膜剥れ

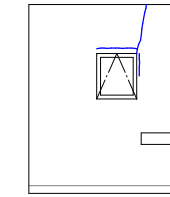


C-G面

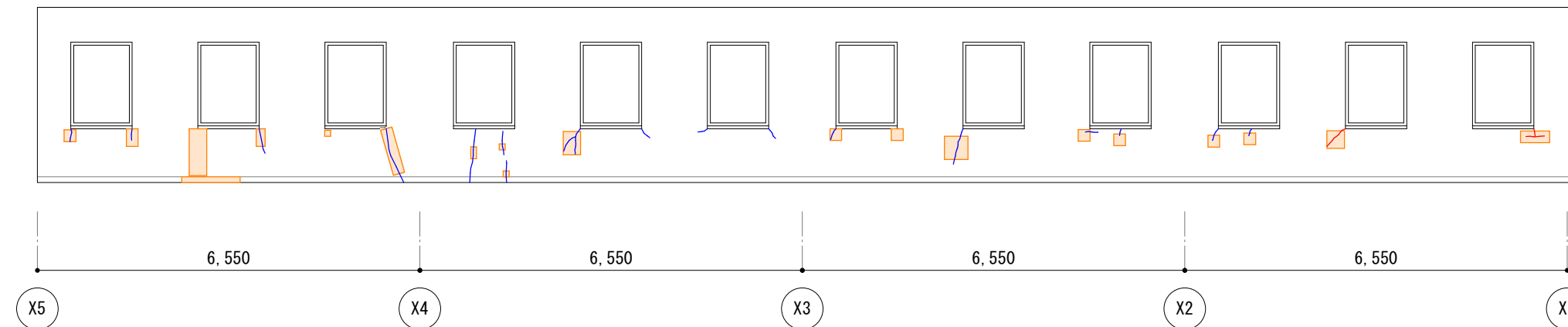
※ は100角の範囲を示す。



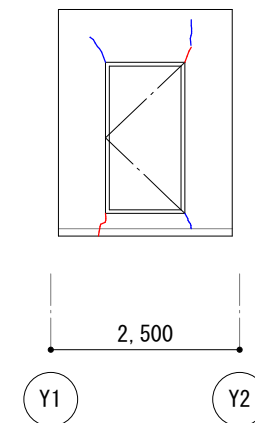
C-H面



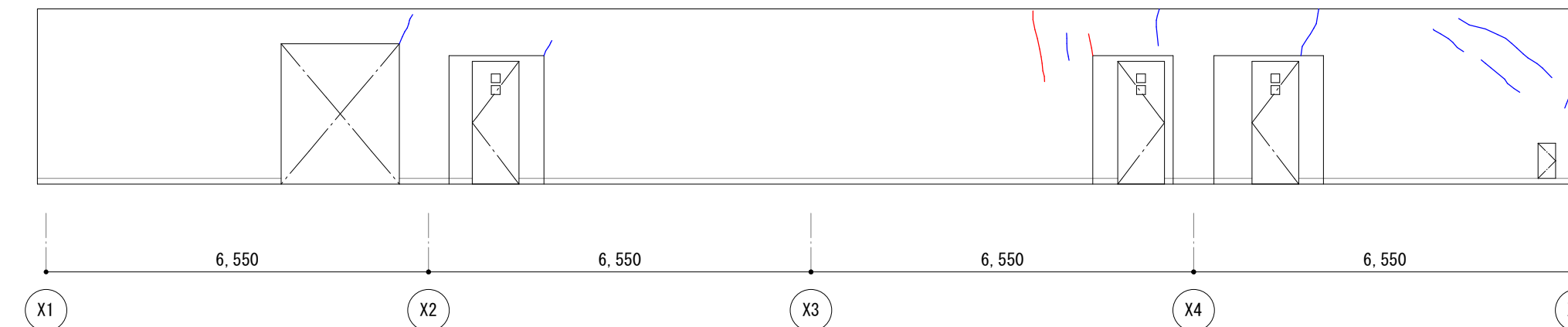
C-I面



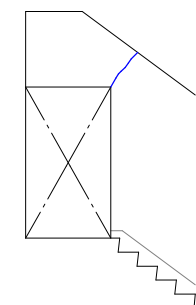
C-C面



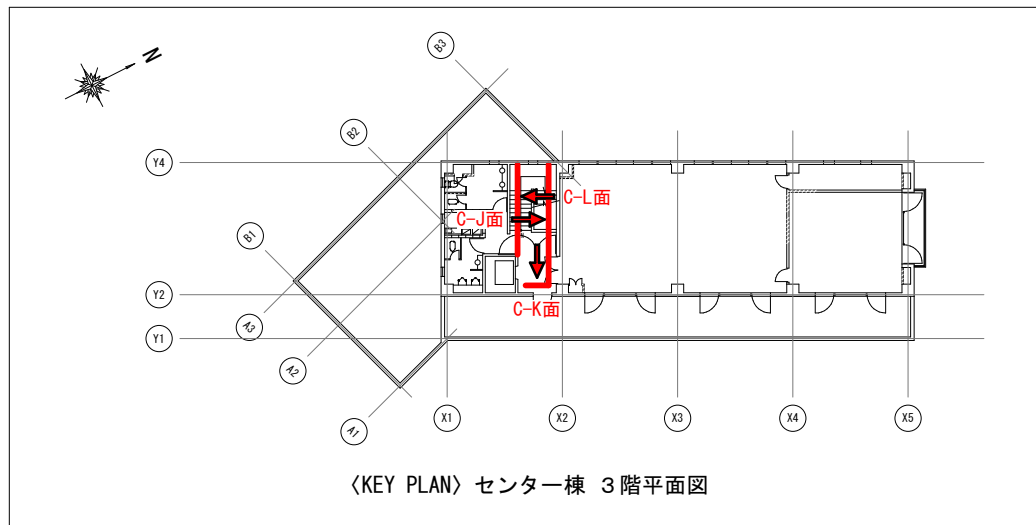
C-D面



C-E面



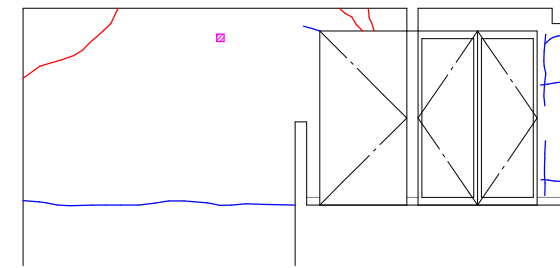
C-F面



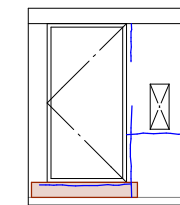
劣化凡例

記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損

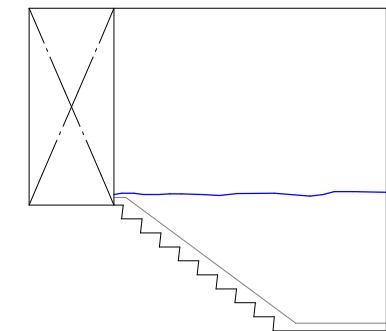
記号	劣化種別
	塗膜浮き
	塗膜剥れ



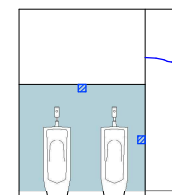
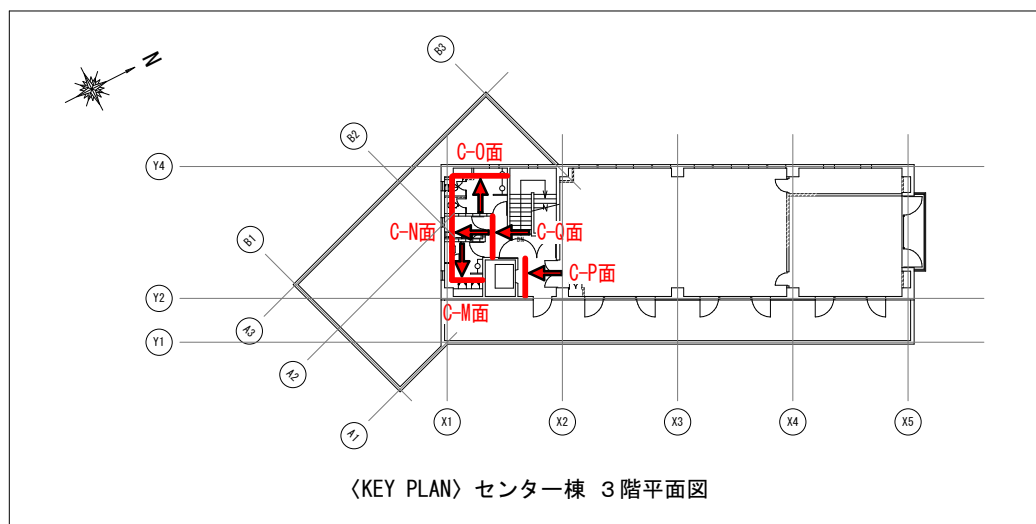
C-J面



C-K面

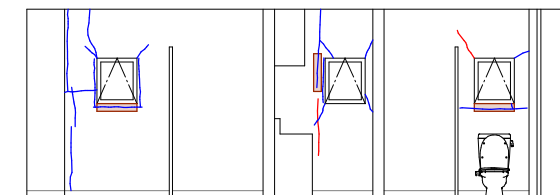


C-L面

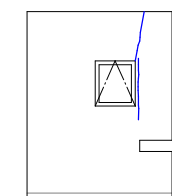


C-M面

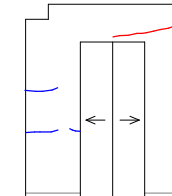
※ は100角タイルの範囲を示す。



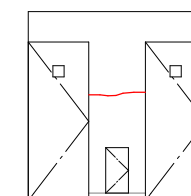
C-N面



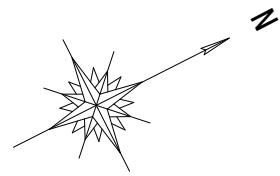
C-O面



C-P面

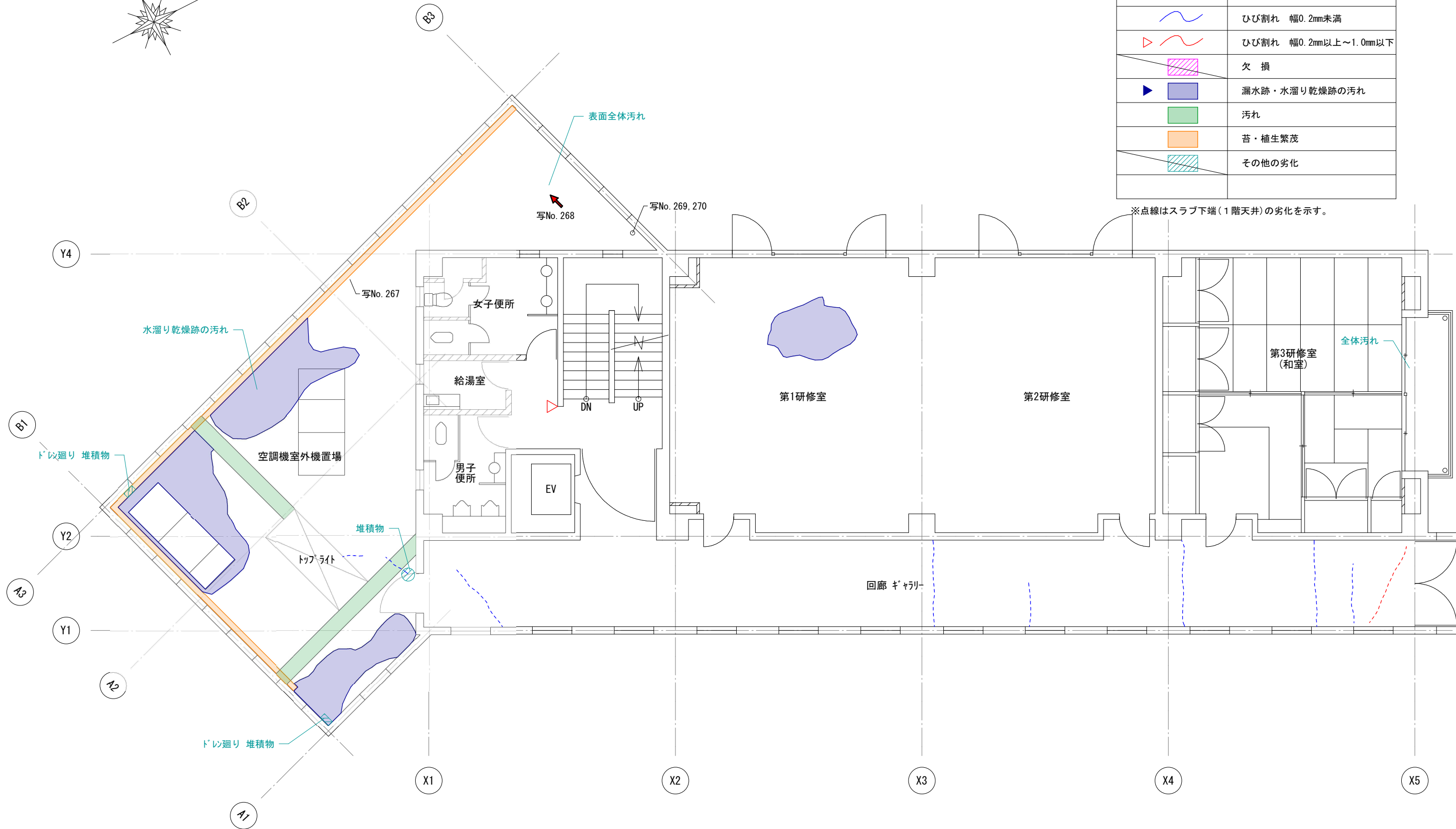


C-Q面

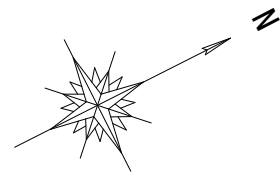


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	欠損
	漏水跡・水溜り乾燥跡の汚れ
	汚れ
	苔・植生繁茂
	その他の劣化

※点線はスラブ下端(1階天井)の劣化を示す。

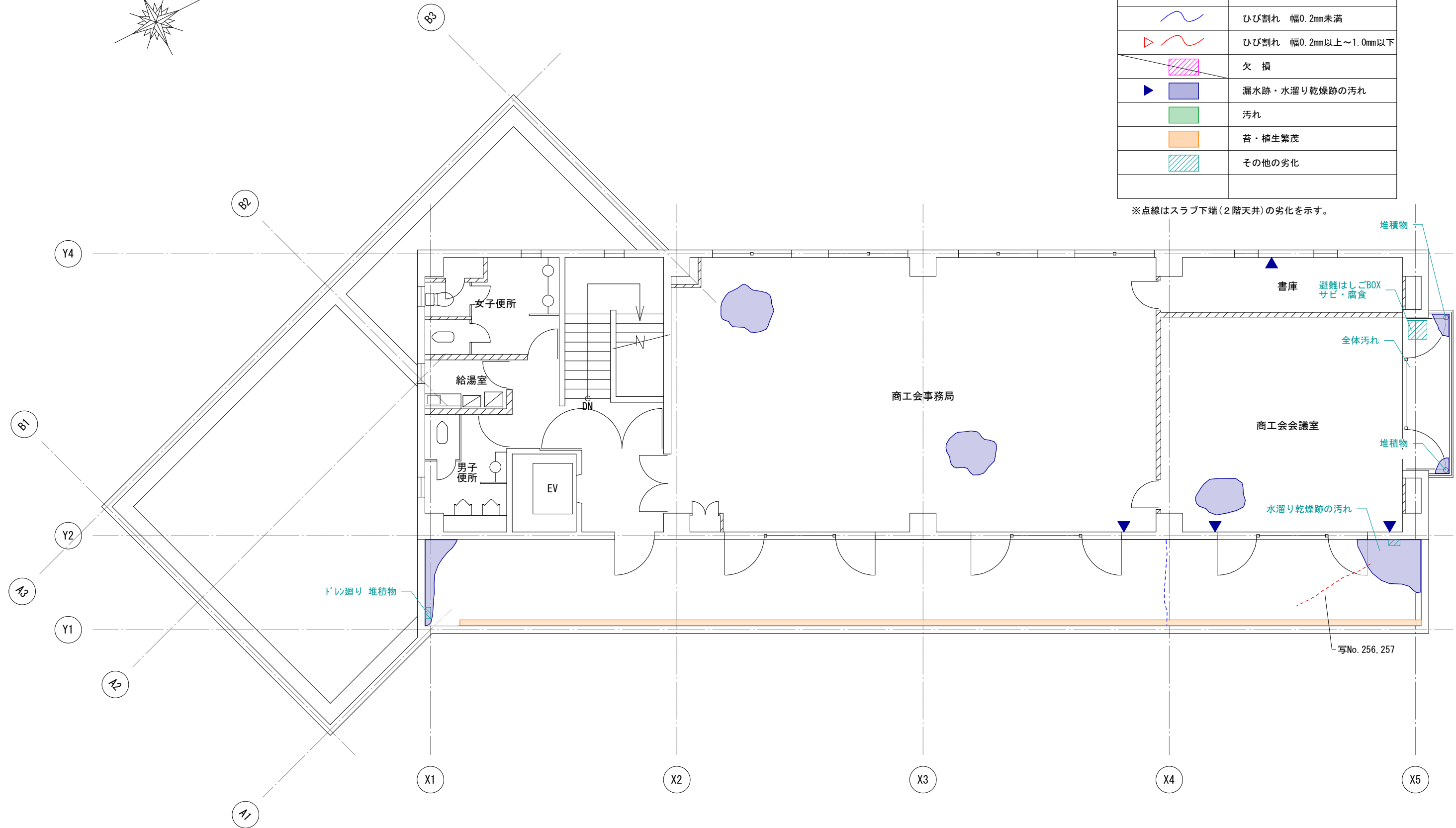


センター棟 2階平面図



劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	欠損
	漏水跡・水溜り乾燥跡の汚れ
	汚れ
	苔・植生繁茂
	その他の劣化

※点線はスラブ下端(2階天井)の劣化を示す。



センター棟 3階平面図

調査結果数量表【双葉駅コミュニティセンター / ホール棟+回廊2】

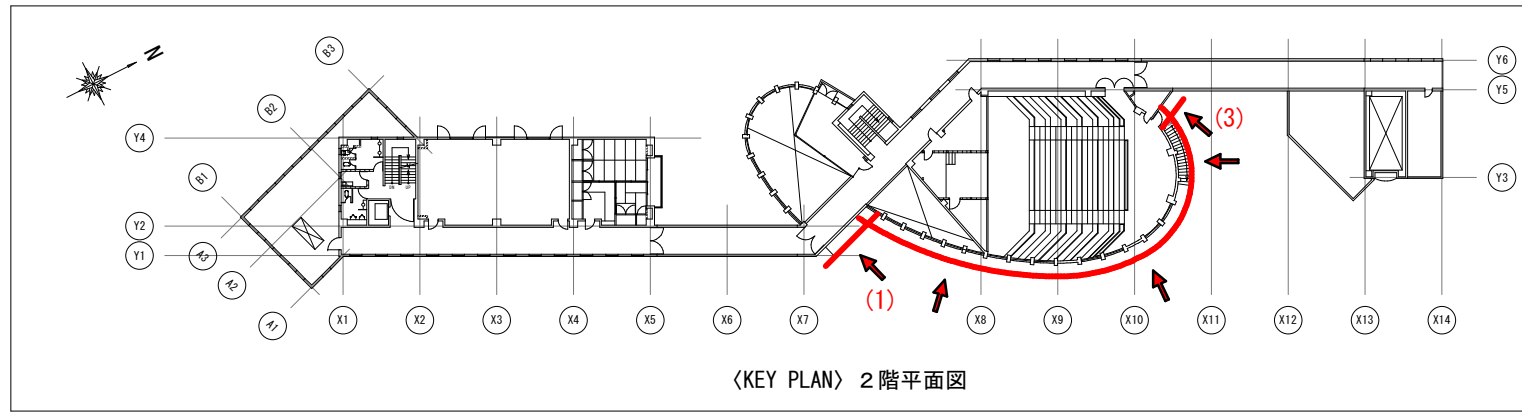
調査対象範囲 ※器具種別除外	ひび割れ		ひび割れ(20レバ以上)		浮き		塗膜浮き		コンクリート欠損		鉄筋欠損		爆裂・鉄筋露出		シール剥離・劣化		サビ計 (箇所)	備考		
	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	浮率 (%)	枚数	浮率 (%)	枚数	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所					
全 面	367.25	90.16	25.11	-	-	0.07	0.02	46	-	-	0.00 ^{※1}	37	0.00 ^{※2}	2	1.70	9	13.10	18	41	
1F	打放し	148.01	71.31	16.46	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	27	-	-	0.80	4	6.90	12	28	・薄塗り珪藻土がれ (0.3×0.15) ・木目珪藻土浮き (0.2×0.2)×2箇所 (0.3×0.1)×1箇所
	外装(≠)左官仕上	11.90	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	2	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)水平凹凸付	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木目珪藻土	14.43	2.45	-	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	2	-	-	-	-	-	-	-	
2F	打放し	145.49	16.40	8.15	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	8	-	-	0.90	5	6.20	6	13	・廊下 腐食 2箇所
	外装(≠)左官仕上	21.46	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)水平凹凸付	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	珪藻土(25角)	14.58	-	-	-	0.07	0.49	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全 面	298.38	58.66	5.90	-	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	9	-	-	-	50.65	36	12		
1F	打放し	52.54	31.28	4.70	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	6	-	-	-	-	31.85	20	4	・蛍光灯 ・亀甲ひび割れ (0.3×0.7)×3箇所 ・珪藻土・金属物 露出×4箇所
	外装(≠)左官仕上	59.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)吹付仕上	23.95	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)水平凹凸付	0.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2F	打放し	65.60	19.78	0.50	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	2	-	-	-	-	18.80	16	8	・珪藻土浮き (0.8×0.1)×1箇所
	外装(≠)左官仕上	43.92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)吹付仕上	31.61	7.10	0.70	-	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	1	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)水平凹凸付	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
珪藻土(25角)	20.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
全 面	79.42	30.10	12.67	7.30	6.00	0.02	0.03	20	0.15	0.19	3	-	-	-	-	-	-	1		
外壁側	外装(≠)左官仕上	33.63	3.65	2.70	4.40	1.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	外装(≠)水平凹凸付	1.96	0.90	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	打放し+AEF塗装	21.27	21.95	7.07	2.90	-	-	-	0.15	0.71	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)左官仕上	8.42	3.60	1.80	-	4.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
裏側 手摺壁側	珪藻土(25角)	14.14	-	-	-	0.02	0.15	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全 面	74.42	33.75	5.70	10.00	3.60	-	-	0.20	0.27	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)左官仕上	34.47	6.10	1.50	5.80	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)水平凹凸付	5.44	1.00	0.50	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
裏側 手摺壁側	打放し+AEF塗装	21.27	23.05	3.70	0.80	2.60	-	-	0.20	0.95	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外装(≠)左官仕上	11.64	3.60	-	3.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	珪藻土(25角)	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	天井	打放し+AEF塗装	28.46	26.20	13.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 劣化量は一部CADの測計ツールを用いて算出した。実際の劣化量と差が生じることに留意が必要である。
 ※2 劣化量が「0.01より小さい」ことを示す。

調査対象範囲	ひび割れ		ひび割れ(20レバ以上)		浮き		塗膜剥れ		欠損		爆裂・鉄筋露出		漏水跡・水溜り乾燥跡		備考	
	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	浮率 (%)	枚数	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所			
水 1 階 内 壁	H-A面	打放し(養生・珪藻土)	6.44	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-B面	打放し+AEF塗装(珪藻土)	7.00	2.85	-	-	-	-	0.11	1	-	-	-	-		
	H-C面	打放し+AEF塗装(珪藻土)	6.35	4.20	-	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	1	-	-	-		
	H-D面	打放し+AEF塗装(珪藻土)	1.75	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-E面	打放し+AEF塗装(珪藻土)	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-F面	打放し(25角)	13.13	5.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-G面	打放し+AEF塗装	14.75	17.45	-	-	-	-	0.09	1	0.00 ^{※1}	2	-	-	-	
	H-H面	打放し	11.80	10.10	1.30	-	-	-	0.01	16	-	-	0.20	3	-	
	H-I面	打放し+AEF塗装	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	H-J面	打放し+AEF塗装	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水 1 階 内 壁	H-K面	打放し+AEF塗装	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-L面	打放し+AEF塗装	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-M面	打放し	-	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-N面	珪藻土+AEF塗装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.80	1	-	-	
	H-O面	珪藻土+AEF塗装	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-P面	珪藻土+AEF塗装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	2	-	-	
	H-Q面	珪藻土+AEF塗装	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	平面図	検査・珪藻土	床: 300角×4貼(磁器質)	3.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		床	300角×4貼(磁器質)	13.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		男子便所1	床: 長尺×4床シート	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水 2 階 内 壁	天井	天井: 打放し+AEF塗装	24.10	17.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	H-S面	打放し+AEF塗装	12.10	12.05	1.30	-	-	-	-	-	-	0.03	1	-	-	
	H-T面	打放し+AEF塗装	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	H-U面	打放し+AEF塗装	23.39	4.25	3.90	-	-	-	-	0.00 ^{※1}	1	-	-	0.30	1	
	H-V面	打放し+AEF塗装	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	H-W面	打放し+AEF塗装	1.30	3.00	-	-	-	-	-	-	-	0.39	2	-	-	
	H-X面	打放し+AEF塗装	0.70	5.10	-	-	-	-	-	-	-	0.85	3	-	-	
	平面図	床	長尺×4床シート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		床	珪藻土	11.70	3.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		天井	天井: 打放し+AEF塗装	31.47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平面図	屋根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	・金属板 付+付(全体)	

※1 劣化量は一部CADの測計ツールを用いて算出した。実際の劣化量と差が生じることに留意が必要である。
 ※2 劣化量が「0.01より小さい」ことを示す。

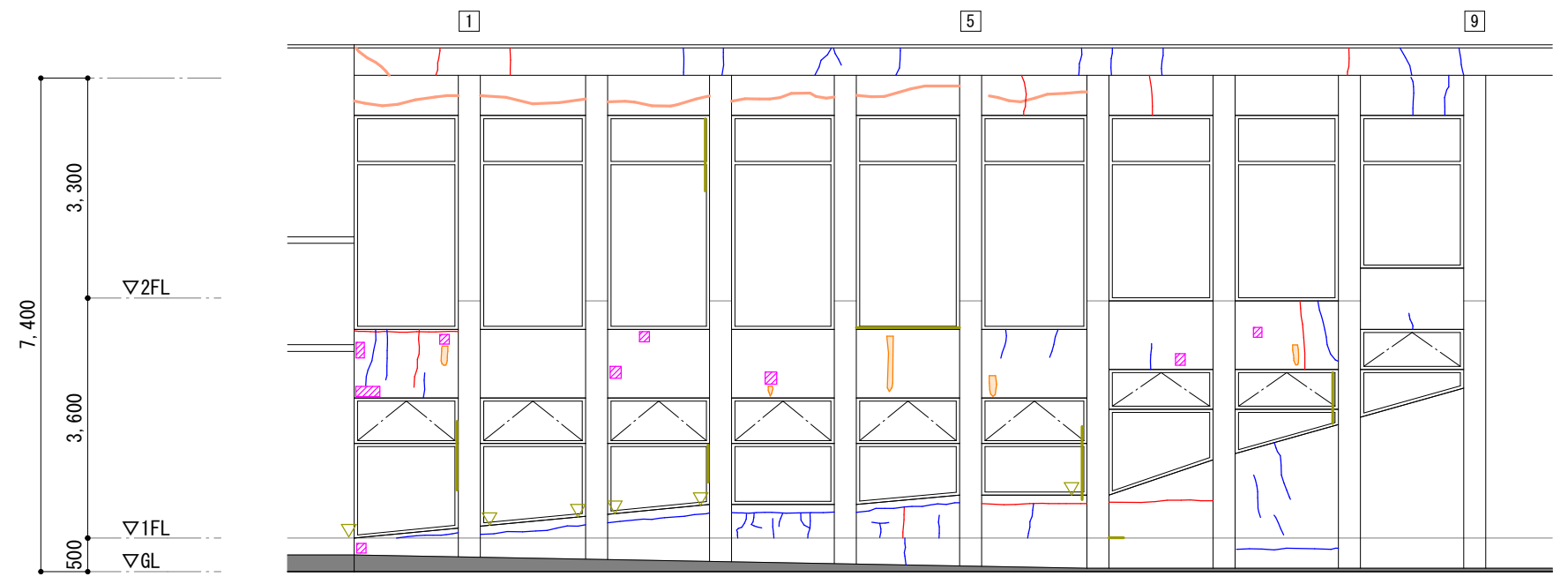
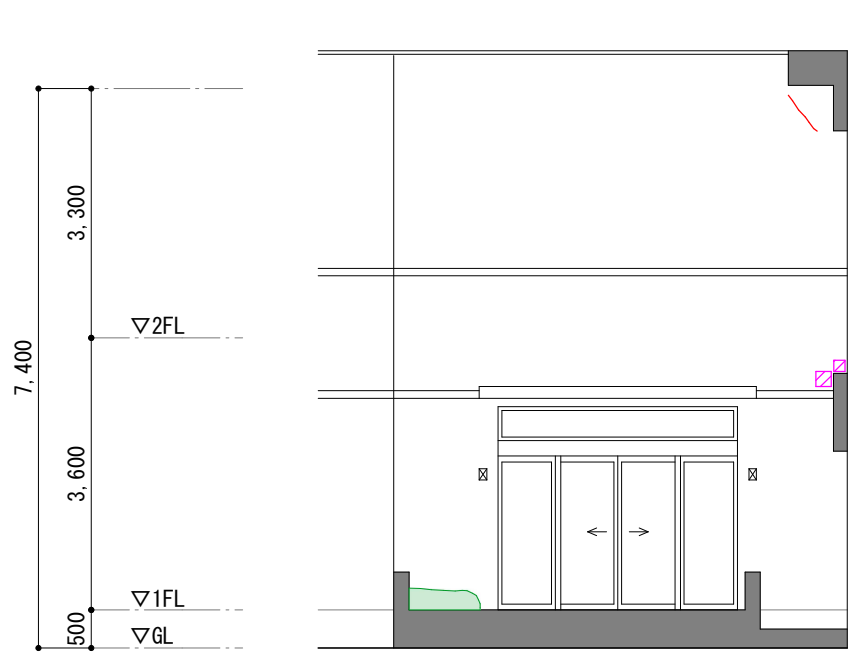
内部仕上	調査面積	全体面積	調査割合	予選数量 ^{※3}										備考				
				ひび割れ		ひび割れ(20レバ以上)		浮き		塗膜剥れ		爆裂・鉄筋露出			漏水跡・水溜り乾燥跡			
				0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	枚数	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所		箇所			
床	300角×4貼(磁器質)	215.65	215.65	100%	17.10	0	0	0	-	-	-	-	-	-	1			
	長尺×4床シート	0	519.76	21.11%	64.9	4.93	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	珪藻土	109.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
水 1 階 内 壁	躯体面(調査)	481.81	969.97	-	207.64	146.59	13.39	-	-	-	0.41	-	0.0	-	3.03	-	0.62	-
	躯体面(調査不可)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C/B素地	64.92	74.55	48.55%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C/B+塗装	7.16	73.04	-	2.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.77	-	-	-
	C/B+断熱+珪藻土	-	23.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	LS面	83.28	83.28	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天 井	珪藻土	2.54	2.54	100%	0	0	0	0	0.01	16	-	-	-	-	-	-	-	-
	100角×4貼	8.05	8.05	100%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	打放し	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天 井	打放し+AEF塗装	151.14	280.95	53.80%	103.29	32.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	珪藻土+AEF塗装	0	-	-	-</													



劣化凡例

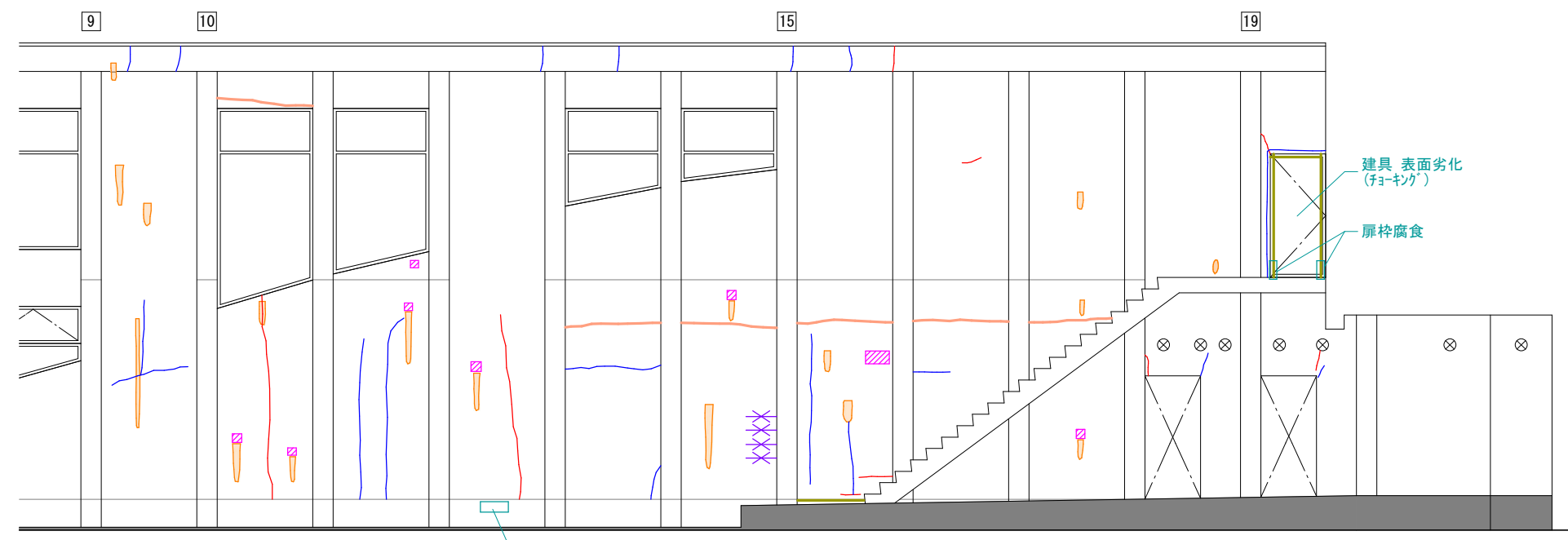
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損
	爆裂・鉄筋露出

記号	劣化種別
	シール剥離・劣化
	サビ汁
	コールドジョイント
	壁面汚れ
	その他の劣化

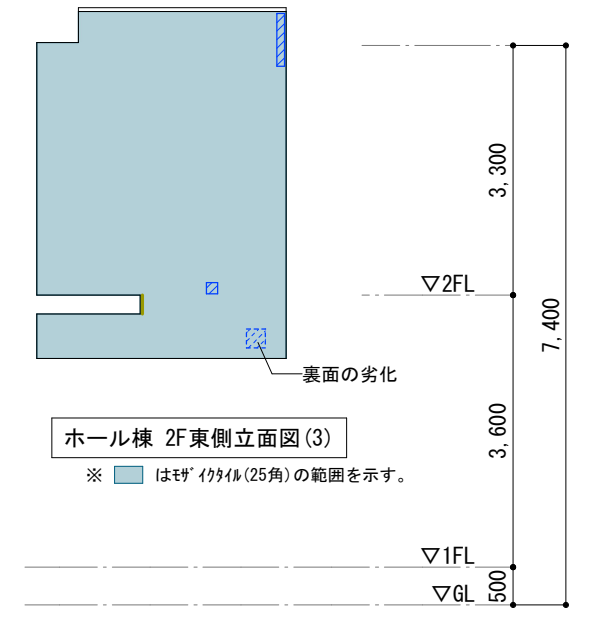


ホール棟 東面立面図(2)
※柱の劣化は別図に示す。

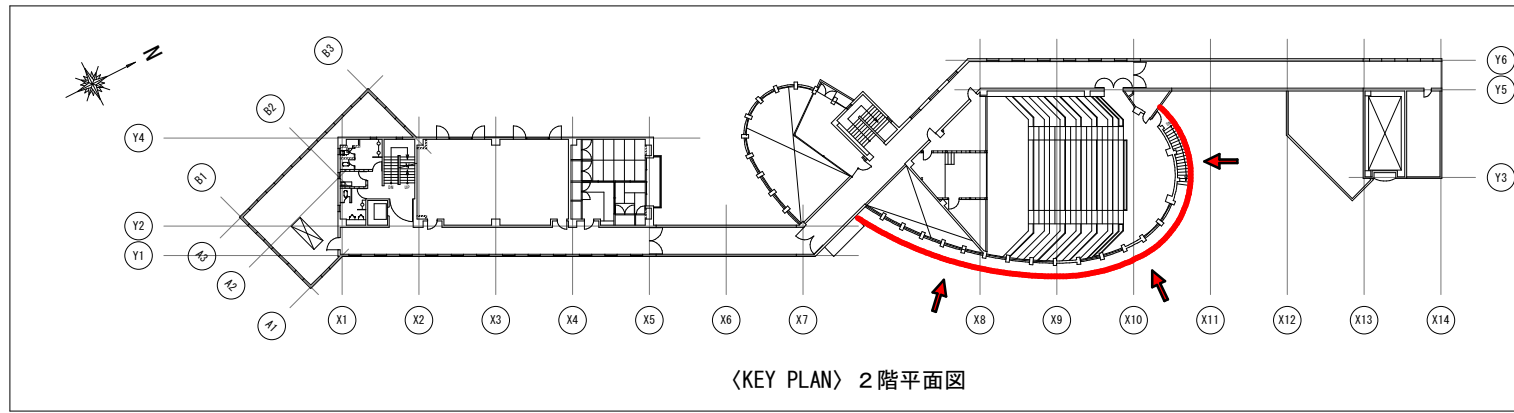
ホール棟 東面立面図(1)



ホール棟 東面立面図(2)
※柱の劣化は別図に示す。

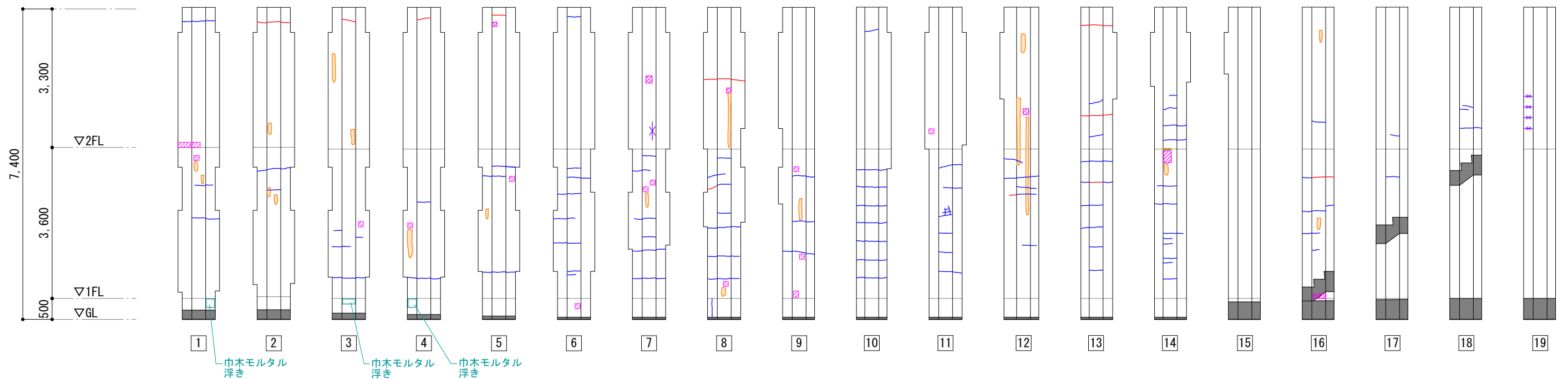
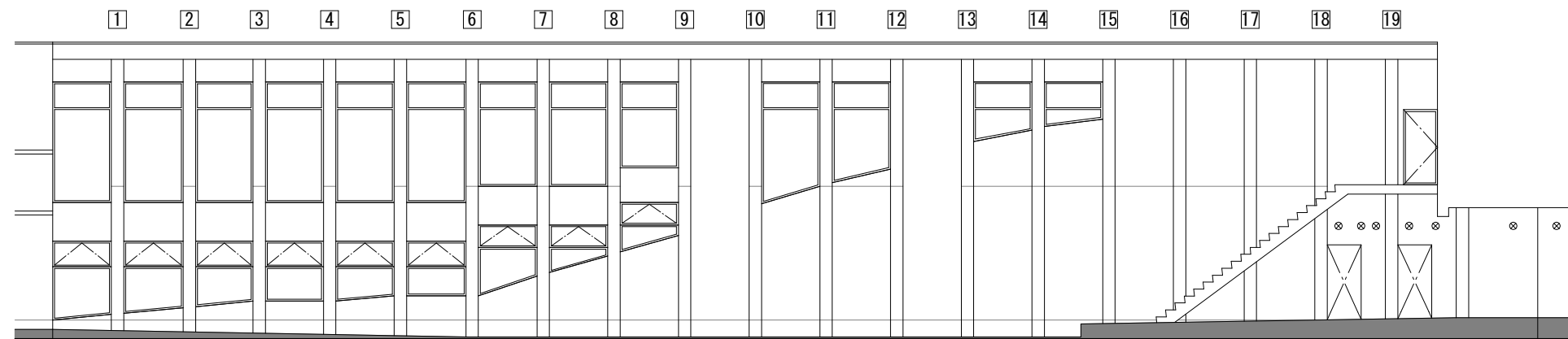


ホール棟 2F東側立面図(3)
※ はがし タイル(25角)の範囲を示す。

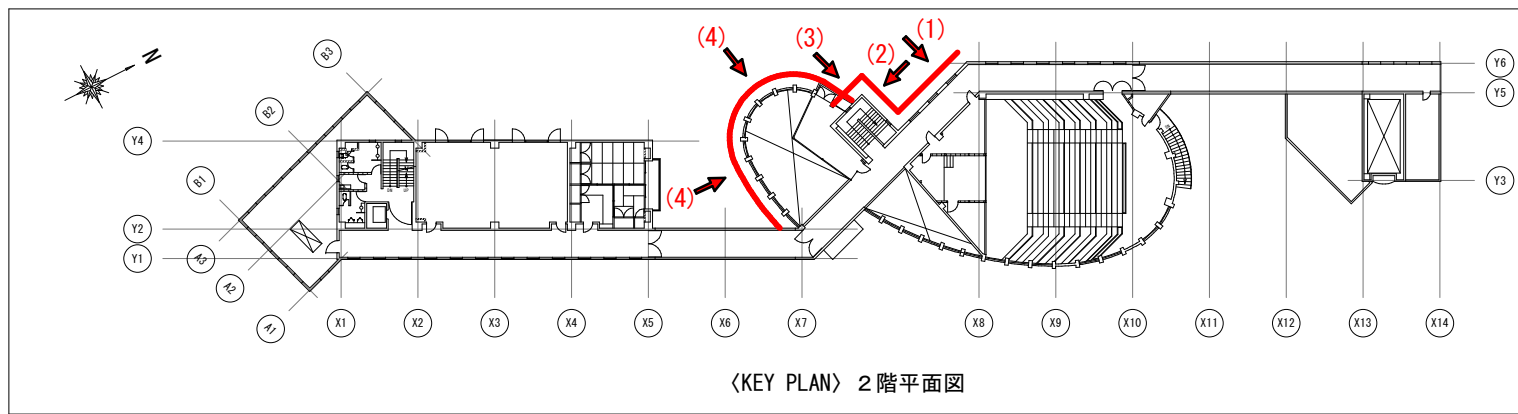


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損
	爆裂・鉄筋露出

記号	劣化種別
	シール剥離・劣化
	サビ汁
	コールドジョイント
	壁面汚れ
	その他の劣化

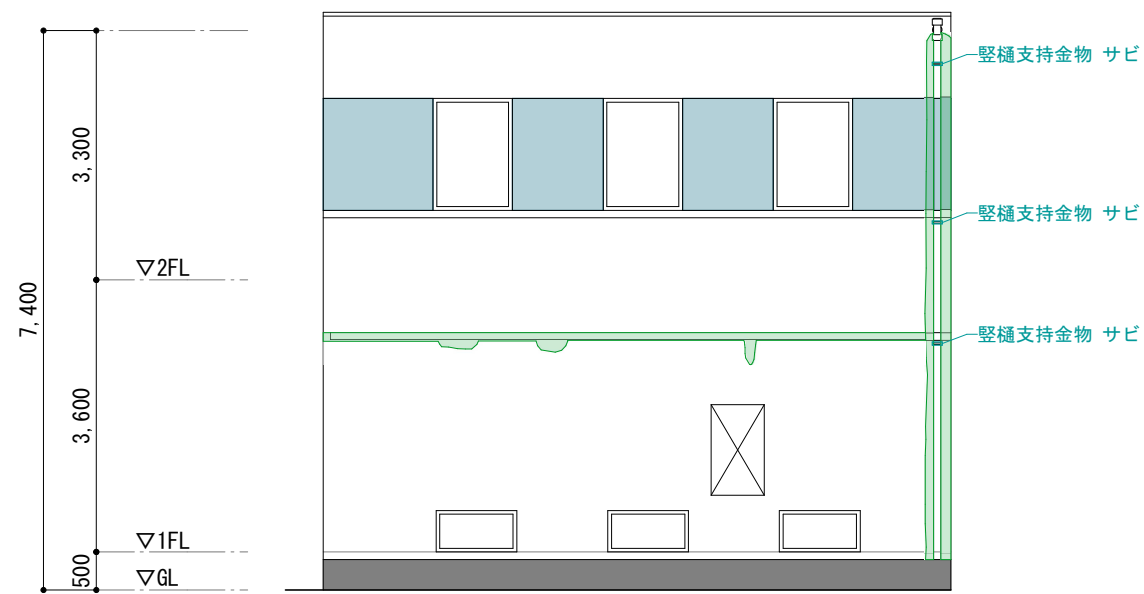


ホール棟 東面立面図 柱展開図

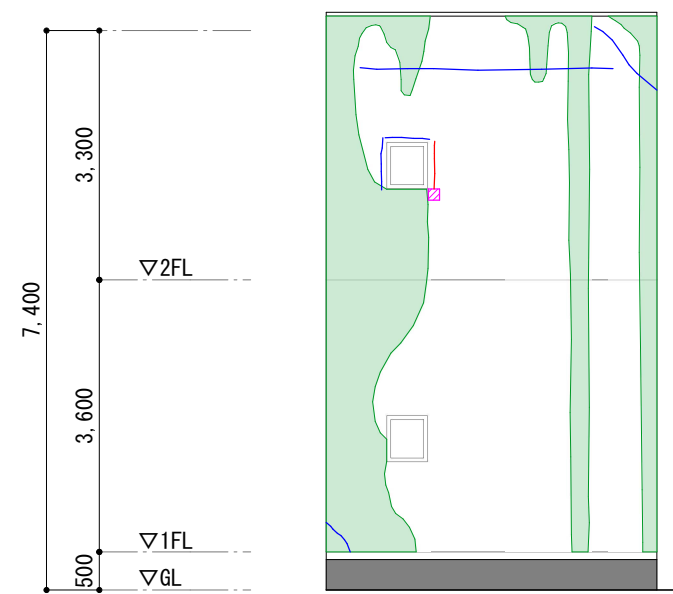


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損
	爆裂・鉄筋露出

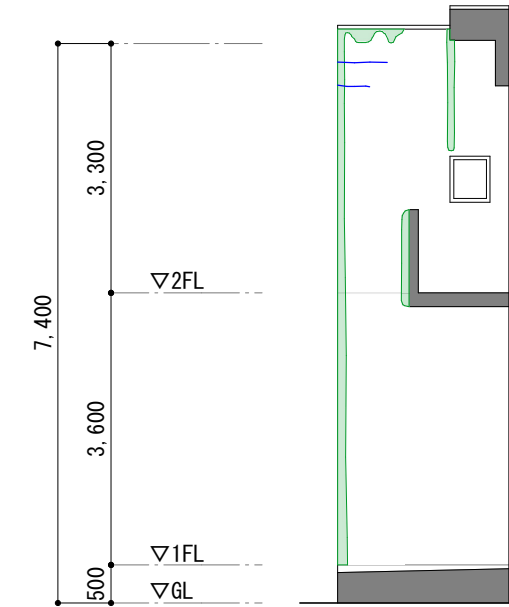
記号	劣化種別
	シール剥離・劣化
	サビ汁
	コールドジョイント
	壁面汚れ
	その他の劣化



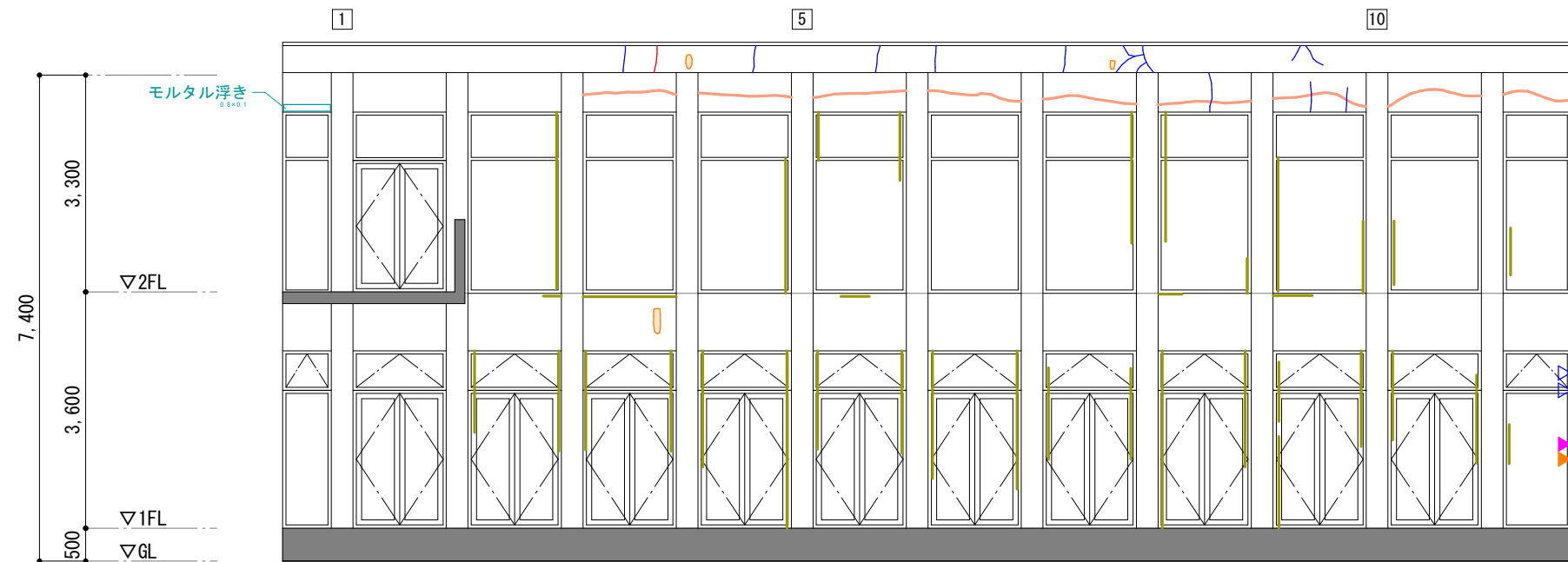
ホール棟 西面立面図(1)
※ はがしタイル(25角)の範囲を示す。



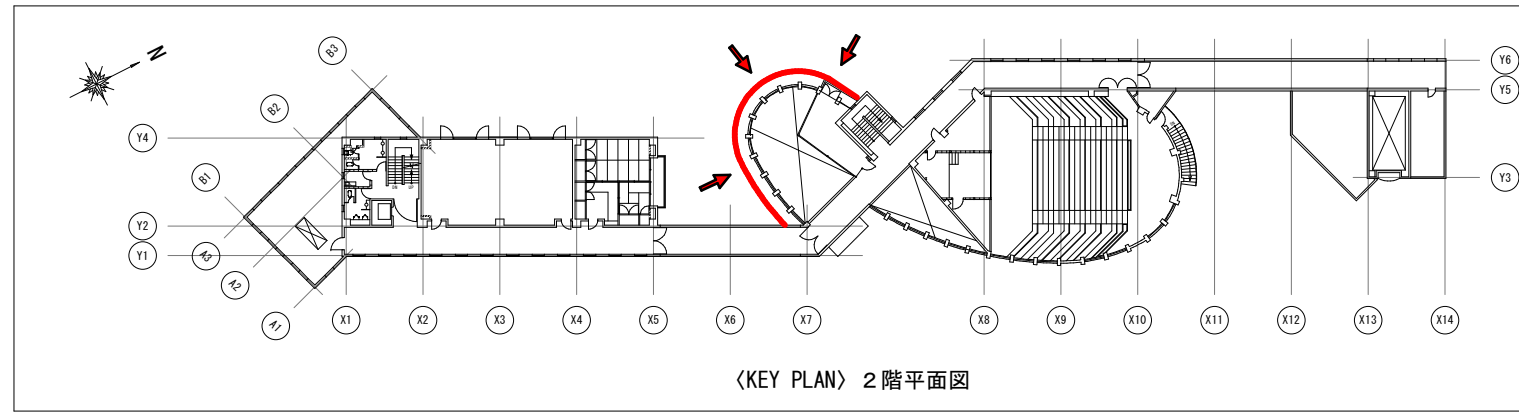
ホール棟 西面立面図(2)



ホール棟 西面立面図(3)

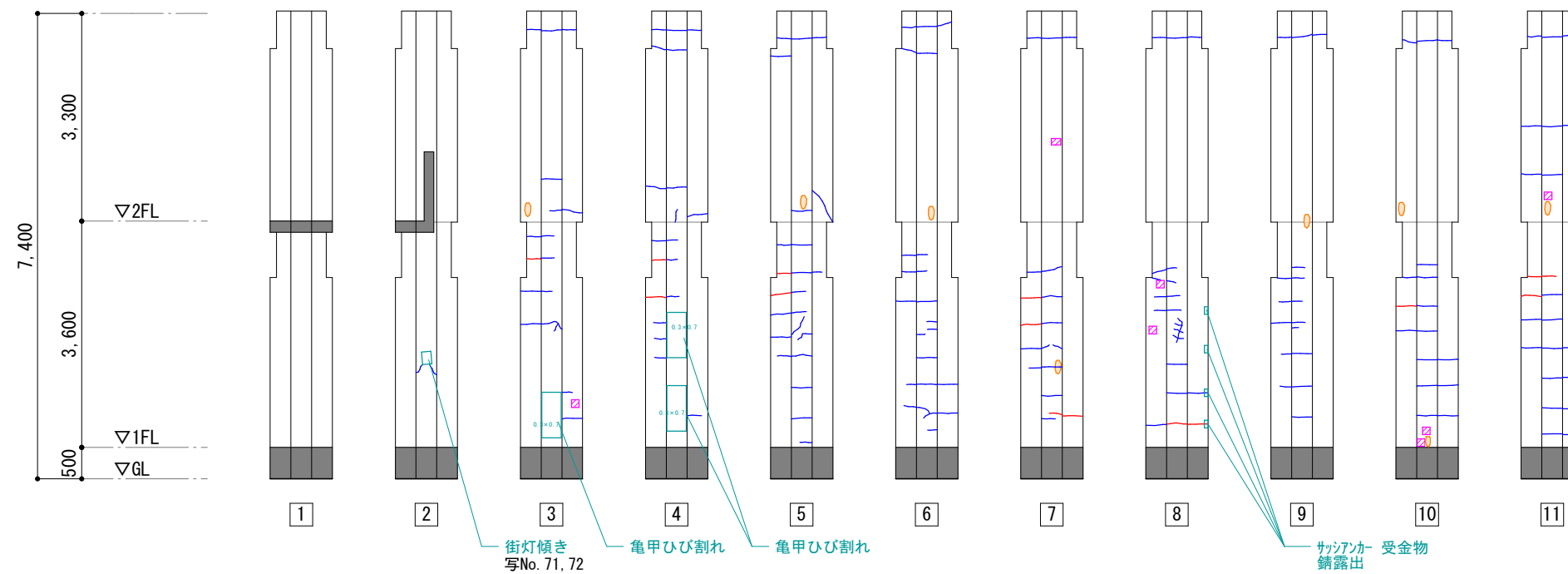
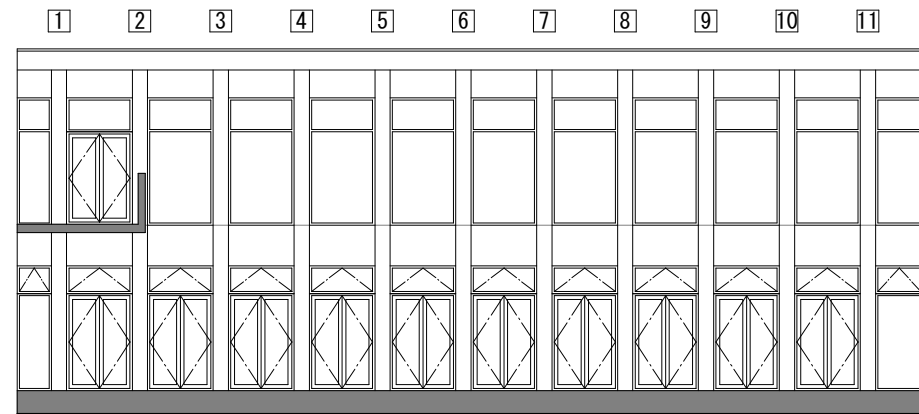


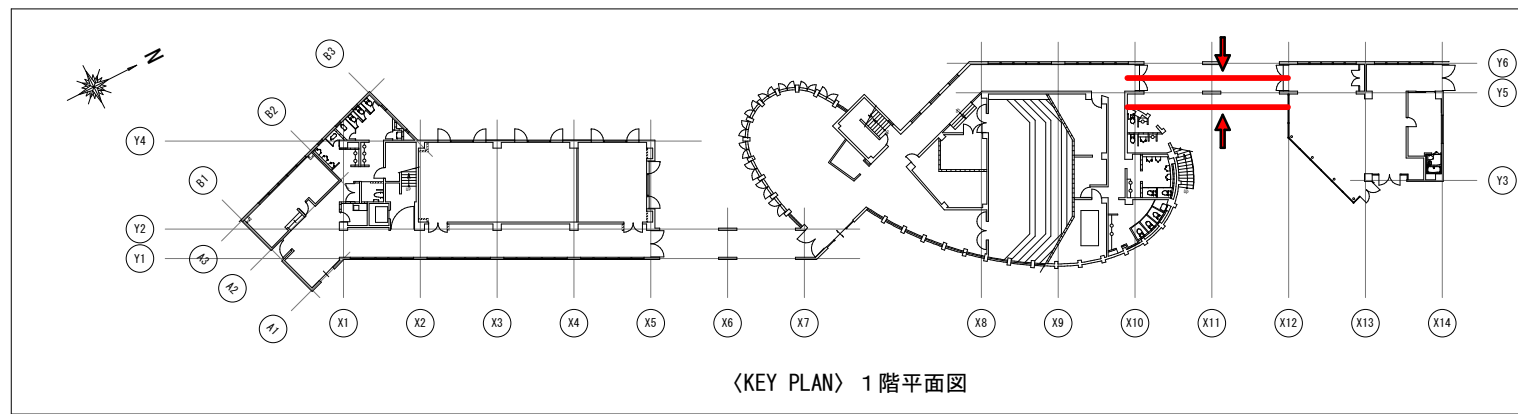
ホール棟 西面立面図(4)



劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損
	爆裂・鉄筋露出

記号	劣化種別
	シール剥離・劣化
	サビ汁
	コールドジョイント
	壁面汚れ
	その他の劣化

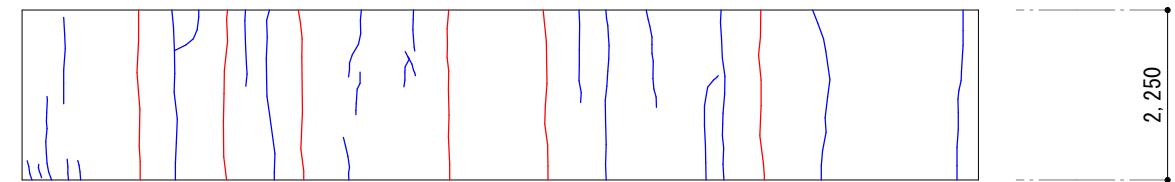




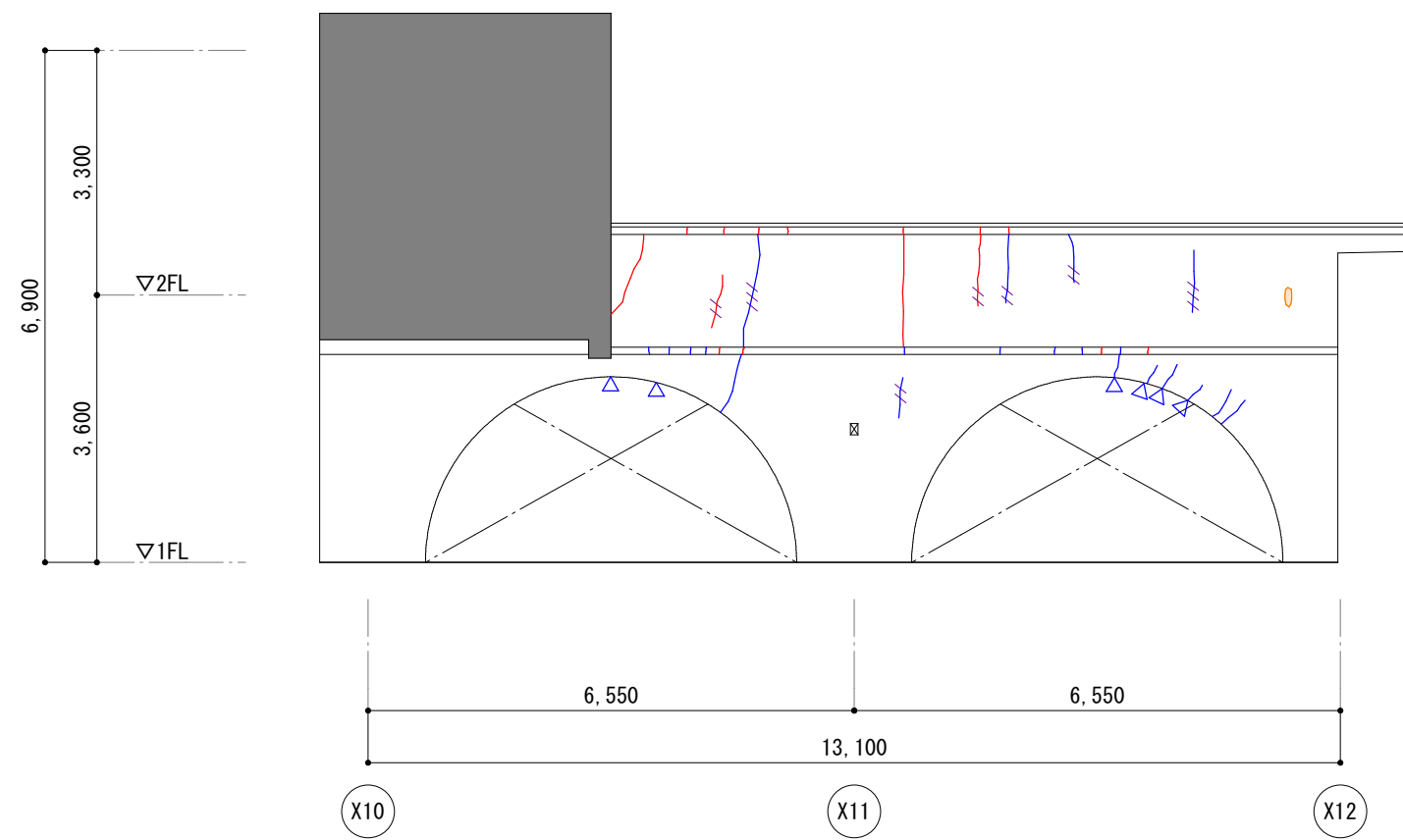
劣化凡例

記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	塗膜浮き

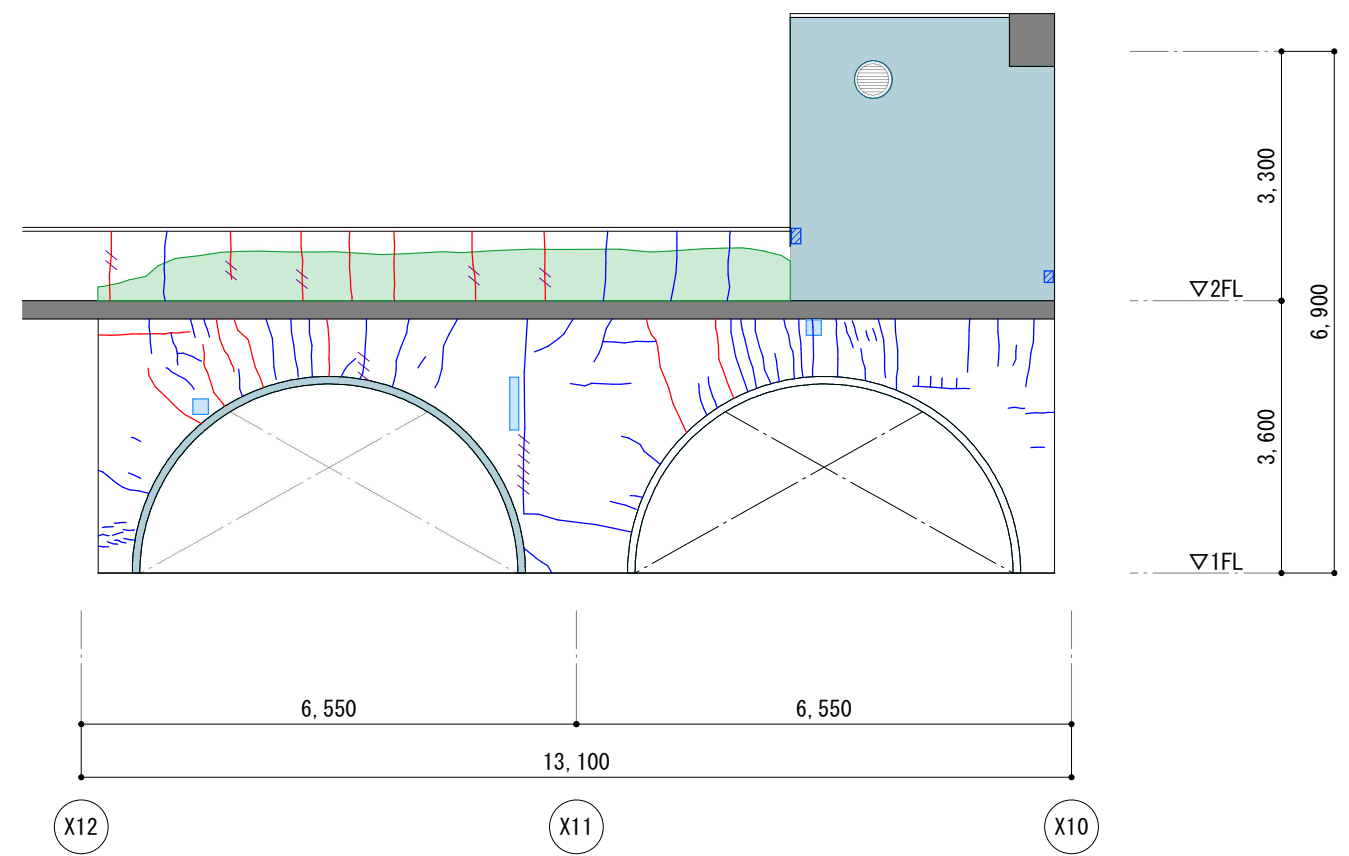
記号	劣化種別
	サビ汁
	壁面汚れ
	その他の劣化



センター棟(回廊1) 天井【見下げ図】

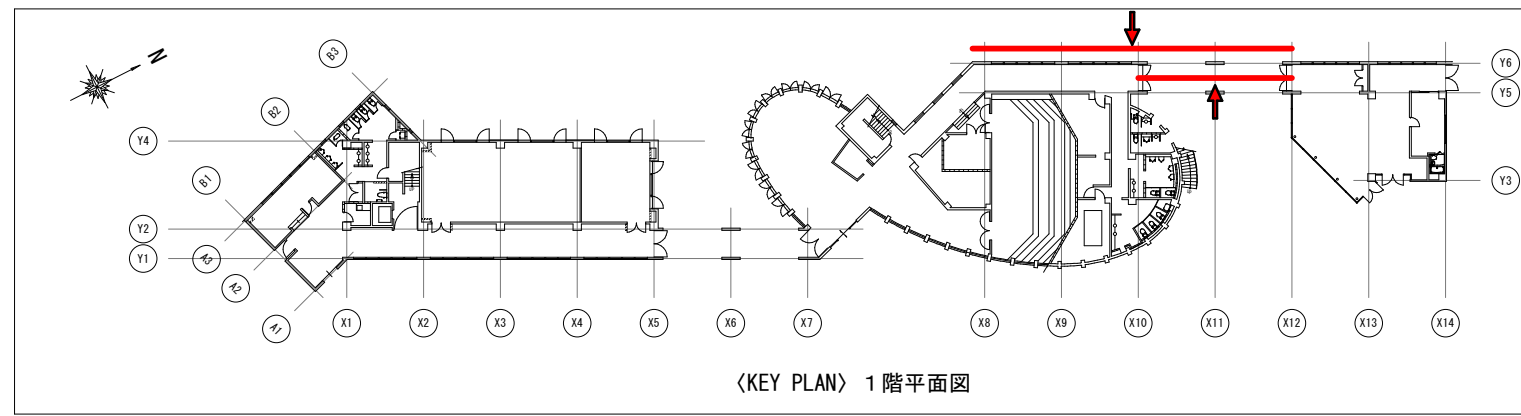


ホール棟(回廊2) 東面立面図



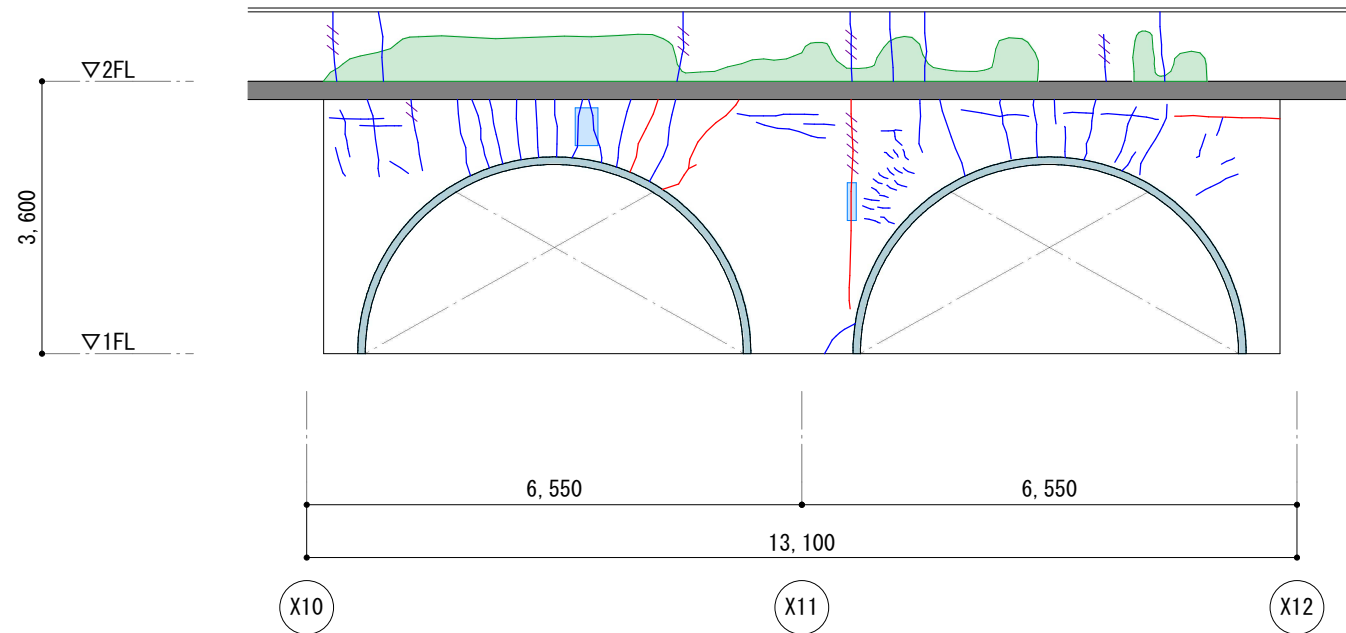
ホール棟(回廊2) 東面立面図【裏面】

※ はサ イタイル(25角)の範囲を示す。

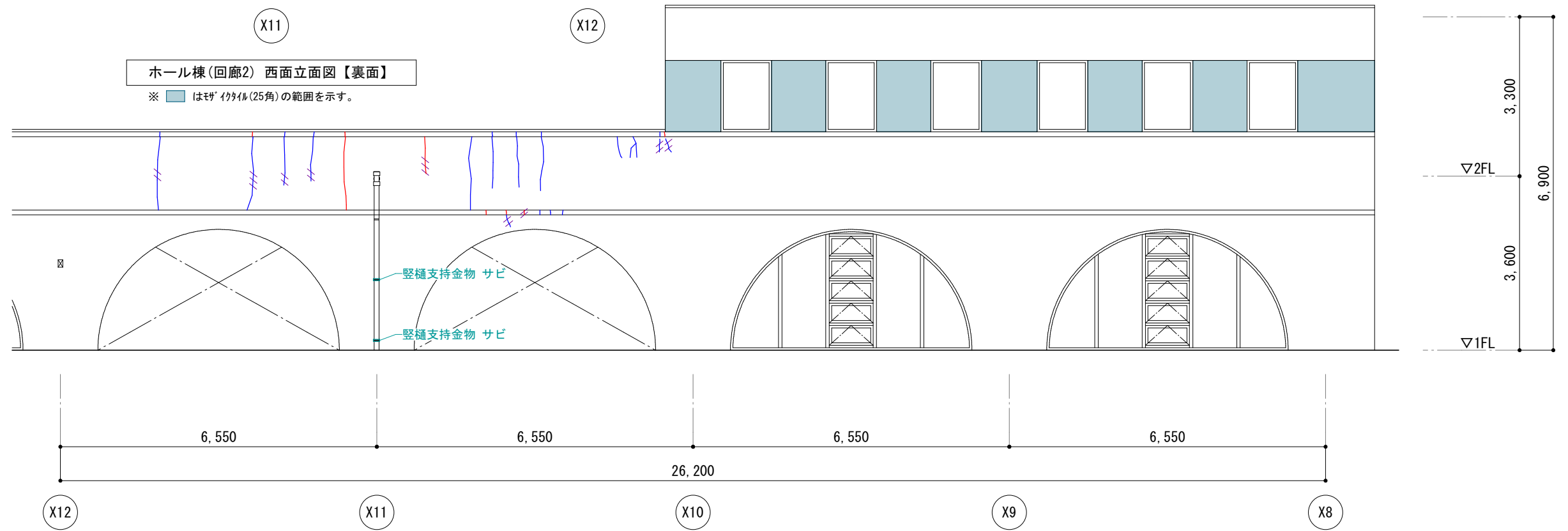


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	塗膜浮き

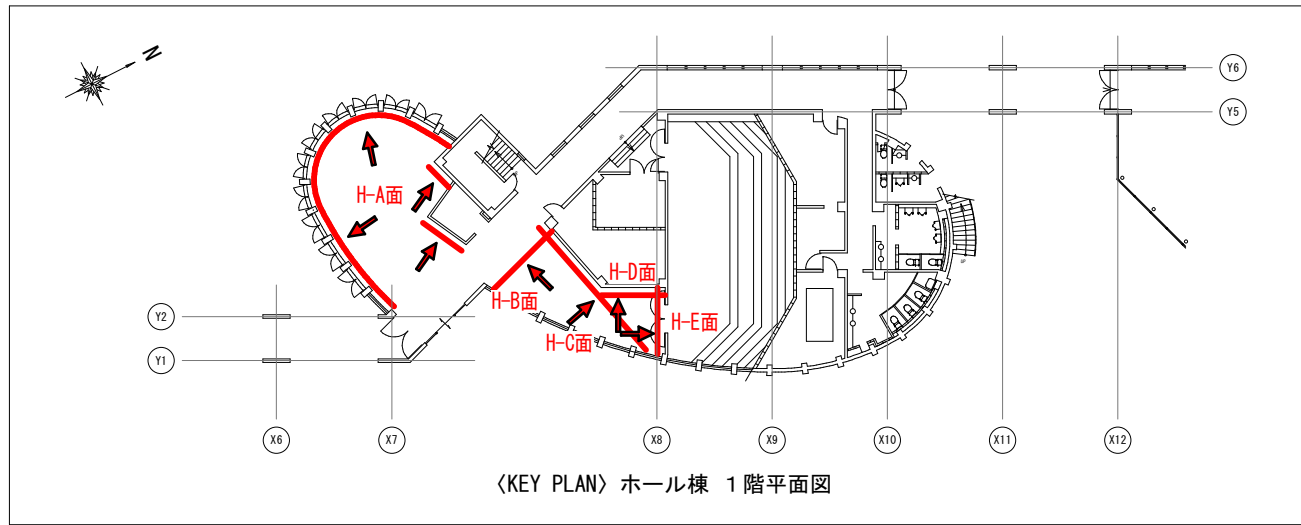
記号	劣化種別
	サビ汁
	壁面汚れ
	その他の劣化



ホール棟(回廊2) 西面立面図【表面】
※ はモザイクタイル(25角)の範囲を示す。

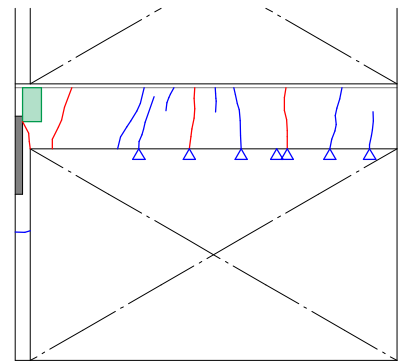


ホール棟(回廊2) 西面立面図
※ はモザイクタイル(25角)の範囲を示す。

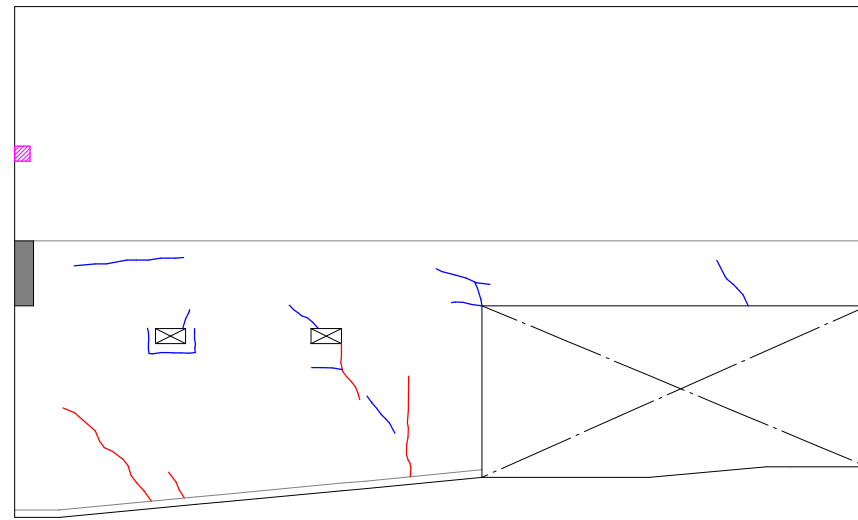


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	モルタル浮き

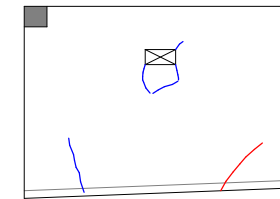
記号	劣化種別
	欠損
	塗膜剥れ
	爆裂・鉄筋露出



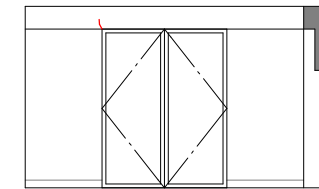
H-B面



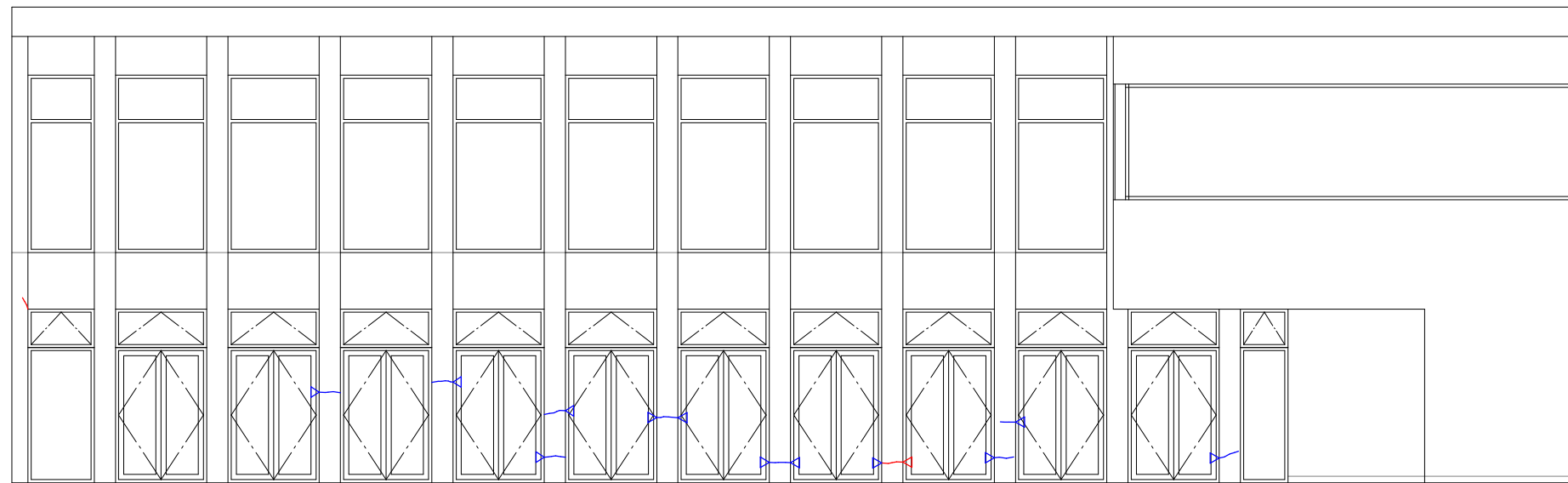
H-C面



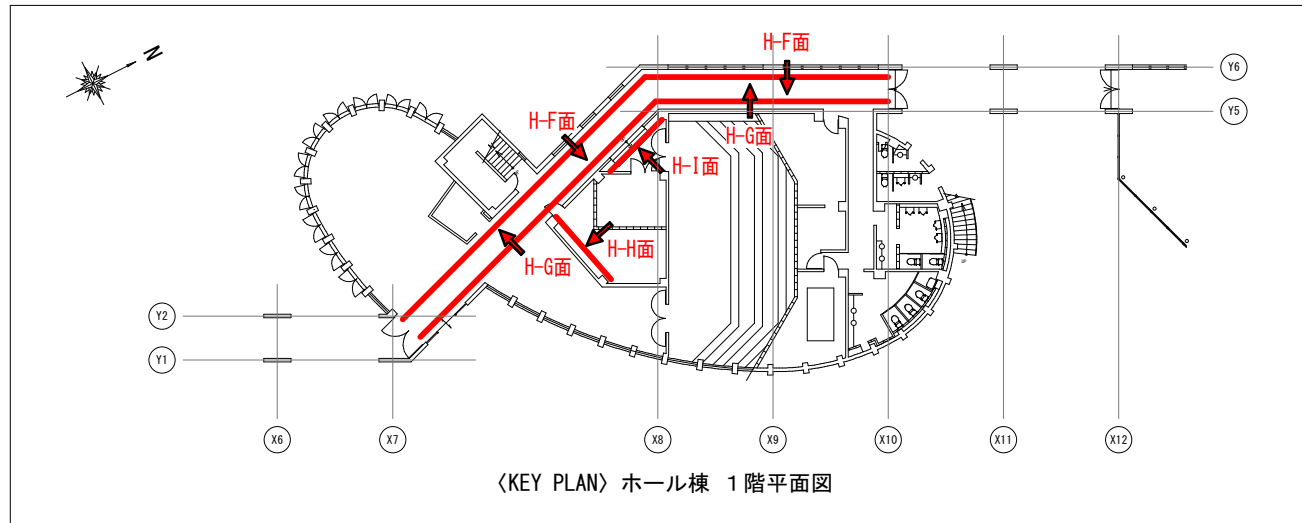
H-D面



H-E面

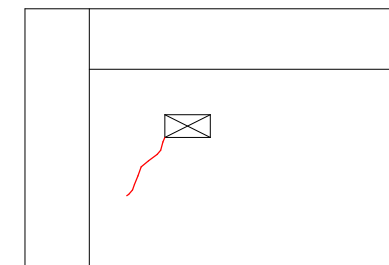


H-A面

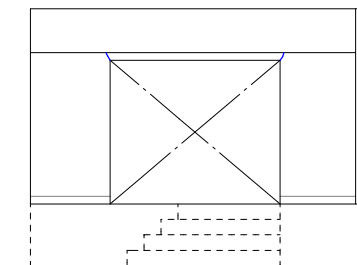


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	モルタル浮き

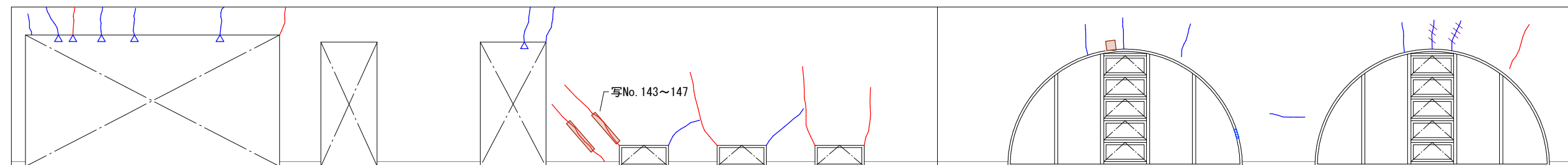
記号	劣化種別
	欠損
	塗膜剥れ
	爆裂・鉄筋露出



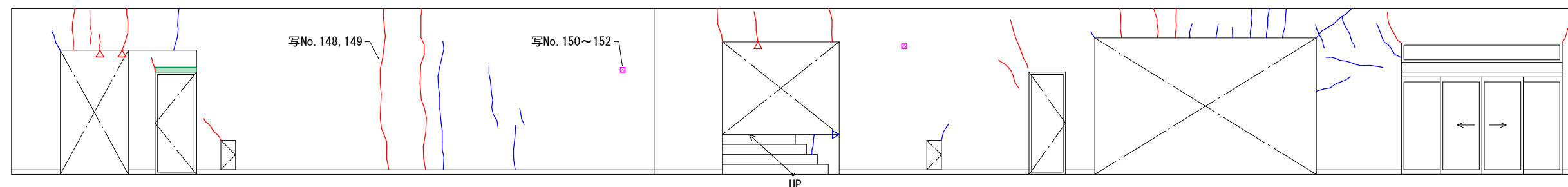
H-H面



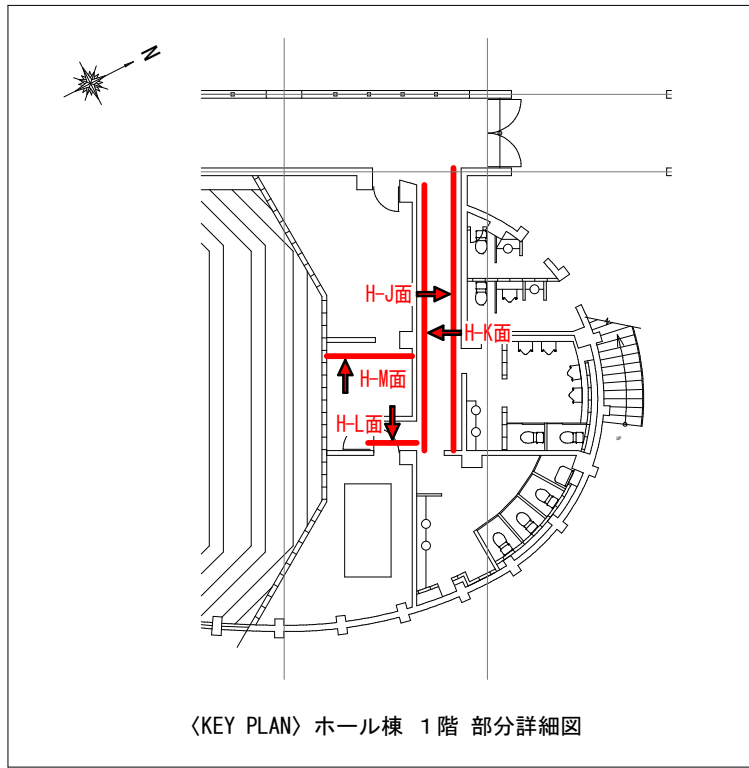
H-I面



H-G面



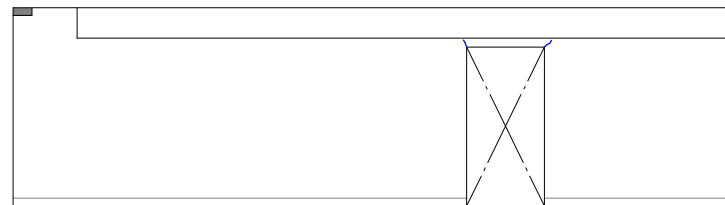
H-F面



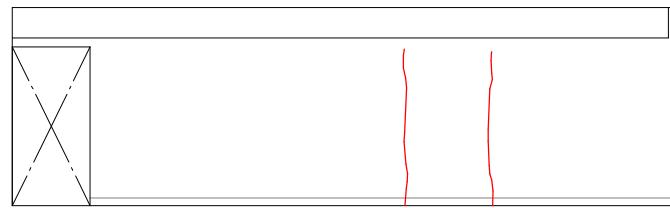
劣化凡例

記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	モルタル浮き

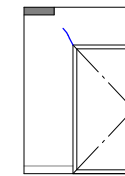
記号	劣化種別
	欠損
	塗膜剥れ
	爆裂・鉄筋露出



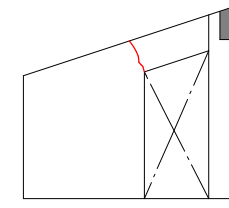
H-J面



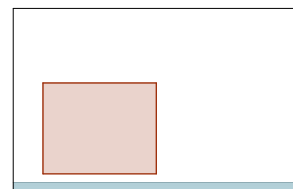
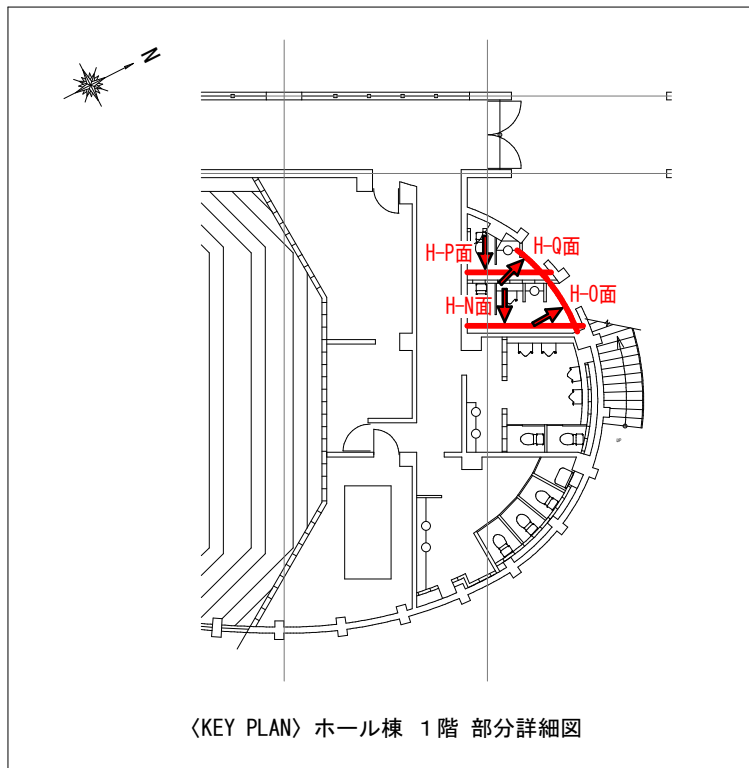
H-K面



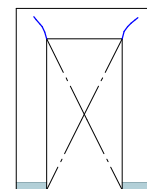
H-L面



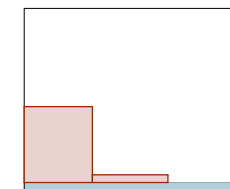
H-M面



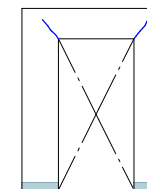
H-N面



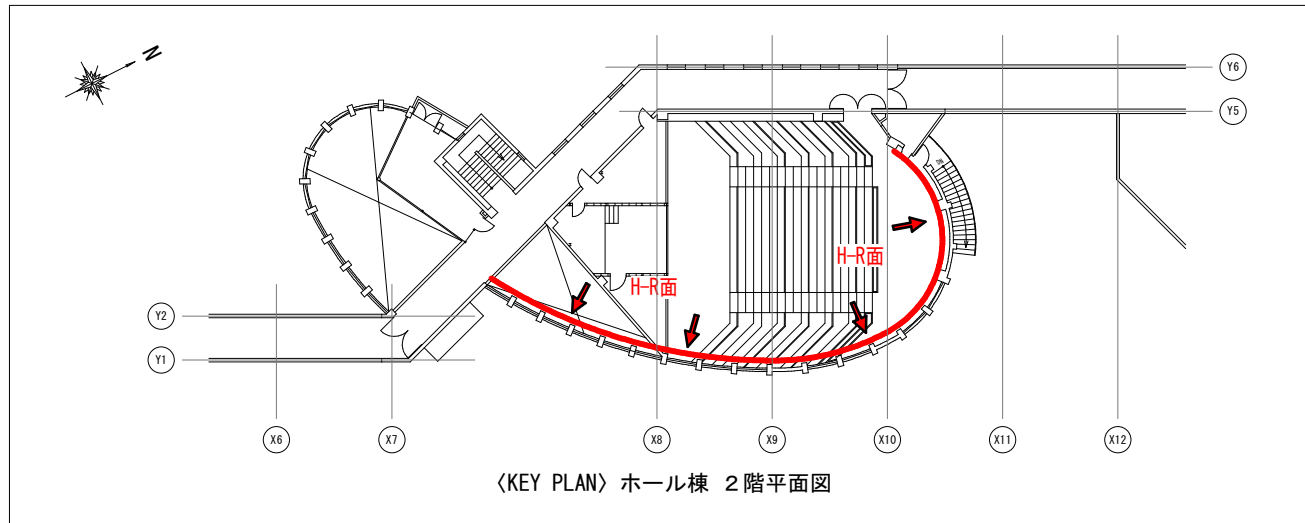
H-O面



H-P面

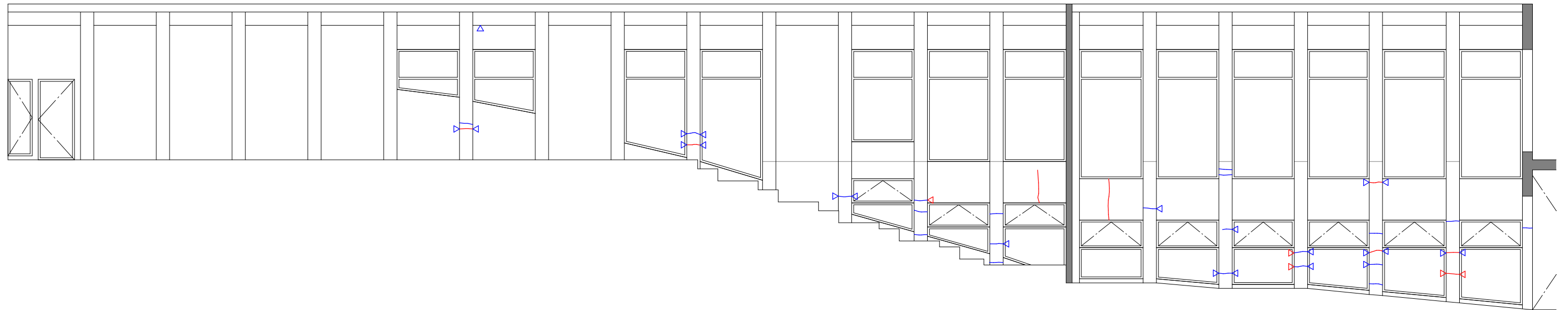


H-Q面

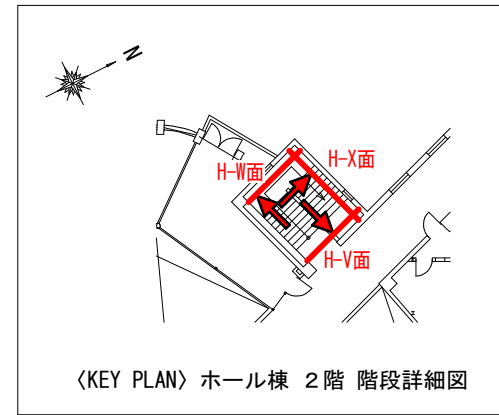
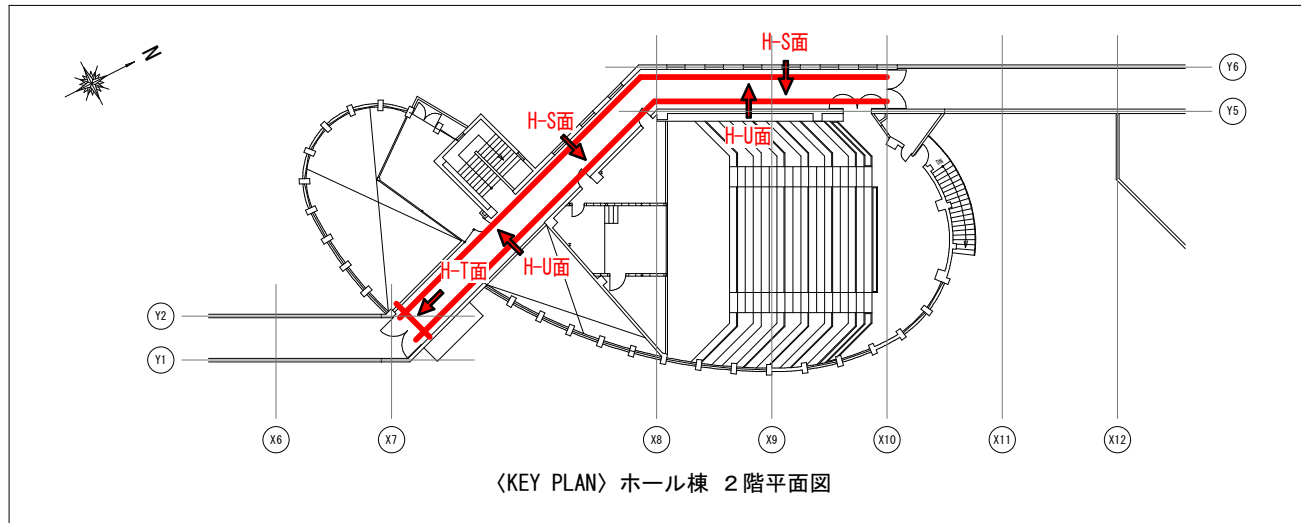


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	モルタル浮き

記号	劣化種別
	欠損
	塗膜剥れ
	爆裂・鉄筋露出



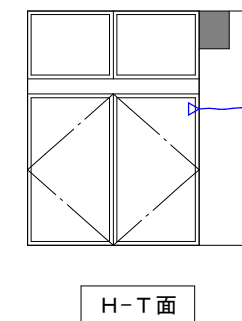
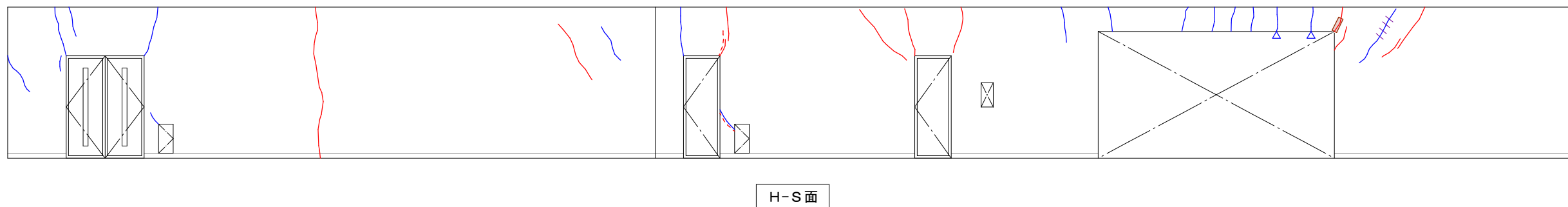
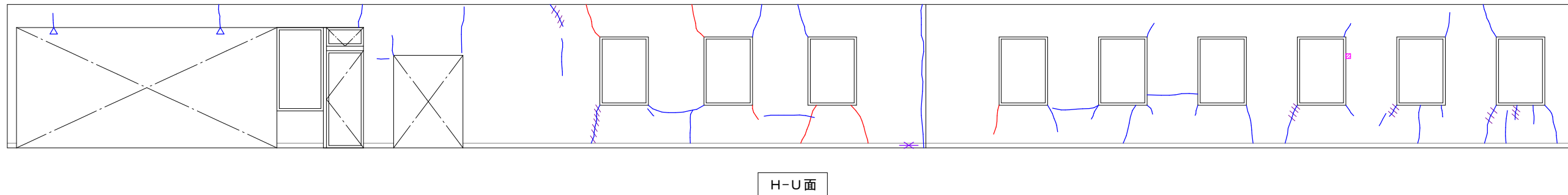
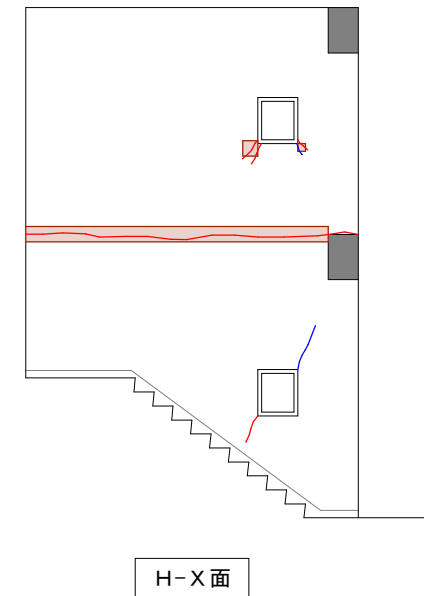
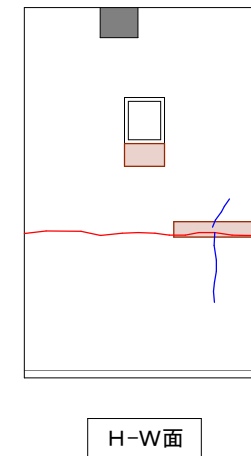
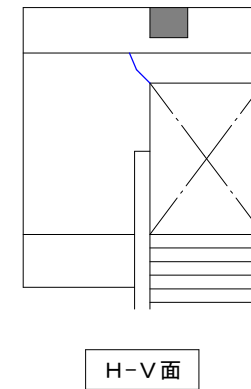
H-R面

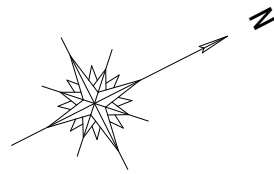


劣化凡例

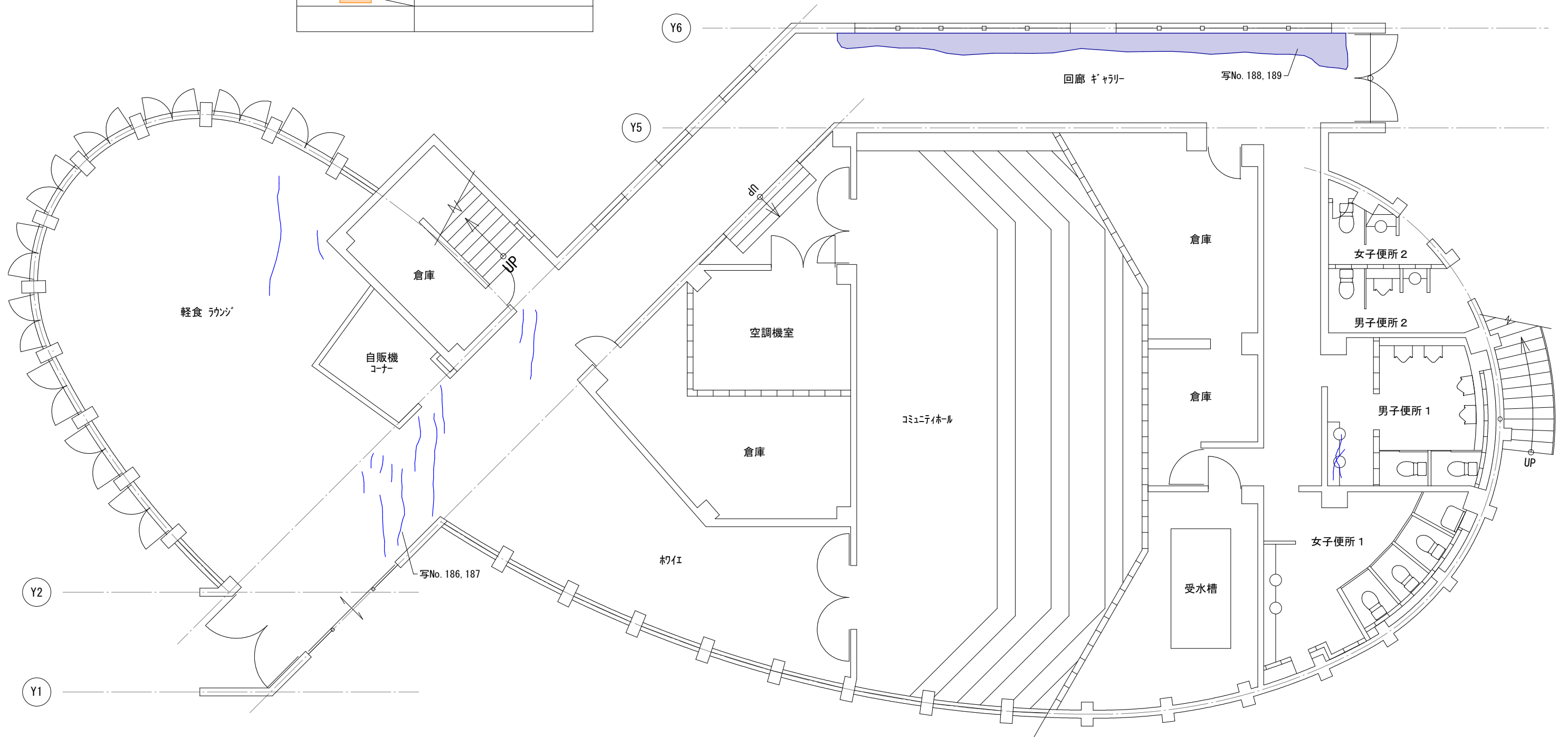
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	エフロレッセンス析出
	タイル浮き
	モルタル浮き

記号	劣化種別
	欠損
	塗膜剥れ
	爆裂・鉄筋露出

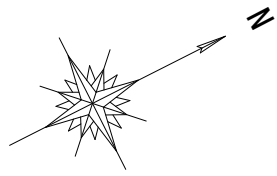




劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	漏水跡・水溜り乾燥跡の汚れ
	苔・植生繁茂

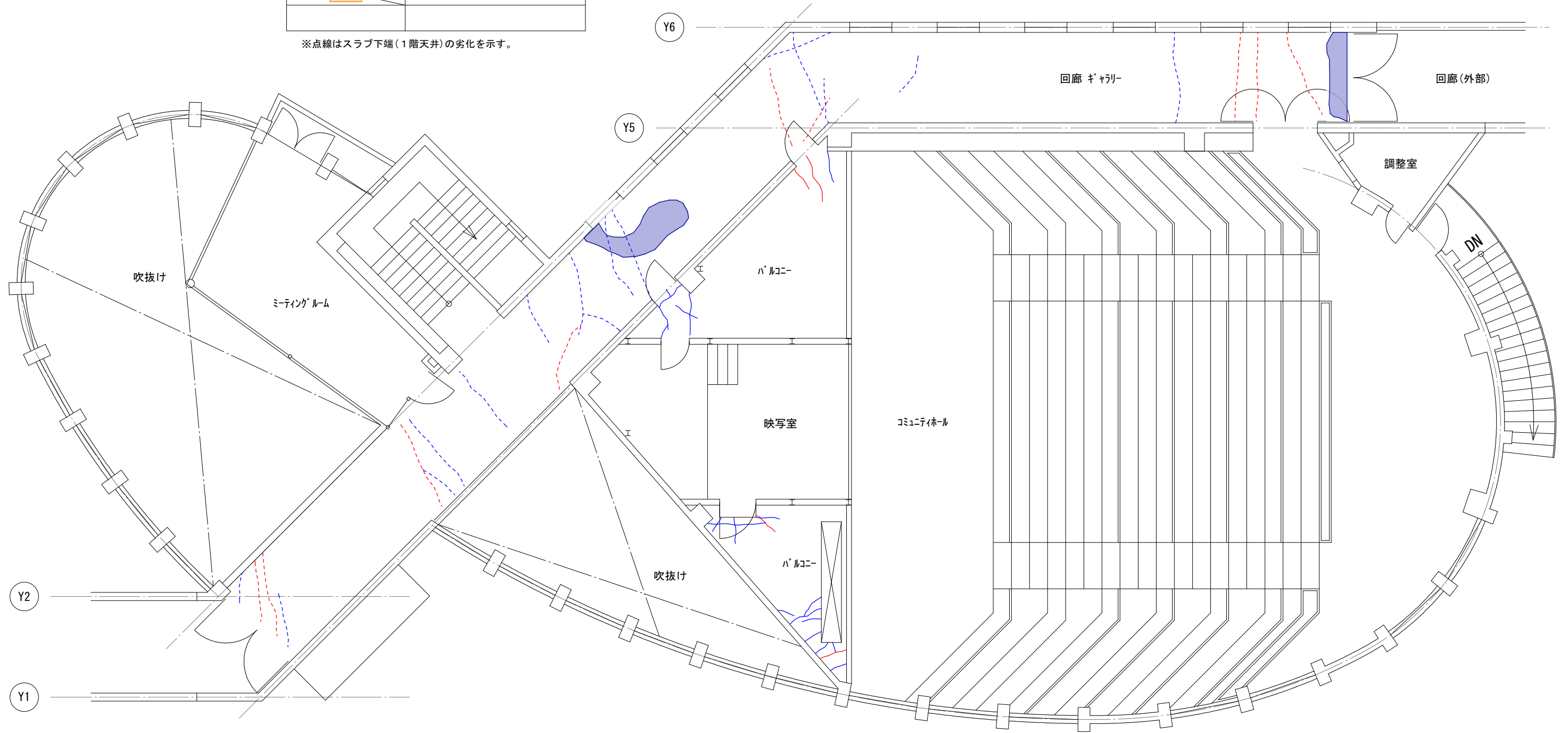


ホール棟 1階平面図

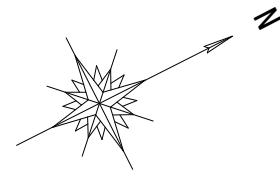


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	漏水跡・水溜り乾燥跡の汚れ
	苔・植生繁茂

※点線はスラブ下端(1階天井)の劣化を示す。

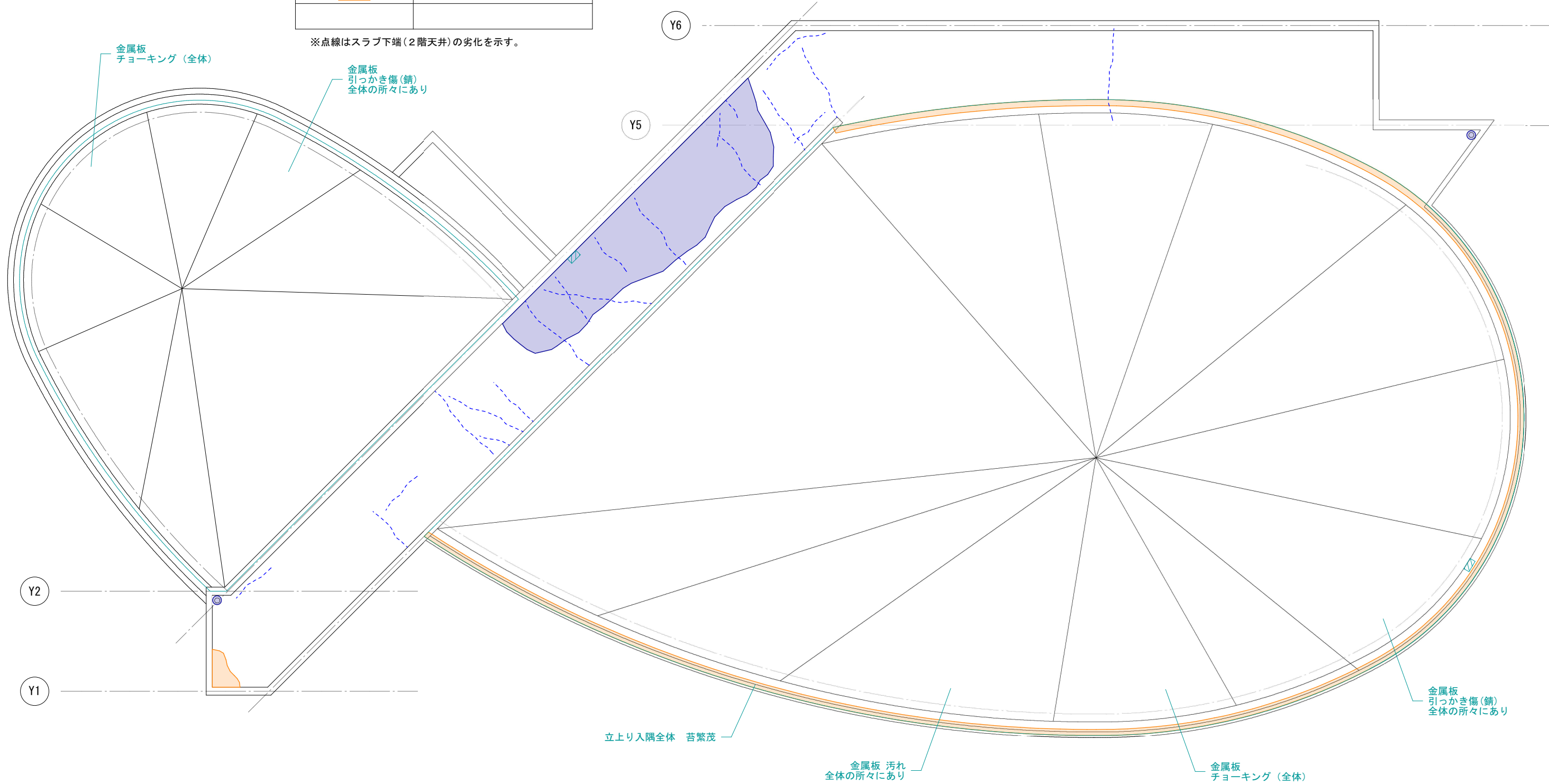


ホール棟 2階平面図



劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	漏水跡・水溜り乾燥跡の汚れ
	苔・植生繁茂

※点線はスラブ下端(2階天井)の劣化を示す。



ホール棟 屋根伏図

調査結果数量表【双葉駅前コミュニティセンター / 駅舎棟】

調査対象範囲 ※建具面積除外	ひび割れ		タイル浮き (m ²)	欠損 (m ³)	サビ計 (箇所)	備考	
	0.2mm未満 (m)	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)					
	浮率 (%)	箇所					
東 面	全面	70.18 m ²	1.50	1.20	0.00 ^{※2}	1	-
	1F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 左官仕上	13.59 m ²	-	-	-	-	-
南 面	全面	18.45 m ²	-	-	0.00 ^{※2}	1	2
	2F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 左官仕上	18.45 m ²	-	-	0.00 ^{※2}	1	2
西 面	全面	82.91 m ²	3.20	0.80	0.15	0.19	-
	1F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 左官仕上	23.68 m ²	-	-	-	-	-
	1F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 水平凹凸ﾀｲﾙ	0.82 m ²	-	-	-	-	-
	2F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 左官仕上	51.26 m ²	3.20	0.80	-	-	-
	2F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 水平凹凸ﾀｲﾙ	1.32 m ²	-	-	-	-	-
北 面	全面	79.04 m ²	0.20	-	-	0.01	1
	1F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 左官仕上	22.70 m ²	0.20	-	-	-	-
外 壁	2F 外装(ﾊﾞﾙｺﾞﾝ) 左官仕上	56.34 m ²	-	-	0.01	1	-
	モﾀﾞｲﾀｲﾙ(25角)	5.83 m ²	-	-	0.15	2.58	-

※1 劣化数量は一部CADの集計ツールを用いて算出した。実際の劣化数量と差が生じることに留意が必要である。

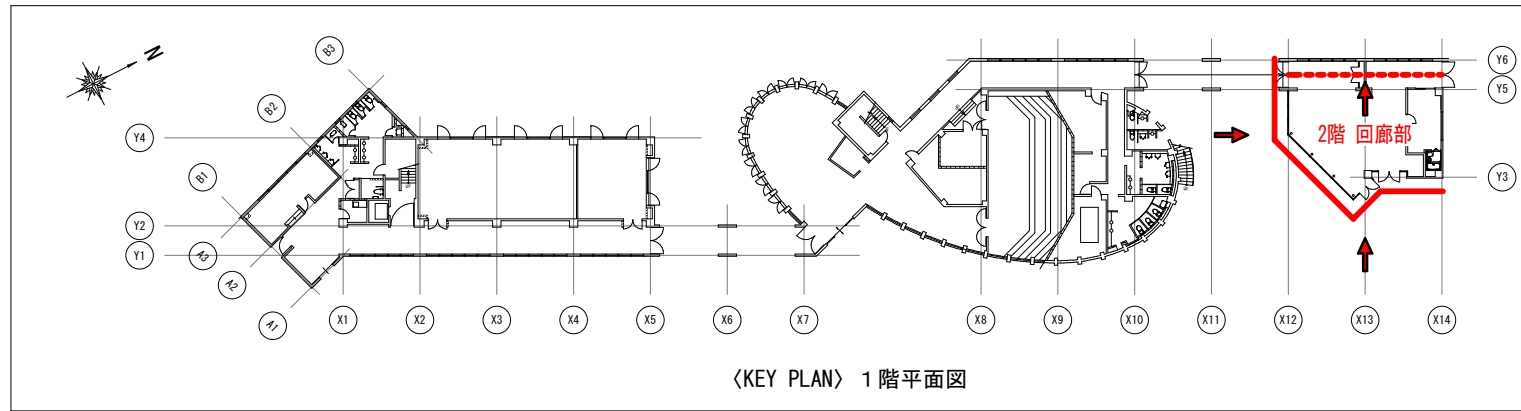
※2 劣化数量が「0.01より小さい」ことを示す。

調査対象範囲	ひび割れ		水溜り乾燥跡 (箇所)	備考
	0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	0.2mm未満 (m)		
1 階	S-A面	打放し+AEP塗装	1.50	-
	平面図	物産展示ｽﾍﾞｰｽ 床:300角ﾀｲﾙ貼(磁器質)	1.00	-
2 階	平面図	設備機器ｽﾍﾞｰｽ 床:防水ｼｰﾄ	-	1
	屋根	平面図	屋根:ﾌｸﾘﾙ塗装,ﾌｽﾌﾙﾄﾝｸﾞﾙ	-

※1 劣化数量は一部CADの集計ツールを用いて算出した。実際の劣化数量と差が生じることに留意が必要である。

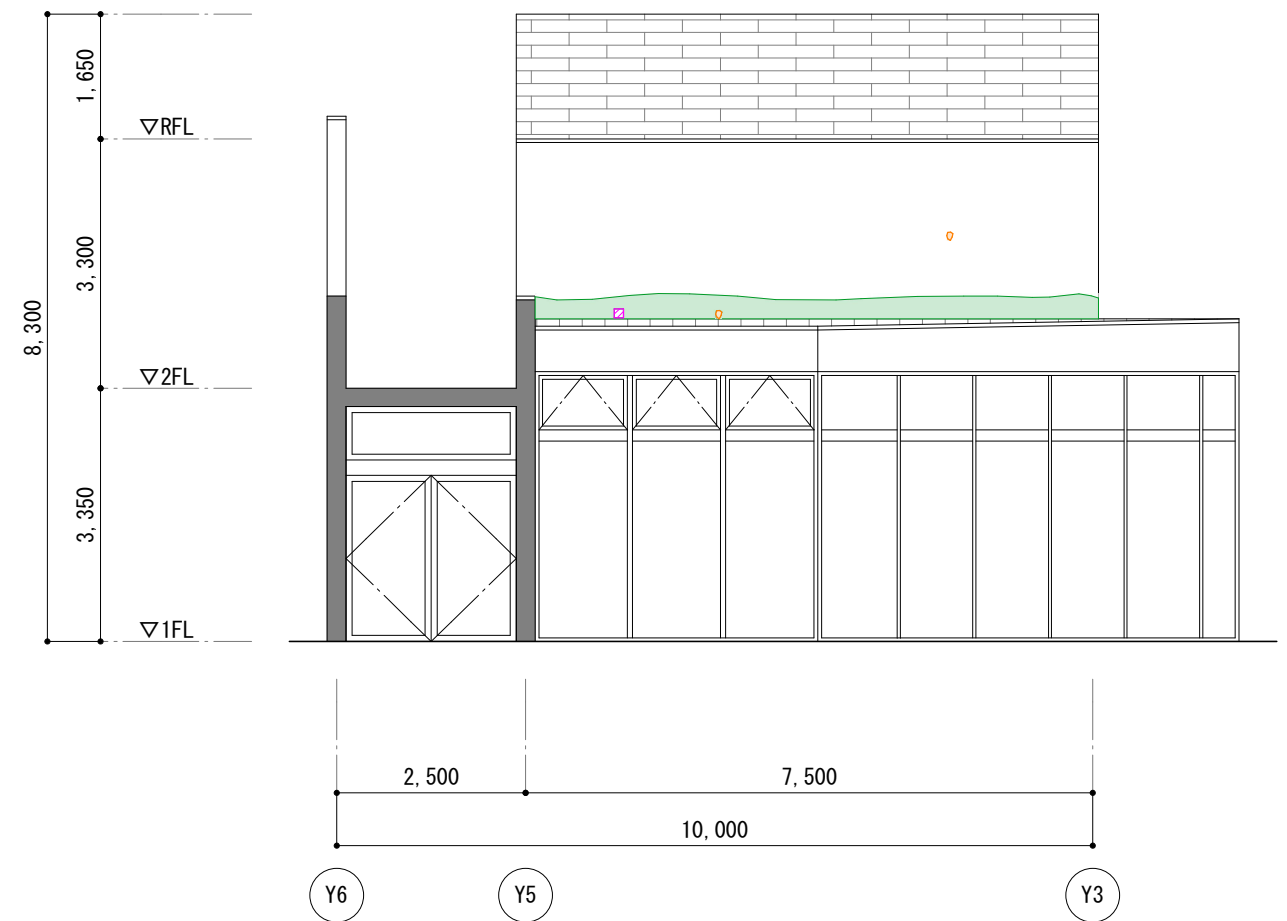
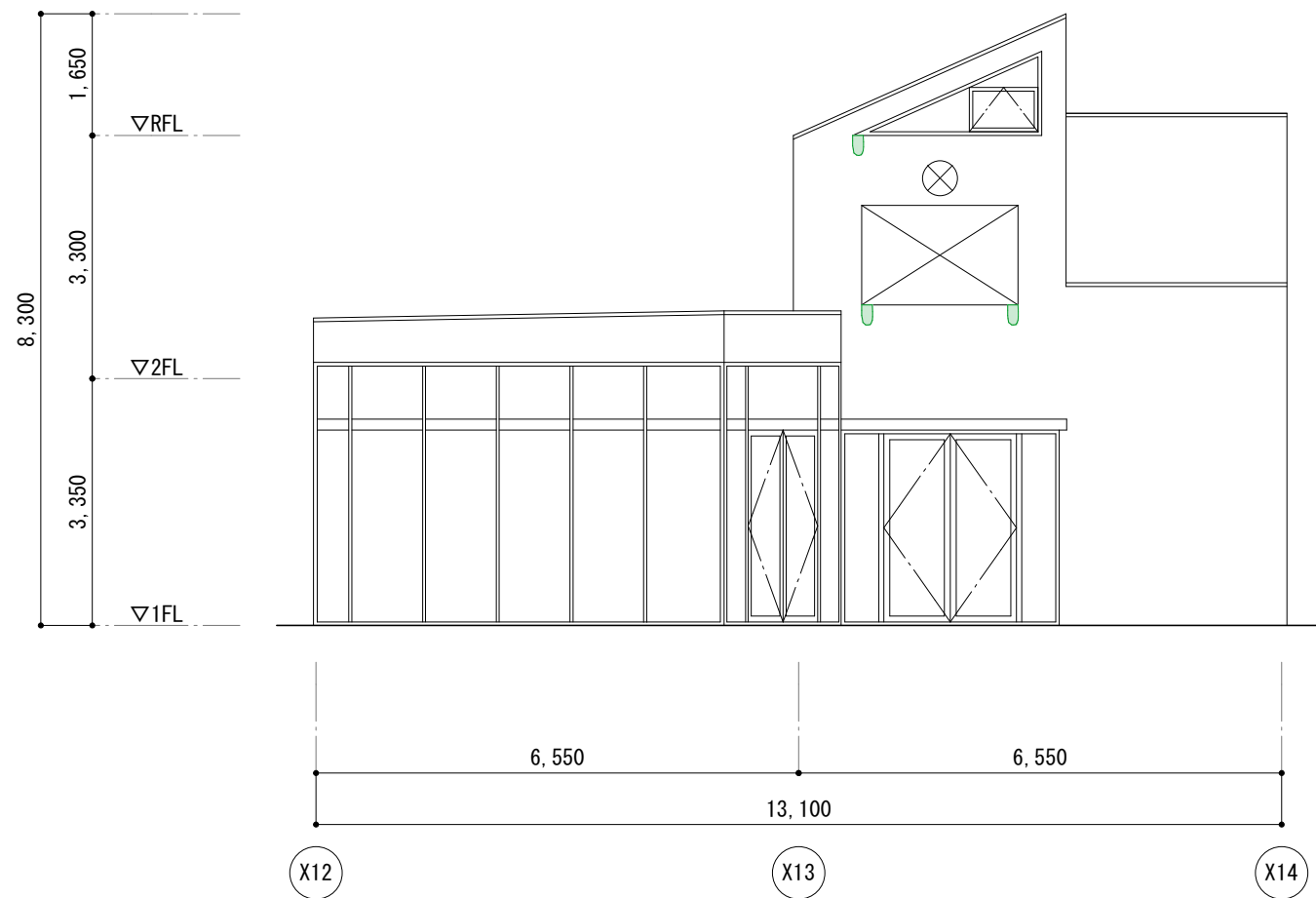
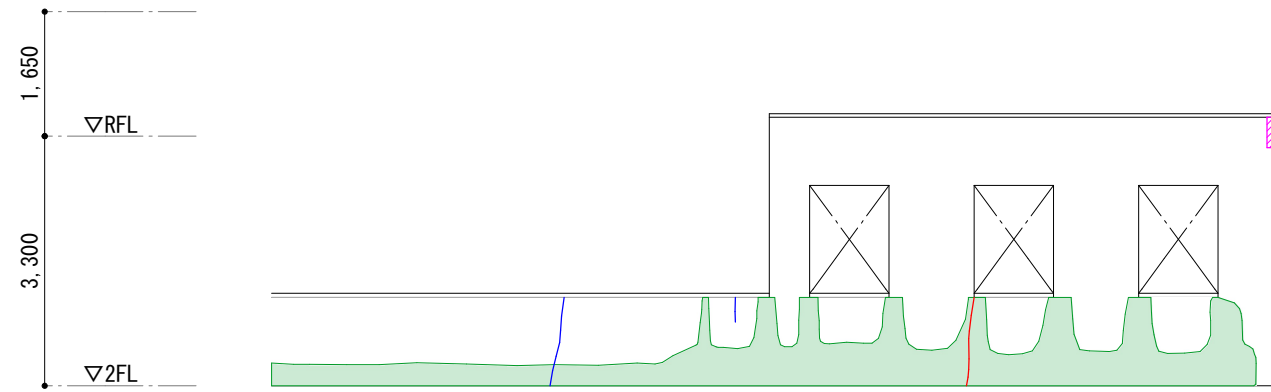
内部仕上	調査面積	全体面積	調査割合	予想数量 ^{※3}		備考
				ひび割れ 0.2mm以上～ 1.0mm以下 (m)	漏水跡・ 水溜り乾燥跡 (箇所)	
床	300角ﾀｲﾙ貼(磁器質)	63.89 m ²	63.89 m ²	100 %	1.00	-
	ｺﾝｸﾘｰﾄ+貼物	0 m ²	52.75 m ²	0 %	-	-
壁	打放し+AEP塗装	10.02 m ²	36.20 m ²	5.60 %	26.79	-
	打放し	0 m ²	53.10 m ²			
	躯体+左官/貼物	0 m ²	89.79 m ²			
	ｽﾀｲﾌｫｰﾑ+仕上	0 m ²	1.57 m ²	100 %	-	-
	モﾀﾞｲﾀｲﾙ	1.57 m ²	116.16 m ²	- %	-	-
天井	打放し+AEP塗装	13.44 m ²	115.99 m ²	11.59 %	-	-
	ｽﾍﾞｰｽ+AEP塗装	- m ²	-	-	-	-

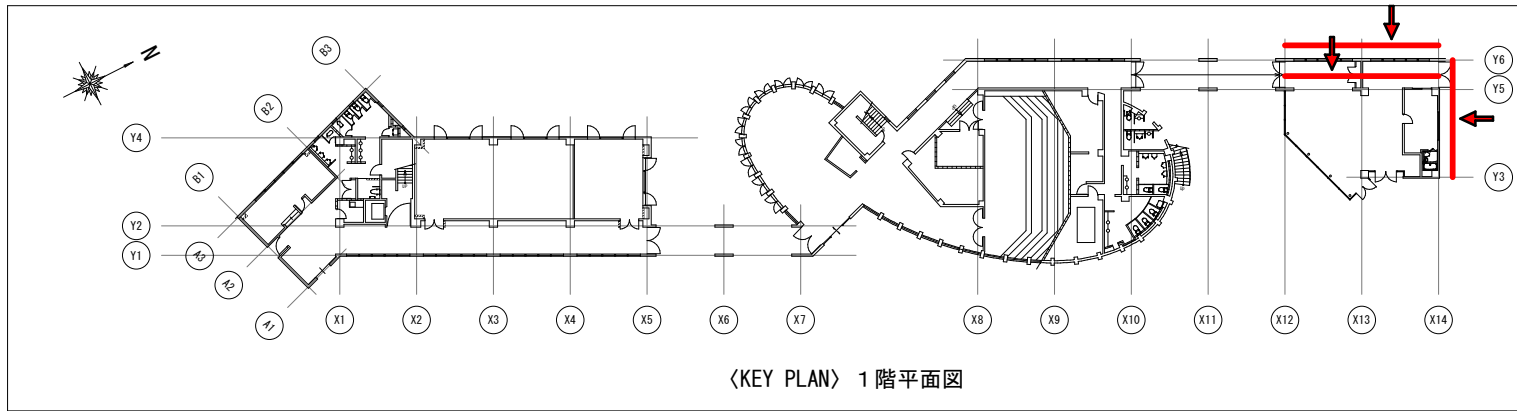
※3 調査面積割合から全体の劣化数量に割増した値である。



劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損

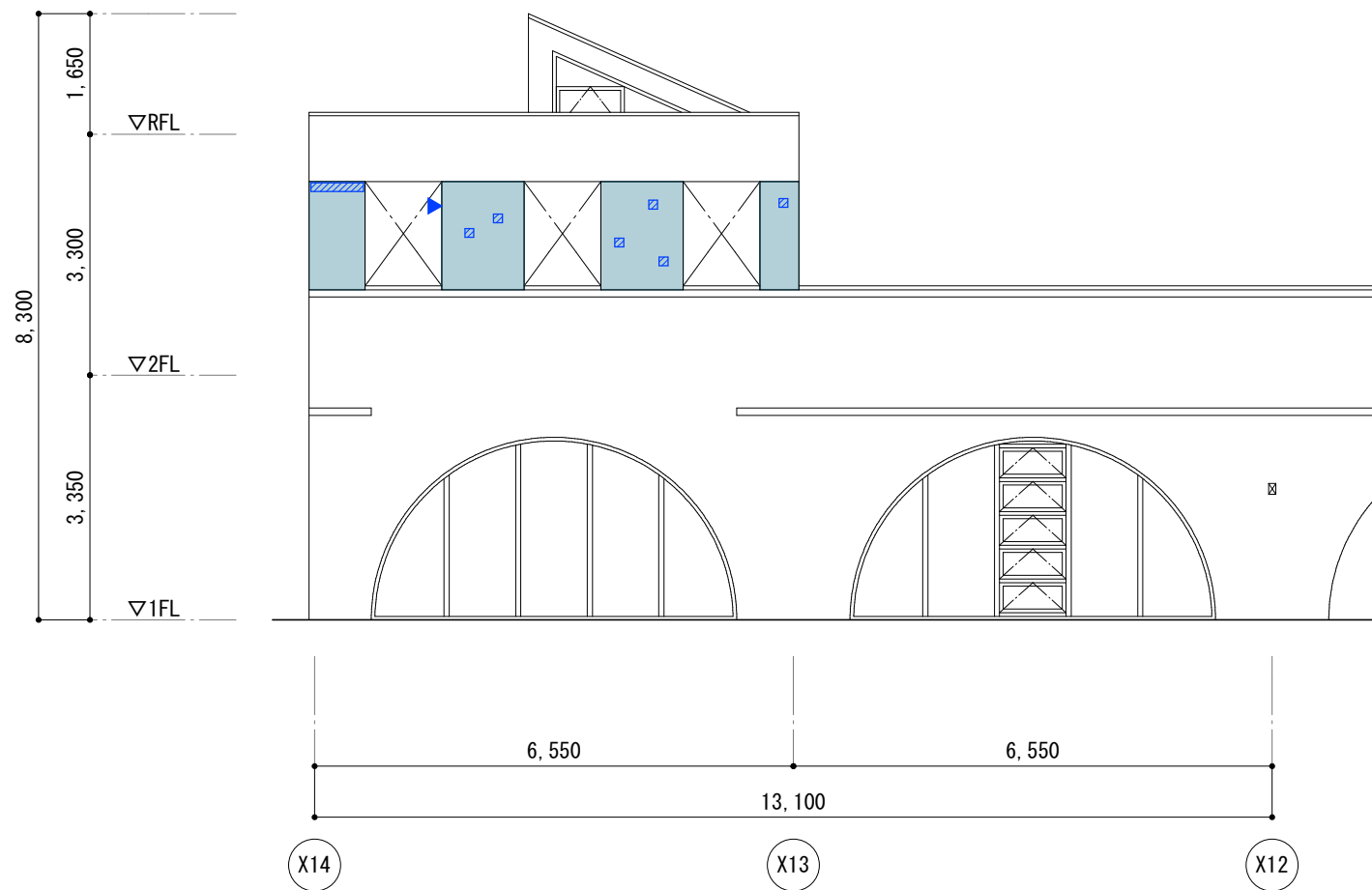
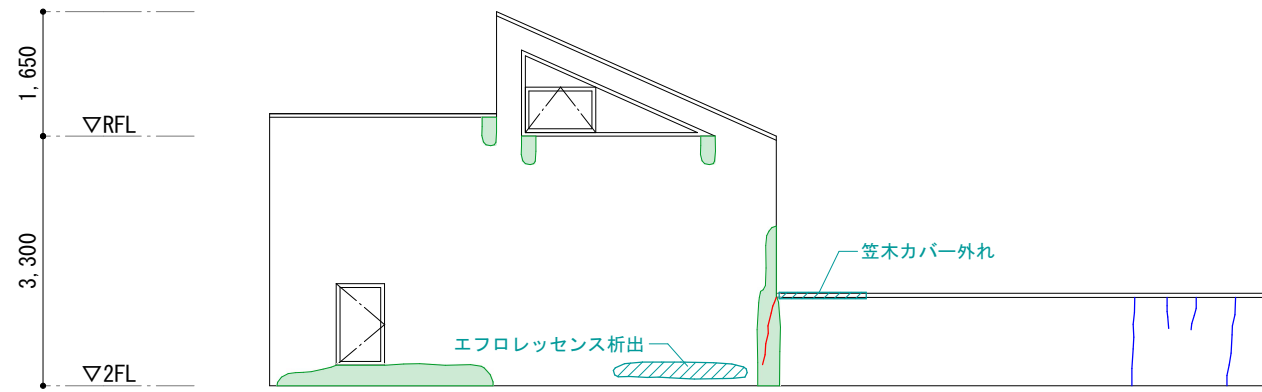
記号	劣化種別
	サビ汁
	壁面汚れ
	その他の劣化



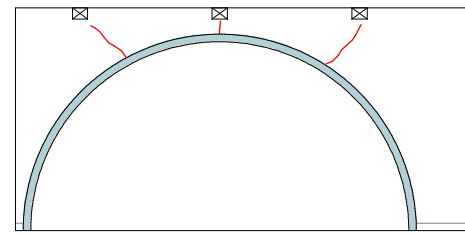
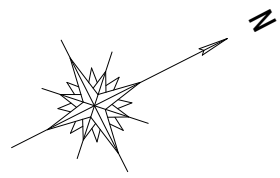


劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm未満
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	タイル浮き
	欠損

記号	劣化種別
	サビ汁
	壁面汚れ
	その他の劣化

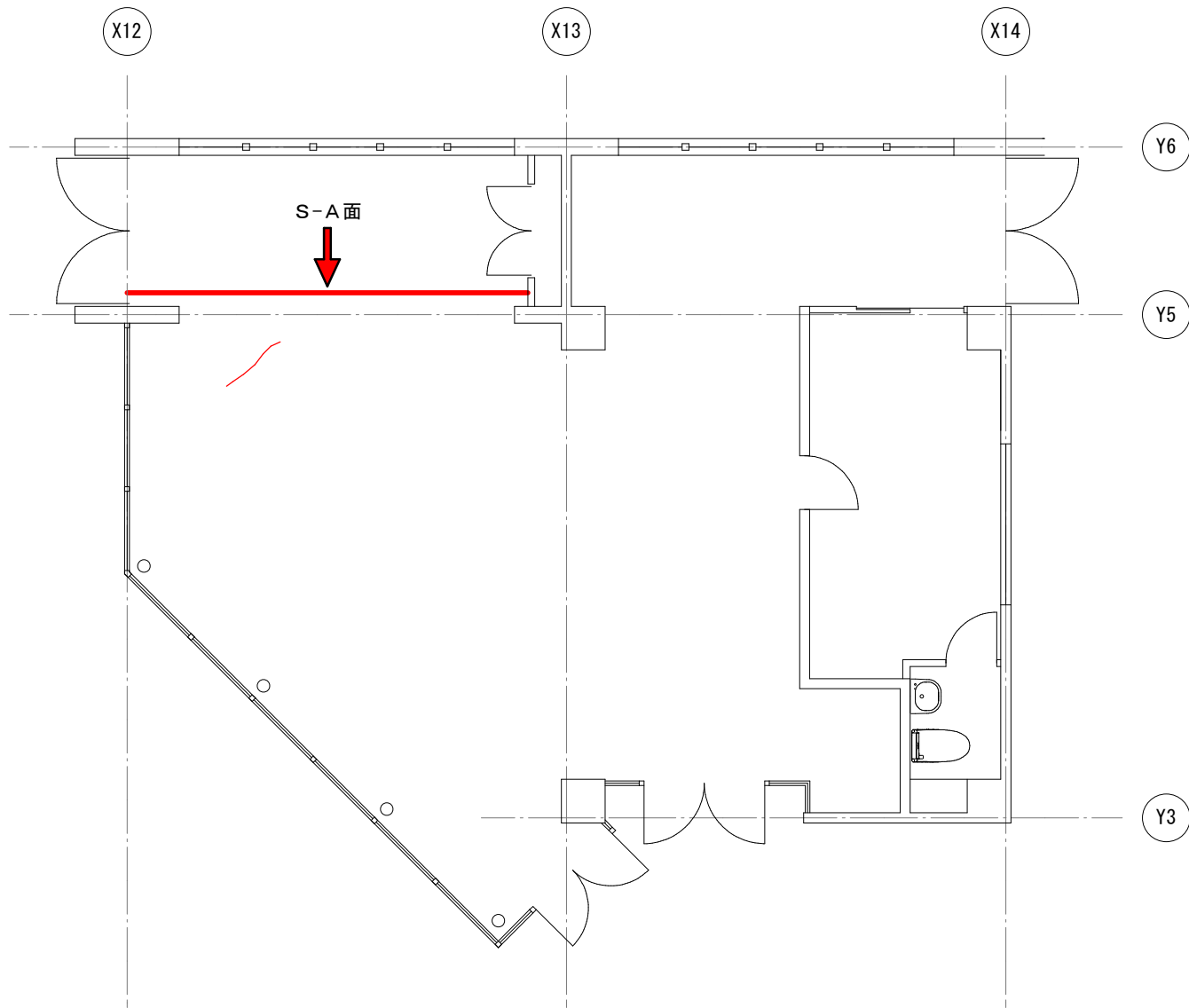


駅舎棟 西面立面図
※ はモザイクタイル(25角)の範囲を示す。

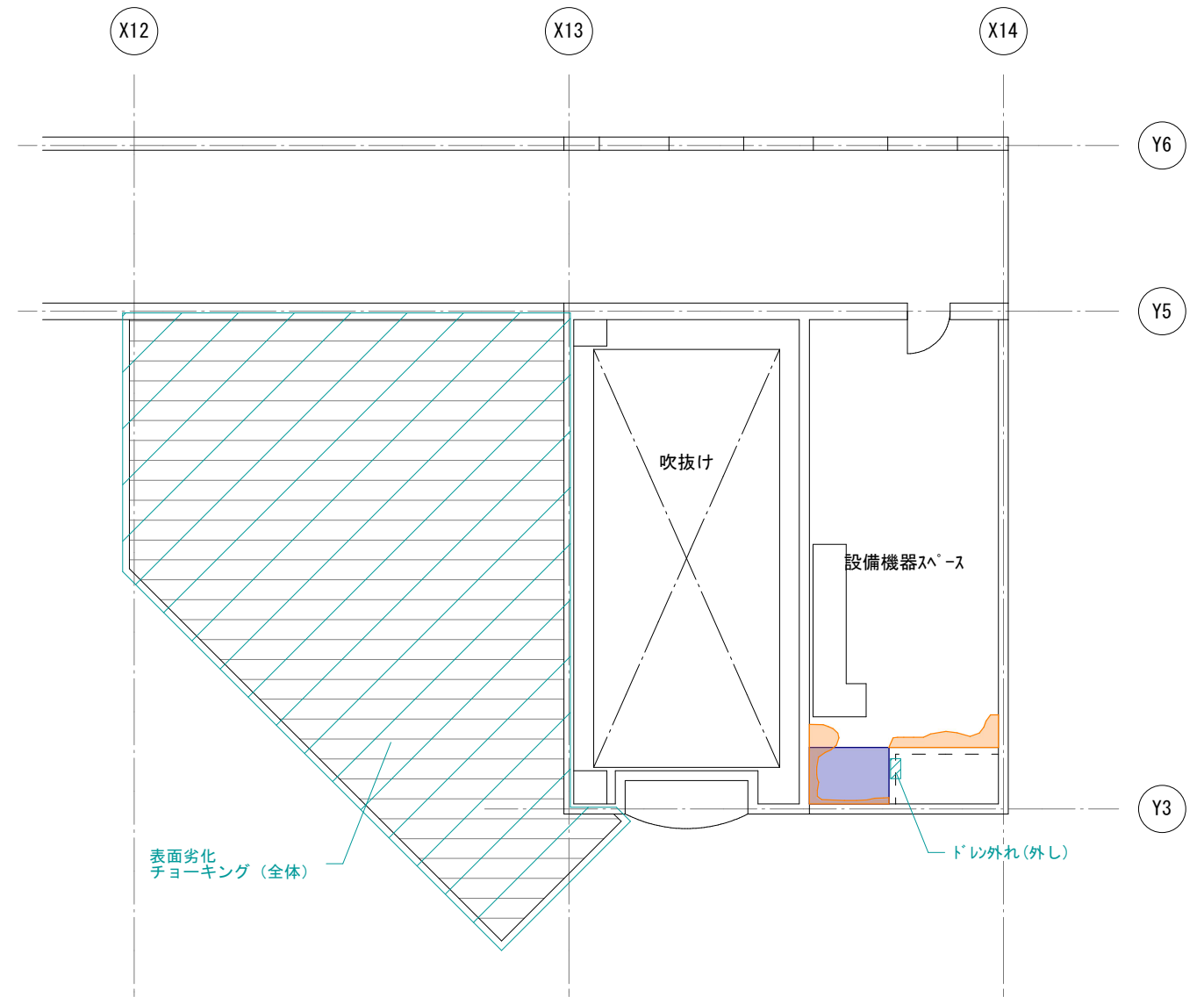


S-A面

劣化凡例	
記号	劣化種別
	ひび割れ 幅0.2mm以上~1.0mm以下
	水溜り乾燥跡
	苔
	その他の劣化



駅舎棟 1階平面図



駅舎棟 2階平面図